

令和 6 年度～令和 1 1 年度
原子力施設等防災対策等委託費
(環境放射線データベース等に係るシステム更改及び
運用・管理業務) 事業の民間競争入札実施要項 (案)

令和5年 月

原子力規制委員会 原子力規制庁

目次

1	趣旨	3
2	結果収集事業の詳細な内容及びその実施に当たり確保されるべき質に関する事項	3
3	実施期間に関する事項	9
4	入札参加資格に関する事項	9
5	入札に参加する者の募集に関する事項	10
6	本業務を実施する者を決定するための評価の基準、その他本受託業務を実施する者の決定に関する事項	13
7	本業務に関する従来の実施状況に関する情報の開示に関する事項	15
8	受託者に使用させることができる国有財産に関する事項	16
9	受託者が、当庁に対して報告すべき事項、秘密を適正に取り扱うために必要な措置その他の本受託業務の適正かつ確実な実施の確保のために受託者が講じるべき措置に関する事項	16
10	受託者が本業務を実施するに当たり、第三者に損害を加えた場合において、その損害の賠償に関し契約により受託者が負うべき責任に関する事項	20
11	1 本業務に係る法第7条第8項に規定する評価に関する事項	20
12	2 その他業務の実施に関し必要な事項	21
13	3 別添一覧	22

1 趣旨

競争の導入による公共サービスの改革に関する法律(平成 18 年法律第 51 号。以下「法」という。)に基づく競争の導入による公共サービスの改革については、公共サービスによる利益を享受する国民の立場に立って、公共サービスの全般について不断の見直しを行い、その実施について、透明かつ公正な競争の下で民間事業者の創意と工夫を適切に反映させることにより、国民のため、より良質かつ低廉な公共サービスを実現することを目指すものである。

上記を踏まえ、原子力規制委員会原子力規制庁(以下「当庁」という。)は「公共サービス改革基本方針」(令和2年7月7日閣議決定)別表において民間競争入札の対象として選定された「原子力施設等防災対策等委託費(放射線監視結果収集)事業」(以下「結果収集事業」という。)について、公共サービス改革基本方針に従って、民間競争入札実施要項を定めるものとする。

2 結果収集事業の詳細な内容及びその実施に当たり確保されるべき質に関する事項

(1) 結果収集事業の概要

ア 対象となる事業の概要

当庁では、全国における原子力関係施設等からの放射線の影響の有無を把握することを目的として、様々な放射線監視結果・測定結果のデータ収集等を行い、これを適切にデータベース化するとともに、当該データベース等について検索機能等を設けたウェブサイトを通して公開し、放射線データ等に関心を持つ研究者や広く国民に対して放射線データを提供している。

さらに、効率的・効果的にデータの収集及び公開を行えるよう、当該データベース等のシステムの見直しを行うとともに、特にウェブサイトの公開方法は、現行の掲載情報を網羅しつつも、利用者の関心やデータ利用目的を踏まえたサイト構成となるよう新たに設計するものである。

イ 結果収集事業で求められるシステムの機能

結果収集事業で得られた環境放射線データは、当庁が公表する「環境放射線データベース」(※)として公表することを前提に、データベースとして利用可能な加工及び管理を行うものである。

結果収集事業のシステムとして求める機能は、47都道府県に設置されているモニタリングポストからデータを収集し、リアルタイムで放射線情報を検索、公表することが可能であること。また、環境放射線データを収集した後、収集データの検証及びデータベース上に入力し、容易に検索することが可能で、データベースのデータを用いて図表を作成し、それらをデータベース上で管理することができる機能を有するものとする。

(※)原子力規制庁が関係省庁や 47 都道府県等の協力を得て実施した環境放射能の結果を検索するデータベース

<https://www.kankyo-hoshano.go.jp/data/database/>

ウ 結果収集事業のシステムの構成及びシステムの更改

(ア) 結果収集事業のシステムの構成

結果収集事業のシステム(以下「現行システム」という。)は、環境放射線データベース管理システム(以下「管理システム」という。)、データ公開用システム(以下「公開システム」という。)及び

モニタリングポストデータオンライン収集システム(環境放射能水準調査に係るものに限る。以下「MPシステム」という。))の3システムから構成されている。この3システムは、それぞれのシステムの新規構築時期が異なっており、また、これまで更新時期が重なることもなかったため、それぞれ独立したシステムとして構成されている。

現行システムの詳細は、別添1「令和6～11年度原子力施設等防災対策等委託費(環境放射線データベース等に係るシステム更改及び運用・管理業務)事業仕様書」(以下「仕様書」という。))の「1.4 業務・現行情報システムの概要」参照のこと。

(イ) システムの更改

システムの更改では、より効率的・効果的にデータの収集業務及び公開を行えるよう、これら3システムの機能を見直し、各システム(機能)間で効率的・合理的に連携できるようこれら機能を統合した新たなシステムを設計・構築(以下「新システム」という。)する。

システムの更改の詳細は仕様書「4.1 システムの設計・構築業務～4.4 情報システムの移行」を参照すること。

(ウ) 環境放射線データの収集及び新システムの運用・管理

環境放射線データを収集し、構築した新システムを用いて収集したデータをデータベース化し、Web サイト上に公表できるよう、環境放射線データベース等に係るシステム更改及び運用・管理業務(以下「本業務」という。)を行う。

(2) 対象業務の内容

受託者が実施する結果収集事業の主な内容は以下のとおりである。詳細な内容は、仕様書を参照すること。

ア 新システムの設計・構築

現行システムのメニュー(機能)を見直し、必要な機能を追加し、又は不要な機能を削除するなどして整理を行う。特に管理システム及びMPシステムに相当する部分については、基本的には現行の機能と同等のものとなるよう設計することとするが、公開システムに相当する部分については、現行の収載情報を網羅しつつも、利用者の関心やデータ利用目的を踏まえたサイト構成となるように新設計する。

イ 放射線監視結果等の収集管理

なお、参考までに令和4年度結果収集事業において収集した報告書等の一覧を仕様書「4.6 放射線監視結果等の収集調査及びシステムの運用・保守」に示した。

① 環境放射線データの収集

放射線監視結果等から得られた環境放射線データを収集する。データは、以下の公開される報告書、システム等から収集を行う。

(参考)収集するデータの内容については、環境放射線データベースのサイトを参照

<https://www.kankyo-hoshano.go.jp/data/database/>

1) 放射線監視結果報告書

(参考)以下のサイトにリンクされる24道府県のサイト等のデータを収集する。

[原子力規制庁サイト:「原子力施設周辺の道府県等における環境放射線モニタリングデータ」]

<http://radioactivity.nra.go.jp/ja/contents/11000/10053/view.html>

2) 海洋放射能調査結果報告書

(参考)以下のサイトに掲載されるデータを収集する。

[原子力規制庁サイト:「海洋環境における放射能調査及び総合評価」]

<https://radioactivity.nra.go.jp/ja/list/519/list-1.html#chapter-6>

3) 環境放射能水準調査における計測データ

当庁からデータを提供する。

4) 環境放射能水準調査におけるモニタリングポストによる空間線量率

環境放射能水準調査(47都道府県を対象とした環境中の放射能の水準を調査する委託事業)により各都道府県に設置しているサーバから、モニタリングポストのリアルタイムの測定結果を収集する。

5) その他、必要に応じて当庁が指定する報告書等からデータを収集する。

② 収集データの管理

収集した報告書等に記載されているデータを新システムへ入力し、データを管理する。

③ 新システムの運用・管理

新システムについて、定期的に保守を実施するなど事業の実施に支障がないよう適切に運用・管理すること。障害が発生した場合は、原因調査、障害復旧を行うものとする。

ウ 学識経験者による委員会の実施

環境放射能に関する学識経験者等で構成する委員会において、調査結果及びデータの公開方法等について審議するため、委員の選定から審議用の資料の作成及び委員会の運営など事務局を担うものとする。また、過去に開催された委員会の委員及び議題、議事の内容等は、別途閲覧できるようにする。

(3) 本業務の引継ぎ

ア 現行受託者からの引継ぎ

当庁は、当該引継ぎが円滑に実施されるよう、当庁から別途調達予定の「令和6年度原子力施設等防災対策等委託費(放射線監視結果収集)事業」の受託者(以下「令和6年度現行システム事業受託者」という。)及び本業務の受託者(以下「システム更改事業受託者」という。)に対して必要な措置を講ずるとともに、令和6年度末を目途に引継ぎが完了したことを確認する。システム更改事業受託者は、令和6年度のシステム構築及び令和7年度以降の事業実施に当たり、放射線データの収集・データベース化・公開等に係る業務内容・実施状況に関し、業務内容を明らかにした書類等により令和6年度現行システム事業受託者から積極的に業務等の引継ぎを受けるものとする。さらに、令和6年度においては、現行システムから新システムへのデータ移行が円滑に進むよう、システム更改事業受託者は、令和6年度現行システム事業受託者と密接に連携して業務を実施するものとする。

なお、その際の引継ぎに必要となる経費は、令和6年度現行システム事業受託者の負担とする。

イ 本業務期間満了の際の引継ぎ

当庁は、令和12年3月まで実施する本業務の終了に当たっては、本業務の内容に係る引継ぎが円滑に実施されるよう、システム更改事業受託者及び令和12年度の後継事業の受託者に対して必要な措置を講ずるとともに、引継ぎが完了したことを確認する。

本業務の終了に伴い受託者が変更になる場合には、システム更改事業受託者は、当該業務の開始日までに業務内容を明らかにした書類等により、令和12年度の後継事業の受託者に対し、引継を行うものとする。

なお、その際の事務引継ぎに必要となる経費は、受託者の負担となる。

(4) 確保されるべき対象業務の質

本業務は、新たに構築する新システムを円滑に遂行するための更新整備するものであるため、新システムの利用者への継続的、かつ、安定的なサービスの円滑な提供に資するものである必要がある。そのため、本業務を実施するに当たり、受託者が確保すべき対象業務の質は、以下のとおりとする。

ア 新システムの稼働率

新システムの目標稼働率について、IPA(情報処理推進機構)が定める非機能要求グレードのモデルシステム※のうち「社会的影響が殆ど無いシステム」を選定し、目標稼働率を99%とすること。ただし、新システムのウェブサイト公開に係る部分については「社会的影響が限定されるシステム」を選定し、目標稼働率を99.99%とすること。

本件で新たに構築するシステムにおいては、上記稼働率を維持すること。

ただし、計画的な停止及び本事業に影響のない一部機能のみの停止は除く。

※ IPA(情報処理推進機構)非機能要求グレード

システムの稼働率(%)

$$\{ 1 - (1\text{か月の停止時間}) \div (1\text{か月の稼働予定時間}) \} \times 100$$

※1か月の稼働予定時間は計画停電等を除く

イ 本業務に係る報告書の収集(遺漏の有無)

本業務では、放射線監視結果等の収集・公開に係る作業を実施することとなる。本業務では、都道府県等が発行する下表の報告書(※1)を収集し、ウェブサイトで公開するまでの一連の作業を実施している。これらの作業については、原則、報告書の発行した当該年度内に遺漏なく収集(※2)し、ウェブサイトで公開すること。

発行者	収集対象の報告書		
	放射線監視結果	海洋放射能調査結果	環境放射能水準調査結果
北海道	4	-	1
青森県	1	-	1

岩手県	-	-	1
宮城県	1	-	1
秋田県	-	-	1
山形県	-	-	1
福島県	1	-	1
茨城県	2	-	1
栃木県	-	-	1
群馬県	-	-	1
埼玉県	-	-	1
千葉県	-	-	1
東京都	-	-	1
神奈川県	1	-	1
新潟県	1	-	1
富山県	1	-	1
石川県	1	-	1
福井県	1	-	1
山梨県	-	-	1
長野県	-	-	1
岐阜県	1	-	1
静岡県	1	-	1
愛知県	-	-	1
三重県	-	-	1
滋賀県	1	-	1
京都府	1	-	1
大阪府	1	-	1
兵庫県	-	-	1
奈良県	-	-	1
和歌山県	-	-	1
鳥取県	1	-	2
島根県	1	-	1
岡山県	1	-	1
広島県	-	-	1
山口県	1	-	1
徳島県	-	-	1
香川県	-	-	1
愛媛県	1	-	1
高知県	-	-	1
福岡県	1	-	1
佐賀県	1	-	1
長崎県	1	-	1
熊本県	-	-	1
大分県	-	-	1
宮崎県	-	-	1
鹿児島県	1	-	1
沖縄県	-	-	1
原子力規制庁	-	1	-
(公財)日本分析センター	-	-	2
小計	28	1	50
合計		79	

(※1)参考までに、令和4年度の結果収集事業において収集した報告書の名称、発行年月、収集年月、公開年

月の一覧表を仕様書に示した。

(※2)ただし、自治体等の報告書発行年月が前年度末月に発行された報告書は収集対象とし、当該年度の末月に発行された報告書は収集対象から除く。また、都道府県等の事情で上記の表に変更があった場合は、当庁と協議すること。

ウ 新システム利用に関する満足度調査

業務開始後、本業務に係る新システムへのデータ提供元に対して、年に1回の割合で次の項目の満足度についてアンケートを実施し、その結果の基準スコア(70点以上)を維持すること。

- ・ 問い合わせから回答までに要した時間
- ・ 回答又は手順に対する説明の分かりやすさ
- ・ 回答又は手順に対する結果の正確性
- ・ 担当者の対応(言葉遣い、親切さ、丁寧さ等)

各質問とも、「満足」(配点 100 点)、「ほぼ満足」(同 80 点)、「普通」(同 50 点)、「やや不満」(同 30 点)、「不満」(同 0 点)で採点し、各利用者の4つの回答の平均スコア(100 点満点)を算出する。

エ セキュリティ上の重大障害件数

個人情報、施設等に関する情報その他の契約履行に際し知り得た情報漏えいの件数は0件であること。

オ 新システム運用上の重大障害件数

長期にわたり正常に稼働できない事態・状況及び保有するデータの喪失等により、業務に多大な支障が生じるような重大障害の件数は0件であること。個人情報、施設等に関する情報その他の契約履行に際し知り得た情報漏えいの件数は0件であること。

(5) 創意工夫の発揮可能性

本業務を実施するに当たっては、以下の観点から受託者の創意工夫を反映し、公共サービスの質の向上(包括的な質の向上、効率化の向上、経費の削減等)に努めるものとする。

ア 本業務の実施全般に対する提案

受託者は、別添2「応札資料作成要領」に従い、本業務の実施全般に係る質の向上の観点から取り組むべき事項等の提案を行うこととする。

イ 事業内容に対する改善提案

受託者は、事業内容に対し、改善すべき提案(コスト削減に係る提案を含む)がある場合は、別添2「応札資料作成要領」に従い、具体的な方法等を示すとともに、従来の実施状況と同等以上の質が確保できる根拠等を提案すること。

(6) 契約の形態及び支払い

- ア 契約の形態は、委託契約とする。
- イ 当庁は、委託契約に基づき、受託者が実施する本業務について、契約の履行に関し、仕様書に定めた内容に基づく監督・検査を実施するなどして適正に実施されていることを確認した上で、適正な支払請求書を受領した日から 30 日以内に、毎月、契約金額を支払うものとする。確認の結果、確保されるべき対象業務の質が達成されていないと認められる場合、又は達成できないおそれがある場合、当庁は、確保されるべき対象業務の質の達成に必要な限りで、受託者に対して本業務の実施方法の改善を行うよう指示することができる。受託者は、当該指示を受けて業務の実施方法を改善し、業務改善報告書を速やかに当庁に提出するものとする。業務改善報告書の内容が、確保されるべき対象業務の質が達成可能なものであると認められるまで、当庁は、委託費の支払を行わないことができる。なお、委託費は、本件業務開始以降のサービス提供に対して支払われるものであり、受託者が行う引継ぎや準備行為等に対して、受託者に発生した費用は、受託者の負担とする。

(7) 法令変更による増加費用及び損害の負担

法令の変更により事業者が生じた合理的な増加費用及び損害は、アからウに該当する場合には当庁が負担し、それ以外の法令変更については受託者が負担する。

- ア 本業務に類型的又は特別に影響を及ぼす法令変更及び税制度の新設
- イ 消費税その他類似の税制度の新設・変更(税率の変更含む)
- ウ 上記ア及びイのほか、法人税その他類似の税制度の新設・変更以外の税制度の新設・変更(税率の変更含む)

3 実施期間に関する事項

本委託契約の契約期間は、契約締結日から令和12年3月31日までとする。なお、設計・構築の期間は、令和6年4月から令和7年3月まで、運用及び保守の期間は、令和7年4月から令和12年3月までを原則とする。

本業務の新システム構築、運用・管理に係る作業スケジュールは、仕様書のとおり。

4 入札参加資格に関する事項

- (1) 法第 15 条において準用する法第 10 条各号(第 11 号を除く。)に該当する者でないこと。
- (2) 予算決算及び会計令(昭和 22 年勅令第 165 号)第 70 条の規定に該当しない者であること。なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている者は、同条中、特別な理由がある場合に該当する。
- (3) 予算決算及び会計令第 71 条の規定に該当しない者であること。
- (4) 令和04・05・06年度環境省競争参加資格(全省庁統一資格)「役務の提供等」の「A」、「B」、「C」又は「D」の等級に格付けされている者であること。
- (5) 法人税並びに消費税及び地方消費税の滞納がないこと。

- (6) 労働保険、厚生年金保険等の適用を受けている場合、保険料等の滞納がないこと。
- (7) 原子力規制委員会及び他府省庁等から補助金交付等停止措置又は指名停止措置が講じられている期間中の者ではないこと。
- (8) 単独で対象業務を行えない場合は、又は、単独で実施するより業務上の優位性があると判断する場合は、適正に業務を実施できる入札参加グループを結成し、入札に参加することができる。その場合、入札書類提出時までに入札参加グループを結成し、入札参加資格の全てを満たす者の中から代表者を定め、他の者は構成員として参加するものとする。また、入札参加グループの構成員は、上記(1)から(7)までの資格を満たす必要があり、他の入札参加グループの構成員となり、又は、単独で参加することはできない。なお、入札参加グループの代表者及び構成員は、入札参加グループの結成に関する協定書(又はこれに類する書類)を作成し、提出すること。なお、入札参加グループとは、本業務の実施を目的に複数の事業者が組織体を構成し、本業務の入札に参加する者のことを指す。
- (10) 仕様書に基づく作業を実施する部門又は組織を対象として、ISO9001の認証を取得、または同等の品質管理体制を確立していること。
- (11) 情報セキュリティの徹底を図る観点から、本業務を実施する組織・部署において、本業務の実施を適用範囲に含んだISMS(情報セキュリティ管理システム)についてISO/IEC 27001またはJIS Q 27001に基く認証を取得、または、同水準のセキュリティ管理体制を確立していること。
- (12) 関連する法令を理解し、本業務のシステムと同様の、又は類似するシステムの設計・開発及び運用経験を有すること。
- (13) 環境放射能・放射線に関する十分な知見を有すること。

5 入札に参加する者の募集に関する事項

(1) スケジュール(予定)

ア	パブリックコメント及び意見招請	令和5年	8月中旬から9月中旬
イ	入札公示		12月中旬
ウ	入札説明会	令和6年	1月下旬
エ	資料閲覧		1月下旬
オ	質問受付期限		2月中旬
カ	提案書提出期限		2月下旬
キ	入札参加者によるプレゼンテーション		2月下旬から3月上旬
ク	提案書の審査		3月上旬から3月中旬
ケ	開札及び落札予定者の決定		3月下旬
コ	契約締結		4月上旬

(2) 入札書類

入札参加者は、次に掲げる書類を入札説明会において説明された期日及び方法により提出すること。

ア 入札説明後の質問受付

入札公告以降、入札説明会に参加した者は、本実施要項の内容や入札に係る事項について、入

札説明会後に、当庁に対して質問を行うことができる。質問は原則として電子メールにより行い、質問内容及び当庁からの回答は原則として入札説明会に参加した全ての者に公開することとする。ただし、民間事業者の権利や競争上の地位等を害するおそれがあると判断される場合には、質問者の意向を聴取した上で公開しないよう配慮する。

イ 提案書等

別添3「評価項目一覧」の提案要求事項に示した各要求項目について具体的な提案(創意工夫を含む。)を行い、各要求項目を満たすことができることを証明する書類を提出すること。

ウ 下見積書

人件費の単価証明書及び物件費の価格証明書を含んだ下見積書
ただし、契約後に発生する経費のみとする。

エ 入札書

入札金額(入札参加者が消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、契約期間内の全ての受託業務に対する報酬の総額の110分の100に相当する金額)を記載した書類

オ 委任状

代理人に委任したことを証明する書類
ただし、代理人による入札を行う場合に限る。

カ 競争参加資格審査結果通知書の写し

令和04・05・06年度環境省競争参加資格(全省庁統一資格)の「役務の提供等」において、入札時まで「A」、「B」、「C」又は「D」の等級に格付けられ、競争参加資格を有する者であることを証明する審査結果通知書の写し。
ただし、電子入札システムにより入札を行う場合は不要。

キ 理由書

電子入札システムにより入札を行うことができない旨の理由を示した書類
ただし、当庁側の事情で電子入札システムを用いた入札を行わない場合には不要。

ク 法第15条において準用する法第10条に規定する欠格事由のうち、暴力団排除に関する規定について評価するために必要な書類

ケ 法人税並びに消費税及び地方消費税の納税証明書(直近のもの)

4(6)に該当する場合、社会保険料納入確認書等(直近のもの)

コ 主たる事業概要、従業員数、事業所の所在地、代表者略歴、主要株主構成、他の者との間で競争の導入による公共サービス改革に関する法律施行令(平成18年7月5日政令第228号)第3条に規定する特定支配関係にある場合は、その者に関する当該情報

サ 入札参加グループによる参加の場合は、入札参加グループ内部の役割分担について定めた協定書又はこれに類する書類

シ 指名停止等に関する申出書

各府省庁から指名停止を受けていないことを確認する書類

ス 誓約書

本委託契約を完了できることを証明する書類

6 本業務を実施する者を決定するための評価の基準、その他本受託業務を実施する者の決定に関する事項

以下に本業務を実施する者の決定に関する事項を示す。なお、詳細は別添4「評価手順書(加算方式)」を基本とする。

(1) 評価方法

本業務を実施する者の決定は、総合評価落札方式によるものとする。

また、総合評価は、価格点(入札価格の得点)に技術点(別添3「評価項目」に添付の評価項目一覧による加点)を加えて得た数値(以下「総合評価点」という。)をもって行う。

価格点と技術点の配分

価格点の配分:技術点の配分 = 1 : 2

総合評価点 = 価格点(50点満点) + 技術点(100点満点)

(2) 合否決定方法

仕様書において必須と定められた要求要件を全て満たしている場合に「合格」とし、「基礎点」を与える。なお、1つでも欠ける場合は「不合格」とする。

(3) 総合評価点

ア 価格点

価格点は、入札価格を予定価格で除して得た値を1から減じて得た値に入札価格に対する得点配分を乗じて得た値とする。

価格点 = 価格点の配分(※) × (1 - 入札価格 ÷ 予定価格)

(※) 技術点及び価格点は小数点第4位以下切り捨てることとする。

イ 技術点

(ア) 全ての仕様を満たし、「合格」したものに「基礎点」として45点与える。

(イ) 「合格」した提案書について、必須と定められた要求要件を全て満たしている項目に対し「基礎点」を与えた上で、提案書審査委員会の委員ごとに「加点」部分の評価を行う。当庁にとって有益な提案があった場合に、別添3「評価項目一覧」の提案要求事項の得点配分に基づき、「加点」を与えるものとし、各委員の採点結果を委員会で確認し、事実誤認等があれば各委員において訂正する。なお、各委員が行う「加点」部分の評価は、以下の評価基準に基づき点数化する。確定した各委員の採点結果について、その平均値を算出し、「加点」とする。

評価基準と配点

評価	基準	配点比率 (※1)
優	提案内容に具体性や実現性がある、又は要求仕様を上回る追加の提案がなされており、本業務の遂行において特筆すべき有益性が認められる。	100%
良	提案内容が具体性や実現性がある、又は要求仕様を上回る追加の提案がなされており、本業務の遂行において一定の有益性が認められる。	60%
可	提案内容が具体性や実現性がある、又は要求仕様を上回る追加の提案がなされており、本業務の遂行において若干の有益性が認められる。	20%
加点 なし	提案内容は仕様書や要件定義書で定める要件は満たしているが、具体性や実現性がなく、本業務の遂行に有益性は認められない。	0%

※1 別添3「評価項目一覧」の提案要求事項に記載の評価項目の配点が10点、評価が「良」の場合、技術点の加点は「6点」となる。

(ウ) 評価は、以下の方針に基づき判断する。

- ・ 本業務の目的を十分に把握し有益な提案となっているか
- ・ 実現性が十分に担保されていると判断できるか
- ・ 提案者の実績や知見に基づく創意工夫が盛り込まれているか

(エ) 「基礎点」と「加点」の合計点を「技術点」とする。

$\text{技術点} = \text{基礎点(45点)} + \text{加点(55点)}$

(4) 落札者の決定

- ア 仕様書に示す全ての要求要件を満たし、入札者の入札価格が予算決算及び会計令第79条の規定に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内であり、かつ、「総合評価落札方法」によって得られた総合評価点の最も高い者を落札者とする。ただし、予算決算及び会計令第84条の規定に該当する場合は、予算決算及び会計令第85条の基準を適用するので、基準に該当する入札が行われた場合は入札の結果を保留する。この場合、入札参加者は当庁の行う事情聴取等の調査に協力しなければならない。
- イ 調査の結果、会計法(昭和22年法律第35号)第29条の6第1項ただし書きの規定に該当すると認められるときは、その定めるところにより、予定価格の制限の範囲内で次順位の者を落札者とすることがある。
- ウ 落札者となるべき者が2者以上あるときは、直ちに当該入札者にくじを引かせ、落札者を決定するものとする。また、入札者又は代理人がくじを引くことができないときは、入札執行事務に係るな

い職員がこれに代わってくじを引き、落札者を決定するものとする。

- エ 契約担当官等は、落札者を決定したときに入札者にその氏名（法人の場合はその名称）及び金額を口頭で通知する。ただし、上記イにより落札者を決定する場合には別に書面で通知する。また、落札できなかった入札者は、落札の相対的な利点に関する情報（当該入札者と落札者のそれぞれの入札価格及び性能等の得点）の提供を要請することができる。

(5) 落札決定の取消し

次の各号のいずれかに該当するときは、落札者の決定を取り消す。ただし、契約担当官等が、正当な理由があると認めるときはこの限りでない。

ア 落札者が、契約担当官等から求められたにもかかわらず契約書の取り交わしを行わない場合

イ 入札書の内訳金額と合計金額が符合しない場合

落札後、入札者に内訳書を記載させる場合がある。内訳金額が合計金額と符合しないときは、合計金額で入札したものとみなすため、内訳金額の補正を求められた入札者は、直ちに合計金額に基づいてこれを補正しなければならない。

(6) 落札者が決定しなかった場合の措置

初回の入札において入札参加者がなかった場合、必須項目を全て満たす入札参加者がなかった場合又は再度の入札を行ってもなお落札者が決定しなかった場合は、原則として、入札条件等を見直した後、再度公告を行う。

なお、再度の入札によっても落札者となるべき者が決定しない場合又は本業務の実施に必要な期間が確保できないなどやむを得ない場合は、自ら実施する等とし、その理由を官民競争入札等監理委員会に報告するとともに公表するものとする。

7 本業務に関する従来の実施状況に関する情報の開示に関する事項

(1) 開示情報

結果収集事業に関して、以下の情報は別紙1「従来の実施状況に関する情報の開示」のとおり開示する。

ア 従来の実施に要した経費

イ 従来の実施に要した人員

ウ 従来の実施に要した施設及び設備

エ 従来の実施における目標の達成の程度

オ 従来の実施方法等

(2) 資料の閲覧

前項オ「従来の実施方法等」の詳細な情報は、4「入札参加資格に関する事項」の要件を満たす民間競

争入札に参加する予定の者から要望があった場合、現行の結果収集事業に係る納入成果物等について、所定の手続を踏まえた上で閲覧可能とする。資料閲覧は、別紙5「資料閲覧」により申し込むこと。

また、民間競争入札に参加する予定の者から追加の資料の開示について要望があった場合は、当庁は、法令及び機密性等に問題のない範囲で適切に対応するよう努めるものとする。

8 受託者に使用させることができる国有財産に関する事項

(1) 国有財産の使用受託者は、本受託業務の遂行に必要な施設、設備等として、次に掲げる施設、設備等を適切な管理の下、無償で使用することができる。

ア 業務に必要な電気設備

イ その他、当庁と協議し承認された業務に必要な施設、設備等

(2) 使用制限

ア 受託者は、本業務の実施及び実施に付随する業務以外の目的で使用し、又は利用してはならない。

イ 受託者は、あらかじめ当庁と協議した上で、当庁の業務に支障を来さない範囲内において、施設内に運用管理業務の実施に必要な設備等を持ち込むことができる。

ウ 受託者は、設備等を設置した場合は、設備等の使用を終了又は中止した後、直ちに、必要な原状回復を行う。

エ 受託者は、既存の建築物及び工作物等に汚損・損傷等を与えないよう十分に注意し、損傷(機器の故障等を含む。)が生じるおそれのある場合は、養生を行う。万一損傷が生じた場合は、受託者の責任と負担において速やかに復旧するものとする。

9 受託者が、当庁に対して報告すべき事項、秘密を適正に取り扱うために必要な措置その他の本受託業務の適正かつ確実な実施の確保のために受託者が講じるべき措置に関する事項

(1) 務受託者が当庁に報告すべき事項、当庁の指示により講じるべき措置

ア 報告等

(ア) 受託者は、仕様書に規定する業務を実施したときは、当該仕様書に基づく各種報告書を当庁に提出しなければならない。

(イ) 受託者は、本業務を実施したとき、又は完了に影響を及ぼす重要な事項の変更が生じたときは、直ちに当庁に報告するものとし、当庁と受託者が協議するものとする。

(ウ) 受託者は、契約期間中において、(イ)以外であっても、必要に応じて当庁から報告を求められた場合は、適宜、報告を行うものとする。

イ 調査

(ア) 当庁は、本業務の適正かつ確実な実施を確保するために必要があると認めるときは、法第26条第1項に基づき、受託者に対し必要な報告を求め、又は当庁の職員が事務所に立ち入り、当該業務の実施の状況若しくは記録、帳簿書類その他の物件を検査し、又は関係者に質問することができる。

(イ) 立入検査をする当庁の職員は、検査等を行う際には、当該検査が法第26条第1項に基づくも

のであることを受託者に明示するとともに、その身分を示す証明書を携帯し、関係者に提示するものとする。

ウ 指示

当庁は、本業務の適正かつ確実な実施を確保するために必要と認めるときは、受託者に対し、必要な措置を採るべきことを指示することができる。

(2) 秘密を適正に取り扱うために必要な措置

ア 受託者は、本業務の実施に際して知り得た原子力規制委員会の情報等(公知の事実等を除く)を、第三者に漏らし、盗用し、又は受託業務以外の目的のために利用してはならない。これらの者が秘密を漏らし、又は盗用した場合は、法第 54 条により罰則の適用がある。

イ 受託者は、本業務の実施に際して得られた情報処理に関する利用技術(アイデア又はノウハウ)については、受託者からの文書による申出を当庁が認めた場合に限り、第三者へ開示できるものとする。

ウ 受託者は、当庁から提供された個人情報及び業務上知り得た個人情報について、個人情報の保護に関する法律(平成 15 年法律第 57 号)に基づき、適切な管理を行わなくてはならない。また、当該個人情報については、本業務以外の目的のために利用してはならない。

エ 受託者は、当庁の情報セキュリティに関する規定等に基づき、個人情報等を取り扱う場合は、①情報の複製等の制限、②情報の漏えい等の事案の発生時における対応、③受託業務終了時の情報の消去・廃棄(復元不可能とすること。)及び返却、④内部管理体制の確立、⑤情報セキュリティの運用状況の検査に応じる義務、⑥受託者の事業責任者及び受託業務に従事する者全てに対しての守秘義務及び情報セキュリティ要求事項の遵守に関して、別紙6「誓約書」を契約後速やかに当庁に提出しなければならない。

オ アからエまでのほか、当庁は、受託者に対し、本業務の適正かつ確実な実施に必要な限りで、秘密を適正に取り扱うために必要な措置を採るべきことを指示することができる。

(3) 契約に基づき受託者が講じるべき措置

ア 受託業務開始

受託者は、本業務の開始日から確実に業務を開始すること。

イ 権利の譲渡

受託者は、債務の履行を第三者に引き受けさせ、又は契約から生じる一切の権利若しくは義務を第三者に譲渡し、承継せしめ、若しくは担保に供してはならない。ただし、書面による当庁の事前の承認を得たときは、この限りではない。

ウ 権利義務の帰属等

(ア) 本業務の実施が第三者の特許権、著作権その他の権利と抵触するときは、受託者は、その責任において、必要な措置を講じなくてはならない。

(イ) 受託者は、本業務の実施状況を公表しようとするときは、あらかじめ、当庁の承認を受けなければならない。

エ 契約不適合責任

- (ア) 当庁は、受注者に対し、引き渡された成果物が種類又は品質に関して契約の内容に適合しないものである場合(その不適合が当庁の指示によって生じた場合を除き、受注者は当該指示が不適合であることを知りながら、又は過失により知らずに告げなかった場合を含む。)において、その不適合を当庁が知った時から起算して1年以内にその旨の通知を行ったときは、その成果物に対する修補等による履行の追完を請求することができる。ただし、受託者は、当庁に不相当な負担を課するものでないときは、当庁が請求した方法と異なる方法による履行の追完をすることができる。
- (イ) (ア)の場合において、当庁が相当の期間を定めて履行の追完の催告をし、その期間内に履行の追完がないときは、当庁は、その不適合の程度に応じて代金の減額を請求することができる。
- (ウ) (ア)又は(イ)の場合において、当庁は、損害賠償を請求することができる。

オ 再委託

- (ア) 受託者は、本業務の実施に当たり、その全部を一括して再委託してはならない。
- (イ) 本業務の実施の一部を合理的な理由及び必要性により再委託する場合には、あらかじめ再委託の相手方の商号又は名称及び住所並びに再委託を行う業務の範囲、再委託の必要性及び契約金額等について記載した別紙7の再委託承認申請書を当庁に提出し、あらかじめ承認を受けること。
- (ウ) 受託者における遂行責任者を再委託先事業者の社員や契約社員とすることはできない。
- (エ) 受託者は再委託先の行為について一切の責任を負うものとする。
- (オ) 再委託先における情報セキュリティの確保については受託者の責任とする。
- (カ) 再委託を行う場合、再委託先が「4. (8)」に示す要件を満たすこと。
- (キ) 前項による再委託の相手方の変更等を行う必要が生じた場合も、前項と同様に再委託に関する書面を当庁に提出し、承認を受けること。
- (ク) 再委託の相手方が更に委託を行うなど複数の段階で再委託が行われる場合(以下「再々委託」という。)には、当該再々委託の相手方の商号又は名称及び住所並びに再々委託を行う業務の範囲を書面で報告すること。
- (ケ) 再委託先において、仕様書の遵守事項に定める事項に関する義務違反又は義務を怠った場合には、受託者が一切の責任を負うとともに、当庁は、当該再委託先への再委託の中止を請求することができる。

カ 契約内容の変更

当庁及び受託者は、本業務の質の確保の推進、またはその他やむをえない事由により本契約の内容を変更しようとする場合は、あらかじめ変更の理由を提出し、それぞれの相手方の承認を受けるとともに法第21条の規定に基づく手続を適切に行わなければならない。

キ 機器更新等の際における民間事業者への措置

当庁は、次のいずれかに該当するときは、受託者にその旨を通知するとともに、受託者と協議の上、契約を変更することができる。

(ア) ハードウェアの更新、撤去又は新設、サポート期限が切れるソフトウェアの更新等に伴い運用管理対象機器の一部に変更が生じるとき。

(イ) セキュリティ対策の強化等により業務内容に変更が生じるとき。

(ウ) その他の事情等により業務量に変動が生じるとき。

ク 契約の解除

当庁は、受託者が次のいずれかに該当するときは、受託者に対し委託費の支払を停止し、又は契約を解除若しくは変更することができる。この場合、受託者は当庁に対して、契約金額から消費税及び地方消費税を差し引いた金額の 100 分の 10 に相当する金額を違約金として支払わなければならない。その場合の算定方法については、当庁の定めるところによる。ただし、同額の超過する増加費用及び損害が発生したときは、超過分の請求を妨げるものではない。

また、受託者は、当庁との協議に基づき、本業務の処理が完了するまでの間、責任を持って当該処理を行わなければならない。

(ア) 法第 22 条第 1 項第 1 号イからチまで又は同項第 2 号に該当するとき。

(イ) 暴力団員を、業務を統括する者又は従業員としていることが明らかになった場合。

(ウ) 暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有していることが明らかになった場合。

(エ) 再委託先が、暴力団若しくは暴力団員により実質的に経営を支配される事業を行う者又はこれに準ずる者に該当する旨の通知を、警察当局から受けたとき。

(オ) 再委託先が暴力団又は暴力団関係者と知りながらそれを容認して再委託契約を継続させているとき。

ケ 談合等不正行為

受託者は、談合等の不正行為に関して、当庁が定める「談合等の不正行為に関する特約条項」に従うものとする。

コ 損害賠償

受託者は、受託者の故意又は過失により当庁に損害を与えたときは、当庁に対し、その損害について賠償する責任を負う。また、当庁は、契約の解除及び違約金の徴収をしてもなお損害賠償の請求をすることができる。なお、当庁から受託者に損害賠償を請求する場合において、原因を同じくする支払済の違約金がある場合には、当該違約金は原因を同じくする損害賠償について、支払済額とみなす。

サ 不可抗力免責・危険負担

当庁及び受託者の責に帰すことのできない事由により契約期間中に物件が滅失し、又は毀損し、その結果、当庁が物件を使用することができなくなったときは、受託者は、当該事由が生じた日の翌日以後の契約期間に係る代金の支払を請求することができない。

シ 金品等の授受の禁止

受託者は、本業務の実施において、金品等を受け取ること、又は、与えることをしてはならない。

ス 宣伝行為の禁止

受託者及び本業務に従事する者は、本業務の実施に当たっては、自ら行う業務の宣伝を行っては

ならない。また、本業務の実施をもって、第三者に対し誤解を与えるような行為をしてはならない。

セ 法令の遵守

受託者は、本業務を実施するに当たり適用を受ける関係法令等を遵守しなくてはならない。

ソ 安全衛生

受託者は、本業務に従事する者の労働安全衛生に関する労務管理については、責任者を定め、関係法令に従って行わなければならない。

タ 記録及び帳簿類の保管

受託者は、本業務に関して作成した記録及び帳簿類を、本業務を終了し、又は中止した日の属する年度の翌年度から起算して5年間、保管しなければならない。

チ 契約の解釈

契約に定めのない事項及び契約に関して生じた疑義は、当庁と受託者との間で協議して解決する。

10 受託者が本業務を実施するに当たり、第三者に損害を加えた場合において、その損害の賠償に関し契約により受託者が負うべき責任に関する事項

本業務を実施するに当たり、受託者又はその職員その他の本業務に従事する者が、故意又は過失により、本業務の受益者等の第三者に損害を加えた場合は、以下のとおりとする。

- (1) 当庁が国家賠償法(昭和 22 年法律第 125 号)第1条第1項等に基づき当該第三者に対する賠償を行ったときは、当庁は受託者に対し、当該第三者に支払った損害賠償額(当該損害の発生について当庁の責めに帰すべき理由が存する場合は、当庁が自ら賠償の責めに任ずべき金額を超える部分に限る。)について求償することができる。
- (2) 受託者が民法(明治 29 年法律第 89 号)第 709 条等に基づき当該第三者に対する賠償を行った場合であって、当該損害の発生について当庁の責めに帰すべき理由が存するときは、受託者は当庁に対し、当該第三者に支払った損害賠償額のうち自ら賠償の責めに任ずべき金額を超える部分を求償することができる。

11 本業務に係る法第7条第8項に規定する評価に関する事項

(1) 本業務の実施状況に関する調査の時期

当庁は、本業務の実施状況について総務大臣が行う評価の時期(令和10年5月を予定)及び本業務の本格運用開始時期(令和6年度)を踏まえ、令和 7 年度以降各年の12月末日時点における状況を調査する。

(2) 調査項目及び実施方法

ア 新システムの稼働率

業務報告書等により調査

イ 本業務に係る報告書の収集(遺漏の有無)

業務報告書等により調査

- ウ 新システム利用に関する満足度調査
各年度において、ユーザに対する年1回のアンケートの実施結果により調査
- エ セキュリティ上の重大障害
業務報告書等により調査
- オ 新システム運用上の重大障害の件数
業務報告書等により調査

(3) 意見聴取等

当庁は、必要に応じ、受託者から意見の聴取を行うことができるものとする。

(4) 実施状況等の提出時期

当庁は、令和10年2月を目途として、本業務の実施状況を総務大臣及び民間競争入札等監理委員会へ提出する。

12 その他業務の実施に関し必要な事項

(1) 本業務の実施状況等の民間競争入札等監理委員会への報告

当庁は、法第 26 条及び第 27 条に基づく報告徴収、立入検査、指示等を行った場合には、その都度、措置の内容及び理由並びに結果の概要を民間競争入札等監理委員会へ報告することとする。

(2) 当庁の監督体制

本業務の実施状況に係る監督は、当庁の放射線防護グループ監視情報課放射線環境対策室が自ら立会い、指示その他の適切な方法によって行うものとする。

本業務の実施状況に係る監督は以下のとおり。

ア 監督職員

原子力規制委員会原子力規制庁放射線防護グループ監視情報課放射線環境対策室室長補佐
(総括担当)

イ 検査職員

原子力規制委員会原子力規制庁放射線防護グループ監視情報課放射線環境対策室係長(調整一係)

(3) 受託者の責務

ア 本業務に従事する受託者は、刑法(明治 40 年法律第 45 号)その他の罰則の適用については、法令により公務に従事する職員とみなされる。

イ 受託者は、法第 54 条の規定に該当する場合は、1年以下の懲役又は 50 万円以下の罰金に処される。

ウ 受託者は、法第 55 条の規定に該当する場合は、30 万円以下の罰金に処される。なお、法第 56 条により、法人の代表者又は法人若しくは人の代理人、使用人その他の従業者が、その法人又は人の業務に関し、法第 55 条の規定に違反したときは、行為者を罰するほか、その法人又は人に対して同条の刑を科する。

エ 受託者は、会計検査院法(昭和 22 年法律第 73 号)第 23 条第 1 項第 7 号に規定する者に該当する

ことから、会計検査院が必要と認めるときには、同法第 25 条及び第 26 条により、同院の实地の検査を受けたり、同院から直接又は当庁を通じて、資料又は報告等の提出を求められたり、質問を受けたりすることがある。

(4) 著作権

- ア 受託者は、本業務の目的として作成される成果物に関し、著作権法(昭和 45 年法律第 48 号)第 27 条及び第 28 条を含む著作権の全てを当庁に無償で譲渡するものとする。
- イ 受託者は、成果物に関する著作権者人格権(著作権法第 18 条から第 20 条までに規定された権利をいう。)を行使しないものとする。ただし、当庁が承認した場合は、この限りではない。
- ウ ア及びイに関わらず、成果物に受託者が既に著作権を保有しているもの(以下「受託者著作物」という。)が組み込まれている場合は、当該受託者著作物の著作権についてのみ、受託者に帰属する。
- エ 提出される成果物に第三者が権利を有する著作物が含まれる場合には、受託者が当該著作物の使用に必要な費用の負担及び使用許諾契約等に係る一切の手続きを行うものとする。

(5) 本業務の仕様書

本業務を実施する際に必要な仕様は、仕様書に示すとおりである。

13 別添一覧

別紙1「従来の実施状況に関する情報の開示」

別紙2「新システム利用に関する満足度調査」

別紙3「業務フロー」

別紙4「原子力規制委員会の組織図」

別紙 5「資料閲覧申込書」

別紙 6「誓約書」

別紙 7「再委託承認申請書」

別紙8「質問票」

別添1「令和6～11年度原子力施設等防災対策等委託費(環境放射線データベース等に係るシステム
更改及び運用・管理業務)事業仕様書」

別添2「令和6～11年度原子力施設等防災対策等委託費(環境放射線データベース等に係るシステム
更改及び運用・管理業務)事業応札資料作成要領」

別添3「評価項目一覧」

別添4「令和6～11年度原子力施設等防災対策等委託費(環境放射線データベース等に係るシステム
更改及び運用・管理業務)事業評価手順書(加算方式)」

従来の実施状況に関する情報の開示

1 従来の実施に要した経費

(単位:千円)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度
請負費等	人件費	32,046	34,003	33,616
	事業費	108,393	101,198	93,855
	一般管理費	14,044	13,566	12,747
計(a)		154,483	148,767	140,218

(注記事項)

・本実施要項に記載の「放射線監視にかかるシステム運用・管理業務」については、すべて民間事業者等に実施させていることから、委託費以外に経費は発生しない。

なお、支払い金額は、一般競争入札の落札額である。

2 従来の実施に要した人員

(単位:人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業実施に係る事業従事者予定者の工数			
総括・工程管理	40	40	48
放射線監視結果等の収集管理	37	24	39
システムの運用・管理	24	27	35
システムの更新	24	0	0
ウェブサイトのリニューアル	0	27	0
現行システムの調査	0	0	35
委員会の実施	18	9	12
報告書作成	9	6	6

(注記事項)

・延べ人数で記載。

(令和元年度)

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総括・工程管理	3	3	3	3	3	4	3	4	3	3	4	4	40
放射線監視結果等の収集管理	3	3	2	3	3	4	4	4	4	3	2	2	37
システムの運用・管理	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
システムの更新	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24

委員会の実施	0	3	3	3	0	0	0	0	0	0	3	3	3	18
報告書作成	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	3	9
(令和2年度)														
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
総括・工程管理	3	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	40
放射線監視結果等の収集管理	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
システムの運用・管理	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	27
ウェブサイトのリニューアル	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	27
委員会の実施	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	3	9
報告書作成	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	6
(令和3年度)														
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
総括・工程管理	4	5	5	5	3	4	4	5	4	4	4	3	2	48
放射線監視結果等の収集管理	3	3	3	2	3	4	4	3	3	3	4	4	4	39
システムの運用・管理	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	35
現行システムの調査	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	35
委員会の実施	0	2	2	2	0	0	0	0	0	0	2	2	2	12
報告書作成	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	6
(注記事項)														

3 従来の実施に要した施設及び設備

【民間業者等に使用させた国有財産及び備品】

別表「民間業者等に使用させた国有財産及び備品」のとおり。

(注記事項)

4 従来の実施における目的の達成の程度

	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	目標・計画	実績	目標・計画	実績	目標・計画	実績

新システムの稼働率	ウェブサイト公開	99.99%	100%	99.99%	100%	99.99%	100%
	上記以外	99.80%	100%	99.80%	100%	99.80%	100%
放射線監視結果等に係る報告書の収集に遺漏がないこと		0件	0件	0件	0件	0件	0件
セキュリティ上の重大障害件数		0回	0回	0回	0回	0回	0回
新システム運用上の重大障害件数		0回	0回	0回	0回	0回	0回
(注記事項)							

5 従来の実施方法等	
従来の実施方法(業務フロー図等)	
別紙3 業務のフローのとおり 別紙4 原子力規制委員会組織図のとおり。	
(注記事項)	

別表「民間業者等に使用させた国有財産及び備品」

(1)システム関係

品名	仕様	数量
モニタリングポスト データオンライン収集 システム	1. 都道府県データ収集用サーバ 富士通社製 PRIMERGY TX1320 M3 タワーベースユニット 2式 2. データベースサーバ 富士通社製 PRIMERGY TX1320 M3 タワーベースユニット 1式 3. データ収集サーバ 富士通社製 PRIMERGY TX1320 M3 タワーベースユニット 1式 4. 待機サーバ1 富士通社製 PRIMERGY TX1320 M3 タワーベースユニット 1式 5. 待機サーバ2 富士通社製 PRIMERGY TX1320 M3 タワーベースユニット 1式 6. ソフトウェア Oracle Database Standard Edition 2 10 Named User 1式 Office Professional Plus 2016 ライセンス 4式 TRSL ウィルスバスタービジネスセキュリティライセンス 6式 7. データ収集用ルータ、ファイアウォール ルータ Si-R130B V47レインストールモデル 47式 ファイアウォール FWX120 47式	1
環境放射線データ ベース管理システム	1. ハードウェア 1. クライアント HP EliteDesk 800 G4 SF/CT 8式 2. プリンタ RICOH SP8400 2式 RICOH SPC840 1式 3. スイッチングハブ Allied Telesis AT-GS910/16 3式 4. ファイアウォール Fortigate-60E 2式 5. アクセスポイント Aerohive AP122 1式 6. 什器 作業机(3人掛け) 3式 椅子 9式 パネル 9式 ワゴン 9式 2. ソフトウェア 1式	1
データ公開用システム	1. ハードウェア 1. クライアント HP EliteDesk 800 G4 SF/CT 1式 2. ファイアウォール Fortigate-60E 2式 2. ソフトウェア 1式	1
ノートPC	Panasonic社製ノートPC 3台 CF-LV8SDKVS	1

(2)環境放射線データベース管理システム

No.	品名	数量
1	Oracle Database	1
2	バックアップソフト	1
3	SI Object Browser for Oracle 1クライアントライセンス	1
4	セキュリティ対策ソフト	11
5	Adobe Acrobat Pro DC(サブスクリプション)	8
6	Microsoft Office365 Business Premium(Nonprofit)	8
7	Microsoft Visio Professional 2019	8
8	ゼンリン電子地図帳Zi21	8
9	Adobe Creative Cloud グループ版コンプリートプラン(サブスクリプション)	3

(3)データ公開用システム ソフトウェア一覧

No.	型番	品名	数量
1	—	Oracle Database 12c Standard Editon One(2CPU)	2
2	—	Oracle Database 12c Standard Editon One(2CPU) 初年度保守	2
3	B1WNLSJPS91	Acronis Backup for Windows Server + 初年度保守	2
4	B1LNLSJPS91	Acronis Backup for Linux Server + 初年度保守	3
5	BABWBR1650J001C	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows+1年メンテナンス付き	1
6	BABWBR1650J161C	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows Agent for Oracle+1年メンテナンス付き	1
7	BABWBR1650J541C	CA ARCserve Backup r16.5 for Linux Agent for Oracle+1年メンテナンス付き	1
8	BABWBR1650J091C	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows Agent for Openfiles+1年メンテナンス付き	2
9	BABWBR1650J221C	CA ARCserve Backup r16.5 Client Agent for Windows+1年メンテナンス付き	1
10	BABWBR1650J201C	CA ARCserve Backup r16.5 Client Agent for Linux+1年メンテナンス付き	3
11	DXEVMJM75LBEPN3700A	Trend Micro Deep Security Advance	5
12	—	WebALARM—基本ライセンス(初年度保守付き)	1
13	—	WebALARM—追加サーバ(初年度保守付き)	1
14	70229.2N-M	ManageEngine OpManager Essential Edition 50Dv 初年度保守サポート付	1
15	—	Logstrage 基本パッケージ(初年度保守付き)	1
16	—	Logstrage 追加モジュール(集計 初年度保守付き)	1
17	—	Logstrage 追加モジュール(レポート 初年度保守付き)	1
18	KSD-L1-M1	kiwi Syslog Server Lisence+1年サポート	1
19	JSSGL-001	SiteGuard	2
20	—	HULFT7 for Windows-EX(初年度保守付き)	1
21	—	HULFT DataMagic(初年度保守付き)	1
22	—	DataMagic DB接続オプション(Oracle区分PC)(1年パック込)	1
23	—	SI Object Browser for Oracle Ver.12	1
24	—	Apache2.2	2
25	—	Apache Tomcat7.0	2
26	—	Java SE 7	2
27	MPNAC1JPS91	Acronis Corporate MediaPack Update1	1
28	MPBMEDAS100JP	CA License Program ARCserve Media kit	1
29	P73-06279	(OPビジネス)Windows Server Standard 2012 R2 ライセンス 2PL	2
30	RH0101594	RHEL Server Standard 1-2sockets Up to 1guest 1year	3
31	—	ウイルスバスター クラウド 1年版	1

新システム利用に関する満足度調査

この調査は、新システム利用に関する満足度調査について、確保されるべきサービスの質を検討するため、データ提供元である47都道府県等を対象に利用満足度を調査するものです。

つきましては、次の4つの質問に対して、それぞれ「満足」から「不満足」までのいずれかに該当する番号を記入して下さい。

1 お問い合わせから回答までに要した時間について満足されましたか。

- ①満足
- ②ほぼ満足
- ③普通
- ④やや不満足
- ⑤不満足

回答:

2 回答又は手順に対する説明の分かりやすさについて満足されましたか。

- ①満足
- ②ほぼ満足
- ③普通
- ④やや不満足
- ⑤不満足

回答:

3 回答又は手順に対する結果の正確性について満足されましたか。

- ①満足
- ②ほぼ満足
- ③普通
- ④やや不満足
- ⑤不満足

回答:

4 担当者の対応(言葉遣い、親切さ、丁寧さ等)について満足されましたか。

- ①満足
- ②ほぼ満足
- ③普通
- ④やや不満足
- ⑤不満足

回答:

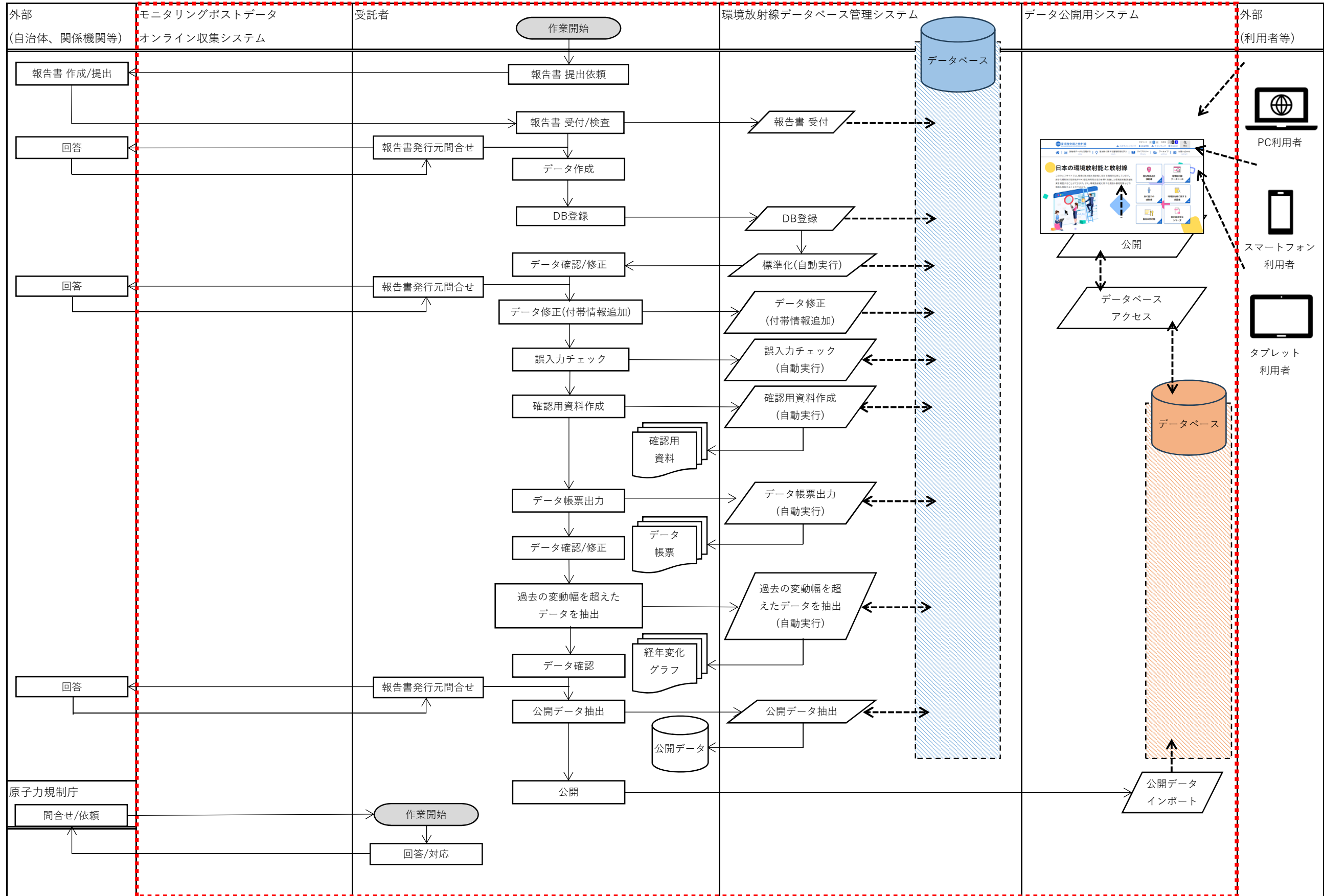
<御意見等>

御協力ありがとうございました。

(別紙3-1 業務フロー)

環境放射線データの収集・入力・公開等業務

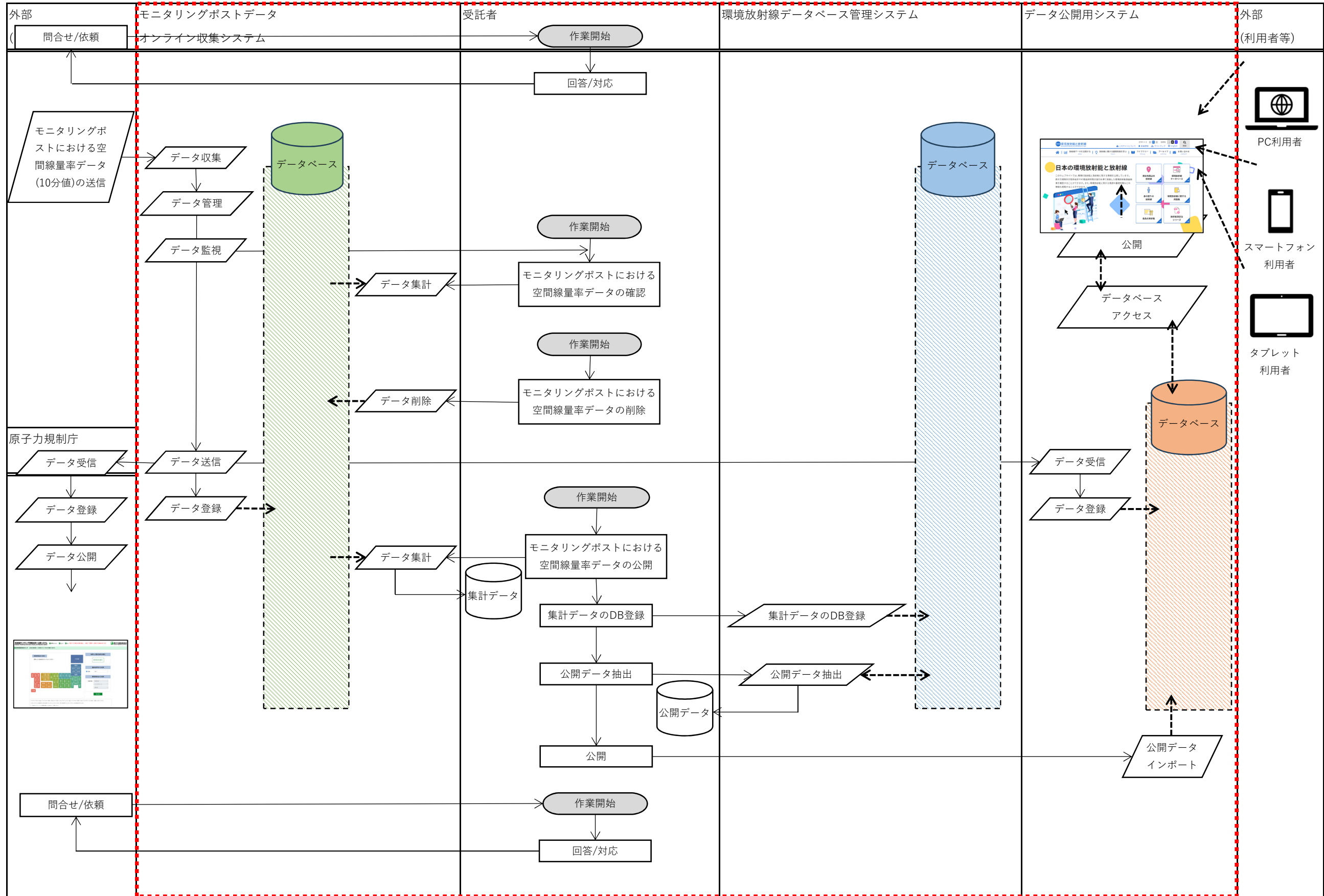
 : 本事業の対象範囲



(別紙3-2 業務フロー)

モニタリングポストにおける空間線量率データの収集・公開等業務

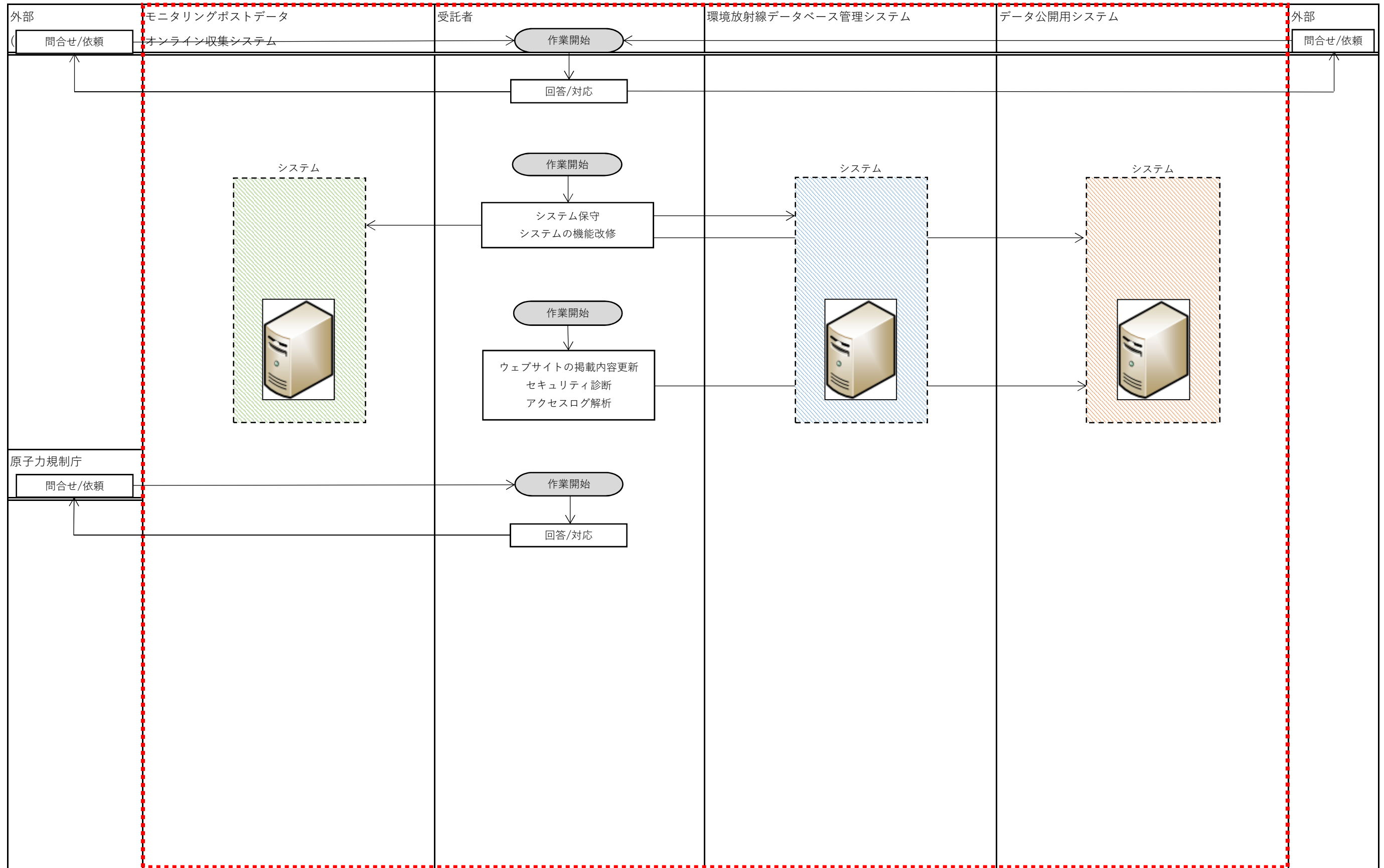
： 本事業の対象範囲



(別紙3-3 業務フロー)

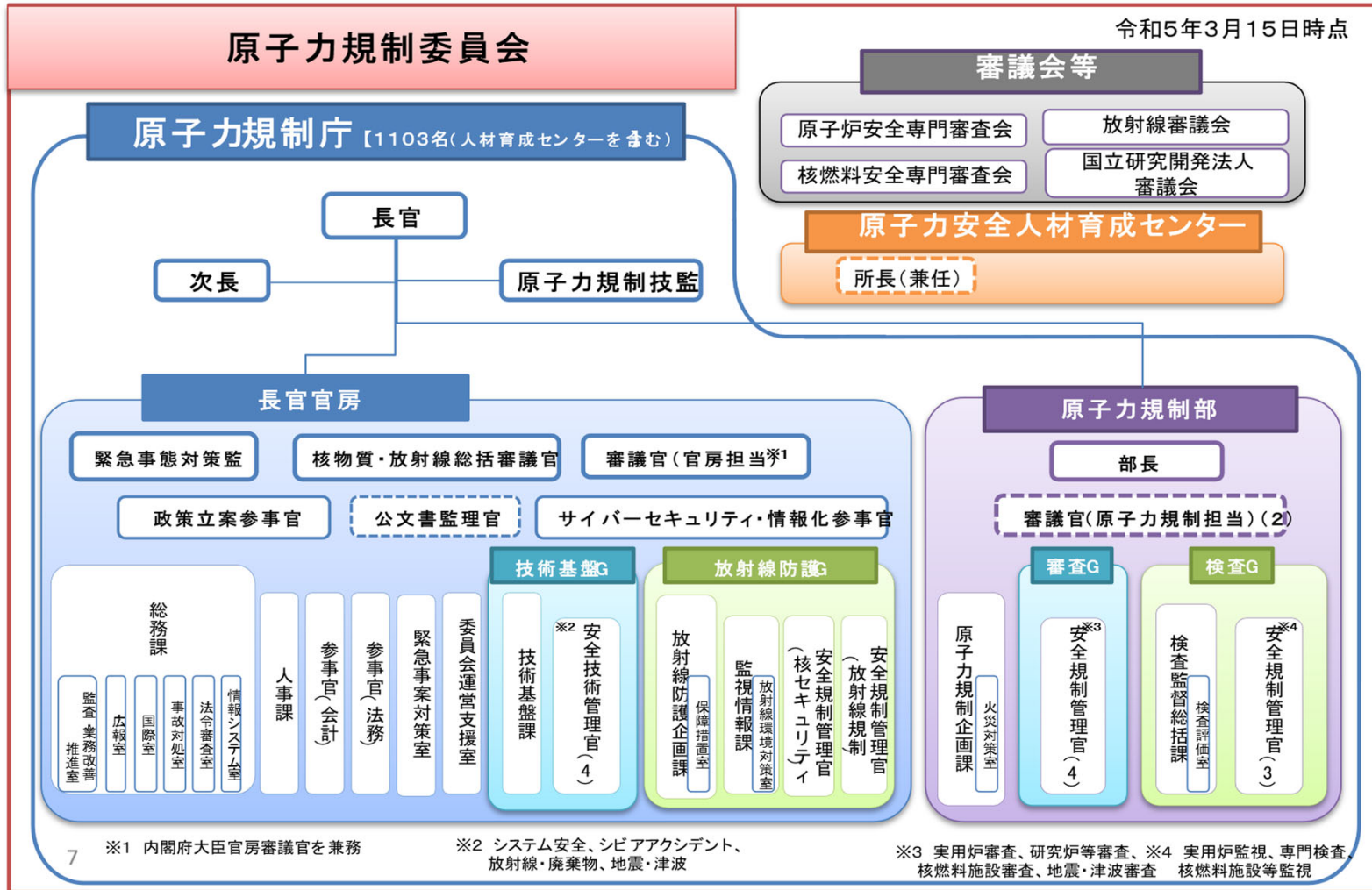
システムの運用管理等に係る業務

 : 本事業の対象範囲



別紙4 原子力規制委員会の組織図

原子力規制委員会の組織体制(本庁)



令和 年 月 日

原子力規制委員会原子力規制庁 長官官房放射線防護グループ
監視情報課 放射線環境対策室 殿

資料閲覧申込書

「令和6～11年度原子力施設等防災対策等委託費（環境放射線データベース等に係るシステム更改及び運用・管理業務）」に係る開示書類に対し、以下のとおり閲覧を申込みます。

● 資料閲覧申込者（法人名）： _____

● 資料閲覧希望日時

➤ 令和 ____年 ____月 ____日 ____時 ____分から

● 資料閲覧申込者の代表者

➤ 所 属 : _____

➤ 氏 名 : _____

➤ 連絡先（TEL）： _____

(Email) : _____

● その他閲覧者

項番	所属	氏名
1		
2		
3		
4		
5		

以上

令和 年 月 日

誓約書

支出負担行為担当官

原子力規制委員会原子力規制庁長官官房参事官 殿

法人等名称

代表者氏名

「令和〇〇年度〇〇〇〇」に係る作業の受託にあたり、使用する各情報に関しましては、秘密の保護について特に取扱いを厳重にし、下記の事項について遵守します。

記

1. 関連資料等の全部又は一部を関係者以外の者に対し、転写若しくはその他の方法により提供又は漏えいすることは一切しない。
2. 作業終了後ただちに、納品物以外の残部はシュレッダーにかけ消去するとともに、原子力規制委員会より提供を受けたデータの媒体については返却する。
3. 作業を始める前に、担当官と事前協議を行う。
4. 関連資料等の管理状況について、原子力規制委員会による検査はいつでも受け入れる。
5. 事故又は災害の場合は速やかに連絡する。
6. 上記項目に違反した場合は、原子力規制委員会の処分に従う。

担当者連絡先

部署名 :

担当者名 :

TEL :

E-mail :

再委託承認申請書

令和 年 月 日

支出負担行為担当官
 原子力規制委員会
 原子力規制庁長官官房参事官 殿

住 所
 商号又は名称
 代表者氏名

契約件名「令和6～11年度原子力施設等防災対策等委託費（環境放射線データベース等に係るシステム更改及び運用・管理業務）事業」に関して、再委託をしたく下記のとおり承諾を求めます。

記

契約件名	
再委託の相手方の住所及び 商号又は名称	
再委託を行う業務の範囲	
再委託を必要とする理由	
契約金額	

担当者連絡先

部署名 :

担当者名 :

TEL :

E-mail :

質問票

社名			
住所			
TEL		FAX	
質問者			
質問に関連する文書名及び頁			
質問内容			

平成 年 月 日

令和6～11年度原子力施設等防災対策等委託費
(環境放射線データベース等に係るシステム更改
及び運用・管理業務) 事業
仕様書案

令和 年 月

原子力規制委員会原子力規制庁

目次

1	調達案件の概要に関する事項	1
1.1	1.1 調達件名	1
1.2	1.2 調達の背景	1
1.3	1.3 目的及び期待する効果	1
1.4	1.4 業務・現行情報システムの概要	2
1.4.1	1.4.1 環境放射線データベース管理システム	2
1.4.2	1.4.2 データ公開用システム	13
1.4.3	1.4.3 モニタリングポストデータオンライン収集システム	19
1.5	1.5 契約期間	28
1.6	1.6 作業スケジュール	28
1.7	1.7 用語集	28
2	2 調達案件及び関連調達案件の調達単位、調達の方式等	31
2.1	2.1 調達範囲	31
2.2	2.2 調達案件及びこれと関連する調達案件	32
2.3	2.3 調達案件間の入札制限	32
3	3 情報システムに求める要件	32
4	4 本事業の実施内容	33
4.1	4.1 システムの設計・構築業務	33
4.1.1	4.1.1 業務機能要件	33
4.1.2	4.1.2 画面要件	38
4.1.3	4.1.3 帳票要件	43
4.1.4	4.1.4 情報データ要件	44
4.1.5	4.1.5 外部インターフェース要件	44
4.1.6	4.1.6 規模要件	46
4.1.7	4.1.7 性能要件	47
4.1.8	4.1.8 信頼性要件	47
4.1.9	4.1.9 拡張性・柔軟性要件	48
4.1.10	4.1.10 システムの中立性要件	48
4.1.11	4.1.11 業務継続性要件	48
4.1.12	4.1.12 運用性要件	48
4.1.13	4.1.13 保守性要件	49
4.1.14	4.1.14 情報セキュリティ要件	49
4.2	4.2 開発するシステムの稼働環境要件	52
4.2.1	4.2.1 全体構成	52

4. 2. 2	システム構成	52
4. 2. 3	ソフトウェア構成	54
4. 3	テスト作業要件	54
4. 3. 1	テスト仕様書の作成	54
4. 3. 2	テスト実施要件	54
4. 4	情報システムの移行	56
4. 5	システム運用保守要件	57
4. 6	放射線監視結果等の収集調査及びシステムの運用・保守	57
5	作業体制及び作業方法	64
5. 1	作業体制	64
5. 2	作業方法	65
6	契約条件等	66

1 調達案件の概要に関する事項

1. 1 調達件名

令和6～11年度原子力施設等防災対策等委託費（環境放射線データベース等に係るシステム更改及び運用・管理業務）事業

1. 2 調達の背景

原子力規制委員会は、国民の生命、健康及び財産の保護、環境の保全並びに我が国の安全保障に資するため、原子力利用における安全の確保を図ることを任務とする組織であり、これを達成するために、原子力規制委員会原子力規制庁長官官房監視情報課放射線環境対策室では、放射能水準の把握のための監視及び測定に関する事務を実施している。

原子力規制庁では、原子力施設等防災対策等委託費（放射線監視結果収集）事業（以下「結果収集事業」という。）において、様々な放射線監視結果・測定結果（以下「放射線データ」という。）の収集等を行い、これを確認して適切にデータベース化するとともに、当該データベースについて検索機能等を設けたウェブサイトを通して公開し、放射線データ等に関心を持つ研究者や広く国民に対して放射線データを提供している。また、これらの業務を効率的・効果的に実施するために、環境放射線データベース管理システム（以下「管理システム」という。）、データ公開用システム（以下「公開システム」という。）及びモニタリングポストデータオンライン収集システム（環境放射能水準調査に係るものに限る。以下「MPシステム」という。）を構築し、その運用・管理を実施している。

しかしながら、これらの3システムは、それぞれ構築時期が異なっており、また、これまで更新時期が重なることもなかったため、それぞれが独立したシステムとして構成され、必ずしも効率的・合理的に連携できていない可能性がある。また、公開システム（ウェブサイト）については、例えば、一般人向けとしては専門的事項へのガイダンスが充実しておらず、研究者等専門家に対しては帳票出力できるデータの検索・抽出に係る柔軟性が十分ではないなど、十分に利用者目線に立ったサイト構成となっているとは言いがたい。管理システムについても、収集する測定結果（報告書）の媒体等により人力の作業が必要となる面も多く、それが手間とミスのもととなっている可能性があり、作業の効率化・合理化に更なる検討の余地がある。

本調達では、上述で例に挙げた課題を解決すべく、放射線データの収集・データベース化・公開に使用している現行3システムを見直し、各システム（機能）間で効率的・合理的に連携できるよう機能を統合するとともに、特に公開部分についてはサイトの設計思想を抜本的に見直して、新たなシステムに更改する。その上で、当該システムの運用・保守を行いつつ、本事業の軸である放射線データの収集・データベース化・公開等業務を適切に行い、利用者目線に立ったより効果的な放射線データの提供を行う。

1. 3 目的及び期待する効果

本事業は、全国における原子力関係施設等からの放射線影響の有無を効率的・効果的に把握するとともに、放射線データに関心を持つ研究者や広く国民に対して放射線データを公開・提供することを目的としており、そのために、放射線データの収集・データベース化・公開等を行うものである。これらを適切に実施するため、従前活用してきた3システムの統合・合理化等を行うことにより、放射線データ

の収集・データベース化に係る作業の更なる効率化・合理化を図るとともに、利用者目線に立ったより効果的な放射線データの提供を実現する。

1. 4 業務・現行情報システムの概要

1. 4. 1 環境放射線データベース管理システム

原子力規制庁では、全国における原子力関係施設等からの放射線の影響の有無を把握することを目的として、環境放射能水準調査事業における測定結果、地方公共団体による放射線監視結果など放射線測定結果に関する報告書（以下特に断りがない限り単に「報告書」という。）から環境放射線データを収集し、当該データをデータベース化し、ウェブサイトで公表している。

結果収集事業の受託者は、収集した報告書等に記載されている各種データの中から入力対象データ（詳細は4. 1. 1（2）に記載）を抽出し、管理システム内のPCからデータベースへデータ入力を行う。その際、その際、試料名や測定核種等の項目ごとに分類・整理するとともに、分析方法や測定方法等の付帯情報も併せた形でデータ入力を行う。入力対象となるデータのうち疑義がみられたものについては、必要に応じて報告書の発行元へ照会し、確認を行う。また、これらのデータについて、過去5年間程度の測定結果と比較し、過去の変動幅の範囲を超える値の有無を調査している。変動幅以上を示す値があった場合には、データの妥当性について検証を行うとともに、原子力規制庁に報告する。

また、管理システムのアプリケーションについて、結果収集事業の業務を効率的かつ合理的に遂行するため、必要な機能改修を定期的に行う。管理システムで使用しているサーバやクライアントPCのOSその他のソフトウェアについて、セキュリティ上の脆弱性が発見された場合に提供される修正プログラム（セキュリティパッチ）の導入作業を四半期に一度程度の頻度で実施する。

(1) 構成図

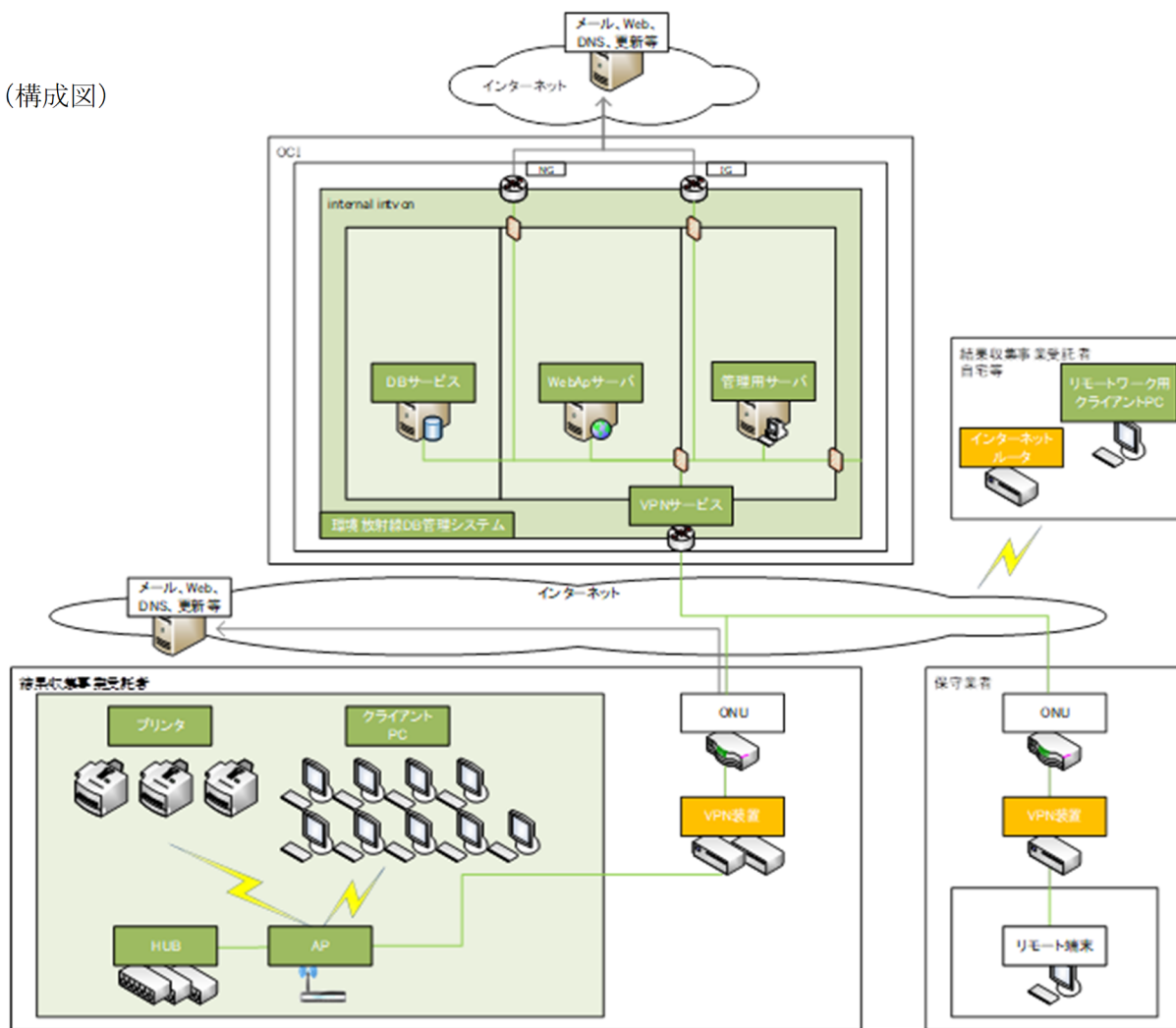
管理システムの構成図を以下に示す。

(2) ハードウェア構成

・クラウドサービス（OCI）

No	ホスト名	機種/サービス名	用途
1	intwb01	Oracle Cloud Infrastructure VM (CentOS7) CPU : 8core メモリ : 60GB SSD : 500GB	Web サーバ 東京リージョン
2	intdb01	Oracle Cloud Infrastructure DBaaS (Oracle Database 19c) CPU : 8core メモリ : 60GB SSD : 700GB	DB サービス 東京リージョン
3	intmg01	Oracle Cloud Infrastructure VM (Windows 2016) CPU : 8 core メモリ : 60GB SSD : 500GB	管理サーバ 東京リージョン
4	intipc01	Oracle Cloud Infrastructure IPSec 接続	VPN 東京リージョン
5	intipc02	Oracle Cloud Infrastructure IPSec 接続	VPN 東京リージョン

(構成図)



・クライアントPC

No	ホスト名	機種/サービス名	用途
1	intpc01	HP EliteDesk 800G4	クライアント PC
2	intpc02	HP EliteDesk 800G4	クライアント PC
3	intpc03	HP EliteDesk 800G4	クライアント PC
4	intpc04	HP EliteDesk 800G4	クライアント PC
5	intpc05	HP EliteDesk 800G4	クライアント PC
6	intpc06	HP EliteDesk 800G4	クライアント PC
7	intpc07	HP EliteDesk 800G4	クライアント PC
8	intpc08	HP EliteDesk 800G4	クライアント PC
9	intpc09	HP EliteDesk 800G4	クライアント PC
10	intpc01n	Panasonic Let'sNote CF-LV	クライアント PC ※リモートワーク用
11	intpc02n	Panasonic Let'sNote CF-LV	クライアント PC ※リモートワーク用
12	intpc03n	Panasonic Let'sNote CF-LV	クライアント PC ※リモートワーク用

・ファイアウォール

No	ホスト名	機種/サービス名	用途
1	jcacfw01	FortiGate-60E	ファイアウォール兼 VPN 装置
2	jcacfw01	FortiGate-60E	ファイアウォール兼 VPN 装置 (予備機)
3	kyofw01	FortiGate-60E	ファイアウォール兼 VPN 装置 (設置場所: 保守業者施設内)

・無線アクセスポイント

No	ホスト名	機種/サービス名	用途
1	intap01	Aerohive AP150W	無線 LAN 用 AP

・スイッチングハブ

No	ホスト名	機種/サービス名	用途
1	sw1	アライドテレシス AT-GS910/16	有線 LAN 用島ハブ
2	sw2	FortiGate-60E	有線 LAN 用島ハブ
3	sw3	FortiGate-60E	有線 LAN 用島ハブ

・プリンタ

No	ホスト名	機種/サービス名	用途
1	intpr01	RICOH SP 8400	無線モノクロプリンタ
2	intpr02	RICOH SP 8400	無線モノクロプリンタ
3	intpr03	RICOH SP C840	無線カラープリンタ

・クライアントとPC用ソフトウェア

No	名称	内容	数量
1	ESET エージェント	セキュリティ対策ソフト	12
2	ESET Endpoint Security	セキュリティ対策ソフト	12
3	Microsoft Office	Microsoft 365 Business Standard (サブスクリプション)	8
4	Microsoft Visio	Visio Professional 2019 ライセンス	8
5	Adobe Acrobat	VIP MLP Acrobat Pro DC for teams 12ヶ月分 Level 1	8
6	Adobe Creative Cloud	VIP MLP Creative Cloud for teams complete 12ヶ月分 Level 1	3
7	ゼンリン電子地図帳	ゼンリン電子地図帳 Zi21 DVD 全国版 2~9 ライセンス	8

・什器

No	製品、型番	内容	数量
1	SD-XZD1212AS81MWO	コクヨ社製 作業机 (3人掛け)	3
2	CR-2823E6-GMQ3-W	コクヨ社製 椅子	9
3	SDV-XA124K4L4	コクヨ社製 パネル	9
4	SD-GX46M3S85N3	コクヨ社製 ワゴン	9

(3) 詳細情報

・クラウドサービス詳細 (サーバ)

No	ホスト名	設定
1	intwb01	OS : CentOS 7 AD : AD1 type : VM Shape : VM.Standard2.4

No	ホスト名	設定
		VCN : intvcn Subnet : intnet100 BootVolume : 500GB バックアップ・ポリシー : ゴールド※ ※ゴールド・ポリシーには、7日間保持される日次増分バックアップと日曜日に実行されて4週間保持される週次増分バックアップが含まれる。該当月の初日に実行されて12か月間保存される月次増分バックアップが含まれる。1月初旬に毎年実行される完全バックアップも含まれる。このバックアップは5年間保存される。 ●主要パッケージ ESET エージェント ESET File Security for Linux jdk1.8.0_231 Apache/2.4.6 wildfly-17.0.1
2	intmg01	OS : Windows Server 2016 Standard AD : AD1 type : VM Shape : VM.Standard2.4 VCN : intvcn Subnet : intnet000 BootVolume : 500GB バックアップ・ポリシー : ゴールド ●主要パッケージ Oracle Client (winx64_12201_client) ESET Security Management Center Google Chrome Adobe Acrobat Reader DC SI Object Browser jre-8u231 ●Windows Server 役割と機能 Active Directory ドメインサービス ルートドメイン名 : eri-jcac.jcac.or.jp DNS サーバ .NET Framework3.5 ●共有設定 共有名 : 電子文書管理システム ローカルパス : D:\電子文書管理システム ネットワークパス : \\INTMG01\電子文書管理システム 共有アクセス許可 : [ERI-JCAC\itgroup] フルコントロール NTFS アクセス許可 : [ERI-JCAC\itgroup] フルコントロール 共有名 : jc_only ローカルパス : D:\jc_only

No	ホスト名	設定
		ネットワークパス：¥¥INTMG01¥jc_only 共有アクセス許可：[ERI-JCAC¥itgroup] フルコントロール NTFS アクセス許可：[ERI-JCAC¥itgroup] フルコントロール 共有名：share ローカルパス：D:¥share ネットワークパス：¥¥INTMG01¥share 共有アクセス許可1：[ERI-JCAC¥Administrators] フルコントロール 共有アクセス許可2：[ERI-JCAC¥a-yasukawa] フルコントロール 共有アクセス許可3：[ERI-JCAC¥m-sasahara] フルコントロール NTFS アクセス許可1：[ERI-JCAC¥Administrators] フルコントロール NTFS アクセス許可2：[ERI-JCAC¥a-yasukawa] フルコントロール NTFS アクセス許可3：[ERI-JCAC¥m-sasahara] フルコントロール

・クラウドサービス詳細（データベースサービス）

No	ホスト名	設定
1	intdb01	AD：AD1 type：VM Shape：VM.Standard2.4 Oracle：Standard Edition Storage：Oracle Grid Infrastructure Total Storage：712GB SSHkey：jc_oci_ssh_key_id_rsa.pub License：Included License VCN：intvcn Subnet：intnet050 HostName：intdb01 DomainName：intdb01.intnet050.intvcn.oraclevcn.com IPaddress：192.168.50.2 Option：FaultDomain DBName：intdbcs UniDBName：intdbcs_nrtlhr Version：12.2.0.1 PDB：intdb UserName：sys Password：d1U_3zk_7iU Backup：自動バックアップ：有効 バックアップ保持期間：30日 バックアップ・スケジュール：6:00PM-8:00PM UTC ※3:00AM-5:00AM JST 文字セット：JA16SJISTILDE 各国語：AL16UTF16 PartnerSSH：jc_oci_partner_ssh_key_id_rsa.pub [/home/opc/.ssh/authorized_keys] に登録

・クライアントPC詳細

No	ホスト名	設定
1	intpcXX	OS：Windows 10 Pro 64bit

No	ホスト名	設定
	XX : 01~09	<p>ドメイン : eri-jcac.jcac.or.jp</p> <p>ユーザ : intpc01 : eri-jcac¥a-ariizumi intpc02 : eri-jcac¥a-yasukawa intpc03 : eri-jcac¥m-sasahara intpc04 : eri-jcac¥staff1 intpc05 : eri-jcac¥staff2 intpc06 : eri-jcac¥staff3 intpc07 : eri-jcac¥h-yamashita intpc08 : eri-jcac¥staff5 intpc09 : eri-jcac¥y-goto</p> <p>ネットワーク設定 : Wi-Fi ネットワーク名 : (非公開) セキュリティの種類 : WPA2-パーソナル AES セキュリティキー : (非公開) IP アドレス : 192.168.200.XX ※XX : 10~90 サブネットマスク : 255.255.255.0 デフォルトゲートウェイ : 192.168.200.1 優先 DNS サーバ : 192.168.0.10 代替 DNS サーバ : 118.238.201.33</p> <p>ネットワーク設定 : イーサネット IP アドレス : 192.168.200.XX ※XX : 11~81 サブネットマスク : 255.255.255.0 デフォルトゲートウェイ : 192.168.200.1 優先 DNS サーバ : 192.168.0.10 代替 DNS サーバ : 118.238.201.33</p> <p>プリンタ設定 RICOH SP 8400 JPN (1) : 192.168.200.200 RICOH SP 8400 JPN (2) : 192.168.200.210 RICOH SP C840 JPN : 192.168.200.220</p> <p>●主要パッケージ ESET エージェント ESET Endpoint Security Google Chrome Microsoft Office 365 Microsoft Visio Professional 2019 ゼンリン電子地図帳 Zi21 Acrobat DC</p>
2	intpcXXn XX : 01~03	<p>OS : Windows 10 Pro 64bit ドメイン : eri-jcac.jcac.or.jp</p> <p>ユーザ : intpc01n : eri-jcac¥k-kaneko intpc02n : eri-jcac¥a-yasukawa intpc03n : eri-jcac¥m-sasahara</p>

No	ホスト名	設定
		<p>ネットワーク設定：Wi-Fi ネットワーク名：(非公開) セキュリティの種類：WPA2-パーソナル AES セキュリティキー：(非公開) IP アドレス：192.168.200.XX ※XX：100～120 サブネットマスク：255.255.255.0 デフォルトゲートウェイ：192.168.200.1 優先 DNS サーバ：192.168.0.10 代替 DNS サーバ：118.238.201.33</p> <p>ネットワーク設定：イーサネット IP アドレス：192.168.200.XX ※XX：101～121 サブネットマスク：255.255.255.0 デフォルトゲートウェイ：192.168.200.1 優先 DNS サーバ：192.168.0.10 代替 DNS サーバ：118.238.201.33</p> <p>●主要パッケージ ESET エージェント ESET Endpoint Security Google Chrome</p>

(4) 機能一覧

・Webアプリ：共通基盤

ログイン画面	認証	ユーザの ID とパスワードで認証を行い Web アプリにログインする。
	自動ロック	連続して指定回数の認証エラーになると自動的にアカウントをロックする。
アクセス	認証と認可	ログイン後にアクセス可能な画面（機能）に対して、認証済みかどうか、機能を使う権限を所有しているかをチェックする。 全てのアクセスを稼働ログファイルに記録する。 認証に関する操作は認証操作履歴テーブルに記録する。 更新系の操作は AP 作業履歴テーブルに記録する。
トップ画面	トップ	ユーザの権限に応じたグローバルメニューを表示する。
パスワード変更画面	パスワード変更	ログイン後にログインしたユーザパスワードを変更する。
ログアウト	ログアウト	認証情報を削除してログアウトする。

・Webアプリ：報告書管理

報告書一覧画面	報告書の検索	検索条件に応じて報告書情報の検索を行い、一覧表示する。
	報告書の複数選択操作	一覧から複数選択して「標準化（手動）」「公開用データ出力」を実行する。

報告書画面	報告書の表示	報告書一覧から選択された報告書情報を表示する。 報告書情報を表示するとともに報告書に紐づく表データ（報告書において表形式で示される入力対象データ全体のことをいう。各報告書では、試料ごとの放射線データ等が表形式でまとめられている場合が多い。以下同じ。）を一覧で表示する。 原子力艦出港時及び出港後調査の報告書情報の場合には、入港情報も併せて表示する。
	報告書の新規登録	報告書情報（報告書 No（自動採番）、報告書名、報告書発行機関 CD、調査 CD、報告都道府県 CD 及び年度等）を新規登録する。 原子力艦出港時及び出港後調査の報告書情報の場合には、入港情報も併せて入力（必須）する。 報告書情報として採取機関、分析機関、測定機関、採取都道府県及び測定都道府県を指定した場合には、報告書情報に紐づく表データ・行データ（行データとは、表データのうち行ごとに記載される入力対象データのことをいう。以下同じ。）の初期値として使用することができる。
	報告書の修正	報告書情報の修正を行う。 原子力艦出港時及び出港後調査の報告書情報の場合には、入港情報も修正可能とする。
	報告書の削除	報告書情報を削除する。 削除フラグを用いた論理削除で管理し、物理削除は行わない。
	お気に入りの登録解除	特定の報告書情報をログインしたユーザの「お気に入り」として登録、解除することができる。
	パンチデータ取込	パンチデータ（CSV）をアップロードして報告書情報に紐づく表データ・行データを一括登録する。 パンチデータ（CSV）の内容が正常な場合のみデータベースの更新を行う。 取込み後は「行データの修正」機能で処理を行う。 取込みができない場合には別タブでエラー表示する。ユーザは表示内容を確認した後、パンチデータ（CSV）を修正して再取込みを行う。 処理が正常に行われた場合には自動で「標準化」機能が実行される。
	パンチデータ出力	表データと行データの一部を予め入力することで、パンチデータ（CSV）の雛形を出力することができる。
	標準化（手動）	「パンチデータ取込」機能において自動で行われる「標準化」機能がエラーとなった表データ・行データについて、手動で標準化を実施する。
	推移グラフ表示	報告書のカテゴリ（調査 CD、試料 CD、都道府県 CD、分析機関 CD、測定機関 CD、核種 CD、単位 CD 及び採取層区分）毎に、当該データと過去データを抽出して推移表とグラフを別タブで表示する。 より細分化したカテゴリ（上記カテゴリに地点 CD を追加）でのグラフ表示も可能とする。 過去データの抽出範囲は、過去 5 年、過去 10 年又は任意の期間を指定可能とする。 推移表の Excel ダウンロードも可能とする。

	変動幅確認	<p>報告書のカテゴリ（調査 CD、試料種別 CD、試料 CD、都道府県 CD、地点 CD、採取層、核種 CD 及び単位 CD）毎に、当該データと過去データ（他の報告書、過去年度）を抽出して、変動幅確認結果とグラフを表示する。</p> <p>過去データの抽出範囲は、過去 5 年、過去 10 年又は任意の期間の指定を可能とする。</p> <p>確認結果の Excel ダウンロードを可能とする。</p> <p>グラフの個別・一括ダウンロードを可能とする。</p> <p>作業者は変動幅確認を行う際、データの変動に係る考察を記録するため、その考察等の情報を入力可能とする。</p>
	誤入力チェック	<p>報告書のカテゴリ（調査 CD、試料種別 CD、試料 CD、都道府県 CD、地点 CD、採取層、核種 CD 及び単位 CD）毎に、当該データと直近過去データ（他の報告書、当年含む）を抽出して、許容値比較結果を表示する。</p> <p>比較結果の Excel ダウンロードを可能とする。</p> <p>許容値の係数をメンテナンス可能とする。</p>
	チェックリスト出力	報告書のチェックリスト形式（Excel 20 種類）を出力する。
	非公開設定（一括）	入力作業中のデータを誤って公開しないために、入力作業中は非公開データとして扱えるよう、非公開フラグを「非公開」のステータスに一括変換する。
	公開設定（一括）	入力作業が完了したデータを公開データとして扱えるよう、非公開フラグを「公開」のステータスに一括変換する。
	公開用データ出力	<p>公開システム向けの CSV データ一式を zip でアーカイブしてダウンロードする。</p> <p>「標準化」機能でエラーとなっているデータがある場合には実行不可とする。</p>
	データ登録状況確認	<p>報告書受付からデータ公開までの進捗をステータスで管理する。</p> <p>データ登録数推移のグラフを出力することができる。</p> <p>報告書受付状況一覧をリスト出力することができる。</p>
表データ画面	表データの表示	<p>報告書画面の表データ一覧から選択された表データを表示する。</p> <p>表データの基本情報とそれに紐づく行データの一覧を表示する。</p> <p>表示項目は、別途設定された行データの入力対象項目設定に応じて表示する。</p> <p>「標準化」機能を実行した結果のステータスも表示する。</p>
	表データの新規	<p>報告書情報に表データの基本情報を新規登録する。</p> <p>表データ毎に入力対象項目設定の情報を保持する。</p> <p>各行毎の入力の省力化を図るため、全ての行データ共通となる項目を指定することができる。</p> <p>全ての行データ共通の値は専用のテーブルに保存され、全ての行データにも反映される。</p> <p>同じ形をした表のデータを大量に入力しなければならない場合に、入力省力化を図るために既存の表データを選択して「コピー新規」も可能とする。</p>
	表データの修正	修正した内容で表データを更新する。
	表データの削除	表データとそれに紐づく行データを削除する。（物理削除）

行データの詳細表示	行データ一覧から選択された行データの詳細をダイアログで表示する。 「標準化」機能を実行した結果のステータスも表示する。
行データの新規	行データを新規登録する。 一覧上での入力ではなく、1行ずつダイアログを表示して登録する。 入力対象項目設定に応じて入力欄を制御する。 更新時に自動で「標準化」機能を実行する。 同じような行データを入力しなければならない場合に、入力省力化を図るために既存の行データを選択して「コピー新規」も可能とする。
行データの修正	行データの修正を行う。 一覧上での修正ではなく、1行ずつダイアログを表示して修正する。 入力対象項目設定に応じて入力欄を制御する。 更新時に自動で「標準化」機能を実行する。
行データの削除	行データの削除を行う。(物理削除) 一覧上での削除ではなく、1行ずつダイアログを表示して削除する。
緯度経度の拡張と支援	緯度経度は DMS/DMM/DEG に対応する。 「公開 DL」機能実行時は DMS に変換する。(少数切捨て) 世界測地系又は地点名の項目の「地図」ボタンから別タブにて GoogleMap を開く。 日本測地系の項目に「世界測地系項目へ変換転記」ボタンを設置する。 外部サイトの RestAPI (TKY2JGD) を呼び出して変換を行い、世界測地系の項目へ変換後の値をセットする。
表データの出力	表データ毎の行データ一覧を Excel 出力する。
表データの取込	表データ毎の行データ一覧の Excel を取込む。 取込み不可の場合はエラーをダイアログで表示する。 ユーザは Excel ファイルを修正して再取込を行う。 更新時に自動で「標準化」機能を実行する。
標準化 (手動/自動)	手動で表データの標準化を実施する。 表データ・行データの更新時に自動で標準化されるが、標準化エラーに対応するために参照マスタを修正した場合には手動で「標準化」機能を実行する。 標準化の処理は以下のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> ・日付の算出 ・記載試料名の統一、試料 CD の算出 ・記載地点名の統一、地点 CD の算出 ・公開報告値の算出 ・標準単位換算 ・閾値チェック ・最終チェック
標準化エラー表示	自動又は手動の「標準化」機能の実行に係る最新のエラー内容を別タブで一覧表示する。 エラー内容の Excel ダウンロードも可能とする。 報告書に新たな記載試料名などの情報が掲載されていた場合、新たにマスタ登録しなくてはならないため、該当するマスタの

		メンテナンスメニューを呼び出し可能とする。
行データ一覧画面	行データの検索	検索条件やソート条件を指定して行データを検索し、一覧表示する。 一覧表示する項目を指定可能とする。
	行データの出力	検索された行データ一覧を Excel 出力する。

• Web アプリ : マスタ管理

マスタメンテナンス画面 (35 種類)	検索と詳細表示	マスタを検索して一覧表示又は詳細表示を行う。
	メンテ	新規、修正、削除を実行する。
	選択ダイアログ (約 23 種類)	報告書情報に紐づく表データ・行データを入力する画面や検索条件を設定する画面で、マスタに設定されたコードの値を選択するダイアログ出力機能を用意する。
R 記載試料参照表の自動生成	マスタ自動生成	報告書情報に紐づく全ての行データを抽出して記載試料参照表を自動生成する。
R 記載地点参照表の自動生成	マスタ自動生成	報告書情報に紐づく全ての行データを抽出して記載地点参照表を自動生成する。

• Web アプリ : 管理者機能

ユーザマスタメンテナンス画面	検索と詳細表示	マスタを検索して一覧表示又は詳細表示(ダイアログ)を行う。
	メンテ	新規、修正、削除を実行する。
	手動ロック	ユーザのアカウントを手動ロックする。
認証操作履歴画面	検索	認証操作履歴(ログインやログアウトなど)を検索して一覧表示を行う。
AP 作業履歴画面	検索	AP 作業履歴を検索して一覧表示を行う。 履歴をファイル出力可能とする。
稼働ログ画面	ダウンロード	Web アプリの稼働ログファイルをダウンロードする。

• ジョブアプリ

クリーンアップ (DB)	履歴系	保存期間の過ぎた認証操作履歴や AP 作業履歴を削除する。
クリーンアップ (Web)	各種ファイル	保存期間の過ぎた Web サーバ上の稼働ログや一時ファイルを削除する。

1. 4. 2 データ公開用システム

原子力規制庁は、結果収集事業において、ウェブサイトの運用・管理を実施している。このウェブサイトは、公開システムにより運用・管理されており、結果収集事業の受託者は以下の業務を実施する。

① コンテンツの監理

公開システムでは、ウェブサイトにおける以下のコンテンツ（日本語・英語の2か国語対応）の監理を行う。

No	第1階層	第2階層	第3階層	第4階層
1	トップページ			
2	新着情報一覧			
3	詳細ページ			
4	放射線データを活用する			
5	現在地周辺の放射線			
6	全国の放射能濃度			
7	環境放射線データベース			
8	グラフを作成			
9	空間放射線量率図			
10	空間放射線量率図の見方に関する FAQ			
11	経年変化図			
12	経年変化図の見方に関する FAQ			
13	濃度範囲図			
14	濃度範囲図の見方に関する FAQ			
15	集計表を作成			
16	調査詳細一覧			
17	食品の放射能			
18	食品から探す			
19	地域から探す			
20	核種から探す			
21	食品カテゴリー別の預託実効線量			
22	預託実効線量とは			
23	放射線に関する基礎知識を学ぶ			
24	放射能って？放射線って？			
25	身の回りの放射線			
26	環境放射線に関する用語集			
27	環境放射能測定に関する基礎知識			
28	文章で解説			
29	ライブラリー			
30	原子力艦放射能調査			
31	原子力艦出港時及び出港後調査			
32	原子力艦定期調査			
33	原子力艦放射能調査における分析結果について			
34	横須賀 ※			
35	佐世保 ※			
36	金武中城 ※			
37	原子力艦寄港時調査 ※			
38	放射能測定法シリーズ			

No	第1階層	第2階層	第3階層	第4階層
39			環境放射能調査報告	
40		アーカイブ		
41			東京電力福島第一原子力発電所事故関連	
42			測定データで見る「過去の出来事」	
43			2000年時点の世界の放射能濃度	
44				調査結果の出典
45			ラドン濃度調査	
46		関連リンク集		
47		サイトマップ		
48		お問い合わせ		
49		プライバシーポリシー		
50		サイトポリシー		
51		アクセシビリティガイドライン		
52		404		
53		サイト内検索結果		
54		CMS 管理画面ログイン		
55		更新データアップロード		

※外部サイトへのリンクを掲載

② 管理システムとの連携

管理システムを使用して登録したデータを公開システムのデータベースに登録することにより、ウェブサイトでデータ公開を行う。

③ MPシステムとの連携

MPシステムから自動で送信されるモニタリングポストの測定データ（10分値）を受け取り、公開システムのデータベースに自動登録することにより、ウェブサイトでデータ公開を行う。また、モニタリングポストの測定データ（10分値）の一日ごとの最大値、最小値及び平均値をMPシステムの機能で計算、出力し、その結果を月ごとに手動で公開システムのデータベースに登録することにより、ウェブサイトでデータ公開を行う。

④ セキュリティパッチの導入

公開システムのサーバで使用しているソフトウェアについて、セキュリティ上の脆弱性が発見された場合に提供される修正プログラム（セキュリティパッチ）の導入作業を実施する。

⑤ セキュリティ診断

公開システムにおいて不正アクセス等による障害発生を未然に防止するため、年に一度、専門業者によりセキュリティ診断を実施し、診断結果に応じた対応を実施する。

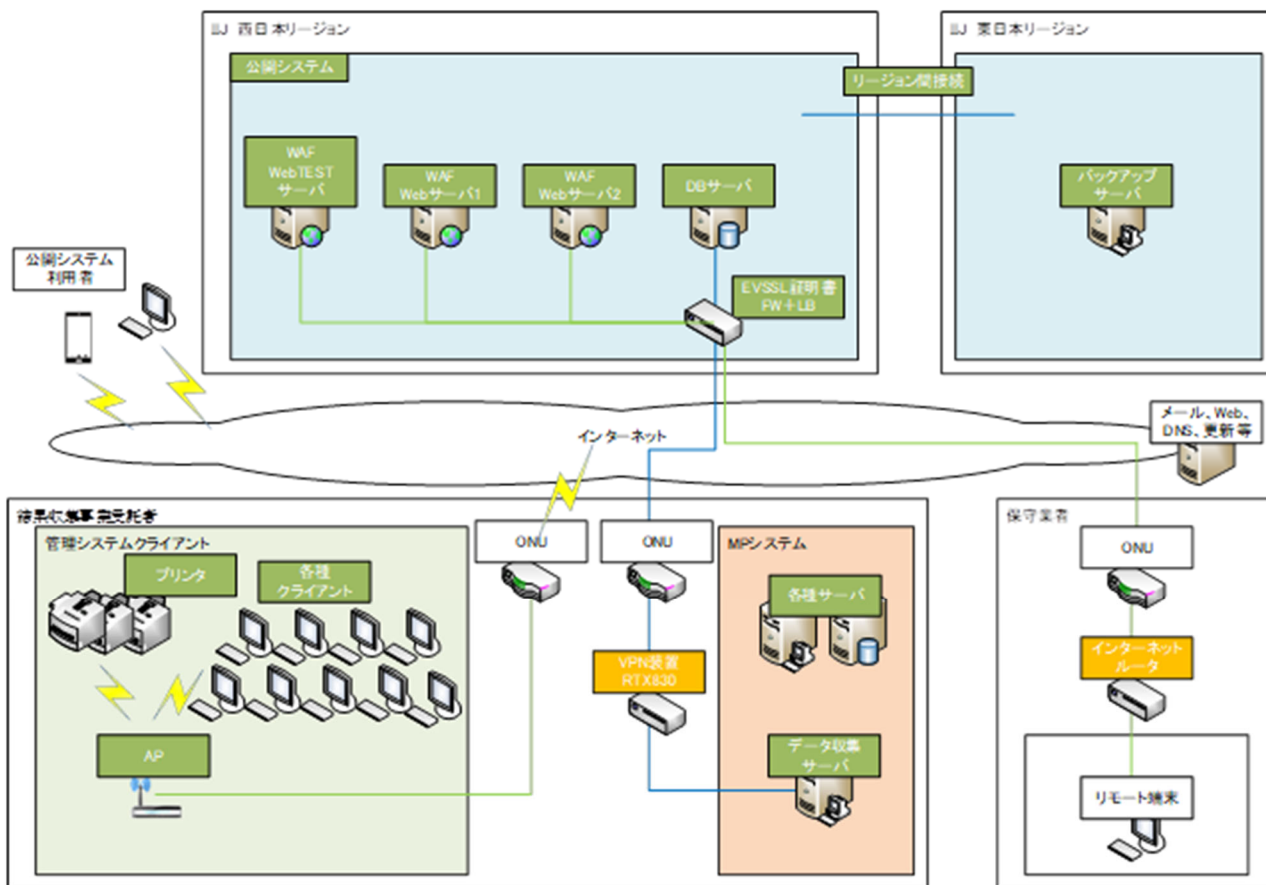
⑥ サーバ証明書の更新

年に一度、ウェブサイトで使用しているSSLサーバ証明書の更新作業を実施する。

⑦ アクセスログ解析

ウェブサイトへのアクセスの現状と傾向を把握するため、年に一度、Webサーバへのアクセスログについて解析を実施する。

(1) 構成図



(2) ハードウェア

・クラウドサービス (II J)

No	ホスト名	機種/サービス名	用途/詳細
1	web01	VG2-3 OS : Red Hat Enterprise Linux 8.3 SX30GB/RHEL 8 :64bit BX300GB	WEB サーバ 1 西日本リージョン CPU : 2core メモリ : 3GB HD : 30GB+300GB
2	web02	VG2-3 OS : Red Hat Enterprise Linux 8.3 SX30GB/RHEL 8 :64bit BX300GB	WEB サーバ 2 西日本リージョン CPU : 2core メモリ : 3GB HD : 30GB+300GB
3	webtest (※1)	VG2-3 OS : Red Hat Enterprise Linux 8.3 SX30GB/RHEL 8 :64bit BX300GB	WEBTEST サーバ 西日本リージョン CPU : 2core メモリ : 3GB HD : 30GB+300GB

No	ホスト名	機種/サービス名	用途/詳細
4	db01	VG6-12 Windows Server 2019 Standard SX60GB/Windows Server 2019 Standard :64bit	DB サーバ 西日本リージョン CPU : 6core メモリ : 12GB HD : 60GB
5	backup	VB1-3 SX30GB/CentOS 7 : 64bit	バックアップサーバ (※2) 東日本 リージョン CPU : 2vcore (※3) メモリ : 3GB HD : 30GB
6	-	FW+LB/D 10Mbps	ロードバランサ 西日本リージョン シングル 帯域 10Mbps 専有タイプ
7	-	グローバルネットワーク	インターネット接続 (IP5 個)
8	-	プライベートネットワーク/V	東西接続用
9	-	ストレージアーカイブ (バックアップ用)	システムストレージバックアップ
10	-	IIJ 統合運用管理サービス	サーバ監視

※1 WEBTEST サーバは変更作業及び公開前確認用。外部からのアクセスは一部の関係者のみ

※2 バックアップサーバは遠隔バックアップ用。外部からのアクセスは全て閉じている。

※3 vcore は仮想コア。性能は 2vcore≒1core 相当

・ ルータ

No	ホスト名	機種/サービス名	用途
1	-	RTX830	DB サーバ接続用 (MP システム)

(3) 詳細情報

・ クラウドサーバ詳細 (サーバ) 大阪リージョン

No	ホスト名	設定
1	web01 web02	OS : Red Hat Enterprise Linux 8.3 HDD1 : 30GB 用途 : システムドライブ マウントポイント : / HDD2 : 300GB 用途 : マップデータ マウントポイント : /mnt/vdb1 IP : 192.168.0.1/24 (web01)、192.168.0.2/24 (web02) GW : 192.168.0.254 DNS (※1) : 210.130.0.13、210.130.1.13 NTP (※1) : ntp00.iiij.net、ntp01.iiij.net、ntp02.iiij.net ntp10.iiij.net、ntp11.iiij.net、ntp12.iiij.net IP (外部) : 133.159.74.57 (web01)、133.159.74.58 (web02) ユーザ (管理者) : root ユーザ (一般) : giouser ●主要パッケージ OpenSSH 8.0 Apache2.4.37 PHP 7.4.15

No	ホスト名	設定
		WordPress 5.7.2 WebAlarm エージェント 4.5 Firewalld (※2)
2	d b 01	OS : Windows Server 2019 Standard HDD1 : 60GB 用途 : システムドライブ ドライブレター : C IP : 192.168.0.3/24 GW : 192.168.0.254 DNS (※1) : 210.130.0.13、210.130.1.13 IP (外部) : 133.159.74.82 IP (VPN) : 172.16.0.61/24 ユーザ (管理者) : Administrator ●主要パッケージ SQL Server 2019 Express (測定データ関係のデータを保存) MySQL 8.0 (WordPress 用) SoftEther VPN Server 4.34.9745 SoftEther VPN Client 4.34.9745 Symantec Endpoint Protection 14.3 IIS 10 (FTP 用) 放射線 Web リアルタイムデータ CSV ファイル DB 保存ソフト (近計作成)

※1 IIJ クラウドにて用意

※2 許可設定 : http https mysql ssh ping

・クラウドサービス詳細 (サーバ) 東京リージョン

No	ホスト名	設定
1	backup	OS : CentOS 7 HDD1 : 30GB 用途 : システムストレージ マウントポイント : / IP : 10.203.0.1/20 ユーザ (管理者) : root ●主要パッケージ OpenSSH 8.0 Firewalld (※1)

※1 許可設定 : ssh ping

(4) 機能一覧

公開システムの CMS (<https://www.kankyo-hoshano.go.jp/wp-login.php>) では、以下の機能によりそれぞれのコンテンツの追加、修正、削除等の管理業務を行う。

- ・新着情報 : 追加/並び替え/編集/削除
- ・関連リンク集 : 追加/並び替え/編集/削除
- ・関連リンク集のカテゴリ : 追加/並び替え/編集/削除

※関連リンク集については定期的にリンク切れチェックを実施

- 放射能測定シリーズ等 : 追加/並び替え/編集/削除
- 放射能測定シリーズ等のカテゴリ : 追加/並び替え/編集/削除

- 原子力艦出港時及び出港後調査 : 追加/編集/削除
- 原子力艦定期調査 : 追加/編集/削除
- 原子力艦名の編集
- 原子力艦定期調査の「調査概要」「分析目標値」PDFの更新
- 原子力艦放射能調査における分析結果について : 追加/並び替え/編集/削除

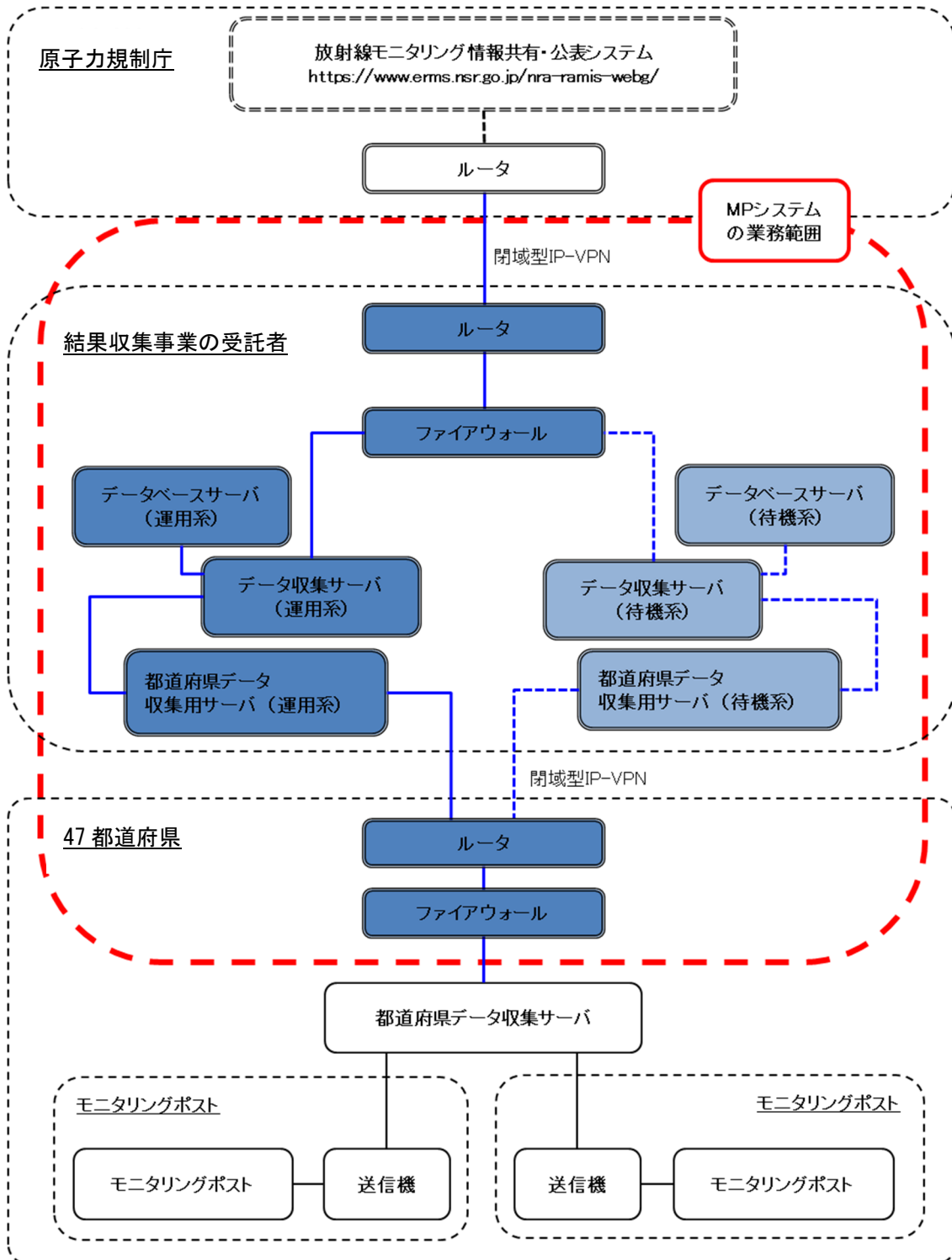
- 各ページ : 追加/編集/削除

- お問い合わせフォーム
- メールアドレス変更
- メール文編集

- 共通機能
- 画像、ファイルの挿入
- 書式設定
- ユーザ管理
- ログインパスワードの変更
- 更新用データファイルのアップロード

1. 4. 3 モニタリングポストデータオンライン収集システム

原子力規制庁は、環境放射能水準調査事業において各都道府県に設置されたモニタリングポストによる空間放射線量率の測定結果（10 分値）をオンラインで収集し、公表システムのウェブサイトで公開する。MPシステムでは、環境放射能水準調査事業により各都道府県が設置したサーバからモニタリングポストのリアルタイムの測定結果を収集し、原子力規制庁が管理する公表システムへデータを送信する。MPシステムの業務範囲は以下のとおり。



結果収集事業の受託者は、MPシステムを用いて以下の業務を行う。

① サーバ等の定期点検

MPシステムのうち、結果収集事業受託者の施設内に設置している都道府県データ収集用サーバ、データ収集サーバ、データベースサーバ及び各都道府県に設置しているネットワーク機器の定期点検を以下のとおり実施している。

- ・各都道府県のモニタリングポストの測定データを正常に収集していることを確認
- ・各都道府県から収集したモニタリングポストの測定データを正常に公表システムのサーバへ送信していることを確認
- ・サーバ及びネットワーク機器のログ等を調査し、異常動作の発生がないことを確認
- ・適切に動作する状況を維持するためにサーバ内の不要ファイルを削除

② 停電対応

結果収集事業の受託者の施設において、電気設備の年次定期点検が行われる際、点検中は施設全体が停電となるため、事前に発電機等を容易してMPシステムを停止させることなく運用を継続させる対応を実施する。

③ 各都道府県等のサポート

MPシステムで収集しているデータやシステムに関する都道府県等担当者等からの問合せに対し、電話やメールによるサポートの対応を実施する。

④ モニタリングポスト測定データの欠測時対応

モニタリングポストの測定データに欠測が発生するなどの障害が発生した場合に、各都道府県等の担当者と調整し、障害復旧サポートを実施する。

⑤ モニタリングポスト測定データの削除対応

モニタリングポストの不具合等に公表システムにて参考値扱いとなった測定データについては、データベースサーバから当該データを削除する対応を実施する。

⑥ VPN回線とネットワーク機器の移設対応

モニタリングポストの測定データを収集するために結果収集事業の受託者が各都道府県に設置しているネットワーク機器とVPN回線について、居室移動、庁舎移転など設置場所を変更する必要がある場合に、関連する機器等の移動・移転に必要な各種手続きを実施する。また、結果収集事業の受託者は、移動・移設が必要な都道府県に赴き、ネットワーク機器の移設等の作業を実施する。各都道府県におけるネットワーク機器とVPN回線の設置場所は以下のとおり。

No.	都道府県	設置場所
1	北海道	北海道原子力環境センター 札幌分室
2	青森県	青森県原子力センター
3	岩手県	岩手県環境保健研究センター

No.	都道府県	設置場所
4	宮城県	宮城県環境放射線監視センター
5	秋田県	秋田県健康環境センター
6	山形県	山形県環境科学研究センター
7	福島県	福島県環境創造センター 福島支所
8	茨城県	茨城県環境放射線監視センター
9	栃木県	栃木県保健環境センター
10	群馬県	群馬県衛生環境研究所
11	埼玉県	埼玉県庁 第三庁舎
12	千葉県	千葉県環境研究センター
13	東京都	東京都健康安全研究センター
14	神奈川県	神奈川県衛生研究所
15	新潟県	新潟県放射線監視センター 新潟分室
16	富山県	富山県環境科学センター
17	石川県	石川県保健環境センター
18	福井県	福井県原子力環境監視センター 福井分析管理室
19	山梨県	山梨県衛生環境研究所
20	長野県	長野県環境保全研究所 安茂里庁舎 別館
21	岐阜県	岐阜県保健環境研究所
22	静岡県	静岡県庁 別館
23	愛知県	愛知県環境調査センター
24	三重県	三重県保健環境研究所
25	滋賀県	滋賀県衛生科学センター 新館
26	京都府	京都府保健環境研究所
27	大阪府	地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所
28	兵庫県	N T T 西日本 神戸データセンター
29	奈良県	奈良県景観・環境総合センター
30	和歌山県	和歌山県環境衛生研究センター
31	鳥取県	鳥取県庁 議会棟
32	島根県	島根県保健環境科学研究所
33	岡山県	岡山県環境保健センター
34	広島県	広島県健康福祉センター
35	山口県	山口県環境保健センター 大歳庁舎
36	徳島県	徳島県立保健製薬環境センター
37	香川県	香川県環境保健研究センター
38	愛媛県	愛媛県原子力センター
39	高知県	高知県衛生研究所
40	福岡県	福岡県保健環境研究所
41	佐賀県	佐賀県環境センター
42	長崎県	長崎県環境保健研究センター
43	熊本県	熊本県保健環境科学研究所
44	大分県	大分県衛生環境研究センター
45	宮崎県	宮崎県衛生環境研究所
46	鹿児島県	鹿児島県環境放射線監視センター
47	沖縄県	沖縄県衛生環境研究所

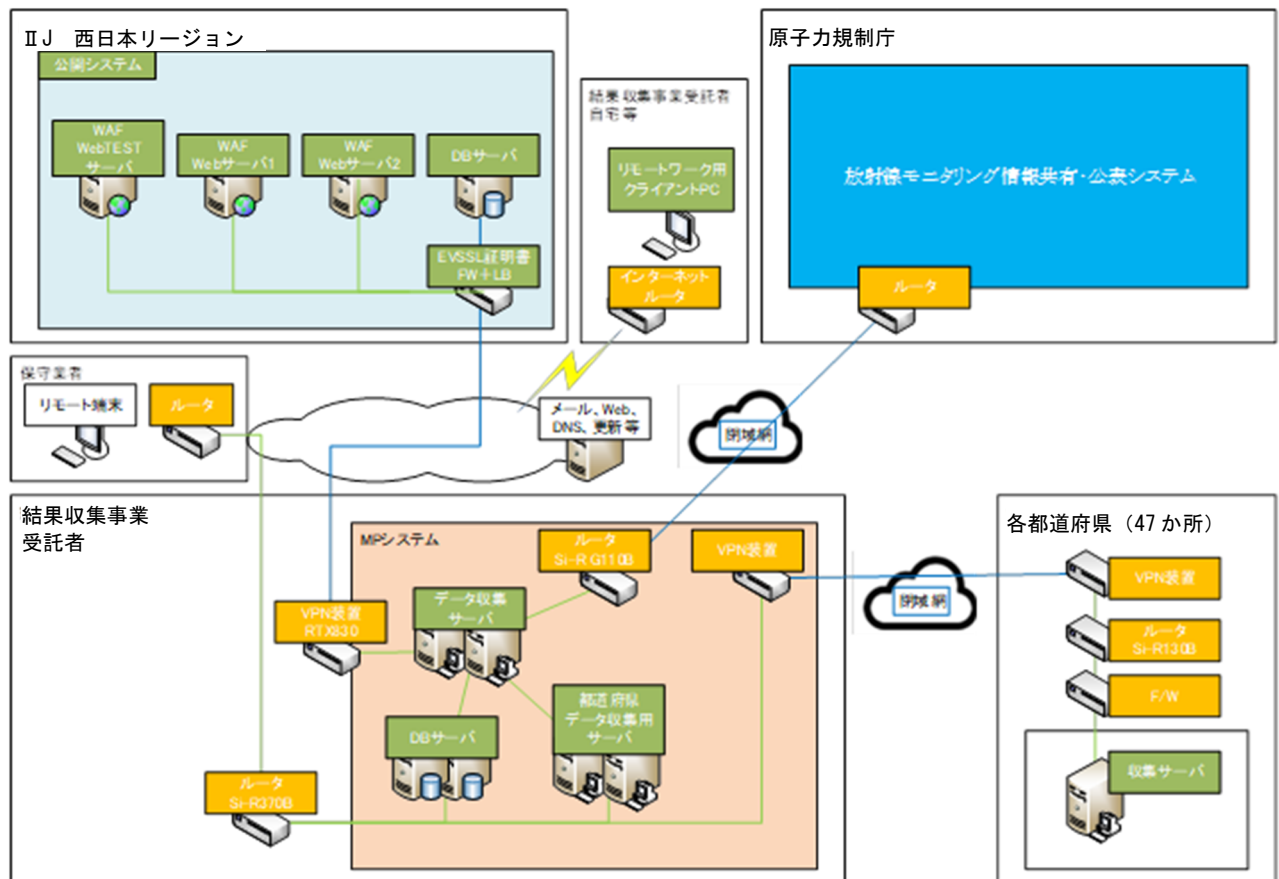
⑧ ウェブサイトとの連携

MPシステムにおいて収集したモニタリングポストの測定データ（10分値）から、一日ごとの最大値、最小値及び平均値を計算し、その結果を月ごとにウェブサイトのデータベースへ入力し、これら公開する。

⑨ モニタリングポスト測定データの監視

各都道府県等から送信されるモニタリングポスト測定データの異常を検知するため、有効データ数、欠測データ数、最大値、最小値、平均値及び標準偏差を自動で集計する機能と、経時変化を確認するためのグラフ出力機能を使用して、定期的にデータの確認を実施する。また、各都道府県等から送信されるモニタリングポストの測定データについて、同一の測定データが一定期間継続して送信された場合に、MPシステム上に警告を表示する機能を使用して、モニタリングポストの測定データの監視を行う。

(1) 構成図



(2) ハードウェア

・サーバ

No	ホスト名	機種/サービス名	用途
1	RADATDSV1	PRIMERGY TX1320 M3 タワーベースユニット OS : Windows Server 2016 Standard CPU : 4Core メモリ : 16GB ディスク : 600GB	都道府県データ収集用 サーバ #1
2	RADATDSV2	PRIMERGY TX1320 M3 タワーベースユニット OS : Windows Server 2016 Standard CPU : 4Core メモリ : 16GB ディスク : 600GB	都道府県データ収集用 サーバ #2 (待機 : ホットスタン バイ)
3	RADAAPSV	PRIMERGY TX1320 M4 タワーベースユニット OS : Windows Server 2019 Standard CPU : 4Core メモリ : 16GB ディスク : 600GB	データ収集サーバ
4	RADAAPSV2	PRIMERGY TX1320 M4 タワーベースユニット OS : Windows Server 2019 Standard CPU : 4Core メモリ : 16GB ディスク : 600GB	データ収集サーバ (待機 : ホットスタン バイ)
5	RADADBSV	PRIMERGY TX1320 M3 タワーベースユニット OS : Windows Server 2016 Standard CPU : 4Core メモリ : 16GB ディスク : 900GB	データベースサーバ
6	RADADBSV	PRIMERGY TX1320 M3 タワーベースユニット OS : Windows Server 2016 Standard CPU : 4Core メモリ : 16GB ディスク : 900GB	データベースサーバ (待機 : コールドスタ ンバイ)

・ルータ

No	ホスト名	機種/サービス名	用途
1	—	Si-R G110B	VPN 装置 (原子力規制庁接続用)
2	—	Si-R370B	47 都道府県側ルータ
3	—	FWX120	ファイアウォール (原子力規制庁側)

・スイッチングハブ

No	ホスト名	機種/サービス名	用途
1	—	SR-S310TL2	有線 LAN 用島ハブ

- ・各都道府県用ネットワーク機器（ルータ・ファイアウォール）

No	ホスト名	機種/サービス名	用途
1	—	Si-R 130B	ルータ
2	—	FWX120	ファイアウォール

(3) 詳細情報

- ・サーバ

No	ホスト名	設定
1	RADATDSV1 RADATDSV2	<p>OS : Windows Server 2016 Standard HDD : 600GB (HDD3 台による RAID1+HSP 構成) C ドライブ : OS、基本ソフト D ドライブ : 開発したソフトや設定ファイル E ドライブ : ログファイル、連携用ファイルなど IP : 192.168.51.15/24 (RADATDSV1)、192.168.51.16/24 (RADATDSV2) 172.16.0.201/24~172.16.0.247/24 (FTP サーバ用共通) GW : 172.16.0.254 ユーザ (管理者) : Radaadmin</p> <p>●主要パッケージ Microsoft Office 2016 Professional OMRON PowerAttendant Lite TRSL ウイルスバスター ビジネスセキュリティ Microsoft Baseline Security Analyzer リモートメンテナンス用ソフト eFeins 共通ルーチン (Feins32) eFeins 常時監視ルーチン (TaikiJ) 都道府県データ収集用モジュール</p>
2	RADAAPSV RADAAPSV2	<p>OS : Windows Server 2019 Standard HDD : 600GB (HDD3 台による RAID1+HSP 構成) C ドライブ : OS、基本ソフト D ドライブ : 開発したソフトや設定ファイル E ドライブ : ログファイル、連携用ファイルなど IP : 192.168.51.12/24 (RADAAPSV)、192.168.51.14/24 (RADAAPSV2) 172.16.0.31/24 (RADAAPSV)、172.16.0.32/24 (RADAAPSV2) 172.16.0.10/24 (クラスタ IP アドレス) GW : 172.16.0.254 ユーザ (管理者) : Radaadmin</p> <p>●主要パッケージ Microsoft Office2016 Professional OMRON PowerAttendant Lite TRSL ウイルスバスター ビジネスセキュリティ クライアント IIS Oracle Database 11g r2 Client Microsoft Baseline Security Analyzer リモートメンテナンス用ソフト eFeins 共通ルーチン (Feins32) eFeins 常時監視ルーチン (TaikiJ)</p>

No	ホスト名	設定
		データ収集用モジュール
3	RADADBSV	OS : Windows Server 2016 Standard HDD : 900GB (HDD3 台による RAID1+HSP 構成) C ドライブ : OS、基本ソフト D ドライブ : 開発したソフトや設定ファイル E ドライブ : ログファイル、連携用ファイルなど IP : 192.168.51.13/24 172.16.0.11/24 GW : 172.16.0.254 ユーザ (管理者) : Radaadmin ●主要パッケージ Microsoft Office2016 Professional OMRON PowerAttendant Lite TRSL ウイルスバスター ビジネスセキュリティ クライアント ORACLE Microsoft Baseline Security Analyzer リモートメンテナンス用ソフト

(4) 機能一覧

・都道府県データ収集用サーバ

プロセス	機能名	機能 ID	画面	バッチ	備考
データ収集機能	ファイルチェック・ 連結ファイル作成機能	OyFlChec kJoin		○	VB.NET、 マルチスレッド
データ送信機能	管理レコード追加機能	OyFlCt1R ecAdd2		○	連結 MP データ VB.NET
	管理レコード追加機能	OyFlCt1R ecAdd2		○	エラー MP データ VB.NET
	ファイル送信機能	OySend		○	連結 MP データ/エラ ーMP データ
	ファイル監視機能	OyWatch		10 秒	管理レコード追加機 能(連結 MP データ)
	ファイル監視機能	OyWatch		10 秒	管理レコード追加機 能(エラーMP データ)
	ファイル監視機能	OyWatch		60 秒	ファイル送信機能
バックアップ機能	フォルダ移動機能	OyFldMov e		23:30	
データ削除機能	ファイル削除機能	OyFDe1		23:45	連結ファイル作成機 能
	ファイル削除機能	OyFDe1		23:45	管理レコード追加機 能(連結 MP データ)
	ファイル削除機能	OyFDe1		23:45	管理レコード追加機 能(エラーMP データ)
	ファイル削除機能	OyFDe1		23:45	ファイル送信機能

・データ収集サーバ

プロセス	機能名	機能 ID	画面	バッチ	備考
データ収集機能	ファイル振分機能	OyFlDivide		○	
	送信ファイル作成機能	OyFlSend		○	
	ファイル監視機能	OyWatch		300 秒	ファイル振分機能
	ファイル監視機能	OyWatch		10 秒	送信ファイル作成機能
データ送信機能	送信 MP データ加工機能	OyFlProcess		○	公表システム送信用 MP データ
	ファイル送信機能	OyFMove		○	公表システム送信用 MP データ
	ファイル監視機能	OyWatch		10 秒	管理レコード追加機能
	ファイル監視機能	OyWatch		10 秒	ファイル送信機能 (公表システム宛て)
	ファイル複写機能	OyFlCopy		○	公開システム送信先用 MP データ
	ファイル送信機能 2	OySend2		○	公開システム送信先用 MP データ
	ファイル監視機能 3	OyWatch3		10 秒	ファイル送信機能 (公開システム宛て)
データ登録機能	MP データ取込機能	OyDtMpSave		○	
	エラー情報取込機能	OyDtErrSave		○	
	その他情報取込機能	OyDtOtherSave		○	
	ファイル監視機能	OyWatch		10 秒	MP データ取込機能
	ファイル監視機能	OyWatch		10 秒	エラー情報取込機能
	ファイル監視機能	OyWatch		10 秒	その他情報取込機能
データ管理機能	MP データ修正/照会機能	OyDpMp	○		CSV 出力あり
	エラーデータ照会機能	OyDpErr	○		CSV 出力あり
	メッセージ照会機能	OyDpMsg	○		CSV 出力あり
	マスタ管理機能	OyDpMst	○		
	更新 MP データ送信機能	OyDpSend	○		VB.NET
データ集計機能	MP データ集計結果照会機能	OyDpCalc	○		
MP データメンテナンス機能	CSV ファイル出力	dNMakeCsv	○		CSV 出力あり
	利用者認証	FeinsDBA2000	○		
	共通ライブラリ (FrameWork)	dFeinsTools, FeinsTools	○		
	DB テーブル更新	FeinsDataEdit2k	○		
	進捗画面表示	Form	○		
	DB 検索	DBSearch2k	○		
データ監視機能	収集状況監視機能	OyDpSts		○	CSV 出力あり
バックアップ機能	フォルダ移動機能	OyFldMove		23:30	
データ削除機能	ファイル削除機能	OyFDel		23:45	送信ファイル作成機能
	ファイル削除機能	OyFDel		23:45	MP データ取込機能 (正常)

プロセス	機能名	機能 ID	画面	バッチ	備考
	ファイル削除機能	OyFDe1		23:45	MP データ取込機能(エラー)
	ファイル削除機能	OyFDe1		23:45	MP データ取込機能(回避)
	ファイル削除機能	OyFDe1		23:45	エラー情報取込機能(正常)
	ファイル削除機能	OyFDe1		23:45	エラー情報取込機能(エラー)
	ファイル削除機能	OyFDe1		23:45	エラー情報取込機能(回避)
	ファイル削除機能	OyFDe1		23:45	その他情報取込機能(正常)
	ファイル削除機能	OyFDe1		23:45	その他情報取込機能(エラー)
	ファイル削除機能	OyFDe1		23:45	その他情報取込機能(回避)
	ファイル削除機能	OyFDe1		23:45	管理レコード追加機能
ログ出力機能	ログ振分機能	OyLogSep		○	
	ログ保存機能	OyLogSave		○	
	ファイル送信機能	OySend		○	
	ファイル監視機能	OyWatch		60 秒	ログ振分機能
	ファイル監視機能	OyWatch		60 秒	ログ保存機能
	ファイル監視機能	OyWatch		1 時間毎	ファイル送信機能
ログ削除機能	ファイル削除機能	OyFDe1		23:45	ログ振分機能
	ファイル削除機能	OyFDe1		23:45	ファイル送信機能
メール送信機能	MP 受信状況監視機能	OyMlMpKan		1 時間毎	データベースを監視し、メールを送信
	Ftp 送信状況監視機能	OyMlFtpKan		1 時間毎	FTP 回避フォルダを監視し、メール送信
	メール送信設定機能	OyMlRecvSet		1 時間毎	返信メールを受信し、メール送信の有無を設定
	MP 連続データチェック機能	OyMlRdKan		3 回/日	データベースを監視し、メール送信、テキスト出力、画面出力 (9 時、13 時、17 時に起動)

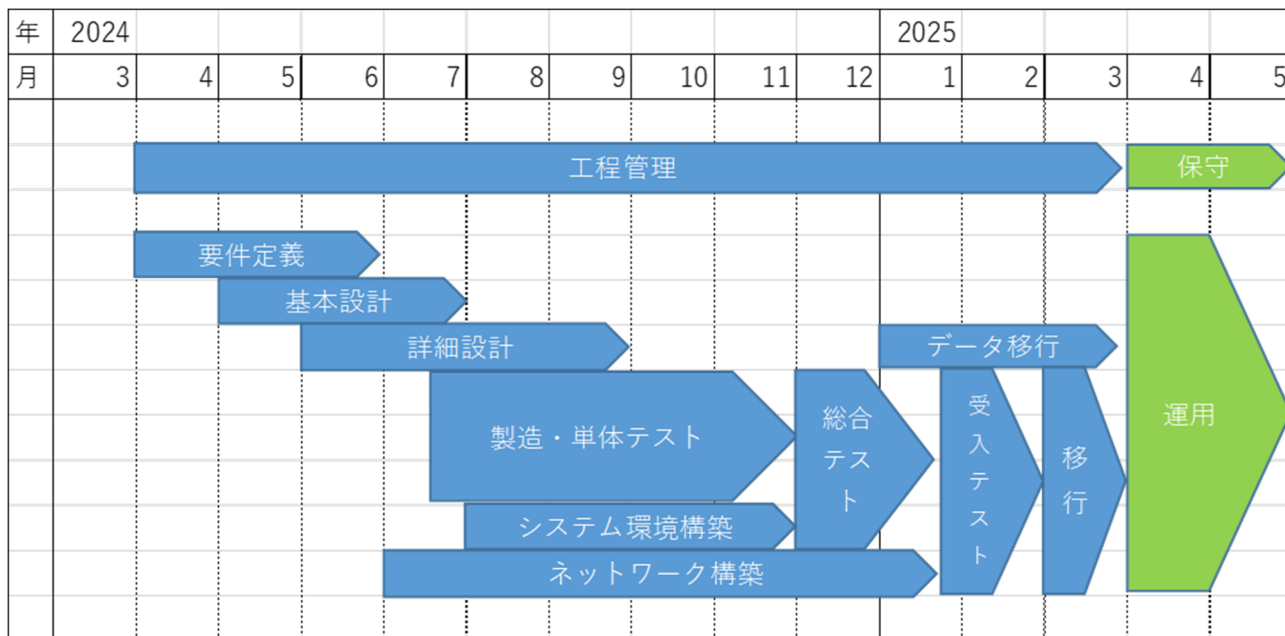
・データベースサーバ

プロセス	機能名	機能 ID	画面	バッチ	備考
都道府県データ収集用サーバ死活監視機能	都道府県データ収集用サーバ死活監視機能	OyTdSvKan		10 分毎	VB.NET サーバを監視し、ルータ切替バッチ実行及びメール送信
MP データメンテナンス機能	操作画面の遷移		○		
	CSV ファイル出力操作画面		○		CSV 出力あり
	MP 情報 (拠点別) 更新画面		○		
	MP 情報 (共通) 更新画面		○		

1. 5 契約期間

契約締結日から令和12年3月31日までとする。

1. 6 作業スケジュール



※令和7年（2025年）度以降令和11年度までは引き続き保守・運用を実施。

1. 7 用語集

(1) 管理システム

環境放射線データベース管理システムの略称。47都道府県が実施している環境放射能水準調査結果（Excel）や放射線監視等交付金交付対象の地方公共団体が実施している放射線監視結果（冊子又はPDF）から放射能調査結果を抽出し、データベースに登録するためのアプリケーション及びそれを構成するハードウェア・ソフトウェアの総称。

(2) 公開システム

データ公開用システムの略称。ウェブサイト「日本の環境放射能と放射線（<https://www.kankyo-hoshano.go.jp/>）」（以下単に「ウェブサイト」という。）を公開するためのアプリケーション及びそれを構成するハードウェア・ソフトウェアの総称。

(3) MPシステム

モニタリングポストデータオンライン収集システムの略称。原子力施設等防災対策等委託費「環境放射能水準調査」事業により各都道府県に設置しているモニタリングポスト（約300基）の測定結果を収集し、原子力規制庁が別途運用する放射線モニタリング情報共有・公表システム（以下「公表システム」という。原子力規制庁では当該システムにおいて放射線モニタリング結果を一元的に公表しているが、環境放射能水準調査事業で収集したモニタリングポストデータについては、別途「放射線

モニタリングデータ統合システム」を介して公表システムへ伝送することとしており、以降公表システムへの伝送については、当該システムを介した上でのもとの読み替えるものとする。)のサーバへ送信するためのアプリケーション及びそれを構成するハードウェア・ソフトウェアの総称。

(4) DR

Disaster Recovery (ディザスターリカバリー) の略。様々な災害によって被害を受けたシステムの復旧を行う仕組みや体制のことで、システムダウンによる損失を最小限に抑えるという目的がある。

(5) OCI

Oracle Cloud Infrastructure の略。Oracle 社が提供するクラウドサービス。

(6) F/W

ファイアウォール (FireWall) の略称。

(7) CMS

コンテンツ・マネジメント・システム (Contents Management System) の略。ウェブサイトのコンテンツを構成するテキストや画像、デザイン・レイアウト情報 (テンプレート) などを一元的に保存・管理するシステムのこと。

(8) シングルポイント

障害が発生した場合、システム全体に影響をあたえるポイント。

(9) EVSSL サーバ証明書

ドメイン名使用権確認の他に、組織の存在確認、組織の所在地確認を実施する信頼性の高い証明書。

※一般的な SSL サーバ証明書はドメイン名使用権確認のみ

(10) AP

アプリケーションの略称。

(11) NAT

Network Address Translation の略。IP アドレスを変換する技術。

(12) クラスタ構成

複数 (主に 2 台) のサーバを連携させ、利用者や他のサーバから見た場合に、全体で 1 台のサーバであるかのように動作させる技術。

(13) RAID1

同じデータを2本のハードディスクに書き込むことで耐障害性を高めた構成のこと。

(14) HSP

ホットスペアの略。RAID 構成のハードディスクに障害が発生した時のために予備のハードディスクを用意しておくこと。ハードディスクに障害が発生した場合には、自動で RAID の再構築が行われる。

(15) クラウド環境

ユーザがインフラやハードウェア等のサービスをインターネットや閉域網を経由して、必要な時に必要な分だけ利用できる環境。

(16) U/I

ユーザーインタフェースの略。コンピュータを扱うときに利用者が情報を受け取ったり入力したりするための仕組み。

(17) 脆弱性

コンピュータの OS やソフトウェアにおいて、プログラムの不具合や設計上のミスが原因となって発生した情報セキュリティ上の欠陥のこと。

(18) 不正プログラム (マルウェア)

コンピュータウイルスやスパイウェアなど、利用者にとって有害な動きをする悪意あるプログラムのこと。

(19) ISMAP

Information system Security Management and Assessment Program の略称。政府情報システムのためのセキュリティ評価制度のこと。

(20) DDoS 攻撃

複数の端末より大量のアクセスを実施し、過剰な負荷をかけることで対象をサービス停止にする攻撃手法。

2 調達案件及び関連調達案件の調達単位、調達の方式等

2. 1 調達範囲

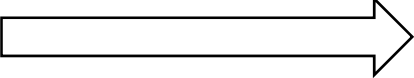
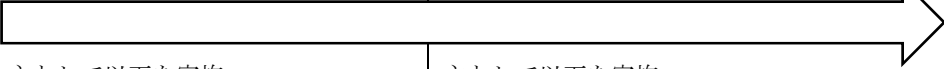
調達案件の調達単位、調達方式、実施時期は次の表のとおりである。

No	調達案件名	調達方式	実施時期
1	令和6～11年度原子力施設等防災対策等委託費（環境放射線データベース等に係るシステム更改及び運用・管理業務）事業	一般競争入札（総合評価落札方式（技術点と価格点の配点割合を2：1とする加算方式））	<ul style="list-style-type: none"> ・意見招請（官報公示）：令和5年8月頃 ・入札公告（官報公示）：令和5年12月頃 ・落札者決定：令和6年3月

業務範囲に係る留意点は次の表のとおりである。

No	調達案件名	業務範囲に係る留意点
1	令和6～11年度原子力施設等防災対策等委託費（環境放射線データベース等に係るシステム更改及び運用・管理業務）事業	<p>①本事業の根幹は、47都道府県からの環境放射能水準調査に関するモニタリングポストデータの収集・伝送等を行うとともに、環境放射能水準調査事業における測定結果、地方公共団体による放射線監視結果等放射線測定結果に関する報告書を収集して放射能データの抽出・データベースへの登録等を行い、当該データの公表を含めWebページ「日本の環境放射能と放射線」の運営を行うことである。</p> <p>②この①の事業内容を遂行するに当たり、システム（現行3システム）を整備し、受託者がこれを使用して効率的に業務を実施しているものである。本事業ではまず、令和6年度にこの現行3システムの後継となる新たなシステムを構築し、令和7年度以降、当該新システムを活用して上記①の事業内容を遂行するというものである。</p> <p>③令和5年度は、度原子力施設等防災対策等委託費（放射線監視結果収集）事業において上記①に関する業務を行っており、令和6年度も、令和6年度の同事業においてこれを行う予定である。</p> <p>④このため本事業では、令和6年度に新たなシステムを構築した後、令和6年度原子力施設等防災対策等委託費（放射線監視結果収集）事業の受託者と密に調整を行いつつ、年度末に、現行3システムからのデータ移行及び現行3システムが接続している外部インターフェースとの接続切り替え作業を行う。</p> <p>⑤令和7年度以降は、新たなシステムを活用して、上記①の事業内容を本事業受託者において遂行することとなる。</p>

2. 2 調達案件及びこれと関連する調達案件

	令和6年度	令和7～11年度
令和6年度原子力施設等防災対策等委託費(放射線監視結果収集)事業	 主として以下を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・放射線監視結果の収集調査 ・放射能データベースへの登録 ・データ公開用 Web ページの運営 ・各システムの維持管理 等 	
令和6～11年度原子力施設等防災対策等委託費(環境放射線データベース等に係るシステム更改及び運用・管理業務)事業	 主として以下を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・新たなシステムの構築 ・現行システムからのデータ移行 	主として以下を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・放射線監視結果の収集調査 ・放射能データベースへの登録 ・データ公開用 Web ページを含む新たなシステムの維持管理及び運営

2. 3 調達案件間の入札制限

特になし

3 情報システムに求める要件

本事業の実施に当たっては、以下4. の実施内容を不足なく実施すること。

4 本事業の実施内容

本項目のうち4. 1～4. 5については、新システムの開発に係るものとして令和6年度に実施するものであり、4. 6については、4. 1～4. 5で開発するシステムを用いて令和7年度以降に実施するものである。

4. 1 システムの設計・構築業務

4. 1. 1 業務機能要件

対象システムは、「1. 4 業務・現行情報システムの概要」及び「4. 6 放射線監視結果等の収集調査及びシステムの運用・保守」に示す業務内容（放射線監視結果の収集・データベース登録業務、Webページ「日本の環境放射能と放射線」におけるデータベースの公開・当該ページの運用及び環境放射能水準調査に係るモニタリングポストデータの収集等業務）を適正・確実かつ効率的・合理的に行うことのできるシステムとして構築する。対象システムの機能として必要と考える主な機能を以下に示す。

なお、各機能の具体的仕様については、設計時において受託者と発注者の協議により決定するが、対象業務を効率化、合理化できるその他の機能がある場合には提案すること。

(1) 全般

- ・現行3システムのメニュー（機能）を見直し、必要な機能を追加し、又は不要な機能を削除するなどして整理を行う。特に管理システム及びMPシステムに相当する部分については、基本的には現行の機能と同等のものとなるよう設計することとするが、公開システムに相当する部分については、現行の掲載情報を網羅しつつも、利用者の関心やデータ利用目的を踏まえたサイト構成となるように新設計する。
- ・現行3システムにおいてデータベースとして管理している項目の調査を行い、環境放射能（放射線）におけるデータの性質を考慮した上で不要な項目の削除や不足している項目の追加等の対応を行う。
- ・対象システムは、ジョブアプリにて実行される部分を除き、Webシステムを使用した3層構造（データベース、アプリケーションサーバ及びクライアントPC）のシステム構成とする。
- ・作業担当者の作業動線を考慮したU/I設計を採用する。
- ・作業効率化を図るため、3つのディスプレイを想定した複数タブや複数ウィンドウでの画面展開を可能とするような操作性を考慮したU/I設計を採用する。
- ・「1. 4 業務・現行情報システムの概要」及び「4. 6 放射線監視結果等の収集調査及びシステムの運用・保守」において示す業務について、作業担当者のミスを防ぎつつ、効率よく作業が実施できる構成・機能・U/Iを採用する。
- ・令和5年度の結果収集事業の受託者は、「1. 4 業務・現行情報システムの概要」に示した対象業務を効率的かつ合理的に遂行できるよう創意工夫に努めているところであり、必要に応じて、当該者にヒアリングを行うなどして、より効率的かつ合理的な構成・機能・U/Iを採用できるように努めるものとする。

(2) 共通基盤

- ・ログイン機能を実装する。ログイン機能では、ユーザ ID とパスワードによる認証を必須とし、多要素認証ができることが望ましい。
- ・指定回数連続してログインに失敗した場合には、そのユーザをロックする。
- ・ログイン時にそのユーザに付与された認証情報（権限の情報を含む）を確認し、ユーザ毎に使用できる機能を制限したメニュー画面を表示する。
- ・ログアウト機能を実装し、ログアウト時には認証情報を削除する。
- ・一定時間操作がない場合にはログアウトする。
- ・ログ出力については、全ての処理結果を対象とし、作業担当者が確認しやすい分類や表示となるよう配慮する。
- ・データベースを更新する機能（処理）や利用頻度の高い機能（処理）のログ出力先はデータベースとし、それ以外のログは共有ディスクとする。
- ・障害発生時に作業担当者がログを確認することで障害内容を判別でき、解決できるような情報を出力する。
- ・入力機能では、作業担当者への入力ミスを防止するような機能を実装する。
- ・作業担当者の操作性を向上するための入力支援機能（日付データのカレンダー選択入力、マスタから取得したコード値の選択リスト表示など）を実装する。
- ・入力対象となる放射線データは、報告書名、調査名、報告書発行機関名、試料採取機関名、試料名（分類含む）、生物名、食品名、部位名、試料採取開始日、試料採取終了日、試料採取年度、試料採取四半期、試料採取年、試料採取月、都道府県名（分類別コードを含む）、試料採取地点（地点別コードを含む）、艦船名、入港年月日、出港年月日、入港場所、採取地点（詳細）、試料採取法、試料採取面積、試料採取面積単位、試料採取層（開始）、試料採取層（終了）、試料採取層単位、試料採取量、試料採取量単位、降水量、降水量単位、分析機関名、Ca 濃度、Ca 濃度単位、K 濃度、K 濃度単位、前処理量、前処理量単位、分析供試量、分析供試量単位、前処理法、化学分離法、測定器、測定開始日、核種名、放射能濃度、放射能濃度誤差及び放射能濃度単位とし、報告書に記載のない項目については割愛してよい。
- ・緯度経度情報（DMS/DMM/DEG に対応）を入力する際、GoogleMAP や RestAPI（TKY2JGD）等を用いた作業担当者への入力支援機能を実装する。
- ・検索、登録及び更新等の処理実行時にエラーとなった場合に、どの入力項目が必須入力項目で、どの部分がエラーになっているか等を解りやすく表示し、作業に不慣れな担当者でも業務を円滑に実施できるような機能とする。

(3) 報告書管理

- ・報告書情報（報告書 No（自動採番）、報告書名、報告書発行機関 CD、調査 CD、報告都道府県 CD 及び年度等）を登録する機能を設ける。報告書を手入力した際には報告書番号を付与し、データベースに報告書情報を登録する。修正、確認（参照）又は削除も可能とする。
- ・登録した報告書情報の一覧（以下「報告書一覧」という。）を表示する。
- ・報告書一覧の中から一つを選択し、報告書情報の詳細（以下「報告書詳細」という。）を確認する。修正、確認（参照）又は削除も可能とする。

- ・報告書詳細から報告書情報に紐づく表データ・行データを登録する。修正、確認（参照）又は削除も可能とする。
- ・指定した報告書情報（複数選択可）に対し、それに紐づく表データ・行データのデータ標準化を行う。
- ・作業担当者が頻繁に使用する報告書情報に対し、お気に入り登録又は解除の指定を可能とする。
- ・入力作業中のデータを誤って公開しないようにするため、入力作業中は非公開データとして扱えるよう、非公開フラグを設け、「非公開」のステータスに一括変換する。また、入力作業が完了したデータを公開データとして扱えるよう、非公開フラグを「公開」のステータスに一括変換する。
- ・報告書のチェックリスト形式をダウンロードする（本事業受託者が、作業漏れ防止等のため自ら作成することを想定したもの。本事業受託者の作業担当者が使用する端末へのダウンロードができるようにするなどして効果的に確認作業等を行えるようにする。）。

（4）表データ管理

- ・報告書情報に紐づく表データの表示、新規作成、修正又は削除を行う。既存の表データを選択、コピーした上で新規作成することも可能とする。
- ・報告書詳細の表データ一覧から作業担当者が選択した表データの詳細を表示する。
- ・表データの詳細を表示した際、表データに紐づく行データの一覧を表示する。
- ・行データの表示項目は、入力対象項目の設定に応じて表示する。その際、行データの現在の作業状況についても併せて表示する。
- ・表データ毎の行データ一覧を Excel 出力し、ダウンロードを可能とする。
- ・表データ毎の行データ一覧の Excel を取込むことを可能とする。取込み不可の場合はエラー表示する。

（5）行データ管理

- ・表データに紐づく行データの表示、新規作成、修正又は削除を行う。既存の行データを選択し、コピーした上で新規作成することも可能とする。
- ・行データ一覧から選択した行データの詳細をダイアログで表示する。
- ・行データを修正する場合には、1行ずつ行データの詳細をダイアログで表示し、修正を行う。
- ・行データを更新した場合には、自動でデータ標準化を行う。
- ・行データ一覧を Excel 出力し、ダウンロードを可能とする。

（6）パンチデータ

- ・パンチ業者により入力、作成されたパンチデータ（入力対象のデータについては、本事業受託者が、システムへ取り込みするためのパンチデータ（CSV ファイル）作成をパンチ業者へ外注することを想定。）の取込を行う。パンチデータ取込時にエラーとなった場合には、エラー内容を表示し、作業担当者が取込エラーとなったパンチデータ（CSV）を修正して再度取込できるようにする。
- ・パンチデータ（CSV ファイル）のひな型の出力を可能とする。

（7）データ標準化

- ・報告書毎にデータ標準化（付帯データ生成、コード振込み、単位変換、記載表現の統一及び整合性確認等）を行う。
- ・報告書情報に紐づく表データ・行データが更新された場合には自動でデータ標準化を行う。
- ・手動でのデータ標準化を可能とする。
- ・データ標準化では、各項目（日付、記載試料名の統一、記載地点名の統一、公開報告値及び標準単位換算等）を算出する。
- ・データ標準化を実施した後、エラー内容を一覧表示とする。
- ・エラー内容を出力し、Excel ダウンロードを可能とする。

（8）推移グラフ表示

- ・報告書情報に紐づく表データ・行データをカテゴリ毎に検索し、当該データとその過去データを抽出して推移表とグラフを表示する。
- ・過去データの抽出範囲は、過去5年、過去10年又は任意の期間を指定可能とする。
- ・推移表のExcel及びグラフのダウンロードを可能とする。

（9）変動幅確認

- ・報告書情報に紐づく表データ・行データをカテゴリ毎に検索し、当該データと過去データを抽出して変動幅確認結果とグラフを表示する。
- ・過去データの抽出範囲は、過去5年、過去10年又は任意の期間を指定可能とする。
- ・変動幅確認結果のExcel及びグラフのダウンロードを可能とする。また、一括ダウンロードも可能とする。
- ・変動幅確認作業では、作業担当者がデータの変動要因を調査することがあるため、その調査した変動要因等を入力し、データベースで管理する。

（10）誤入力チェック

- ・報告書情報に紐づく表データ・行データをカテゴリ毎に検索し、当該データと直近過去データを抽出、比較してデータの誤入力が発生していないかを確認する。
- ・報告書情報に紐づく表データ・行データをカテゴリ毎に検索し、当該データとカテゴリ毎に設定された許容値を比較してデータの誤入力が発生していないかを確認する。
- ・閾値チェック結果を表示する。
- ・閾値チェック結果のExcelダウンロードを可能とする。
- ・許容値比較を行う上で基準となる許容値については、マスタ管理機能によりメンテナンス可能とする。

（11）データ登録状況確認

- ・報告書受付からデータ公開までの進捗状況を管理する。
- ・報告書の作業状況を一覧で表示する。報告書作業状況一覧のExcelダウンロードを可能とする。
- ・データの登録状況の推移が把握できるグラフを表示する。グラフのダウンロードを可能とする。

(1 2) MP データ収集

- ・ 47 都道府県から受信した MP データ (CSV ファイル) を収集する。
- ・ 収集した MP データ (CSV ファイル) を確認した後、データベースに登録する。その際、欠測となっているものや異常値の可能性があるもの等、正常値と異なる MP データについて識別できるように登録を行う。
- ・ 収集した MP データ (CSV ファイル) を管理する。その際、既に収集したものと新たに収集するものとを区別して管理する。

(1 3) MP データ送信

- ・ 収集した 47 都道府県分の MP データ (CSV ファイル) を取りまとめて公表システムへ送信する。
- ・ 送信するタイミング及び送信先等については任意に設定可能とする。
- ・ 送信した MP データ (CSV ファイル) を管理する。その際、既に送信したものと新たに送信するものとを区別して管理する。

(1 4) MP データ管理

- ・ 47 都道府県から受信した MP データ及び公表システムへ送信した MP データについてデータベースで管理を行う。
- ・ データベースに登録された MP データについて、参照、修正又は削除を行う。
- ・ データベースに登録された MP データを修正した場合、修正後に実行される MP データ送信機能にて自動で公表システムにデータ送信を行う。
- ・ データベースに登録された MP データについて、都道府県、モニタリングポスト及び日時等の条件で絞り込みを行い、一覧にて表示し、参照する。一覧で表示する際、欠測となっているもの、異常値の可能性があるもの及び修正済のもの等、それぞれを識別できるよう色分けなどを行う。
- ・ 参照した MP データについて、CSV 出力を可能とする。
- ・ データベースに登録された MP データ (10 分値) からモニタリングポスト毎に 1 日毎の最大値、最小値及び平均値を集計、算出してデータベースにおいて管理する。集計、算出したデータについてはウェブサイトにて公開する。MP データが修正された場合には、その都度、集計、算出した上で管理を行う。
- ・ データベースに登録された MP データ (10 分値) を用いてモニタリングポスト毎に経年変化グラフを作成する。データの抽出範囲は任意の期間を指定可能とする。作成したグラフのダウンロードを可能とする。

(1 5) MP データ監視

- ・ データベースに登録された MP データからある一定期間のデータ数、データ欠測数、最大値、最小値、平均値及び標準偏差を集計、算出し、作業担当者がそのデータ確認する。集計、算出したデータについては CSV 出力を可能とする。
- ・ MP データ収集機能及び MP データ送信機能について、正常に動作しているかどうかを定期的に監視

し、不具合が発生した場合に作業担当者に通知する。

- ・モニタリングポスト毎に MP データを監視し、一定期間継続して同一の MP データを収集した場合に作業担当者に通知する。
- ・都道府県毎の MP データを監視し、一定期間継続して MP データを収集できなかった場合に作業担当者に通知する。
- ・データベースに登録された MP データを用いてモニタリングポスト毎に経時変化グラフを作成する。作成した経時変化グラフは、作業担当者が従事する場所に大型ディスプレイ（80 インチ程度）を設置して表示する。作業担当者は定期的に大型ディスプレイに表示された経時変化グラフを確認し、MP データを監視する。

(16) ウェブサイト管理

- ・「4. 1. 2 画面要件 (2) 公開システム」に示すウェブサイトの静的コンテンツを CMS にて管理する。
- ・CMS での管理において、多言語（日本語、英語）に対応すること。

(17) マスタ管理

- ・各マスタを管理する。各マスタの登録、参照、修正又は削除を可能とする。
- ・各マスタのデータを CSV ファイル出力し、ダウンロード可能とする。

(18) クリーンアップ（ジョブアプリ）

- ・保存期限の過ぎたファイルやデータベースのデータを削除する。

4. 1. 2 画面要件

画面のデザイン及び遷移等は、現行3システムの管理システム及びMPシステムに相当する部分については、現行の機能と同等のものとなるよう設計することを基本とし、必要に応じ、業務の効率化・合理化に資する工夫を施すこととする。一方で、公開システムに相当する部分については、現行の収載情報を網羅しつつも、利用者の関心やデータ利用目的を踏まえたサイト構成となるように新設計することとする。なお、具体的・詳細な画面のデザイン及び遷移等の決定は、設計時において受託者からの提案を基に発注者との協議により行うこととする。

以下、現行3システムにおける各システムに相当する部分に関する個別の要件を示す。

(1) 管理システム

現行の管理システムの画面構成（以下表）と同等な機能を有するように設計することを基本とする。ただし、収集した放射線監視結果等のデータベース化作業を効率的・合理的に実施できるシステムとなるように設計することを第一とし、以下表に記載のないものを追加し、又は記載しているものを割愛してよいものとする。

< 現行の管理システムにおける画面構成内容 >

No	分類	画面	説明
1	共通基盤	ログイン	ユーザ ID とパスワードでログイン
2		ホーム	ログイン後のホーム画面 ユーザの権限に応じたグローバルメニューを表示
3		パスワード変更	ユーザ自身のパスワードを変更
4		ユーザマスタ	本アプリの利用ユーザのマスタをメンテ（新規登録、修正、削除）
5		認証操作履歴	認証操作履歴を検索して一覧表示
6		AP 作業履歴	AP 作業履歴を検索して一覧表示
7		稼働ログ	Web アプリの稼働ログファイルを一覧表示してダウンロード
8	報告書管理	報告書一覧	報告書を検索して一覧表示
9		報告書詳細	報告機関から受領した報告書データを入力、又は取込を行う
10		表データ	報告書情報に紐づく表データのメンテ（新規登録、修正、削除）
11		表データの Excel 取込	表データの Excel 出力を行い、その Excel を修正して取込を実行
12		データ行	表データ配下のデータ行のメンテ（新規登録、修正、削除）
13		パンチ取込	報告書にパンチデータ (CSV) をアップロードして、報告書情報に紐づく表データとデータ行の取込を実行
14		標準化	入力 (修正) もしくは取込されたデータ行は自動で標準化処理が実行
15		推移グラフ	報告書情報に紐づくデータをカテゴリ毎に分類して、各カテゴリの推移グラフと推移表を表示
16		変動幅確認	指定された報告書と過去データをカテゴリ毎に比較して過去変動幅の範囲外となる当該データを抽出
17		誤入力チェック	指定された報告書と直近過去データとの許容値を比較して許容範囲外となる報告値の当該データを抽出
18		チェックリスト	報告書のチェックリスト形式 (Excel 20 種類) をダウンロード
19		環境試料一覧	環境試料 (分析粒度) のデータ行を検索して一覧表示
20		連続測定一覧	連続測定のデータ行を検索して一覧表示
21		非連続測定一覧	非連続測定のデータ行を検索して一覧表示
22		データ登録状況確認	報告書受付からデータ公開までの進捗をステータス管理 データ登録数推移のグラフ出力 報告書受付状況一覧をリスト出力
23	マスタ管理	M 調査	報告書の調査種類を定義したマスタ
24		M 期間	報告、採取、分析、測定等の機関
25		M 機関履歴	機関の統廃合の追跡履歴
26		R 記載機関参照表	記載の機関名 (別名) から機関コードへの参照表
27		M 試料種別	試料の種別 (大分類) のマスタ
28		R 記載試料種別参照表	記載の試料種別名 (別名) から試料種別コードへの参照表
29		M 試料	試料のマスタ。試料種別 (大分類) と試料 (中分類) と記載試料名 (小分類)
30		R 記載試料参照表	記載の試料名 (別名) から試料コードへの参照表。及び生物食品部位の組合せセットを定義
31		M 試料テーブル系列	テーブル系列で入力可能な試料種別を定義
32		M 生物	試料の補足詳細としての生物マスタ

No	分類	画面	説明
33		M 食品	試料の補足詳細としての食品マスタ
34		M 部位	試料の補足詳細としての部位マスタ
35		M 都道府県	発行、採取、測定等の都道府県のマスタ
36		M 地点	地点のマスタ
37		R 記載地点参照表	記載の地点名(別名)から地点コードへの参照表。及び経度緯度の組合せセットを定義する。振込年度で世代を表現
38		M 公開用地点名変換表	公開用 DL 時に地点コードから公開用地点名に変換して出力
39		M 軍艦地点	軍艦系における港の地点
40		M 核種	分析対象の核種や、測定対象の線種のマスタ
41		R 記載核種参照表	記載の核種名(別名)から核種コードへの参照表
42		M 採取法	試料の採取方法のマスタ
43		M 天気	測定地の天気のマスタ
44		M 前処理法	試料の前処理法のマスタ
45		M 化学分離法	試料分析核種の化学分離法のマスタ
46		M 計測器	分析や測定の計測器のマスタ
47		R 記載計測器参照表	記載の計測器名(別名)から計測器コードへの参照表
48		M 単位系列	単位の系列。同系列の単位間では数値換算可能
49		M 単位	基本単位の組合せ(分子/分母)による単位マスタ
50		M 標準単位	単位項目(及び試料と核種)における指定可能な単位系列を定義。及びその単位系列における標準換算先となる単位を定義
51		M 基本単位	基本単位と換算係数のマスタ
52		R 記載基本単位参照表	M 単位の名称引当前に、記載単位名から基本単位名へ置換する(末尾一致箇所の置換)
53		R 単位文字列変換表	M 単位の名称引当前に、記載単位名から標準文字列へ置換する(部分一致箇所の置換)
54		M 集計単位	連続測定の集計期間の単位
55		M 閾値	報告値が閾値の範囲内であるかチェックするためのマスタ
56		R 記載項目参照表	パンチ取込における記載の項目名(別名)から標準項目への参照表
57		M 和暦	パンチ取込における日付項目の元号から西暦への変換定義
58		M 軍艦	軍艦のマスタ

(2) 公開システム

現行のサイト構成は以下表のとおり(1. 4. 2の表を再掲。コンテンツは日本語・英語の2か国語対応。)。利用者の関心やデータ利用目的を想定し、各利用者が欲しい情報へスムーズに到達できるようなサイト構成を検討し、サイト設計(改変)を行うこと。サイト構成の検討に当たっては、以下の点に留意し、利用者の利便性の向上に資するものとする。

- ・改変後も、基本的に現行の掲載情報(内容)をもれなく含めること。
- ・空間放射線量率のリアルタイム測定結果の表示については、現行のMPシステムで収集している以外の情報として、原子力規制庁の公表システムにおいて表示されている情報にも本サイトからアクセスできようとする。
- ・利用者を、研究者・放射線測定等に従事する地方公共団体職員とそれ以外の者(以下本節において「一般者」という。)に大別し、例えばトップページでそれぞれの者向けにサイトの入口やコ

コンテンツを分けることを検討すること。

- ・一般者向けのコンテンツについては、放射線に関する基礎情報、核種ごとの解説など、知りたいと考えられる情報へスムーズにたどり着けるようなガイドを設けることを検討すること。
- ・利用者の関心が高いと想定されるトピック的な情報（例：国外原子力事象における平時との比較等。なお、福島第一原子力発電所事故に関するモニタリング結果については、すでにポータルサイトが存在している。）について、特設ページを設けることを検討すること。
- ・上記のほか、必要に応じて掲載情報の拡充や統廃合を検討すること。

< 現行の公開システムにおけるサイト構成 >

No	第1階層	第2階層	第3階層	第4階層
1	トップページ			
2		新着情報一覧		
3			詳細ページ	
4		放射線データを活用する		
5		現在地周辺の放射線		
6		全国の放射能濃度		
7		環境放射線データベース		
8		グラフを作成		
9			空間放射線量率図	
10			空間放射線量率図の見方に関する FAQ	
11			経年変化図	
12			経年変化図の見方に関する FAQ	
13			濃度範囲図	
14			濃度範囲図の見方に関する FAQ	
15		集計表を作成		
16		調査詳細一覧		
17		食品の放射能		
18			食品から探す	
19			地域から探す	
20			核種から探す	
21			食品カテゴリー別の預託実効線量	
22			預託実効線量とは	
23		放射線に関する基礎知識を学ぶ		
24			放射能って？放射線って？	
25			身の回りの放射線	
26			環境放射線に関する用語集	
27			環境放射能測定に関する基礎知識	
28			文章で解説	
29		ライブラリー		
30		原子力艦放射能調査		
31			原子力艦出港時及び出港後調査	
32			原子力艦定期調査	
33			原子力艦放射能調査における分析結果について	
34			横須賀 ※	
35			佐世保 ※	

No	第1階層	第2階層	第3階層	第4階層
36				金武中城 ※
37				原子力艦寄港時調査 ※
38			放射能測定法シリーズ	
39			環境放射能調査報告	
40		アーカイブ		
41			東京電力福島第一原子力発電所事故関連	
42			測定データで見る「過去の出来事」	
43			2000年時点の世界の放射能濃度	
44			調査結果の出典	
45			ラドン濃度調査	
46		関連リンク集		
47		サイトマップ		
48		お問い合わせ		
49		プライバシーポリシー		
50		サイトポリシー		
51		アクセシビリティガイドライン		
52		404		
53		サイト内検索結果		
54		CMS 管理画面ログイン		
55		更新データアップロード		

※外部サイト（ページ）へのリンクを掲載。外部サイト（ページ）は、「原子力艦環境放射能モニタリングシステム運用支援及び点検修繕業務」において作成し、現行の公開システムを公表先としているため、ページ内容は現行のままとする。必要に応じ、当該事業の受託者とも連携してサイトの設計・運用を行うこと。

(3) MPシステム

現行のMPシステムの画面構成内容については以下表のとおり。これを基本とすること。

< 現行のMPシステムの画面構成内容 >

No	分類	画面	説明
1	MP データオンライン収集システム	ログイン	ユーザ ID とパスワードでログイン
2		ホーム	ログイン後のホーム画面
3		MP データ修正/照会	MP データの修正/検索して一覧表示
4		エラーデータ照会	エラーデータを検索して一覧表示
5		メッセージ照会	メッセージを検索して一覧表示
6		データ監視	監視結果を検索して一覧表示
7		MP データ集計	MP データを収集して一覧表示
8		マスタ管理（共通メニュー）	共通メニュー対象をマスタ登録
9		マスタ管理（測定 MP マスタ）	測定 MP マスタをマスタ登録
10		マスタ管理（測定項目マスタ）	測定項目マスタをマスタ登録
11		マスタ管理（基準値等マスタ）	基準値等マスタをマスタ登録
12		マスタ管理（コード名称管理マスタ）	コード名称管理マスタをマスタ登録
13		更新 MP データ送信	検索条件より MP データを送信
14	MP データメ	ログイン	ユーザ ID とパスワードでログイン

No	分類	画面	説明
15	メンテナンス	CSV ファイル出力	CSV ファイル出力画面
16		MP 情報（地点別）更新	MP 情報（地点別）更新画面
17		MP 情報（共通）更新	MP 情報（共通）更新画面

4. 1. 3 帳票要件

現行3システムの場合の帳票一覧を以下に示す。現行3システムでは、様々なファイル形式での帳票出力を可能としており、新たに構築する対象システムにおいても、現行3システムと同様の帳票となることを基本とする。ただし、公開システムに相当する部分については、新たなサイト構成に沿った形で帳票出力機能を設ける画面を改めて選定するものとする。また、管理システム及びMPシステムについては、受託者が「1. 4 業務・現行情報システムの概要」に示した対象業務を適正に、かつ確実に実行できるよう、また効率的かつ・合理的に行えるような帳票として作成することとする。

(1) 管理システム

No	機能	ファイル形式	内容
1	稼働ログ画面 ダウンロード	テキスト	稼働 LOG ファイル
2	パンチデータ出力	CSV	パンチデータのひな型、CSV バックアップ等
3	推移グラフ表示	Excel	推移表
4	変動幅確認	Excel	変動幅確認結果
5		画像	グラフの画像データ
6	誤入力チェック	Excel	許容値比較結果
7	チェックリスト出力	Excel	報告書のチェックリスト形式(Excel 20 種類) 詳細データ(S, C, N)、採取法確認表(S) 分析確認表(S, C, N)、地点確認表(S, C, N)
8	表データの出力	Excel	表データ(S, C, N)
9	標準化エラー表示	Excel	標準化エラー内容
10	行データの出力	Excel	行データ(S, C, N) ※

※S：Sample の頭文字。環境試料に係るデータ。

C：Continuous の頭文字。モニタリングポストのような連続測定に係るデータ。

N：Non-Continuous の頭文字。積算線量のような非連続測定に係るデータ。

(2) 公開システム

No	画面	ファイル形式	内容
1	現在地周辺の放射線	PNG JPEG PDF SVG CSV Excel 印刷	検索結果のダウンロード、又は印刷
2	環境放射線データベース	CSV 印刷	検索結果のダウンロード、又は印刷

No	画面	ファイル形式	内容
3	グラフを作成 空間放射線量率図	CSV 印刷	検索結果のダウンロード、又は印刷
4	グラフを作成 経年変化図	CSV 印刷	検索結果のダウンロード、又は印刷
5	グラフを作成 濃度範囲図	CSV 印刷	検索結果のダウンロード、又は印刷
6	集計表を作成	CSV	検索結果のダウンロード
7	食品の放射能	PNG JPEG PDF SVG CSV Excel 印刷	検索結果のダウンロード、又は印刷
8	ライブラリー	PDF	調査結果、報告書等のダウンロード
9	東京電力福島第一原子力発電 所事故関連	CSV 印刷	検索結果のダウンロード、又は印刷
10	測定データで見る「過去の出来 事」	PDF	参考資料のダウンロード

(3) MPシステム

No	機能	ファイル形式	内容
1	MP データ照会/修正	CSV	照会結果を CSV ファイル出力
2	エラーデータ照会	CSV	照会結果を CSV ファイル出力
3	メッセージ照会	CSV	照会結果を CSV ファイル出力
4	データ監視	CSV	照会結果を CSV ファイル出力
5	MP データ集計結果照会	CSV	照会結果を CSV ファイル出力
6	更新 MP データ送信	CSV	「更新用 MP データファイル」を作成
7	CSV ファイル出力	CSV	公開システム用 CSV ファイル出力

4. 1. 4 情報データ要件

- ① 現行3システムのデータモデルを別紙「現行3システムのデータモデル」に示す。
- ② 現行3システムのデータベースを可能な限り統合し、効率的なアクセス処理を実現すること。さらに、データベースの維持管理のためのプログラム開発を最小限に留めること。加えて、データベースを設計する上で正規化等を十分考慮し、重複するデータの発生を可能な限り抑制する設計を採用すること。
- ③ 対象システム内で共通データを扱う場合には可能な限り共通部品を使用すること。

4. 1. 5 外部インターフェース要件

対象システムを使用して行う業務のうち、他の外部システムのインターフェースを適用するものを以下に示す。これらについては、各外部システムが定めるインターフェースの仕様に従うこと（本事業を受託した者には、発注者から別途(1)及び(2)の各システム等の管理者等を紹介するため、適宜当該管理者等と調整をしながら進めていくこと。）。

(1) 47 都道府県から送信されるモニタリングポストの測定データ

- 外部システムとなる「都道府県データ収集サーバ」から送信され、MPシステムの「データ収集サーバ」で受信

No	機能	ファイル形式	内容
1	FTP データ受信	CSV	「MP データファイル」を受信

- 「MP データファイル」レイアウト (ファイル名: 「MP コード (2桁)」 + YYYYYMDD. CSV)

No	項目名	英名	識別キー	NOTNULL 属性	型	整数桁	少数桁
1	行の種別コード	SHUCODE	1	Y	英数字	2	
2	都道府県コード	PREFCODE	2	Y	英数字	2	
3	ポストの識別コード	MPCODE	3	Y	英数字	2	
4	測定終了年月日	SOKDATE	4	Y	英数字	10	
5	測定終了時刻	SOKTIME	5	Y	英数字	5	
6	測定器の状態コード	STSCODE		N	英数字	1	
7	データ積算時間	DTSEKI		N	英数字	2	
8	線量率 (μ Gy/h)	SENRYO	※1	N	数値	4	3
9	計数率 (cps)	KEISU	※1	N	数値	4	3
10	備考	BIKO		N	日本語	200	

(2) 公表システムに送信するモニタリングポストの測定データ

- MPシステムの「データ収集サーバ」から外部システムの「公表システム」へ送信

No	機能	ファイル形式	内容
1	FTP データ送信	C S V	「公表システム送信用 MP データファイル」を送信
2	FTP データ送信	C S V	「公表システム送信用エンドファイル」を送信

- 「公表システム送信用 MP データファイル」レイアウト (ファイル名: MPYYYYMMDDHHMM. CSV)

No	項目名	英名	識別キー	NOTNULL 属性	型	整数桁	少数桁
1	行の識別コード	SHUCODE	1	Y	英数字	2	
2	都道府県コード	PREFCODE	2	Y	英数字	2	
3	ポストの識別コード	MPCODE	3	Y	英数字	2	
4	測定終了年月日	SOKDATE	4	Y	英数字	10	
5	測定終了時刻	SOKTIME	5	Y	英数字	5	
6	測定器の状態コード	STSCODE		N	英数字	1	
7	データ積算時間	DTSEKI		N	英数字	2	
8	線量率 (μ Gy/h)	SENRYO		N	数値	4	3
9	計数率 (cps)	KEISU		N	数値	4	3
10	備考	BIKO		N	日本語	200	

※1 行目: ヘッダレコード

※最終行: エンドレコード

・ヘッダレコード

No	項目名	英名	識別キー	NOTNULL属性	型	整数桁	少数桁	備考
1	行の識別コード	SHUCODE		Y	英数字	2		「88」固定
2	作成年月日	CREDATE		Y	英数字	8		
3	作成日時	CRETIME		Y	英数字	6		

・エンドレコード

No	項目名	英名	識別キー	NOTNULL属性	型	整数桁	少数桁	備考
1	行の識別コード	SHUCODE		Y	英数字	2		「89」固定
2	データ件数	DATECNT		Y	英数字	5		

・公表システム送信用エンドファイルレコード（ファイル名：MPYYYYMMDDHHMM.END）

No	項目名	英名	識別キー	NOTNULL属性	型	整数桁	少数桁
1	ファイルサイズ			Y	英数字	8	

(3) 管理システムへ取り込むデータ

・管理システムの「クライアントPC」から管理システムの「Web アプリ」へのアップロード

No	機能	ファイル形式	内容
1	パンチデータ取込	CSV	報告書情報に紐づく表データ・行データの一括登録（全置換）
2	表データの取込	Excel	報告書情報に紐づく表データ毎の行データの一覧を一括登録（全置換）

4. 1. 6 規模要件

(1) 利用者数

対象システムの利用者は、結果収集事業受託者の担当職員である。公開システムについては、外部利用者がインターネット経由でウェブサイトアクセスするため、放射能災害等が発生した場合などの利用者の変動を想定する必要がある。

- ①システム管理者：2名
- ②業務担当者：9名
- ③公開システム利用者：200人/日

(2) データ量

対象システムのデータ量を以下に示す。

①47都道府県等からのデータ受信（1日）

・全体で約300Mbyte

※47都道府県の295拠点から10分おきに約7Kbyteのファイルを受信する想定

(7Kbyte × 295拠点 × 144回/日 = 約300Mbyte)

②公表システムへのデータ送信（1日）

・約150Mbyte

※10分おきに送信するファイルのサイズは送信する時間帯により異なる(約40Kbyte～約2Mbyte)

③管理システムへのデータ登録件数(年)

- ・約22万件

※MPシステムから連携される約10万件を含む

④管理システムのデータ容量

- ・データ領域使用量:200Gbyte
- ・DBデータ領域使用量:5Gbyte

⑤公開システムのデータ容量

- ・データ領域使用量:200Gbyte
- ・DBデータ領域使用量:7Gbyte

⑥MPシステムのデータ容量

- ・データ領域使用量:1200Gbyte
- ・DBデータ領域使用量:60Gbyte

4. 1. 7 性能要件

業務担当者にとって快適な作業を実現でき、システムの日常運用を円滑かつ速やかに進めることができる処理速度を実現すること。基本的には現行以上の処理速度を実現すれば問題ない。発注者が重要と考える処理速度を以下に示す。

- ①「4. 1. 1 業務機能要件」の(2)～(15)の1000件当たりのサーバ内処理時間の目標値は、平常時で2秒以内とする。
- ②ブラウザへの画面表示時間の目標値は、平常時で1秒以内とする。
※ネットワーク帯域不足による遅延は除く
- ③47都道府県分のMPデータを受信し、公表システムへデータを送信するまでの時間の目標値は、平常時で2分以内とする。

4. 1. 8 信頼性要件

以下の内容を実現するための構成を採用すること。

- ①障害に伴うシステム停止を可能な限り発生させないような構成とすること。
- ②対象システムはクラウドサービスを使用し、可能な限りクラウド環境にて構築すること。また、クラウドサービスは、ISMAPクラウドサービスリスト(※)に登録されたものの中から選定すること。
※https://www.ismap.go.jp/csm?id=cloud_service_list
- ③対象システムの特重要な公開機能(Webサーバ)、収集機能(収集サーバ)、データベース機能(データベースサービス)、閉域網との接続インターフェース及び負荷分散装置については、冗長化を実施して早期復旧可能な構成とすること。
- ④使用するクラウドサービスが停止(リージョン障害等)した場合でも対象システムの環境を復旧できるよう、復旧に必要なデータを別リージョンにバックアップしてデータを消失させない構成とすること。

⑤業務に関連するネットワーク回線を可能な限り冗長化すること。

・47 都道府県とクラウド環境間の回線

※47 都道府県に設置する機器は、オンサイトでの障害復旧（交換）が必須となる。

・結果収集事業受託者とクラウド環境間の回線

⑥自動的にバックアップを取得すること。バックアップの取得はシステム利用が少ない時間帯とし、バックアップのためのシステム停止はできない。確実な復旧を可能とするために複数世代のバックアップを管理し、復旧時は可能な限り最新の状態に復旧すること。

4. 1. 9 拡張性・柔軟性要件

①CPU、メモリ及びディスク容量の増強が実施できること。増強が必要な場合に可能な限りダウンタイムが発生しない構成を採用すること。

②対象システムのアプリケーション構成は、機能毎に独立性を高めることにより、機能改善や機能追加、保守作業に対する影響範囲を局所化でき、システムの改変に対する柔軟性が確保できるように配慮すること。

4. 1. 10 システムの中立性要件

対象システムで使用する技術や開発言語等は、可能な限り特定の製品やベンダに依存しないものを採用すること。

4. 1. 11 業務継続性要件

(1) 業務継続に関わるリスク想定

業務継続に係る以下のリスクに対し、業務継続を実現するための構成や方法を採用すること。

①地震、火災、風水害等、攻撃等による直接的な結果収集事業受託者環境及びクラウド環境の損壊

②結果収集事業受託者環境周辺のライフライン（電力、通信、交通等）の機能不全による対象システムの長時間の停止

③新型コロナウイルス等によるパンデミック、人員や交通機関の被災等によって業務担当者が業務に従事できなくなる場合

(2) 業務再開に当たっての要件

クラウド環境が復旧した後、システム管理者と業務担当者がリモートアクセスにてクラウド環境にアクセスすることにより、業務を継続する。

4. 1. 12 運用性要件

(1) システム操作・監視要件

①対象システムの運用時間は、24 時間 365 日とする。

②システム障害の早期発見を行うため、運用監視ツール等を使用し、対象システム内のサーバやネットワーク機器を監視し、異常時にはシステム管理者にメールで通知すること。

③公開システムにおけるコンテンツの改ざんを監視し、改ざんが検知された場合には直ちに元の状態

に復旧させ、同時にシステム管理者にメールで通知すること。

(2) データ管理要件

- ①管理するデータは、可能な限りデータベースか共有ディスクに格納すること。
- ②24 時間 365 日無停止での運転を行うため、システムを停止しないオンラインバックアップができること。
- ③プログラム、データ及び各種ログ等の特性に応じ、日次又は定期的にバックアップができること。

4. 1. 13 保守性要件

(1) ソフトウェア保守要件

- ①ソフトウェア保守受付対応は、土日祝祭日を除く平日 9 時から 17 時までとする。
- ②検証環境を利用し、不具合発生時に早急な修正対象の特定と修正計画が可能な仕組みを用意すること。
- ③ソフトウェアのバージョン管理を適切に行える仕組みを用意すること。
- ④セキュリティホールが発見された場合の設定変更やセキュリティアップデートの適用等の対策、その実施に先立つ調査・検証を適宜行うことを想定した仕組みや手順を用意すること。
- ⑤結果収集事業受託者は、効率的かつ合理的に業務を遂行するために常に創意工夫を繰り返し、その都度システムの機能改修を実施している。対象システムのソフトウェア保守においては、この機能改修を確実に実施できる体制を用意すること。

(2) ハードウェア・クラウドサービス保守要件

- ①ハードウェア保守受付対応は、土日祝祭日を除く平日 9 時から 17 時までとする。
- ②クラウドサービスの保守受付対応時間は、24 時間 365 日とする。
- ③47 都道府県及び結果収集事業受託者の環境においては、作業者を派遣するオンサイト保守とすること。
- ④公開機能 (Web サーバ)、収集機能 (収集サーバ)、データベース機能 (データベースサービス) については、OS 及びソフトウェアに対するパッチの適用等でサービスが停止しないように考慮すること。

4. 1. 14 情報セキュリティ要件

(1) 一般セキュリティ要件

以下の各セキュリティ要件は発注者が求める必須要件であるが、全てに具体的な実現方法を提案すること。また、更に良い機能等があれば加えて提案すること。

①主体認証

- ・対象システムにアクセスするシステム管理者や業務担当者等の一人一人を識別・認証する機能を有すること。
- ・ログイン手段について、長さ又は複雑さの要件を満たさないパスワードの設定を制限する機能を有すること。連続してログインに失敗した際にアカウントを一時的に無効化する機能を備えること。また、これらの他に不正なログインの試行に対する機能として、必要と考える機能があればそれを備え

ること。

②権限管理

- ・対象システムにアクセスするシステム管理者や業務担当者等が用いるアカウントの管理（登録、更新、停止及び削除等）を行うための機能を有すること。

③アクセス制御

- ・システムにおけるそれぞれの職務・役割（システム管理者、業務担当者等）に応じて、利用可能なシステムの機能、アクセス可能なデータ、実施できるデータの操作等を制限する機能を有すること。

④ログの取得・管理

- ・システムの利用記録、操作及び例外事象等の発生に関するログを取得すること。また、十分なストレージ容量を確保し、取得したログを保管すること。なお、ログの削除は行わないものとする。ストレージ容量が確保できない場合は、利用頻度の低いログデータは圧縮して保存する。
- ・ログの不当な消去や改ざんを防ぐため、アクセス制御機能を備えること。
- ・ログに記録される時刻にずれが生じないように、システム内の機器の時刻を同期する機能を備えること。
- ・ログ出力先の容量不足等によりログが出力できなくなる事象が発生した場合、速やかに通知する機能を備えること。
- ・不正侵入や不正行為の有無を確認できる機能を備えること。

⑤データの暗号化

- ・不正なアクセスや閲覧を防ぐため、アクセス制御機能に加えてデータの暗号化が必要な場合には、暗号化を行った上でデータを保存すること。パスワードに係るデータについては、最低限、暗号化した上でデータベースに格納すること
- ・暗号化に使用するアルゴリズムは、原則として「電子政府推奨暗号リスト（※）」に記載されているものの中から選択すること。

※<https://www.cryptrec.go.jp/list/cryptrec-ls-0001-2012r6.pdf>

⑥不正プログラム対策

- ・不正プログラム（ウイルス、ワーム及びボット等）の感染を防止する機能については、全てのサーバとクライアントPCに導入すること。
- ・不正プログラムの感染を防止する機能は、新たに発見される不正プログラムに対応するための更新を行い、効果を維持することが可能であること。
- ・不正プログラムの感染を防止する機能の動作状況及び更新状況を一元管理する機能を備えること。

⑦標的型攻撃対策

- ・システムに対する想定しない通信プロトコルによる通信や許可されていないコマンドやデータの入力を拒否する機能を備えること。
- ・認証を行う管理サーバとクライアントPC間の通信やFTPデータの送受信のための外部サーバとの通信等、対象システムで使用する通信を最小限に限定し、可能な範囲で暗号化する機能を設けること。
- ・外部からアクセスに対して、WAFを導入して対策を実施すること。また、併せてDDoS攻撃に対しても対策を実施すること。

- Web サーバのコンテンツ改ざん防止対策を実施すること。
- 上記の機能が異常を検知した場合、即時にシステム管理者等に電子メールで異常の検知を通知する機能を備えること。

(2) アプリケーション開発におけるセキュリティ要件

受託者はアプリケーションの開発において以下の点を考慮すること。

- ①アプリケーションに不正プログラム（ウイルス、ワーム及びボット等）が含まれないこと。
- ②他に手段がない場合を除き、実行形式プログラムの形式でコンテンツを提供しないこと。
- ③コンテンツの改ざん等がなく、真正なものであることを確認できる手段（電子証明書等）がある場合には、利用者にそれを提供すること。
- ④脆弱性が存在するバージョンの OS やソフトウェア等の利用で、セキュリティ水準を低下させないこと。
- ⑤対象システムを利用するにあたって、利用者又はその他の者に関する情報が、本人の意思に反して第三者に提供されるなどの機能を組み込まないこと。

4. 2 開発するシステムの稼働環境要件

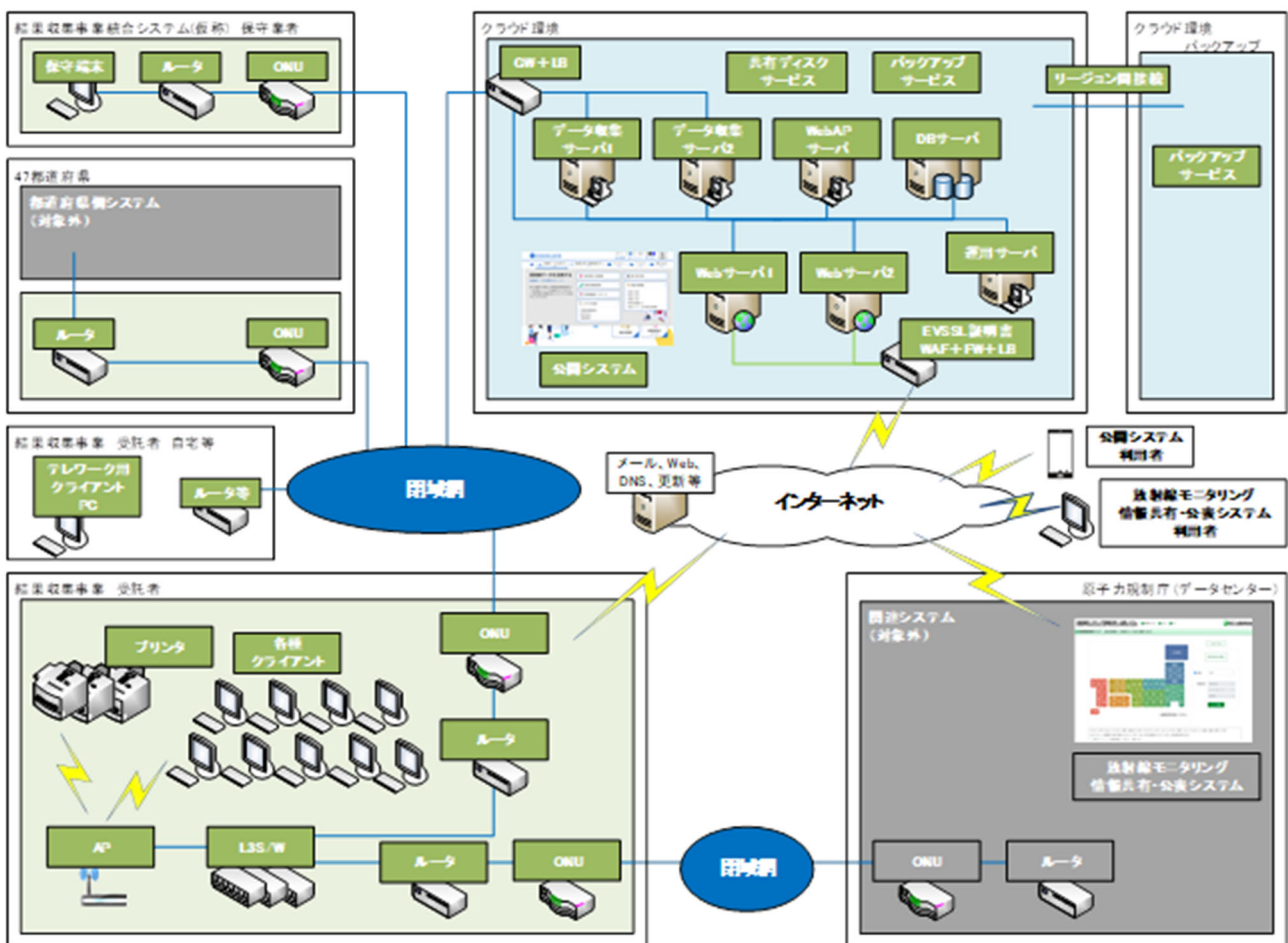
4. 2. 1 全体構成

対象システムを構成するクラウド環境、ハードウェア、ネットワーク及びソフトウェアの構成を提案し、調達及び設置調整導入作業を実施すること。以下の事項について、対象システムを構築するにあたって最適な構成を提案すること。

- ①システム構成（クラウド環境、ハードウェア及びネットワーク）
- ②ソフトウェア構成

参考までに、発注者が想定しているシステム構成（イメージ）を以下に示す。

【発注者が想定している本番環境のシステム構成（イメージ）】



4. 2. 2 システム構成

(1) クラウド環境、ハードウェア及びネットワークの稼働環境について設計書に明記し、併せて主要コンポーネントについても記述すること。システム構成に係る要件を以下に示す。

- ・対象システムの運用時間は、24 時間 365 日とする。
- ・公開機能（Web サーバ）、収集機能（収集サーバ）、データベース機能（データベースサービス）、閉域網との接続インターフェース及び負荷分散装置の冗長化を実施すること。

- ・公開機能（Web サーバ）、収集機能（収集サーバ）、データベース機能（データベースサービス）については、OS 及びソフトウェアに対するパッチの適用等でサービスが停止しないように考慮すること。
 - ・対象システム内の時刻同期を実施すること。
 - ・都道府県側システム（47 カ所）から同一名称のファイルを FTP にて受信するため、ファイルの上書き等で受信ファイルが消失しない管理方法を実現すること。
 - ・公開システム用の SSL 証明書は、EVSSL 証明書を使用すること。
 - ・外部からのアクセスに対して、WAF や F/W によるセキュリティ対策を実施すること。併せて DDoS 対策も実施すること。
 - ・システム利用の少ない時間帯に自動的にバックアップを取得すること。バックアップのためのシステム停止はできない。確実な復旧を可能とするために複数世代のバックアップを管理し、復旧時は可能な限り最新の状態に復旧すること。
 - ・使用するクラウドサービスが停止（リージョン障害）した場合のデータ消失に備え、対象システム復旧に必要なデータは別リージョンにバックアップすること。
 - ・CPU、メモリ及びディスク容量の増強が実施できること。増強が必要な場合に可能な限りダウンタイムが発生しない構成を採用すること。
 - ・システム障害の早期発見を行うため、運用監視ツール等を使用して対象システム内のサーバやネットワーク機器を監視し、異常時にメール通知ができること。
 - ・全てのサーバからアクセスできる共有ディスクを用意すること。
 - ・業務用のクライアント PC はノート PC を 9 台用意し、各クライアント PC より 3 台のモニタに接続して業務を実施できること。また、無線 LAN に対応すること。なお、3 台のモニタを使用する場合にはクライアント PC 本体の画面は使用できなくても良いものとする。
 - ・用意したクライアント PC9 台から結果収集事業受託者が自宅等でリモートワークを実施する際、クラウド環境にアクセスして業務を実施できること。
 - ・結果収集事業受託者内に設置するプリンタは 3 台とし、無線 LAN に対応すること。また、1 台は画像データの取込ができること。
 - ・結果収集事業受託者内のネットワーク環境を構築すること。
 - ・47 都道府県、結果収集事業受託者、リモートワーク利用者、クラウド環境及び保守業者等を結ぶネットワークを構築すること。47 都道府県と結果収集事業受託者とを結ぶ回線については冗長化すること。
- (2) クラウド環境については、本番環境と検証環境を用意すること。検証環境については、OS やアプリケーションのバージョンアップ及びパッチ適用等の本番環境への作業を検証する目的で利用するため、本番環境と同等の機能を有すること。
- (3) クラウド環境について、運用開始までに、本番環境については 9 か月以上、検証環境については 4 か月以上の利用を想定すること。また、両環境共に、運用開始までにかかる利用料についても本調達に含めること。

(4) 47 都道府県のネットワーク移行については、運用開始までに 4 ヶ月以上かかるものと想定し、移行期間中の回線費用についても本調達に含めること。

(5) 本書の内容を鑑み、最適なクラウド環境、ハードウェア及びネットワークの構成を提案すること。

4. 2. 3 ソフトウェア構成

(1) サーバやクライアント PC 等の基本ソフトウェア構成やミドルウェア環境等について設計書に明記すること。ソフトウェアやミドルウェアに係る要件を以下に示す。

- ・ CMS を導入して公開システムの静的コンテンツを管理すること。また、CMS は日本語と英語の 2 ヶ国語に対応すること。
- ・ 公開システムにおけるコンテンツの改ざんを監視し、改ざんが検知された場合には直ちに元の状態に復旧させ、同時にシステム管理者にメールで通知すること。
- ・ 全てのサーバとクライアント PC にセキュリティ対策ソフトウェアを導入し、定期的なアップデート及び一元管理が実施できること。
- ・ 全てのクライアント PC に「2.5.1 管理システム」の「クライアント PC 用ソフトウェア」と同じ機能を有するソフトウェアを導入すること。
- ・ 脆弱性が存在するバージョンのソフトウェアを使用しないこと。
- ・ ソフトウェアのバージョン管理を適切に行えること。

(2) 本書の内容を鑑み、最適なソフトウェア及びミドルウェアを提案すること。

4. 3 テスト作業要件

4. 3. 1 テスト仕様書の作成

実施する運用試験、セキュリティテストについて、テスト工程毎に実施内容を記載したテスト仕様書を作成し、提出すること。また、発注者が主体となって実施する受入テストについては支援を行うこと。テスト仕様書に記載すべき内容を以下に示す。なお、単体テストについてはこの限りではない。

- ①テスト環境（テストで使用する回線・機器構成、テストの範囲）
- ②テストに関するツール類（開発するプログラムの概略仕様も含め）
- ③テストデータ
- ④評価指標

4. 3. 2 テスト実施要件

(1) テスト工程共通要件

各テストの工程において共通する要件を以下に示す。

- ①受託者は、テストの管理主体としてテストの管理を実施すると共に、その結果と品質に責任を負い適切な対応を行うこと。
- ②受託者は、発注者及び関連する他システムに係る業者等との作業調整を行うこと。
- ③受託者は、発注者に対し、定期進捗報告及び問題発生時の随時報告を行うこと。

- ④テストを行うため、一連のテストケース（入力、出力及びテスト基準）、テストシナリオ（例外処理を含む）、テストデータ、テスト評価項目及びテスト手順について、テスト実施前に作成すること。
- ⑤テスト終了時に、実施内容、品質評価結果及び次工程への申し送り事項等について、テスト結果報告書を作成すること。
- ⑥他システム（4. 1. 5に記載のとおり。）との接続試験を実施する場合には、発注者や他システムの開発及び保守業者等と十分な調整を図り、受託者の負担と責任において実施すること。
- ⑦テストに必要なプログラム類の開発や用意を行うこと。

（2）テストデータ要件

テストにおいて使用するテストデータに係る要件を以下に示す。

- ①受入テスト以外のテストデータは、原則として受託者において用意すること。
- ②テストデータの管理は、受託者が責任を持って行うこと。使用したテストデータは、テスト工程毎のテスト計画書にテストデータの種類等を記載し、テスト結果と共に媒体で納入すること。

（3）テスト環境要件

テスト環境に係る要件を以下に示す。

- ①テスト及び受入テストに必要な環境は、受託者の責任において準備し、本番環境にて実施すること。
- ②テスト環境における受託者のセキュリティ要件は「9 契約条件等」の記述に従うこと。

（4）テスト要件

テストに係る要件を以下に示す。

- ①ソフトウェアが仕様に適合し、かつ本番環境で利用可能であることを確認できる評価指標を設定した上でテストを実施すること。
- ②性能及び負荷のテストにおいては、本番環境と同様の環境により相応の負荷等をかけ、問題が発生しないことを確認すること。
- ③テストでは、以下の項目について確認を行うこと。

1) 機能性

- ・システムの機能が、正常系と異常系共に仕様書どおりに動作すること。
- ・他システムとの業務連携処理が正常に機能すること。
- ・情報セキュリティ要件を満たしていること。

2) 信頼性

- ・信頼性要件を満たしていること。
- ・障害が発生した際の回復処理が適切であること。

3) 操作性

- ・要件どおりに動作し、利用者が利用しやすいこと。

4) 性能

- ・各処理の応答時間、スループットが適切であること。
- ・システムの限界条件（データ量、処理量）下で、正常に動作すること。

(5) セキュリティテスト要件

セキュリティテストに係る要件を以下に示す。

- ①開発したソフトウェアについて、想定範囲外の入力を拒否できない脆弱性を狙った攻撃等の既知の手法による攻撃(バッファオーバーフロー、SQL インジェクション、コマンドインジェクション、セッションハイジャック、クロスサイトリクエストフォージェリ及びクロスサイトスクリプティング等)が試みられた場合に、システムのセキュリティに影響を及ぼさないことを確認すること。
- ②システムの動作環境又は動作前提であるクラウド環境、ハードウェア及びソフトウェアについて、既知の脆弱性が存在しないこと、既知の攻撃手法に対して脆弱な設定が行われていないことを確認すること。
- ③セキュリティテストにおいて発見された脆弱性及び当該脆弱性に関して実施した対応について、テスト結果報告書等に記載すること。
- ④上記③のセキュリティテストは、第三者機関により実施すること。

(6) 受入れテスト支援

発注者又は結果収集事業受託者が主体的に実施する受入テストに係る要件を以下に示す。

- ①受入テストにおける具体的な手順及び結果を記入するための受入テスト手順書を作成すること。受入テストにおいては、システムの操作に精通していない職員でも分かりやすいテストとなるように工夫すること。
- ②受入テストは発注者又は結果収集事業受託者が主体的に行うこととなるが、発注者の要求に応じて受入テストを支援するための要員を確保すること。
- ③受入テストで必要となるテストデータについて準備するための支援を行うこと。
- ④受入テストで確認された障害については受託者が対応方針を提示し、発注者の承認を得ること。
- ⑤発注者に承認された対応方針に従い、プログラム及びドキュメント等を修正すること。

4. 4 情報システムの移行

移行計画書に以下の要件を具体的に記述し、それに基づき発注者、令和6年度結果収集事業の受託者及び47都道府県担当者の了承を得ながら、移行にあたって必要となる全ての作業を実施すること。令和6年度結果収集事業の受託者とは、十分に調整を行い、移行作業を行うこと。

- ①現行3システムからの情報やデータに関しては、結果収集事業受託者又は現行3システムの保守業者から一般的なファイル形式にて抽出・提供される。受託者は、当該データを受領することを前提に、必要に応じて対象システムのデータベースへの移行プログラムの設計・開発、移行後のデータに関する正当性確認プログラムの設計・開発等移行にあたって必要となる全ての作業を実施すること。
- ②受託者は、現行3システムで利用している情報やデータの全てを対象システムのデータベースや共有ディスク等へ移行すること(データ量の目安は4.1.6(2)に記載のとおり)。
- ③移行は、令和7年3月21日までに実施すること。

4. 5 システム運用保守要件

(1) システム運用保守設計要件

対象システムの特性を考慮した上で、システム運用保守設計を行い、発注者の承認を得ること。

(2) システム運用保守ドキュメント

以下のドキュメントを作成すること。

①システム運用保守設計書

システムを安定して運用するために、システムの特徴を考慮し、想定される障害パターンをまとめた資料。

②保守体制図・連絡網

保守業務を実施するのに望ましい保守体制を記述した資料。

③メンテナンス手順書

各機器やクラウドサービスのメンテナンス方法をまとめた資料。

④保守対応手順書

①システム運用保守設計書に記述された障害パターンに対する具体的な対応方法を記述した資料。

4. 6 放射線監視結果等の収集調査及びシステムの運用・保守

以下の手順で、放射線監視結果等の収集管理を行う。

(1) 環境放射線データの収集

以下の公開される報告書、システム等から環境放射線データを収集する。収集を行うこと。収集するデータの内容については、環境放射線データベースのサイト（※）を参照。

※<https://www.kankyo-hoshano.go.jp/data/database/>

① 放射線監視結果報告書（作成者：24 道府県）

参考：令和4年度結果収集事業における本件に係る入力データ件数は71,000件程度。以下のサイトにリンクされる24道府県のサイト等のデータを収集する。なお、各年度に24道府県でそれぞれに公表される放射線監視結果報告書（最終）は、基本的に前年度の放射線監視結果をまとめたものである。

[原子力規制庁サイト：「原子力施設周辺の道府県等における環境放射線モニタリングデータ」]

<https://radioactivity.nra.go.jp/ja/contents/11000/10053/view.html>

② 海洋放射能調査結果報告書（作成者：原子力規制庁）

参考：令和4年度結果収集事業における本件に係る入力データ件数は9,000件程度。以下のサイトに掲載されるデータを収集する。各年度とも、前年度の原子力施設等防災対策等委託費（海洋環境における放射能調査及び総合評価）事業にて同事業の受託者が調査したデータから収集する。

[原子力規制庁サイト：「海洋環境における放射能調査及び総合評価」]

<https://radioactivity.nra.go.jp/ja/list/563/list-1.html>

③ 環境放射能水準調査における計測データ(作成者：原子力規制庁)

参考：令和4年度結果収集事業における本件に係る入力データ件数は21,000件程度。原子力規制庁が提供する、前年度の原子力施設等防災対策等委託費（環境放射能水準調査（放射能分析））事業にて同事業の受託者が調査したデータや、前年度の原子力施設等防災対策等委託費「環境放射能水準調査」事業にて47都道府県が調査したデータから収集する。

④ 環境放射能水準調査におけるモニタリングポストによる空間線量率

環境放射能水準調査（47都道府県を対象とした環境中の放射能の水準を調査する委託事業）により各都道府県に設置しているサーバから、モニタリングポストデータオンライン収集システム（4.1等により新システムを開発した後は当該新システム）を通じ、モニタリングポストのリアルタイムの測定結果を収集する。

⑤ その他

必要に応じ、原子力規制庁が指定する報告書等からデータを収集する。報告書等の指定は、契約締結後に原子力規制庁担当者から指示する。

参考までに、令和4年度結果収集事業において収集した報告書等の一覧を以下に示す。

発行者	報告書等の名称	発行年月	収集年月	公開年月
北海道	環境放射線 泊発電所周辺環境放射線監視結果報告書 令和3年度第1四半期	令和3年9月	令和4年4月	令和4年9月
	環境放射線 泊発電所周辺環境放射線監視結果報告書 令和3年度第2四半期	令和3年12月	令和4年4月	令和4年9月
	環境放射線 泊発電所周辺環境放射線監視結果報告書 令和3年度第3四半期	令和4年3月	令和4年5月	令和4年9月
	環境放射線 泊発電所周辺環境放射線監視結果報告書 令和3年度第4四半期	令和4年6月	令和4年7月	令和4年9月
青森県	原子力施設 環境放射線調査報告書 データ集（令和3年度報）	—	令和4年9月	令和4年12月
宮城県	令和3年度 女川原子力発電所環境放射能調査結果	令和4年9月	令和4年11月	令和5年1月
福島県	令和3年度 原子力発電所周辺環境放射能測定結果報告書	—	令和5年1月	令和5年2月
茨城県東海地区環境放射線監視委員会	環境放射線監視季報 第196報・第197報（令和3年度第1四半期・令和3年度第2四半期）	—	令和4年12月	令和5年2月
	環境放射線監視季報 第198報・第199報（令和3年度第3四半期・令和3年度第4四半期）	—	令和4年12月	令和5年2月
神奈川県	神奈川県 令和3年度空間放射線測定結果	—	令和5年1月	令和5年2月
新潟県、東京電力ホールディングス(株)	令和3年度 柏崎刈羽原子力発電所周辺環境放射線監視調査結果報告書	令和4年9月	令和5年2月	令和5年3月

発行者	報告書等の名称	発行年月	収集年月	公開年月
富山県	富山県環境放射線モニタリング結果報告書 (令和3年度)	—	令和4年6月	令和4年9月
石川県	志賀原子力発電所周辺環境放射線監視結果報告書 令和3年度 年報	令和4年10月	令和5年1月	令和5年2月
福井県環境放射能測定技術会議	原子力発電所周辺の環境放射能調査 2021年度年報 (令和3年)	令和4年10月	令和4年10月	令和5年1月
岐阜県	岐阜県 令和3年度 空間放射線量モニタリングデータ	—	令和4年8月	令和4年9月
静岡県環境放射能測定技術会	浜岡原子力発電所周辺環境放射能調査結果 第193号 (調査期間 令和3年4月～令和4年3月)	令和4年6月	令和5年1月	令和5年2月
滋賀県	滋賀県 令和3年度 環境放射線測定結果	—	令和4年8月	令和4年9月
京都府	高浜発電所及び大飯発電所環境影響監視結果 (令和3年度)	令和5年1月	令和5年2月	令和5年3月
大阪府危機管理室	環境放射線監視結果報告書 令和3年度 年度報 (令和3年4月～令和4年3月分)	令和5年1月	令和5年2月	令和5年2月
鳥取県	鳥取県 令和3年度環境放射線等測定結果 (島根原子力発電所及び人形峠環境技術センター周辺)	令和4年10月	令和4年11月	令和4年12月
島根県	令和3年度 島根原子力発電所周辺環境放射線等調査結果	令和4年8月	令和4年9月	令和4年11月
岡山県	令和3年度 (2021年度) 人形峠周辺の環境放射線等測定報告書 第44号	令和4年9月	令和4年9月	令和4年11月
山口県	山口県 令和3年度 放射線監視事業調査結果	—	令和4年8月	令和4年9月
愛媛県	令和3年度 伊方原子力発電所周辺環境放射線等調査結果	令和4年8月	令和4年9月	令和4年11月
福岡県保健環境研究所	玄海原子力発電所周辺環境放射線監視調査結果報告書 (令和3年度) 環境試料の核種分析結果	—	令和5年1月	令和5年2月
佐賀県	玄海原子力発電所の運転状況及び周辺環境調査結果 (年報) (令和3年度)	令和4年9月	令和4年10月	令和4年11月
長崎県環境保健研究センター	平常時環境放射線モニタリング調査結果 (令和3年度)	—	令和4年9月	令和4年11月
鹿児島県	川内原子力発電所 周辺環境放射線調査結果報告書 (令和3年度 年報)	令和4年9月	令和4年10月	令和4年12月
海洋生物環境研究所	令和3年度 原子力施設等防災対策等委託費 (海洋環境における放射能調査及び総合評価) 事業 調査報告書	令和4年3月	令和4年6月	令和4年10月
47都道府県	令和3年度環境放射能水準調査結果報告書	—	令和4年6月	令和4年8月
日本分析センター	令和3年度 原子力施設等防災対策等委託費 (環境放射能水準調査 (放射能分析)) 事業報告書	令和4年3月	令和4年4月	令和4年7月
	令和4年度 原子力施設等防災対策等委託費 (環境放射能水準調査 (放射能分析)) 事業報告書 (速報)	令和5年1月	令和5年1月	令和5年2月

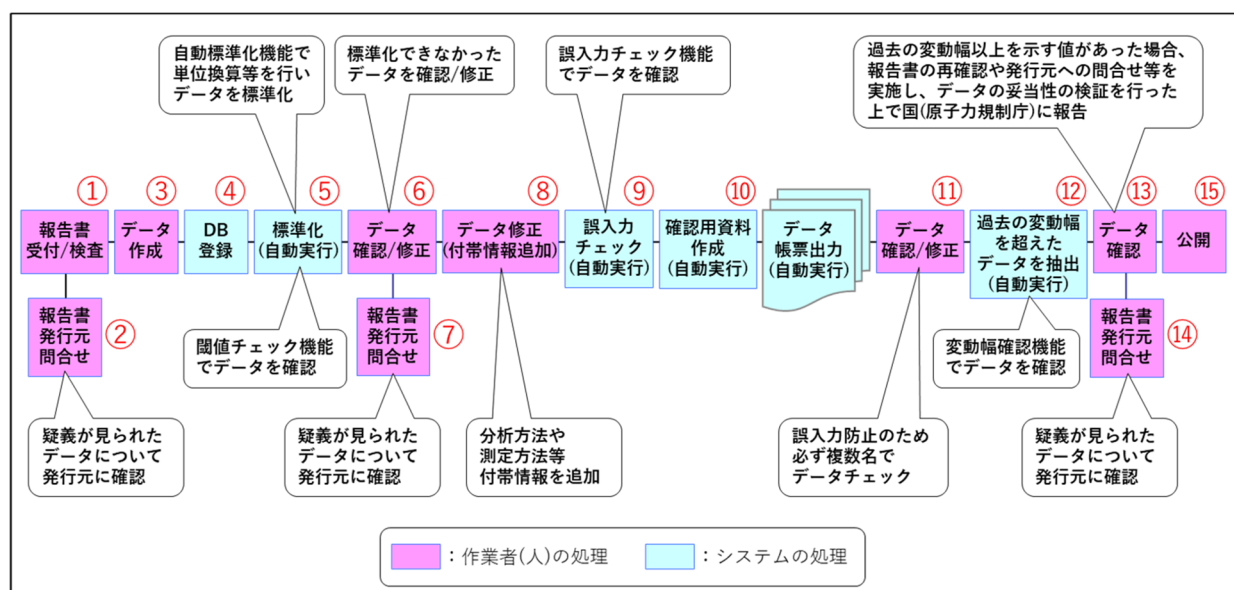
発行者	報告書等の名称	発行年月	収集年月	公開年月
	令和3年度 環境試料中の放射能測定業務	令和4年1月	令和4年5月	令和4年8月
47 都道府県	環境放射能水準調査におけるモニタリングポストによる空間線量率			
	令和4年3月 測定分	—	—	令和4年4月
	令和4年4月 測定分	令和4年4月	令和4年4月	令和4年5月
	令和4年5月 測定分	令和4年5月	令和4年5月	令和4年6月
	令和4年6月 測定分	令和4年6月	令和4年6月	令和4年7月
	令和4年7月 測定分	令和4年7月	令和4年7月	令和4年8月
	令和4年8月 測定分	令和4年8月	令和4年8月	令和4年9月
	令和4年9月 測定分	令和4年9月	令和4年9月	令和4年10月
	令和4年10月 測定分	令和4年10月	令和4年10月	令和4年11月
	令和4年11月 測定分	令和4年11月	令和4年11月	令和4年12月
	令和4年12月 測定分	令和4年12月	令和4年12月	令和5年1月
	令和5年1月 測定分	令和5年1月	令和5年1月	令和5年2月
	令和5年2月 測定分	令和5年2月	令和5年2月	令和5年3月
	令和5年3月 測定分	令和5年3月	令和5年3月	—

(2) 収集データの検証、入力、図表の作成及び管理

収集した報告書等に記載されているデータから入力対象となるデータを抽出し、環境放射線データベース管理システム（4.1等により新システムを開発した後は当該新システム）内の端末からデータベースへ入力する。入力の際には試料名や測定核種等の項目ごとに分類・整理するとともに、分析方法や測定方法等の付帯情報も併せて入力すること。対象データのうち疑義がみられたものについては、必要に応じて報告書の発行元へ照会し、確認を行う。また、これらのデータについて、過去5年間程度の測定結果と比較し過去の変動幅の範囲を超える値の有無を調査すること。変動幅以上を示す値があった場合はデータの妥当性について検証を行うとともに、原子力規制庁に報告をすること。

また、原子力規制庁が指示する検索項目及び条件設定に対応するデータベースのデータを用いて図表を作成し、データベースにおいて管理する。

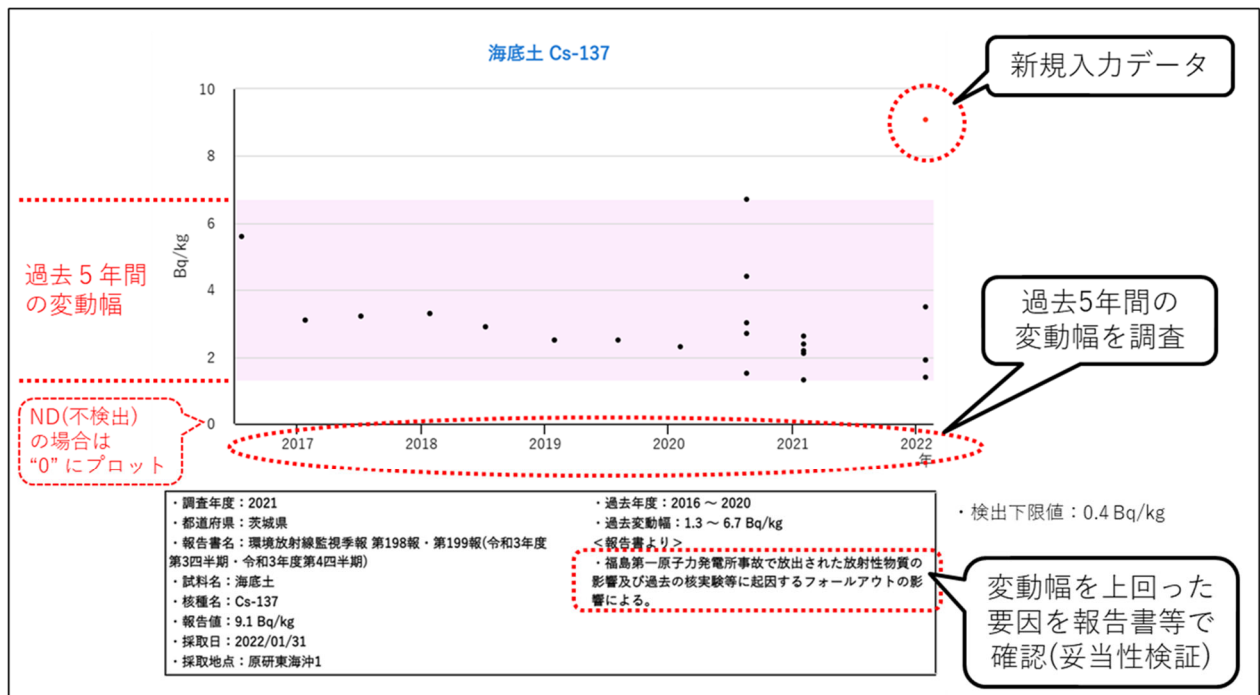
業務手順については、以下（図を含む）を参考にすること。ただし、以下の図は、現行システムを使用した場合の手順であり、新システムの開発後は必要に応じ当該手順について見直しを図ること。



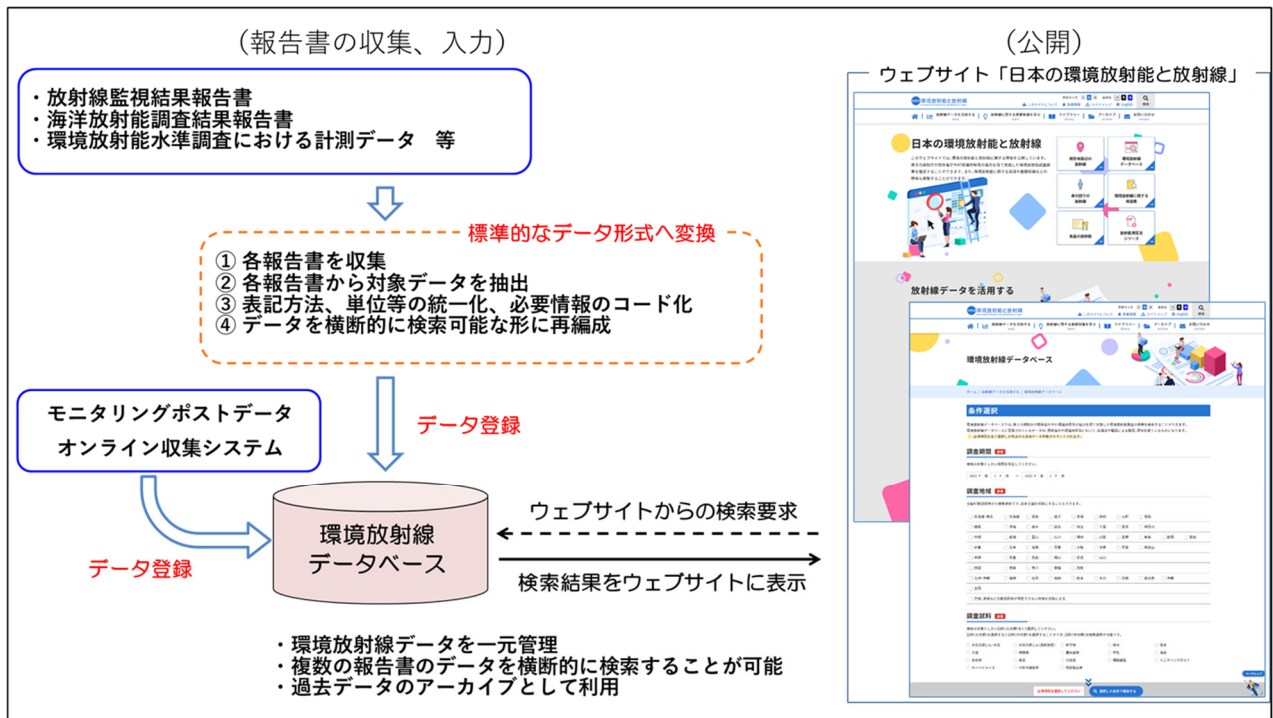
上記図中①～⑮の各入力作業工程の詳細は以下表のとおり。

No.	入力作業工程	説明
①	報告書受付/検査	報告書の発行元となる自治体等から報告書（冊子またはPDF）を入手し、受付を行う。受付した報告書内の試料採取日、測定年月日、測定単位、試料採取地点等について検査を行う。この検査において、以下のような疑義が生じる可能性があるため、確認を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・試料採取日や測定年月日の誤り、不整合 ・測定単位の誤り ・入手漏れ(複数の報告書がある場合など) ・試料採取地点の住所の誤り(市町村合併等の反映漏れ等) ・住所と緯度経度の不整合
②	報告書発行元 問合せ	疑義が見られたデータについて報告書の発行元に問合せを行う。必要に応じて報告書の差替えを行い、正しい結果を入手する。
③	データ作成	報告書の受付/検査が完了した報告書から入力対象となるデータを抽出し、データベースへ登録するためのデータを作成する。
④	DB 登録	作成したデータを使い、データベースへデータを登録する。
⑤	データ標準化 (自動実行)	DB 登録したデータは、データを標準化するためのプログラムにより、試料採取日、測定年月日及び測定単位等を確認する。確認する内容は以下のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> ・試料採取日や測定年月日の誤り、不整合 ・試料採取地点の住所の誤り（市町村合併等の反映漏れ等） ・測定単位の誤り ・単位換算の誤り ・住所と緯度経度の不整合 ・閾値チェック
⑥	データ確認/修正	データ標準化できなかったデータについて確認、修正を行う。
⑦	報告書発行元 問合せ	データ標準化の後、疑義が見られたデータについては報告書の発行元に問合せを行う。必要に応じて報告書の差替えを行い、正しい結果を入手する。
⑧	データ修正 (付帯情報追加)	これまでに入力した試料採取地点、試料名及び結果等とあわせて、分析方法や計測機器類等の付帯情報の入力を行う。
⑨	誤入力チェック (自動実行)	DB 登録したデータについて、同じ種類の過去の直近データと比較し、データの誤入力がないか確認する。その際、桁誤りの有無についても確認する。
⑩	確認用資料作成及 びデータ帳票出力	確認用資料を作成し、データ帳票として出力する。
⑪	データ確認/修正	出力したデータ帳票と報告書原本とを照合し、DB 登録されたデータの最終確認を行う。誤りが発見された場合には正しいデータへ修正し、データ帳票を再出力して適切に修正されていることを確認する。
⑫	過去の変動幅を超 えたデータを抽出	これまで入力、確認した各データについて、過去 5 年間の測定結果と比較し、過去の変動幅の範囲を超える値の有無を調査する。
⑬	データ確認	変動幅以上を示す値があった場合は、データの妥当性について検証を行う。
⑭	報告書発行元 問合せ	データ標準化の後、疑義が見られたデータについては報告書の発行元に問合せを行う。必要に応じて報告書の差替えを行い、正しい結果を入手する。
⑮	公開	入力、確認が終了したデータをウェブサイトのデータベースにアップロードし、ウェブサイト上で公開する。

環境放射線データベースに入力したデータについて、過去5年間の結果の変動幅 との比較、分析結果の妥当性の検証に当たって使用すると良いグラフの一例は以下のとおり。



入力データの妥当性検証が完了したデータについては、ウェブサイトにて公開を行うが、放射線監視結果等の報告書を収集し、環境放射線データベースへ入力してウェブサイトで公開するまでの流れの概念図は以下のとおり。



(3) システムの運用保守・管理

受託者は、「4. 5 システム運用保守要件」において作成するシステム運用保守設計書その他の文書に基づき、システムの運用保守を行う。以下本項目では、当該設計書の作成に先立ち、基本的な事項について記載する。

①全般的事項について

- ・本事業で使用するシステムについて、定期的に保守を実施するなど事業の実施に支障がないよう適切に運用・管理すること。
- ・障害が発生した場合は、原因調査、障害復旧を行うこと。
- ・システムについては、初回の構築以降も、事業の効率的・効果的な実施のために継続的に改善点の抽出等を行うこととし、必要に応じてシステムの改修を行うものとする（ただし、ウェブサイトについては、利用者のU/Iに過度の影響を与えないよう改修内容等に十分留意すること。）。

②モニタリングポスト測定結果の収集について

- ・環境放射能水準調査により各都道府県に設置しているサーバから、モニタリングポストによる測定結果を収集し、原子力規制庁が指定するサーバへ送信する。収集対象となるデータが正常に送受信できているかを監視し、システムの安定した連続稼働に努めること。
- ・新システムにて、都道府県から収集したモニタリングポストの測定結果から一日ごとの集計値を求め、環境放射線データベース（新システムにおけるデータベース）へ登録すること。
- ・なお、測定結果の収集のため都道府県に設置しているVPN回線及びネットワーク機器について、居室の移転や行政財産使用許可に係る手続等が必要となる場合には、受託者が実施すること。

③放射能データベースの公開等について

- ・収集したデータのウェブサイト公開（英語版を含む。）に向けては、データ前処理作業やアップロード作業等を行うこととなるが、システムの運用・管理にあたり、公開するデータベースは原則24時間利用可能とし、保守点検等により一時的に利用を停止する必要がある場合は事前に原子力規制庁へ連絡し了承を得ることとする。
- ・発注者から、ウェブサイトへの資料掲載依頼その他の依頼があった場合には、検討の上、積極的に対応するものとする。

④その他

上記①～③のほか、新システムの運用に当たっては、「1. 4 業務・現行情報システムの概要」に示す現行システムにて実施している業務に不足が生じないように留意すること。ただし、現行システムから新システムへの移行に伴い不用となった業務・手順がある場合には、当該業務・手順についてはこの限りではない。

また、結果収集事業及び本事業のほか、従前から放射能測定調査委託費（放射能測定調査）事業（以下「放調費事業」）において収集した放射線データについても現行システムへ登録しているため、令和7年度以降の放調費事業の状況も踏まえつつ放調費事業の受託者との調整も実施すること。

(4) 学識経験者による委員会の実施

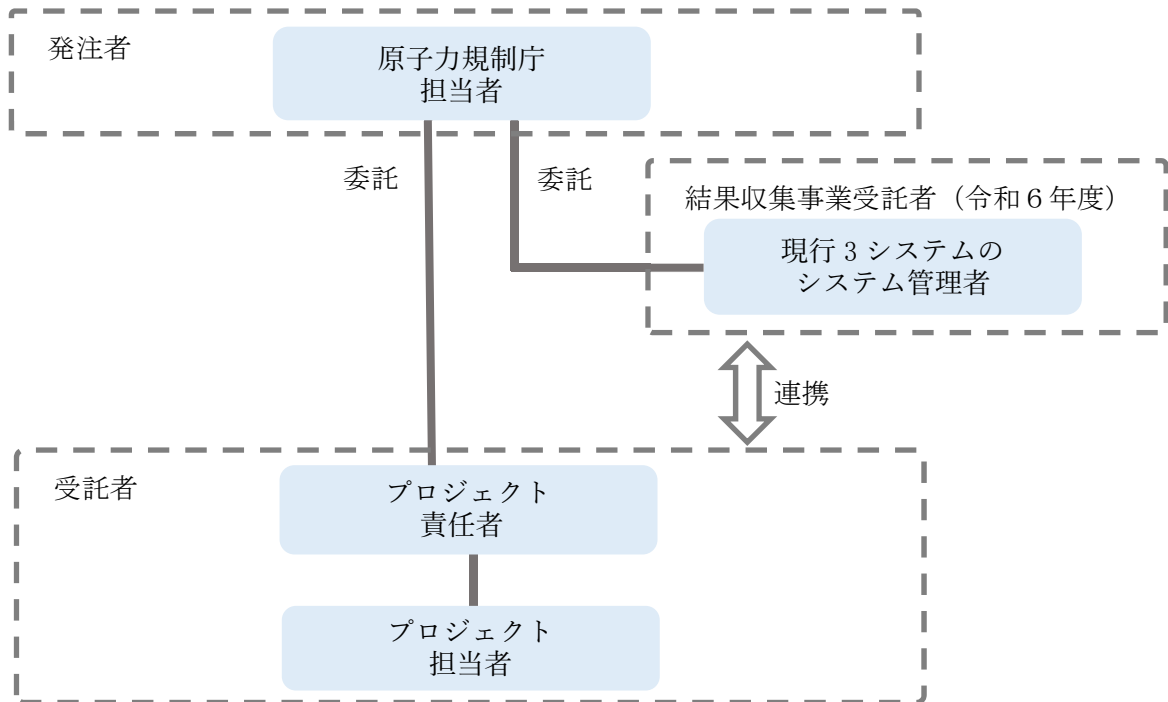
環境放射能に関する学識経験者等で構成する委員会（5人程度）において、調査結果及びデータの公開方法等について審議する。（各年度2回程度開催）

5 作業体制及び作業方法

5.1 作業体制

5.1.1 全体体制

本事業の作業に関する体制の概要は以下のとおり。



5.1.2 受託者体制

本事業の受託者は、以下の項目を含め本事業の遂行が可能な実施体制案を年度ごとに提出し（毎年度4月上旬を目安）、発注者の承認を得ること。承認を受けた実施体制について、やむを得ず変更を行うことが必要となった場合においては、変更後の実施体制案を提出し、改めて発注者の承認を得るものとする。また、受託者は、本事業の履行が確実にされるよう、本事業の全期間にわたって、必要となるスキル・経験を有した要員の確保を保証すること。

(1) 受託者側の業務実施体制（プロジェクト責任者、プロジェクト担当者を含む実行部隊）

(2) 受託者側のプロジェクト担当者

プロジェクト担当者に求める要件は、以下のとおりとする。プロジェクト担当者との兼任して差し支えないものとする。

- ①プロジェクト担当者：進捗管理手法に精通し、経験を有すること
- ②システム設計開発担当者（主として令和6年度）：データベース・システムの企画・設計に関する知見や技術を有すること、環境放射能（放射線）に関する十分な知見を有すること
- ③放射線監視結果収集管理等担当者（令和7年度以降）：環境放射能（放射線）に関する十分な知見を有すること

- ④システム運用管理担当者（主として令和7年度以降）：データベース・システムの企画・設計等に関する知見や技術を有すること
- (3)連絡体制（受託者側の対応窓口）

5. 2 作業方法

5. 2. 1 作業計画

- (1) 本作業を実施する要員毎の責任範囲表を作成すること。
- (2) 本作業を実施するため、作業計画書（日程表、納入物と対応した開発計画表を含む）を作成し、提出し、発注者の承認を得た上で決定すること。
- (3) 作業計画書には以下の内容を記載すること。
 - ①日程表（チェックポイント、主要マイルストーン）
 - ②作業計画表（納入物、納入物と関連づけられた作業スケジュール）
- (4) 作業計画表については、作業内容や納入物と対応させた構成とし、ガントチャート形式にて作成し、提出すること。
- (5) 作業計画書は、作業の進捗状況に合わせ随時内容の更新及び詳細化を図ることとし、更新後の計画書等は、定例会等の機会を利用して、発注者に報告・提出すること。

5. 2. 2 作業工程

- (1) 本作業の遂行にあたっては、作業計画書に定めた事項を遵守し、プロジェクト管理を行うこと。
- (2) ソフトウェアの設計工程において、設計レビューを行うこと。設計レビューの範囲と方法については、事前に定め、発注者と協議の上で決定すること。

5. 2. 3 進捗管理方法

- (1) 各作業に関する打合せ、納入物等のレビュー及び作業（特にシステムの構築）進捗確認等のため、令和6年度は原則月1回程度の頻度で定例会議を行うこと。
- (2) 定例会議の議事録は、1週間以内を目安に作成し、提出し、発注者の承認を得ること。
- (3) 定例会議では、開発スケジュールと実際の進捗状況の差を明らかにし、進捗状況に遅延が発生した場合にはその原因と対策を明らかにすること。そのための進捗管理や課題管理にあたっては、開発計画で定めたドキュメント類を用いること。
- (4) この定例会議について、令和7年度以降は状況に応じて開催するものとする。ただし、事業の進捗等については四半期に1回程度は報告するものとし、また、この仕様書に記載されていない事項や、本仕様書について疑義が生じた場合については、発注者と協議の上決定するものとする。

5. 2. 4 ドキュメント基準等

ドキュメントについては、納入前にレビューを行うこと。レビューを実施する時期については、発注者と協議の上で決定する。レビューの際、発注者から指摘があった場合には、適宜修正等の対応を行うこと。このほか、本事業におけるシステム開発環境は、受託者の負担と責任において行うこと。

6 契約条件等

6. 1 業務の再委託

- (1) 受託者が本調達の全部又は一部を第三者に委任し、又は請け負わせること（以下「再委託」という。）を原則として禁止する。ただし、受託者が本調達の一部について、再委託の相手方の商号又は名称、住所、再委託する理由、再委託予定金額、再委託する業務の範囲、再委託の相手方に係る業務の履行能力等について提案時に記載し、発注者が了承した場合はこの限りでない。なお、海外における開発はセキュリティの観点から認めない。
- (2) 受託者は、再委託の相手方が行った作業について全責任を負うものとする。また、受託者は再委託の相手方に対して、「6. 2 知的財産権の帰属等」、「6. 3 機密保持」及び「6. 4 情報セキュリティに関する受託者の責任」を含め、本調達の受託者と同等の義務を負わせるものとし、再委託の相手方との契約においてその旨を定めるものとする。
- (3) 受託者は、再委託の相手方に対して、定期的又は必要に応じて、作業の進捗状況及び情報セキュリティ対策の履行状況について報告を行わせるなど、適正な履行の確保に努めるものとする。また、発注者が本調達の適正な履行の確保のために必要があると認める時は、その履行状況について受託者が発注者に対して報告するものとする。また、発注者自らが確認する場合においては、受託者はそれに協力するものとする。
- (4) 受託者は、発注者が承認した再委託の内容について変更しようとする時は、変更する事項及びその理由等について記載した申請書を提出し、発注者の承認を得るものとする。

6. 2 知的財産権の帰属等

- (1) 納入物のうち、プログラム（以下「本件プログラム」という。）の著作権については、第三者が本契約前から保有していたプログラムの著作権、フリーソフトの著作権を除き、受託者に帰属するものとする。ただし、発注者が、納入された本件プログラムを、著作権法に従って認められる範囲において、複製及び翻案することは妨げない。
- (2) 納入物のうち、ドキュメント（以下「本件ドキュメント」という。）の著作権は、受託者に帰属するものとする。ただし、発注者が、納入された本件ドキュメントを、著作権法に従って認められる範囲において、複製及び翻案することは妨げない。
- (3) 受託者は、本件プログラム及び本件ドキュメントの著作物について、発注者に対し、著作者人格権（公表権、氏名表示権、同一性保持権）を行使しない。

6. 3 機密保持

- (1) 受託者は、本調達に係る作業を実施するにあたり、発注者から取得した資料（電子媒体、文書、図面等の形態を問わない。）を含め、契約上知り得た情報については、第三者に開示し、又は本調達に

係る作業以外の目的で利用しないものとする。ただし、次の①から⑤のいずれかに該当する情報は除くものとする。

- ①発注者から取得した時点で既に公知であるもの
- ②発注者から取得後、受託者の責によらず公知となったもの
- ③法令等に基づき開示されるもの
- ④発注者から秘密でないと指定されたもの
- ⑤第三者への開示し、又は本調達に係る作業以外の目的で利用することにつき、事前に発注者と協議の上、承認を得たもの

(2) 受託者は、発注者の許可なく、取り扱う情報を指定された場所から持ち出し、あるいは複製しないものとする。

(3) 受託者は、本調達に係る作業に関与した受託者の所属職員が異動した後においても、機密が保持される措置を講じるものとする。

(4) 受託者は、受託者の事業所内部に保有されている本調達に係る発注者に関する情報について、本調達に係る検収後、裁断等の物理的破壊、消磁その他復元不可能な方法により速やかに抹消すると共に、発注者から貸与されたものについては、検収後1週間以内に発注者に返却するものとする。

6. 4 情報セキュリティに関する受託者の責任

(1) 情報セキュリティポリシーの遵守

受託者は、発注者のセキュリティポリシーに従って受託者組織全体のセキュリティを確保すること。

(2) 情報セキュリティを確保するための体制の整備

受託者は、発注者から求められた当該業務の実施において、発注者のセキュリティポリシーに従って受託者組織全体のセキュリティを確保すると共に、そのための体制を整備すること。

(3) 受託者、受託作業実施場所及び受託業務従事者に関する情報提供

受託者は、発注者からの求めがあった場合に、受託者の資本関係・役員等の情報、受託作業の実施場所に関する情報及び受託業務の従事者に関する情報を提供すること。

(4) 情報セキュリティが侵害された場合の対処

本調達に係る業務の遂行において、情報セキュリティが侵害され、又はその恐れがある場合には、直ちに発注者に報告すること。情報セキュリティが侵害され、又はその恐れがある場合とは、以下の事象を含むものとする。

- ①受託者に提供した情報又は受託者にアクセスを許可した発注者に係る情報の外部への漏えい及び目的外利用
- ②受託者による発注者のその他の情報へのアクセス

③被害の程度を把握するため、受託者は必要な記録類を契約終了時まで保存し、発注者の求めに応じて納入物と共に発注者に引き渡すこと。

④本調達に係る作業中及び契約に定める瑕疵担保責任の期間中に情報セキュリティが侵害され、又はその恐れがある事象が発生し、かつその事象が受託者における情報セキュリティ上の問題に起因する場合には、受託者の責任及び負担において、次の各事項を速やかに実施すること。

- ・情報セキュリティ侵害の内容及び影響範囲を調査の上、当該情報セキュリティ侵害への対応策を立案し、発注者の承認を得た上で実施すること。
- ・発生した事象の具体的内容、原因及び実施した対応策等について報告書を作成し、発注者へ提出すること。
- ・再発防止対策を立案し、発注者の承認を得た上で実施すること。
- ・上記の他、発生した情報セキュリティ侵害について、発注者の指示に基づく措置を実施すること。

(5) 情報セキュリティ監査の実施

本調達に係る業務の遂行における情報セキュリティ対策の履行状況を確認するため、発注者が情報セキュリティ監査の実施を必要と判断した場合には、発注者がその実施内容（監査内容、対象範囲及び実施等）を定めて情報セキュリティ監査を行う（発注者が選定した事業者による監査を含む。）。受託者はその外部監査に真摯に対応すること。

(6) セキュリティ対策の改善

本調達における情報セキュリティ対策の履行状況の改善を発注者が求めた場合、受託者はこれに速やかに対応すること。

(7) 私物の使用禁止

受託者は、本調達に係る作業を実施する全ての関係者に対し、私物（関係者個人の所有物等、受託者管理外のものを指す。）コンピュータ及び私物記録媒体（USB メモリ等）に発注者に関連する情報を保存すること及び本調達に係る作業を私物コンピュータにおいて実施することを禁止し、それを管理し、求めに応じて管理簿を提出すること。

(8) 納入物に対するセキュリティチェックの実施

納入時には必ずマルウェアに対するセキュリティチェックを行い、クリーニングした上でその証左とともに納入すること。

6. 5 契約不適合責任

検収後1年間において納入物に瑕疵があることを含め契約内容に適合しないことがあったことが判明した場合には、受託者の責任及び負担において、発注者が相当と認める期日までに補修を完了するものとする。

6. 6 法令等の遵守

- ①受託者は、民法（明治 29 年法律第 89 号）、刑法（明治 40 年法律第 45 号）、著作権法、不正アクセス行為の禁止等に関する法律（平成 11 年法律第 128 号）等の関係法規を遵守すること。
- ②受託者は、個人情報の保護に関する法律（平成 15 年法律第 57 号）及び受託者が定めた個人情報保護に関するガイドライン等を遵守し、個人情報を適正に取り扱うこと。

6. 7 応札条件

- ① ISO 9001 の認証を取得し、又は同等の品質管理体制を確立していること。
- ② 情報セキュリティの徹底を図る観点から、本業務を実施する組織・部署において、本業務の実施を適用範囲に含んだ ISMS(情報セキュリティ管理システム)について ISO/IEC 27001 又は JIS Q 27001 に基く認証を取得し、又は同水準のセキュリティ管理体制を確立していること。
- ③ 関連する法令を理解し、本業務のシステムと同様の、又は類似するシステムの設計・開発及び運用経験を有すること。
- ④ 環境放射能・放射線に関する十分な知見を有すること。

6. 8 特記事項

本調達案件は、令和 6 年度予算による実施を前提とするものであり、当該予算の実施承認が遅延する、あるいは中断される事態が生じた場合には、発注者と受託者との間でその対応策について、別途協議するものとする。このほか、令和 1 2 年度において、本事業受託者と異なる者が本事業の後継事業を受託することとなった場合は、次の受託者が遅滞なく業務を引き継げるよう必要な作業を行うこと。

別紙

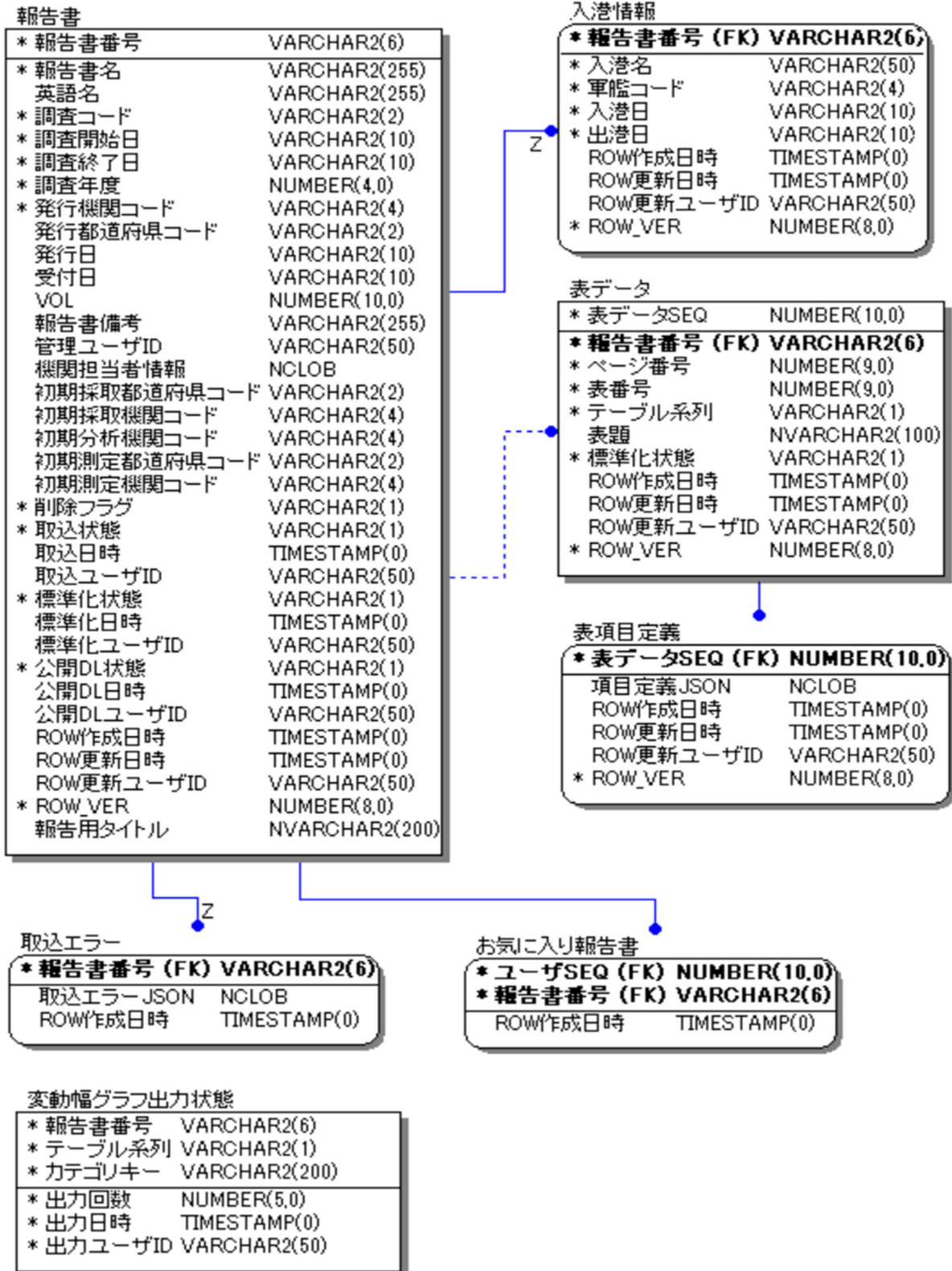
現行 3 システムのデータモデル

環境放射線データベース管理システム

1 報告書管理

報告書管理のデータモデル。

1.1 報告書と表データ



1.2 環境試料

表データ

* 表データSEQ	NUMBER(10,0)
* 報告書番号 (FK)	VARCHAR2(6)
* ページ番号	NUMBER(9,0)
* 表番号	NUMBER(9,0)
* テーブル系列	VARCHAR2(1)
表題	NVARCHAR2(100)
* 標準化状態	VARCHAR2(1)
ROW作成日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新ユーザID	VARCHAR2(50)
* ROW_VER	NUMBER(8,0)

表項目定義

* 表データSEQ (FK)	NUMBER(10,0)
項目定義JSON	NCLOB
ROW作成日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新ユーザID	VARCHAR2(50)
* ROW_VER	NUMBER(8,0)

環境試料

* 試料番号	NUMBER(9,0)
* 報告書番号	VARCHAR2(6)
* 表データSEQ (FK)	NUMBER(10,0)
* 行番号	NUMBER(8,0)
* 標準化状態	VARCHAR2(1)
標準化エラー	JSON
基準日	DATE
県試料番号	VARCHAR2(20)
採取機関コード	VARCHAR2(4)
試料種別コード	VARCHAR2(2)
記載試料名	VARCHAR2(60)
試料コード	VARCHAR2(4)
生物コード	VARCHAR2(12)
食品コード	VARCHAR2(7)
部位コード	VARCHAR2(2)
採取開始日	VARCHAR2(10)
採取開始時刻	VARCHAR2(8)
採取終了日	VARCHAR2(10)
採取終了時刻	VARCHAR2(8)
採取年度	NUMBER(4,0)
採取四半期	NUMBER(1,0)
採取年	NUMBER(4,0)
採取月	NUMBER(2,0)
採取日数	NUMBER(9,0)
降雨開始日	VARCHAR2(10)
降雨開始時刻	VARCHAR2(8)
降雨終了日	VARCHAR2(10)
降雨終了時刻	VARCHAR2(8)
採取都道府県コード	VARCHAR2(2)
記載採取地点名	VARCHAR2(100)
採取地点コード	VARCHAR2(9)
地点振込年度	NUMBER(4,0)
緯度<世界測地系>	NVARCHAR2(20)
経度<世界測地系>	NVARCHAR2(20)
緯度<日本測地系>	NVARCHAR2(20)
経度<日本測地系>	NVARCHAR2(20)
軍監地点コード	VARCHAR2(4)
採取法コード	VARCHAR2(3)
採取面積	NUMBER
採取面積単位	VARCHAR2(8)
水深	NUMBER
水深単位	VARCHAR2(8)
採取層1	NUMBER
採取層2	NUMBER
採取層単位	VARCHAR2(8)
採取層区分	VARCHAR2(1)
採取量1	NUMBER
採取量1単位	VARCHAR2(8)
採取量2	NUMBER
採取量2単位	VARCHAR2(8)
換算係数	NUMBER
換算係数単位	VARCHAR2(8)
外観	VARCHAR2(20)
水温	NUMBER
水温単位	VARCHAR2(8)
塩素	NUMBER
塩素単位	VARCHAR2(8)
塩分	NUMBER
塩分単位	VARCHAR2(8)
PH	NUMBER
生産製造地	VARCHAR2(50)
試料備考	VARCHAR2(255)
ROW作成日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新ユーザID	VARCHAR2(50)
* ROW_VER	NUMBER(8,0)

分析

* 分析番号	NUMBER(9,0)
* 試料番号 (FK)	NUMBER(9,0)
* 分析明細番号	NUMBER(5,0)
分析機関コード	VARCHAR2(4)
Ca濃度	NUMBER
Ca濃度単位	VARCHAR2(8)
K濃度	NUMBER
K濃度単位	VARCHAR2(8)
前処理量	NUMBER
前処理量単位	VARCHAR2(8)
分析供試量	NUMBER
分析供試量単位	VARCHAR2(8)
前処理法コード	VARCHAR2(2)
化学分離法コード	VARCHAR2(2)
計測器コード	VARCHAR2(3)
測定開始日	VARCHAR2(10)
測定開始時刻	VARCHAR2(8)
測定終了日	VARCHAR2(10)
測定終了時刻	VARCHAR2(8)
測定迄の時間	NUMBER
測定迄の時間単位	VARCHAR2(8)
測定時間	NUMBER
測定時間単位	VARCHAR2(8)
核種コード	VARCHAR2(3)
記載報告値	VARCHAR2(30)
記載報告値単位	VARCHAR2(16)
公開報告値	NUMBER
公開報告値誤差	NUMBER
公開報告値単位	VARCHAR2(8)
* NDフラグ	VARCHAR2(1)
* 非公開フラグ	VARCHAR2(1)
分析備考	VARCHAR2(255)
ROW作成日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新ユーザID	VARCHAR2(50)
* ROW_VER	NUMBER(8,0)
変動備考	NVARCHAR2(200)

環境試料共通入力

* 表データSEQ	NUMBER(10,0)
県試料番号	VARCHAR2(20)
採取機関コード	VARCHAR2(4)
試料種別コード	VARCHAR2(2)
記載試料名	VARCHAR2(60)
試料コード	VARCHAR2(4)
生物コード	VARCHAR2(12)
食品コード	VARCHAR2(7)
部位コード	VARCHAR2(2)
採取開始日	VARCHAR2(10)
採取開始時刻	VARCHAR2(8)
採取終了日	VARCHAR2(10)
採取終了時刻	VARCHAR2(8)
採取年度	NUMBER(4,0)
採取四半期	NUMBER(1,0)
採取年	NUMBER(4,0)
採取月	NUMBER(2,0)
採取日数	NUMBER(9,0)
降雨開始日	VARCHAR2(10)
降雨開始時刻	VARCHAR2(8)
降雨終了日	VARCHAR2(10)
降雨終了時刻	VARCHAR2(8)
採取都道府県コード	VARCHAR2(2)
記載採取地点名	VARCHAR2(100)
採取地点コード	VARCHAR2(9)
地点振込年度	NUMBER(4,0)
緯度(世界測地系)	NVARCHAR2(20)
経度(世界測地系)	NVARCHAR2(20)
緯度(日本測地系)	NVARCHAR2(20)
経度(日本測地系)	NVARCHAR2(20)
軍監地点コード	VARCHAR2(4)
採取法コード	VARCHAR2(3)
採取面積	NUMBER
採取面積単位	VARCHAR2(8)
水深	NUMBER
水深単位	VARCHAR2(8)
採取層1	NUMBER
採取層2	NUMBER
採取層単位	VARCHAR2(8)
採取層区分	VARCHAR2(1)
採取量1	NUMBER
採取量1単位	VARCHAR2(8)
採取量2	NUMBER
採取量2単位	VARCHAR2(8)
換算係数	NUMBER
換算係数単位	VARCHAR2(8)
外観	VARCHAR2(20)
水温	NUMBER
水温単位	VARCHAR2(8)
塩素	NUMBER
塩素単位	VARCHAR2(8)
塩分	NUMBER
塩分単位	VARCHAR2(8)
PH	NUMBER
生産製造地	VARCHAR2(50)
試料備考	VARCHAR2(255)
ROW作成日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新ユーザID	VARCHAR2(50)
* ROW_VER	NUMBER(8,0)

分析共通入力

* 表データSEQ (FK)	NUMBER(10,0)
* 分析明細番号	NUMBER(5,0)
分析機関コード	VARCHAR2(4)
Ca濃度	NUMBER
Ca濃度単位	VARCHAR2(8)
K濃度	NUMBER
K濃度単位	VARCHAR2(8)
前処理量	NUMBER
前処理量単位	VARCHAR2(8)
分析供試量	NUMBER
分析供試量単位	VARCHAR2(8)
前処理法コード	VARCHAR2(2)
化学分離法コード	VARCHAR2(2)
計測器コード	VARCHAR2(3)
測定開始日	VARCHAR2(10)
測定開始時刻	VARCHAR2(8)
測定終了日	VARCHAR2(10)
測定終了時刻	VARCHAR2(8)
測定迄の時間	NUMBER
測定迄の時間単位	VARCHAR2(8)
測定時間	NUMBER
測定時間単位	VARCHAR2(8)
核種コード	VARCHAR2(3)
記載報告値	VARCHAR2(30)
記載報告値単位	VARCHAR2(16)
公開報告値	NUMBER
公開報告値誤差	NUMBER
公開報告値単位	VARCHAR2(8)
* NDフラグ	VARCHAR2(1)
* 非公開フラグ	VARCHAR2(1)
分析備考	VARCHAR2(255)
ROW作成日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新ユーザID	VARCHAR2(50)
* ROW_VER	NUMBER(8,0)
変動備考	NVARCHAR2(200)

1.3 連続測定

表データ

* 表データSEQ	NUMBER(10,0)
* 報告書番号 (FK)	VARCHAR2(6)
* ページ番号	NUMBER(9,0)
* 表番号	NUMBER(9,0)
* テーブル系列	VARCHAR2(1)
表題	NVARCHAR2(100)
* 標準化状態	VARCHAR2(1)
ROW作成日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新ユーザID	VARCHAR2(50)
* ROW_VER	NUMBER(8,0)

表項目定義

* 表データSEQ (FK)	NUMBER(10,0)
項目定義JSON	NCLOB
ROW作成日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新ユーザID	VARCHAR2(50)
* ROW_VER	NUMBER(8,0)

連続測定

* 測定番号	NUMBER(9,0)
* 報告書番号	VARCHAR2(6)
* 表データSEQ (FK)	NUMBER(10,0)
* 行番号	NUMBER(8,0)
* 標準化状態	VARCHAR2(1)
標準化エラー	JSON
基準日	DATE
測定機関コード	VARCHAR2(4)
試料種別コード	VARCHAR2(2)
記載試料名	VARCHAR2(60)
試料コード	VARCHAR2(4)
測定都道府県コード	VARCHAR2(2)
記載測定地点名	VARCHAR2(100)
測定地点コード	VARCHAR2(9)
地点掘込年度	NUMBER(4,0)
緯度(世界測地系)	NVARCHAR2(20)
経度(世界測地系)	NVARCHAR2(20)
緯度(日本測地系)	NVARCHAR2(20)
経度(日本測地系)	NVARCHAR2(20)
計測器コード	VARCHAR2(3)
* 宇宙線除	VARCHAR2(1)
高さ	NUMBER
高さ単位	VARCHAR2(8)
核種コード	VARCHAR2(3)
集計単位コード	VARCHAR2(2)
測定開始日	VARCHAR2(10)
測定開始時刻	VARCHAR2(8)
測定終了日	VARCHAR2(10)
測定終了時刻	VARCHAR2(8)
測定年度	NUMBER(4,0)
測定四半期	NUMBER(1,0)
測定年	NUMBER(4,0)
測定月	NUMBER(2,0)
測定期間	NUMBER(9,0)
測定期間単位	VARCHAR2(8)
天気コード	VARCHAR2(5)
* 欠測フラグ	VARCHAR2(1)
記載報告値最大	VARCHAR2(30)
記載報告値最小	VARCHAR2(30)
記載報告値平均	VARCHAR2(30)
記載報告値単位	VARCHAR2(16)
公開報告値最大	NUMBER
公開報告値最小	NUMBER
公開報告値平均	NUMBER
公開報告値単位	VARCHAR2(8)
* 非公開フラグ	VARCHAR2(1)
測定備考	VARCHAR2(255)
ROW作成日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新ユーザID	VARCHAR2(50)
* ROW_VER	NUMBER(8,0)
変動備考	NVARCHAR2(200)

連続測定共通入力

* 表データSEQ	NUMBER(10,0)
測定機関コード	VARCHAR2(4)
試料種別コード	VARCHAR2(2)
記載試料名	VARCHAR2(60)
試料コード	VARCHAR2(4)
測定都道府県コード	VARCHAR2(2)
記載測定地点名	VARCHAR2(100)
測定地点コード	VARCHAR2(9)
地点掘込年度	NUMBER(4,0)
緯度(世界測地系)	NVARCHAR2(20)
経度(世界測地系)	NVARCHAR2(20)
緯度(日本測地系)	NVARCHAR2(20)
経度(日本測地系)	NVARCHAR2(20)
計測器コード	VARCHAR2(3)
* 宇宙線除	VARCHAR2(1)
高さ	NUMBER
高さ単位	VARCHAR2(8)
核種コード	VARCHAR2(3)
集計単位コード	VARCHAR2(2)
測定開始日	VARCHAR2(10)
測定開始時刻	VARCHAR2(8)
測定終了日	VARCHAR2(10)
測定終了時刻	VARCHAR2(8)
測定年度	NUMBER(4,0)
測定四半期	NUMBER(1,0)
測定年	NUMBER(4,0)
測定月	NUMBER(2,0)
測定期間	NUMBER(9,0)
測定期間単位	VARCHAR2(8)
天気コード	VARCHAR2(5)
* 欠測フラグ	VARCHAR2(1)
記載報告値最大	VARCHAR2(30)
記載報告値最小	VARCHAR2(30)
記載報告値平均	VARCHAR2(30)
記載報告値単位	VARCHAR2(16)
公開報告値最大	NUMBER
公開報告値最小	NUMBER
公開報告値平均	NUMBER
公開報告値単位	VARCHAR2(8)
* 非公開フラグ	VARCHAR2(1)
測定備考	VARCHAR2(255)
ROW作成日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新ユーザID	VARCHAR2(50)
* ROW_VER	NUMBER(8,0)
変動備考	NVARCHAR2(200)

1.4 非連続測定

表データ

* 表データSEQ	NUMBER(10,0)
* 報告書番号 (FK)	VARCHAR2(6)
* ページ番号	NUMBER(9,0)
* 表番号	NUMBER(9,0)
* テーブル系列	VARCHAR2(1)
表題	NVARCHAR2(100)
* 標準化状態	VARCHAR2(1)
ROW作成日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新ユーザID	VARCHAR2(50)
* ROW_VER	NUMBER(8,0)

表項目定義

* 表データSEQ (FK)	NUMBER(10,0)
項目定義JSON	NCLOB
ROW作成日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新ユーザID	VARCHAR2(50)
* ROW_VER	NUMBER(8,0)

非連続測定

* 測定番号	NUMBER(9,0)
* 報告書番号	VARCHAR2(6)
* 表データSEQ (FK)	NUMBER(10,0)
* 行番号	NUMBER(8,0)
* 標準化状態	VARCHAR2(1)
標準化エラーJSON	NCLOB
基準日	DATE
県試料番号	VARCHAR2(20)
測定機関コード	VARCHAR2(4)
試料種別コード	VARCHAR2(2)
記載試料名	VARCHAR2(60)
試料コード	VARCHAR2(4)
測定開始日	VARCHAR2(10)
測定開始時刻	VARCHAR2(8)
測定終了日	VARCHAR2(10)
測定終了時刻	VARCHAR2(8)
測定年度	NUMBER(4,0)
測定四半期	NUMBER(1,0)
測定年	NUMBER(4,0)
測定月	NUMBER(2,0)
測定期間	NUMBER(9,0)
測定期間単位	VARCHAR2(8)
測定都道府県コード	VARCHAR2(2)
記載測定地点名	VARCHAR2(100)
測定地点コード	VARCHAR2(9)
地点振込年度	NUMBER(4,0)
緯度(世界測地系)	NVARCHAR2(20)
経度(世界測地系)	NVARCHAR2(20)
緯度(日本測地系)	NVARCHAR2(20)
経度(日本測地系)	NVARCHAR2(20)
軍艦地点コード	VARCHAR2(4)
測定ポイント番号	NUMBER(5,0)
計測器コード	VARCHAR2(3)
* 宇宙線含除	VARCHAR2(1)
高さ	NUMBER
高さ単位	VARCHAR2(8)
記載報告値最大	VARCHAR2(30)
記載報告値最小	VARCHAR2(30)
記載報告値	VARCHAR2(30)
記載報告値単位	VARCHAR2(16)
公開報告値最大	NUMBER
公開報告値最小	NUMBER
公開報告値	NUMBER
公開報告値誤差	NUMBER
公開報告値単位	VARCHAR2(8)
* NDフラグ	VARCHAR2(1)
* 非公開フラグ	VARCHAR2(1)
測定備考	VARCHAR2(255)
ROW作成日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新ユーザID	VARCHAR2(50)
* ROW_VER	NUMBER(8,0)
変動備考	NVARCHAR2(200)

非連続測定共通入力

* 表データSEQ	NUMBER(10,0)
県試料番号	VARCHAR2(20)
測定機関コード	VARCHAR2(4)
試料種別コード	VARCHAR2(2)
記載試料名	VARCHAR2(60)
試料コード	VARCHAR2(4)
測定開始日	VARCHAR2(10)
測定開始時刻	VARCHAR2(8)
測定終了日	VARCHAR2(10)
測定終了時刻	VARCHAR2(8)
測定年度	NUMBER(4,0)
測定四半期	NUMBER(1,0)
測定年	NUMBER(4,0)
測定月	NUMBER(2,0)
測定期間	NUMBER(9,0)
測定期間単位	VARCHAR2(8)
測定都道府県コード	VARCHAR2(2)
記載測定地点名	VARCHAR2(100)
測定地点コード	VARCHAR2(9)
地点振込年度	NUMBER(4,0)
緯度(世界測地系)	NVARCHAR2(20)
経度(世界測地系)	NVARCHAR2(20)
緯度(日本測地系)	NVARCHAR2(20)
経度(日本測地系)	NVARCHAR2(20)
軍艦地点コード	VARCHAR2(4)
測定ポイント番号	NUMBER(5,0)
計測器コード	VARCHAR2(3)
* 宇宙線含除	VARCHAR2(1)
高さ	NUMBER
高さ単位	VARCHAR2(8)
記載報告値最大	VARCHAR2(30)
記載報告値最小	VARCHAR2(30)
記載報告値	VARCHAR2(30)
記載報告値単位	VARCHAR2(16)
公開報告値最大	NUMBER
公開報告値最小	NUMBER
公開報告値	NUMBER
公開報告値誤差	NUMBER
公開報告値単位	VARCHAR2(8)
* NDフラグ	VARCHAR2(1)
* 非公開フラグ	VARCHAR2(1)
測定備考	VARCHAR2(255)
ROW作成日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新ユーザID	VARCHAR2(50)
* ROW_VER	NUMBER(8,0)
変動備考	NVARCHAR2(200)

2 マスタ管理

2.1 調査、機関

M調査

* 調査コード	VARCHAR2(2)
* 調査名	VARCHAR2(40)
カナ名	VARCHAR2(40)
英語名	VARCHAR2(120)
略名	VARCHAR2(20)
* 軍艦フラグ	VARCHAR2(1)
* DB登録対象外フラグ	VARCHAR2(1)
ROW作成日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新ユーザID	VARCHAR2(50)
* ROW_VER	NUMBER(8,0)

M機関

* 機関コード	VARCHAR2(4)
* 機関名	VARCHAR2(60)
カナ名	VARCHAR2(50)
英語名	VARCHAR2(100)
略名	VARCHAR2(30)
ROW作成日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新ユーザID	VARCHAR2(50)
* ROW_VER	NUMBER(8,0)

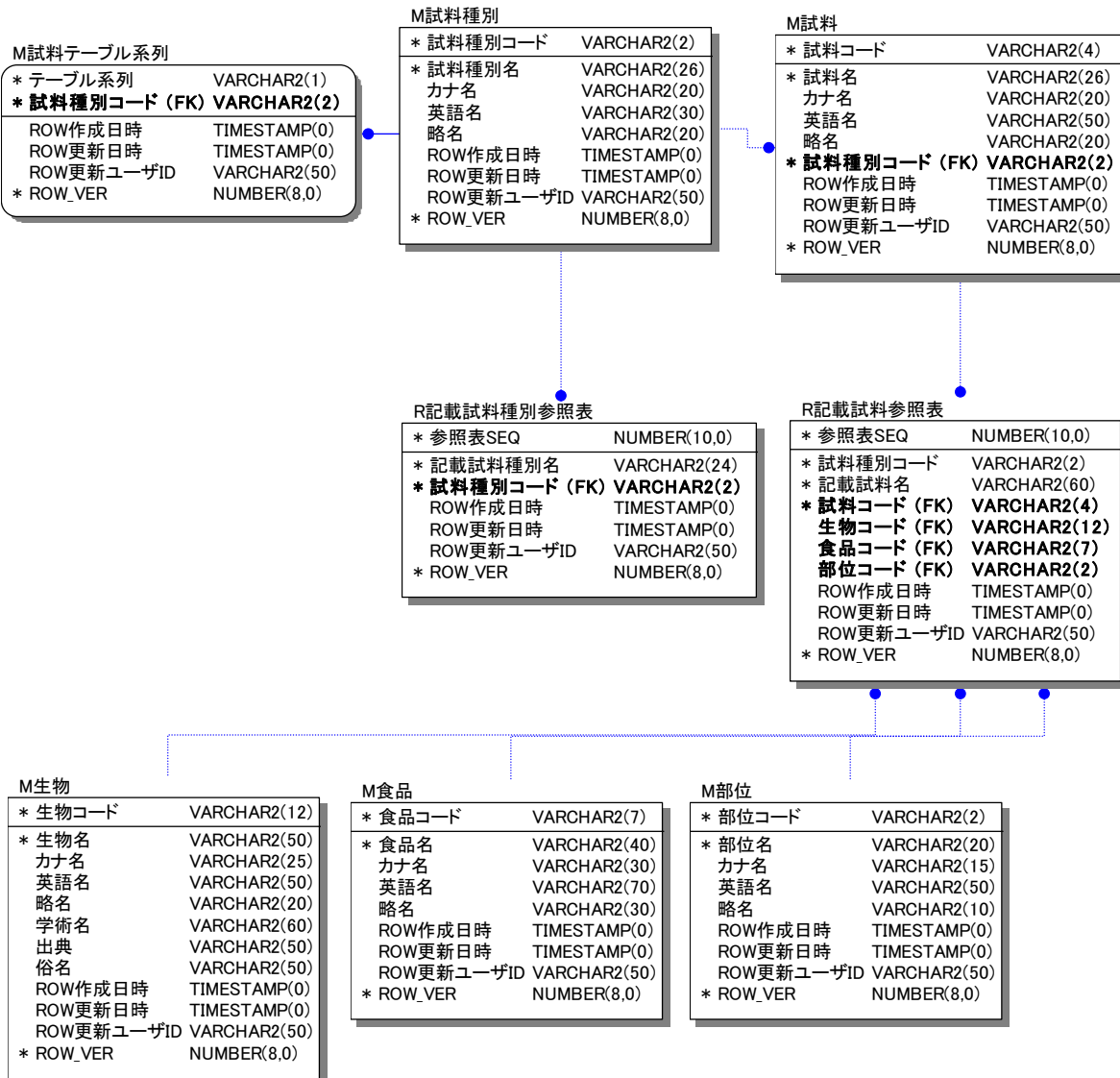
M機関履歴

* 機関コード (FK)	VARCHAR2(4)
* 変換先機関コード	VARCHAR2(4)
* 変換開始日付	DATE
ROW作成日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新ユーザID	VARCHAR2(50)
* ROW_VER	NUMBER(8,0)

R記載機関参照表

* 参照表SEQ	NUMBER(10,0)
* 記載機関名	VARCHAR2(40)
* 機関コード (FK)	VARCHAR2(4)
ROW作成日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新ユーザID	VARCHAR2(50)
* ROW_VER	NUMBER(8,0)

2.2 試料



2.3 地点

M都道府県

* 都道府県コード	VARCHAR2(2)
* 都道府県名	VARCHAR2(8)
カナ名	VARCHAR2(10)
英語名	VARCHAR2(10)
略名	VARCHAR2(8)
ROW作成日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新ユーザID	VARCHAR2(50)
* ROW_VER	NUMBER(8,0)

M地点

* 地点コード	VARCHAR2(9)
* 地点名	VARCHAR2(50)
カナ名	VARCHAR2(60)
英語名	VARCHAR2(100)
略名	VARCHAR2(40)
* 都道府県コード (FK)	VARCHAR2(2)
ROW作成日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新ユーザID	VARCHAR2(50)
* ROW_VER	NUMBER(8,0)

R記載地点参照表

* 参照表SEQ	NUMBER(10,0)
* 調査コード	VARCHAR2(2)
* 機関コード	VARCHAR2(4)
* 試料コード	VARCHAR2(4)
* 都道府県コード	VARCHAR2(2)
* 記載地点名	VARCHAR2(100)
* 地点コード (FK)	VARCHAR2(9)
* 地点振込年度	NUMBER(4,0)
緯度(世界測地系)	NVARCHAR2(20)
経度(世界測地系)	NVARCHAR2(20)
ROW作成日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新ユーザID	VARCHAR2(50)
* ROW_VER	NUMBER(8,0)

M公開用地点名変換表

* 地点コード (FK)	VARCHAR2(9)
* 変換地点名	VARCHAR2(30)
ROW作成日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新ユーザID	VARCHAR2(50)
* ROW_VER	NUMBER(8,0)

M軍艦地点

* 軍艦地点コード	VARCHAR2(4)
* 軍艦地点名	VARCHAR2(50)
カナ名	VARCHAR2(50)
英語名	VARCHAR2(50)
略名	VARCHAR2(16)
ROW作成日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新ユーザID	VARCHAR2(50)
* ROW_VER	NUMBER(8,0)

2.4 分析、測定

M核種

* 核種コード	VARCHAR2(3)
* 核種名	VARCHAR2(16)
カナ名	VARCHAR2(20)
英語名	VARCHAR2(25)
略名	VARCHAR2(16)
元素記号	VARCHAR2(2)
元素番号	NUMBER(10,0)
質量番号	NUMBER(10,0)
ROW作成日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新ユーザID	VARCHAR2(50)
* ROW_VER	NUMBER(8,0)

M採取法

* 採取法コード	VARCHAR2(3)
* 採取法名	VARCHAR2(40)
カナ名	VARCHAR2(30)
英語名	VARCHAR2(50)
略名	VARCHAR2(30)
ROW作成日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新ユーザID	VARCHAR2(50)
* ROW_VER	NUMBER(8,0)

M天気

* 天気コード	VARCHAR2(5)
* 天気名	VARCHAR2(30)
カナ名	VARCHAR2(20)
英語名	VARCHAR2(56)
略名	VARCHAR2(26)
ROW作成日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新ユーザID	VARCHAR2(50)
* ROW_VER	NUMBER(8,0)

R記載核種参照表

* 参照表SEQ	NUMBER(10,0)
* 記載核種名	VARCHAR2(16)
* 核種コード (FK)	VARCHAR2(3)
ROW作成日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新ユーザID	VARCHAR2(50)
* ROW_VER	NUMBER(8,0)

M前処理法

* 前処理法コード	VARCHAR2(2)
* 前処理法名	VARCHAR2(20)
カナ名	VARCHAR2(20)
英語名	VARCHAR2(40)
略名	VARCHAR2(16)
ROW作成日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新ユーザID	VARCHAR2(50)
* ROW_VER	NUMBER(8,0)

M化学分離法

* 化学分離法コード	VARCHAR2(2)
* 化学分離法名	VARCHAR2(40)
カナ名	VARCHAR2(50)
英語名	VARCHAR2(80)
略名	VARCHAR2(30)
ROW作成日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新ユーザID	VARCHAR2(50)
* ROW_VER	NUMBER(8,0)

M計測器

* 計測器コード	VARCHAR2(3)
* 計測器名	VARCHAR2(50)
カナ名	VARCHAR2(50)
英語名	VARCHAR2(80)
略名	VARCHAR2(30)
ROW作成日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新ユーザID	VARCHAR2(50)
* ROW_VER	NUMBER(8,0)

R計測器参照表

* 参照表SEQ	NUMBER(10,0)
* 記載計測器名	VARCHAR2(40)
* 計測器コード (FK)	VARCHAR2(3)
ROW作成日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新ユーザID	VARCHAR2(50)
* ROW_VER	NUMBER(8,0)

2.5 単位

M単位系列

* 単位系列コード	VARCHAR2(4)
* 単位系列名	VARCHAR2(30)
カナ名	VARCHAR2(30)
英語名	VARCHAR2(20)
略名	VARCHAR2(15)
ROW作成日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新ユーザID	VARCHAR2(50)
* ROW_VER	NUMBER(8,0)

M単位

* 単位コード	VARCHAR2(8)
* 単位名	VARCHAR2(15)
カナ名	VARCHAR2(30)
英語名	VARCHAR2(20)
略名	VARCHAR2(15)
* 単位系列コード (FK)	VARCHAR2(4)
備考	VARCHAR2(255)
ROW作成日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新ユーザID	VARCHAR2(50)
* ROW_VER	NUMBER(8,0)

M基本単位

* 基本単位コード	VARCHAR2(4)
* 基本単位名	VARCHAR2(20)
カナ名	VARCHAR2(15)
英語名	VARCHAR2(15)
* 係数	NUMBER
備考	VARCHAR2(255)
ROW作成日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新ユーザID	VARCHAR2(50)
* ROW_VER	NUMBER(8,0)

M標準単位

* 参照表SEQ	NUMBER(10,0)
* 単位項目ID	VARCHAR2(50)
* 試料コード	VARCHAR2(4)
* 核種コード	VARCHAR2(3)
* 単位系列コード (FK)	VARCHAR2(4)
* 単位コード (FK)	VARCHAR2(8)
ROW作成日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新ユーザID	VARCHAR2(50)
* ROW_VER	NUMBER(8,0)

R記載基本単位参照表

* 参照表SEQ	NUMBER(10,0)
* 記載基本単位名	VARCHAR2(10)
* 基本単位名	VARCHAR2(20)
ROW作成日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新ユーザID	VARCHAR2(50)
* ROW_VER	NUMBER(8,0)

R単位文字列変換表

* 参照表SEQ	NUMBER(10,0)
* 表記文字列	VARCHAR2(20)
* 標準文字列	VARCHAR2(20)
* PRIORITY	NUMBER(8,0)
ROW作成日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新ユーザID	VARCHAR2(50)
* ROW_VER	NUMBER(8,0)

M集計単位

* 集計単位コード	VARCHAR2(2)
* 集計単位名	VARCHAR2(15)
カナ名	VARCHAR2(30)
英語名	VARCHAR2(20)
略名	VARCHAR2(10)
ROW作成日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新ユーザID	VARCHAR2(50)
* ROW_VER	NUMBER(8,0)

M閾値

* 都道府県コード	VARCHAR2(2)
* 試料コード	VARCHAR2(4)
* 核種コード	VARCHAR2(3)
* 公開報告値単位	VARCHAR2(8)
* 閾値最大	NUMBER
* 閾値最少	NUMBER
ROW作成日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新ユーザID	VARCHAR2(50)
* ROW_VER	NUMBER(8,0)

2.6 その他

R記載項目参照表

* 参照表SEQ	NUMBER(10,0)
* テーブル系列	VARCHAR2(1)
* 記載項目名	VARCHAR2(40)
* 項目ID	VARCHAR2(32)
ROW作成日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新ユーザID	VARCHAR2(50)
* ROW_VER	NUMBER(8,0)

M和暦

* 和暦番号	NUMBER(4,0)
* 和暦名	NVARCHAR2(10)
* 和暦符号	VARCHAR2(1)
* 西暦開始日付	DATE
* 西暦終了日付	DATE
ROW作成日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新ユーザID	VARCHAR2(50)
* ROW_VER	NUMBER(8,0)

M軍艦

* 軍艦コード	VARCHAR2(4)
* 軍艦名	VARCHAR2(60)
カナ名	VARCHAR2(30)
英語名	VARCHAR2(40)
記号番号	VARCHAR2(10)
ROW作成日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新ユーザID	VARCHAR2(50)
* ROW_VER	NUMBER(8,0)

3 システム管理

ユーザマスタ

* ユーザSEQ	NUMBER(10,0)
* ユーザID	VARCHAR2(50)
* ユーザ名	NVARCHAR2(50)
* 会社名	NVARCHAR2(50)
部署名	NVARCHAR2(50)
メールアドレス	VARCHAR2(250)
権限ARRAY	VARCHAR2(4000)
ROW作成日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新ユーザID	VARCHAR2(50)
* ROW_VER	NUMBER(8,0)

ユーザパスワード

* ユーザSEQ (FK)	NUMBER(10,0)
パスワードHASH	VARCHAR2(64)
* パスワード状態	VARCHAR2(1)
ROW作成日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新ユーザID	VARCHAR2(50)
* ROW_VER	NUMBER(8,0)

ユーザロック

* ユーザSEQ (FK)	NUMBER(10,0)
* 認証失敗カウント	NUMBER(5,0)
* ロック状態	VARCHAR2(1)
ROW作成日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新日時	TIMESTAMP(0)
ROW更新ユーザID	VARCHAR2(50)
* ROW_VER	NUMBER(8,0)

お気に入り報告書

* ユーザSEQ (FK)	NUMBER(10,0)
* 報告書番号 (FK)	VARCHAR2(6)
ROW作成日時	TIMESTAMP(0)

認証操作履歴

* 認証操作履歴SEQ	NUMBER(10,0)
* 認証操作日時	TIMESTAMP(0)
* ユーザID	VARCHAR2(50)
* 認証操作区分	VARCHAR2(1)
CLIENT_IP	VARCHAR2(50)
HTTP_XFF	VARCHAR2(4000)
HTTP_ORIGIN	VARCHAR2(4000)
HTTP_UA	VARCHAR2(4000)
AP_NODE	VARCHAR2(256)

AP作業履歴

* AP作業履歴SEQ	NUMBER(10,0)
* AP作業日時	TIMESTAMP(0)
* ユーザID	VARCHAR2(50)
* AP作業区分	VARCHAR2(50)
AP作業メソッド	NVARCHAR2(50)
AP作業内容	NCLOB

プロパティマスタ

* プロパティキー	VARCHAR2(100)
プロパティ値	NVARCHAR2(2000)
プロパティ備考	NVARCHAR2(100)

エンティティ一覧表

システム名		Ver	作成者	更新日
erdbms				
エンティティ一覧表				
No.	エンティティ名	テーブル名	備考	
1	M作業履歴	AP_WORK_HIST	アプリ上の作業履歴。主に更新系作業を対象とする。	
2	M公開用地点名変換表	MCHANGEPOINT	公開用DL時に地点コードから公開用地点名に変換して出力する。	
3	M前処理法	MPRETREATMENT	試料の前処理法のマスタ。	
4	M化学分離法	MCHEMSEPAR	分析核種の化学分離法のマスタ。	
5	M単位	MUNIT	基本単位の組合せ(分子/分母)による単位マスタ。	
6	M単位系列	MUNITSERIES	単位の系列。同系列の単位間では数値換算可能。	
7	M和暦	MERA	パンチ取込における日付項目の元号から西暦への変換定義。	
8	M地点	MPOINT	地点のマスタ。	
9	M基本単位	MBASICUNIT	基本単位と換算係数のマスタ。	
10	M天気	MWEATHER	測定地の天気のマスタ。	
11	M採取法	MSAMPLING	試料の採取方法のマスタ。	
12	M核種	MELEMENT	分析対象の核種や、測定対象の線種のマスタ。	
13	M標準単位	MSTANDARDUNIT	単位項目(及び試料と核種)における指定可能な単位系列を定義。及びその単位系列における標準換算先となる単位を定義。	
14	M機関	MLABORATORY	発行、採取、分析、測定等の機関マスタ。	
15	M機関履歴	MLABORATORYHISTORY	機関の統廃合の追跡履歴。	
16	M生物	MLIFE	試料の補足詳細としての生物マスタ。	
17	M計測器	MINSTRUMENT	分析や測定の計測器のマスタ。	
18	M試料	MSAMPLE	試料のマスタ。試料種別(大分類)と試料(中分類)と記載試料名(小分類)となる。	
19	M試料テーブル系列	MSAMPLESERIES	テーブル系列で入力可能な試料種別を定義。	
20	M試料種別	MSAMPLETYPE	試料の種別(大分類)のマスタ。	
21	M調査	MSURVEY	報告書の調査種類を定義したマスタ。	
22	M軍艦	MWARSHIP	軍艦のマスタ。	
23	M軍艦地点	MWSPOINT	軍艦系における港の地点。	
24	M部位	MSECTION	試料の補足詳細としての部位マスタ。	
25	M都道府県	MPREFECTURE	発行、採取、測定等の都道府県のマスタ。	

エンティティ一覧表

システム名		Ver	作成者	更新日
erdbms				
エンティティ一覧表				
No.	エンティティ名	テーブル名	備考	
26	M閾値	MTHRESHOLD	公開報告値の閾値マスタ。標準化処理の閾値チェックで使用。	
27	M集計単位	MSUMUNIT	連続測定を集計期間の単位。	
28	M食品	MFOOD	試料の補足詳細としての食品マスタ。	
29	R単位文字列変換表	RUNITREP	M単位の名称引当前に、記載単位名から標準文字列へ置換する(部分一致箇所の置換)。	
30	R記載地点参照表	RLCPOINT	記載の地点名(別名)から地点コードへの参照表。及び経度緯度の組合せセットを定義する。振込年度で世代を表現。	
31	R記載基本単位参照表	RLCBASICUNIT	M単位の名称引当前に、記載単位名から基本単位名へ置換する(末尾一致箇所の置換)。	
32	R記載核種参照表	RLCELEMENT	記載の核種名(別名)から核種コードへの参照表。	
33	R記載機関参照表	RLCLABORATORY	記載の機関名(別名)から機関コードへの参照表。	
34	R記載計測器参照表	RLCINSTRUMENT	記載の計測器名(別名)から計測器コードへの参照表。	
35	R記載試料参照表	RLCSAMPLE	記載の試料名(別名)から試料コードへの参照表。及び生物食品部位の組合せセットを定義。	
36	R記載試料種別参照表	RLCSAMPLETYPE	記載の試料種別名(別名)から試料種別コードへの参照表。	
37	R記載項目参照表	RLCCLM	パンチ取込における記載の項目名(別名)から標準項目への参照表。	
38	お気に入り報告書	FAVORITE_REPORT	ユーザがお気に入り登録した報告書との連結表。	
39	プロパティマスタ	PROPERTY_MST	本アプリのプロパティ定義。	
40	ユーザパスワード	USER_PSWD	ユーザのパスワード状態管理	
41	ユーザマスタ	USER_MST	アプリの利用ユーザ。	
42	ユーザロック	USER_LOCK	ユーザのロック状態管理	
43	入港情報	INPORT	原子力艦出港時調査の場合に入港属性を入力する。	
44	分析	TANALYSIS	環境試料系の試料に対する分析明細(1:N)。同一試料に対して複数の核種分析や分析機関など。	
45	分析共通入力	TA_COM_INP	環境試料系の試料に対する分析明細(1:N)。同一試料に対して複数の核種分析や分析機関など。	
46	取込エラー	IMP_ERROR	報告書のパンチデータ取込みのエラー内容(最新世代)。	
47	報告書	REPORT	環境放射線データの報告書。	
48	変動幅グラフ出力状態	FLUC_CHART_EXPORT_ST	変動幅グラフの出力状態管理	
49	環境試料	TSAMPLE	環境試料系の行データ。試料と分析(1:N)で構成。	
50	環境試料共通入力	TS_COM_INP	環境試料の共通入力行	

エンティティ一覧表

システム名		Ver	作成者	更新日
erdbms				
エンティティ一覧表				
No.	エンティティ名	テーブル名	備考	
51	表データ	SHEET	報告書配下の表データ。表の入力項目を定義。	
52	表項目定義	SHEET_CLM_DEF	表の項目定義	
53	認証操作履歴	AUTH_OPE_HIST	ログイン等の認証に関する操作履歴。	
54	連続測定	TCMEASURE	連続測定系の行データ。連続測定しているモニタリングポストやダストモニタの集計値。	
55	連続測定共通入力	TC_COM_INP	連続測定系の行データ。連続測定しているモニタリングポストやダストモニタの集計値。	
56	非連続測定	TNMEASURE	非連続測定系の測定値。積算線量やサーベイメータ。	
57	非連続測定共通入力	TN_COM_INP	非連続測定系の測定値。積算線量やサーベイメータ。	

インデックス一覧表

システム名		Ver	作成者	更新日	
erdbms					
インデックス一覧表					
No.	テーブル名	インデックス名	タイプ	インデックス列	備 考
1	AP_WORK_HIST	PK_AP_WORK_HIST	主キー	AP_WORK_HIST_SEQ	
2	AP_WORK_HIST	AP_WORK_HIST_IX1	重複可能キー	AP_WORK_DT, AP_WORK_HIST_SEQ	検索
1	MCHANGEPOINT	PK_MCHANGEPOINT	主キー	POINTCD	
1	MPRETREATMENT	PK_MPRETREATMENT	主キー	PRETREATCD	
2	MPRETREATMENT	MPRETREATMENT_NK	重複不可キー	PRETREATNAME	名称での一意引当
3	MPRETREATMENT	MPRETREATMENT_IX1	重複可能キー	PRETREATCD, PRETREATNAME	参照joinされる
1	MCHEMSEPAR	PK_MCHEMSEPAR	主キー	CHEMSEPARCD	
2	MCHEMSEPAR	MCHEMSEPAR_NK	重複不可キー	CHEMSEPARNAME	名称での一意引当
3	MCHEMSEPAR	MCHEMSEPAR_IX1	重複可能キー	CHEMSEPARCD, CHEMSEPARNAME	参照joinされる
1	MUNIT	PK_MUNIT	主キー	UNITCD	
2	MUNIT	MUNIT_IX1	重複可能キー	UNITSERIESCD, UNITCD	従属
3	MUNIT	MUNIT_NK	重複不可キー	UNITNAME	名称での一意引当
4	MUNIT	MUNIT_IX2	重複可能キー	UNITCD, UNITNAME	参照joinされる
1	MUNITSERIES	PK_MUNITSERIES	主キー	UNITSERIESCD	
2	MUNITSERIES	MUNITSERIES_NK	重複不可キー	UNITSERIESNAME	名称での一意引当
1	MERA	PK_MERA	主キー	ERANO	
2	MERA	MERA_NK	重複不可キー	ERACODE	論理キー
1	MPOINT	PK_MPOINT	主キー	POINTCD	
2	MPOINT	MPOINT_NK	重複可能キー	POINTNAME	名称での一意引当(重複あり)
3	MPOINT	MPOINT_IX1	重複可能キー	PREFCD, POINTCD	従属
4	MPOINT	MPOINT_IX2	重複可能キー	POINTCD, POINTNAME	参照joinされる
1	MBASICUNIT	PK_MBASICUNIT	主キー	BASICUNITCD	
2	MBASICUNIT	MBASICUNIT_NK	重複不可キー	BASICUNITNAME	名称での一意引当
1	MWEATHER	PK_MWEATHER	主キー	WEATHERCD	
2	MWEATHER	MWEATHER_NK	重複不可キー	WEATHERNAME	名称での一意引当

インデックス一覧表

システム名		Ver	作成者	更新日	
erdbms					
インデックス一覧表					
No.	テーブル名	インデックス名	タイプ	インデックス列	備 考
3	MWEATHER	MWEATHER_IX1	重複可能キー	WEATHERCD, WEATHERNAME	参照joinされる
1	MSAMPLING	PK_MSAMPLING	主キー	SAMPLINGCD	
2	MSAMPLING	MSAMPLING_NK	重複不可キー	SAMPLINGNAME	名称での一意引当
3	MSAMPLING	MSAMPLING_IX1	重複可能キー	SAMPLINGCD, SAMPLINGNAME	参照joinされる
1	MELEMENT	PK_MELEMENT	主キー	ELEMENTCD	
2	MELEMENT	MELEMENT_NK	重複不可キー	ELEMENTNAME	名称での一意引当
3	MELEMENT	MELEMENT_IX1	重複可能キー	ELEMENTCD, ELEMENTNAME	参照joinされる
1	MSTANDARDUNIT	PK_MSTANDARDUNIT	主キー	RLCSEQ	
2	MSTANDARDUNIT	MSTANDARDUNIT_NK	重複不可キー	UNITCLMID, SAMPLECD, ELEMENTCD, UNITSERIESCD	論理キー
1	MLABORATORY	PK_MLABORATORY	主キー	LABCD	
2	MLABORATORY	MLABORATORY_NK	重複不可キー	LABNAME	名称での一意引当
3	MLABORATORY	MLABORATORY_IX1	重複可能キー	LABCD, LABNAME	
1	MLABORATORYHISTORY	PK_MLABORATORYHISTORY	主キー	LABCD, CNVLABCD	
2	MLABORATORYHISTORY	MLABORATORYHISTORY_NK	重複不可キー	CNVLABCD, LABCD	変換先を主体としたPK
1	MLIFE	PK_MLIFE	主キー	LIFECD	
2	MLIFE	MLIFE_NK	重複不可キー	LIFENAME	名称での一意引当
3	MLIFE	MLIFE_IX1	重複可能キー	LIFECD, LIFENAME	参照joinされる
1	MINSTRUMENT	PK_MINSTRUMENT	主キー	INSTRUMENTCD	
2	MINSTRUMENT	MINSTRUMENT_NK	重複不可キー	INSTRUMENTNAME	名称での一意引当
3	MINSTRUMENT	MINSTRUMENT_IX1	重複可能キー	INSTRUMENTCD, INSTRUMENTNAME	参照joinされる
1	MSAMPLE	PK_MSAMPLE	主キー	SAMPLECD	
2	MSAMPLE	MSAMPLE_NK	重複不可キー	SAMPLENAME	名称での一意引当
3	MSAMPLE	MSAMPLE_IX1	重複可能キー	SAMPLECD, SAMPLENAME	参照joinされる
1	MSAMPLESERIES	PK_MSAMPLESERIES	主キー	TABLESERIES, SAMPLETYPECD	
1	MSAMPLETYPE	PK_MSAMPLETYPE	主キー	SAMPLETYPECD	

インデックス一覧表

システム名		Ver	作成者	更新日	
erdbms					
インデックス一覧表					
No.	テーブル名	インデックス名	タイプ	インデックス列	備考
2	MSAMPLETYPE	MSAMPLETYPE_NK	重複不可キー	SAMPLETYPE_NAME	名称での一意引当
3	MSAMPLETYPE	MSAMPLETYPE_IX1	重複可能キー	SAMPLETYPE_CD, SAMPLETYPE_NAME	参照joinされる
1	MSURVEY	PK_MSURVEY	主キー	SURVEY_CD	
2	MSURVEY	MSURVEY_NK	重複不可キー	SURVEY_NAME	名称での一意引当
3	MSURVEY	MSURVEY_IX1	重複可能キー	SURVEY_CD, SURVEY_NAME, WARSHIP_FLG, DBIGNORE_FLG	参照joinされる
1	MWARSHIP	PK_MWARSHIP	主キー	WSCD	
2	MWARSHIP	MWARSHIP_NK	重複不可キー	WSNAME	名称での一意引当
3	MWARSHIP	MWARSHIP_IX1	重複可能キー	WSCD, WSNAME	参照joinされる
1	MWSPPOINT	PK_MWSPPOINT	主キー	WSPPOINT_CD	
2	MWSPPOINT	MWSPPOINT_NK	重複不可キー	WSPPOINT_NAME	名称での一意引当
3	MWSPPOINT	MWSPPOINT_IX1	重複可能キー	WSPPOINT_CD, WSPPOINT_NAME	参照joinされる
1	MSECTION	PK_MSECTION	主キー	SECTION_CD	
2	MSECTION	MSECTION_NK	重複不可キー	SECTION_NAME	名称での一意引当
3	MSECTION	MSECTION_IX1	重複可能キー	SECTION_CD, SECTION_NAME	参照joinされる
1	MPREFECTURE	PK_MPREFECTURE	主キー	PREF_CD	
2	MPREFECTURE	MPREFECTURE_NK	重複不可キー	PREF_NAME	名称での一意引当
3	MPREFECTURE	MPREFECTURE_IX1	重複可能キー	PREF_CD, PREF_NAME	参照joinされる
1	MTHRESHOLD	PK_MTHRESHOLD	主キー	PREF_CD, SAMPLE_CD, ELEMENT_CD, REACTIVITY_UT	
1	MSUMUNIT	PK_MSUMUNIT	主キー	SUMUNIT_CD	
2	MSUMUNIT	MSUMUNIT_NK	重複不可キー	SUMUNIT_NAME	名称での一意引当
3	MSUMUNIT	MSUMUNIT_IX1	重複可能キー	SUMUNIT_CD, SUMUNIT_NAME	参照joinされる
1	MFOOD	PK_MFOOD	主キー	FOOD_CD	
2	MFOOD	MFOOD_NK	重複不可キー	FOOD_NAME	名称での一意引当
3	MFOOD	MFOOD_IX1	重複可能キー	FOOD_CD, FOOD_NAME	参照joinされる
1	RUNITREP	PK_RUNITREP	主キー	RLCSEQ	

インデックス一覧表

システム名		Ver	作成者	更新日	
erdbms					
インデックス一覧表					
No.	テーブル名	インデックス名	タイプ	インデックス列	備 考
2	RUNITREP	RUNITREP_NK	重複不可キー	REPSTRING	論理キー
1	RLCPOINT	PK_RLCPOINT	主キー	RLCSEQ	
2	RLCPOINT	RLCPOINT_NK	重複可能キー	SURVEYCD, LABCD, SAMPLECD, PREFCD, LCPPOINTNAME	論理キー(重複あり)、標準化処理でのマスタ引当
3	RLCPOINT	RLCPOINT_IX1	重複可能キー	POINTCD	従属
1	RLCBASICUNIT	PK_RLCBASICUNIT	主キー	RLCSEQ	
2	RLCBASICUNIT	RLCBASICUNIT_NK	重複不可キー	LCBASICUNITNAME	論理キー
1	RLCELEMENT	PK_RLCELEMENT	主キー	RLCSEQ	
2	RLCELEMENT	RLCELEMENT_NK	重複不可キー	LCELEMENTNAME	論理キー、別名での一意引当
1	RLCLABORATORY	PK_RLCLABORATORY	主キー	RLCSEQ	
2	RLCLABORATORY	RLCLABORATORY_NK	重複不可キー	LCLABNAME	論理キー、別名での一意引当
1	RLCINSTRUMENT	PK_RLCINSTRUMENT	主キー	RLCSEQ	
2	RLCINSTRUMENT	RLCINSTRUMENT_NK	重複不可キー	LCINSTRUMENTNAME	論理キー、別名での一意引当
1	RLCSAMPLE	PK_RLCSAMPLE	主キー	RLCSEQ	
2	RLCSAMPLE	RLCSAMPLE_NK	重複不可キー	SAMPLETYPECD, LGSAMPLENAME	論理キー、標準化処理でのマスタ引当
1	RLCSAMPLETYPE	PK_RLCSAMPLETYPE	主キー	RLCSEQ	
2	RLCSAMPLETYPE	RLCSAMPLETYPE_NK	重複不可キー	LSAMPLETYPENAME	論理キー、名称での一意引当
1	RLCCLM	PK_RLCCLM	主キー	RLCSEQ	
2	RLCCLM	RLCCLM_NK	重複不可キー	TABLESERIES, LCCLMNAME	論理キー、別名での一意引当
1	FAVORITE_REPORT	PK_FAVORITE_REPORT	主キー	USER_SEQ, REPORTCD	
1	PROPERTY_MST	PK_PROPERTY_MST	主キー	PROPERTY_KEY	
1	USER_PSWD	PK_USER_PSWD	主キー	USER_SEQ	
1	USER_MST	PK_USER_MST	主キー	USER_SEQ	
2	USER_MST	USER_MST_NK	重複不可キー	USER_ID	論理キー
1	USER_LOCK	PK_USER_LOCK	主キー	USER_SEQ	
1	INPORT	PK_INPORT	主キー	REPORTCD	

インデックス一覧表

システム名					Ver	作成者	更新日
erdbms							
インデックス一覧表							
No.	テーブル名	インデックス名	タイプ	インデックス列	備	考	
1	TANALYSIS	PK_TANALYSIS	主キー	ANALYSISNO			
2	TANALYSIS	TANALYSIS_NK	重複可能キー	SAMPLENO, ANALYSISDTLNO, ANALYSISNO	論理キー(移行時は-1:未整列なので重複可、及び分析番号も補助追加)		
3	TANALYSIS	TANALYSIS_IX1	重複可能キー	SAMPLENO, ANALABCD, ELEMENTCD, REPACTIVITYUT, ANALYSISNO, ANALYSISDTLNO, REPACTIVITY, REPACTIVITYERR	推移グラフ抽出用		
4	TANALYSIS	TANALYSIS_IX2	重複可能キー	SAMPLENO, ELEMENTCD, REPACTIVITYUT, ANALYSISNO, ANALYSISDTLNO, REPACTIVITY	変動用データ		
1	TA_COM_INP	PK_TA_COM_INP	主キー	SHEETSEQ, ANALYSISDTLNO			
1	IMP_ERROR	PK_IMP_ERROR	主キー	REPORTCD			
1	REPORT	PK_REPORT	主キー	REPORTCD			
2	REPORT	REPORT_IX1	重複可能キー	SURVEYYEAR, SURVEYSDATE, REPORTCD, DELETEDFLG	検索、ソート		
3	REPORT	REPORT_IX2	重複可能キー	REPORTCD, SURVEYCD, REPLABCD, DELETEDFLG	SONの一覧画面や推移グラフやチェックリストでの結合用		
1	FLUC_CHART_EXPORT_ST	FLUC_CHART_EXPORT_ST_pk	主キー	REPORTCD, TABLESERIES, CATEGORY_KEY			
1	TSAMPLE	PK_TSAMPLE	主キー	SAMPLENO			
2	TSAMPLE	TSAMPLE_IX1	重複可能キー	REPORTCD, SHEETSEQ, LINENO, SAMPLENO, BASEDATE	報告書番号の検索とソート(ta連結用に試料番号、抽出性で基準日も補助追加)		
3	TSAMPLE	TSAMPLE_IX2	重複可能キー	BASEDATE, REPORTCD, SHEETSEQ, LINENO, SAMPLENO	採取基準日の検索とソート(ta連結用に試料番号も補助追加)		
4	TSAMPLE	TSAMPLE_IX3	重複可能キー	STDN_STATUS, SAMPLECD, SAMPLEPREFCD, BASEDATE, SAMPLEPOINTCD, SAMPLELAYERKBN, SAMPLENO, REPORTCD, SHEETSEQ, LINENO	推移グラフ抽出用		
5	TSAMPLE	TSAMPLE_IX4	重複可能キー	SAMPLETYPECD, LCSAMPLENAME, SAMPLECD, LIFECD, FOODCD, SECTIONCD, REPORTCD, BASEDATE	R記載試料参照表へのfeedback		
6	TSAMPLE	TSAMPLE_IX5	重複可能キー	SAMPLABCD, SAMPLECD, SAMPLEPREFCD, LCSAMPLEPOINTNAME, SAMPLEPOINTCD, POINTSETYEAR, SLATITUDE, SLONGITUDE, REPORTCD, SAMPLEYEAR	R記載地点参照表へのfeedback		
7	TSAMPLE	TSAMPLE_NK	重複可能キー	SHEETSEQ, LINENO	論理キー(ただし行移動も考慮して重複可)		
8	TSAMPLE	TSAMPLE_IX6	重複可能キー	STDN_STATUS, SAMPLETYPECD, SAMPLECD, SAMPLEPREFCD, SAMPLEPOINTCD, BASEDATE, SAMPLELAYER1, SAMPLELAYER2, SAMPLELAYERUT, REPORTCD, SHEETSEQ, LINENO, SAMPLENO	変動用データ		
1	TS_COM_INP	PK_TS_COM_INP	主キー	SHEETSEQ			
1	SHEET	PK_SHEET	主キー	SHEETSEQ			
2	SHEET	SHEET_NK	重複不可キー	REPORTCD, PAGENO, SHEETNO, TABLESERIES	論理キー		
1	SHEET_CLM_DEF	PK_SHEET_CLM_DEF	主キー	SHEETSEQ			
1	AUTH_OPE_HIST	PK_AUTH_OPE_HIST	主キー	AUTH_OPE_HIST_SEQ			
2	AUTH_OPE_HIST	AUTH_OPE_HIST_IX1	重複可能キー	AUTH_OPE_DT, AUTH_OPE_HIST_SEQ	検索		

インデックス一覧表

システム名		Ver	作成者	更新日	
erdbms					
インデックス一覧表					
No.	テーブル名	インデックス名	タイプ	インデックス列	備 考
1	TCMEASURE	PK_TCMEASURE	主キー	MEASURENO	
2	TCMEASURE	TCMEASURE_IX1	重複可能キー	REPORTCD, SHEETSEQ, LINENO, BASEDATE	報告書番号ソート(抽出性で基準日も補助追加)
3	TCMEASURE	TCMEASURE_IX2	重複可能キー	BASEDATE, REPORTCD, SHEETSEQ, LINENO	測定基準日ソート
4	TCMEASURE	TCMEASURE_IX3	重複可能キー	STDN_STATUS, SAMPLECD, MEASUREPREFCD, MEASURELABCD, ELEMENTCD, REACTIVITYUT, BASEDATE, MEASUREPOINTCD, MEASURENO, REPORTCD, SHEETSEQ, LINENO, REACTIVITYMAX, REACTIVITYMIN, REACTIVITYAVG	推移グラフ抽出用
5	TCMEASURE	TCMEASURE_IX4	重複可能キー	SAMPLETYPECD, LCSAMPLENAME, SAMPLECD, REPORTCD, BASEDATE	R記載試料参照表へのfeedback
6	TCMEASURE	TCMEASURE_IX5	重複可能キー	MEASURELABCD, SAMPLECD, MEASUREPREFCD, LCMEASUREPOINTNAME, MEASUREPOINTCD, POINTSEYEAR, SLATITUDE, SLONGITUDE, REPORTCD, MEASUREYEAR	R記載地点参照表へのfeedback
7	TCMEASURE	TCMEASURE_NK	重複可能キー	SHEETSEQ, LINENO	論理キー(ただし行移動も考慮して重複可)
8	TCMEASURE	TCMEASURE_IX6	重複可能キー	STDN_STATUS, SAMPLETYPECD, SAMPLECD, MEASUREPREFCD, MEASUREPOINTCD, ELEMENTCD, REACTIVITYUT, BASEDATE, REPORTCD, SHEETSEQ, LINENO, MEASURENO, REACTIVITYMAX, REACTIVITYMIN, REACTIVITYAVG	変動用データ
1	TC_COM_INP	PK_TC_COM_INP	主キー	SHEETSEQ	
1	TNMEASURE	PK_TNMEASURE	主キー	MEASURENO	
2	TNMEASURE	TNMEASURE_IX1	重複可能キー	REPORTCD, SHEETSEQ, LINENO, BASEDATE	報告書番号ソート(抽出性で基準日も補助追加)
3	TNMEASURE	TNMEASURE_IX2	重複可能キー	BASEDATE, REPORTCD, SHEETSEQ, LINENO	測定基準日ソート
4	TNMEASURE	TNMEASURE_IX3	重複可能キー	STDN_STATUS, SAMPLECD, MEASUREPREFCD, MEASURELABCD, REACTIVITYUT, BASEDATE, MEASUREPOINTCD, MEASURENO, REPORTCD, SHEETSEQ, LINENO, REACTIVITYMAX, REACTIVITYMIN, REACTIVITY, REACTIVITYERR	推移グラフ抽出用
5	TNMEASURE	TNMEASURE_IX4	重複可能キー	SAMPLETYPECD, LCSAMPLENAME, SAMPLECD, REPORTCD, BASEDATE	R記載試料参照表へのfeedback
6	TNMEASURE	TNMEASURE_IX5	重複可能キー	MEASURELABCD, SAMPLECD, MEASUREPREFCD, LCMEASUREPOINTNAME, MEASUREPOINTCD, POINTSEYEAR, SLATITUDE, SLONGITUDE, REPORTCD, MEASUREYEAR	R記載地点参照表へのfeedback
7	TNMEASURE	TNMEASURE_NK	重複可能キー	SHEETSEQ, LINENO	論理キー(ただし行移動も考慮して重複可)
8	TNMEASURE	TNMEASURE_IX6	重複可能キー	STDN_STATUS, SAMPLETYPECD, SAMPLECD, MEASUREPREFCD, MEASUREPOINTCD, REACTIVITYUT, BASEDATE, REPORTCD, SHEETSEQ, LINENO, MEASURENO, REACTIVITYMAX, REACTIVITYMIN, REACTIVITY	変動用データ
1	TN_COM_INP	PK_TN_COM_INP	主キー	SHEETSEQ	

シーケンス一覧

システム名		Ver	作成者	更新日
erdbms				
シーケンス一覧				
No.	シーケンス名	範囲	用途	
1	USER_SEQ	1-9999999999	ユーザマスタのPK	
2	AUTH_OPE_HIST_SEQ	1-9999999999	認証操作履歴のPK	
3	AP_WORK_HIST_SEQ	1-9999999999	AP作業履歴のPK	
4	REPORTCD_SEQ	20000-799999	報告書のPK。移行分と外部システム予約分を除外	
5	SHEET_SEQ	1000000-9999999999	表データのPK。移行分を除外。	
6	TS_SAMPLENO_SEQ	1500000-9999999999	試料のPK。移行分を除外。	
7	TS_ANALYSISNO_SEQ	4300000-9999999999	分析のPK。移行分を除外。	
8	TC_MEASURENO_SEQ	1000000-9999999999	連続測定のPK。移行分を除外。	
9	TN_MEASURENO_SEQ	500000-9999999999	非連続測定のPK。移行分を除外。	
10	RLC_SEQ	1000000-9999999999	各参照表のPK(共用)。移行分を除外。	
11	RLCSAMPLE_SEQ	1000000-9999999999	R記載試料参照表のPK。移行分を除外。	
12	RLCPOINT_SEQ	10000000-99999999999	R記載地点参照表のPK。移行分を除外。	

パッケージ一覧

システム名		Ver	作成者	更新日
erdbms				
パッケージ一覧				
No.	パッケージ名	ストアド/関数名	概要	
1	ERDB_UTIL	DIFF_SEC	DATE1-DATE2の差分を秒で返す	
2	ERDB_UTIL	YMD_TO_DATE	YYYY/MM/DDの文字列からDATEに変換する。年度と年月の表記にも対応。	
3	ERDB_JOB	PUT_HIST	作業履歴を出力する。	
4	ERDB_JOB	CLEANUP_DATA	保存期間の過ぎたデータをクリーンアップする。	
5	ERDB_JOB	FEEDBACK_RLCSAMPLE	R記載試料参照表の自動生成。	
6	ERDB_JOB	FEEDBACK_RLCPOINT	R記載地点参照表の自動生成。	

AP作業履歴

エンティティ名		
AP作業履歴		
テーブル名	スキーマ	表領域
AP_WORK_HIST	ERDBMS	

アプリ上の作業履歴。主に更新系作業を対象とする。

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	AP作業履歴SEQ	AP_WORK_HIST_SEQ	NUMBER	10	0	Y		1	アプリの作業履歴のSEQ
2	AP作業日時	AP_WORK_DT	TIMESTAMP(0)			Y			アプリの作業日時
3	ユーザID	USER_ID	VARCHAR2	50		Y			ユーザのログインID
4	AP作業区分	AP_WORK_KBN	VARCHAR2	50		Y			TABLEに関する作業はTABLE名、その他はCleanupなど
5	AP作業メソッド	AP_WORK_METHOD	NVARCHAR2	50					createやupdateなどの作業のメソッド
6	AP作業内容	AP_WORK_BODY	NCLOB						作業内容
	主キー	PK_AP_WORK_HIST							AP_WORK_HIST_SEQ
	AP作業履歴_IX1	AP_WORK_HIST_IX1							AP_WORK_DT, AP_WORK_HIST_SEQ

M化学分離法

エンティティ名									
M化学分離法									
テーブル名		スキーマ		表領域					
MCHEMSEPAR		ERDBMS							
分析核種の化学分離法のマスタ。									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	化学分離法コード	CHEMSEPARCD	VARCHAR2	2		Y		1	
2	化学分離法名	CHEMSEPARNAME	VARCHAR2	40		Y			
3	カナ名	KNAME	VARCHAR2	50					
4	英語名	ENAME	VARCHAR2	80					
5	略名	SNAME	VARCHAR2	30					
6	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
7	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
8	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
9	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御
	MCHEMSEPAR	PK_MCHEMSEPAR							CHEMSEPARCD
	M化学分離法_NK	MCHEMSEPAR_NK							CHEMSEPARNAME
	M化学分離法_IX1	MCHEMSEPAR_IX1							CHEMSEPARCD, CHEMSEPARNAME

M核種

エンティティ名									
M核種									
テーブル名		スキーマ		表領域					
MELEMENT		ERDBMS							
分析対象の核種や、測定対象の線種のマスタ。									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	核種コード	ELEMENTCD	VARCHAR2	3		Y		1	分析核種や測定線種
2	核種名	ELEMENTNAME	VARCHAR2	16		Y			
3	カナ名	KNAME	VARCHAR2	20					
4	英語名	ENAME	VARCHAR2	25					
5	略名	SNAME	VARCHAR2	16					
6	元素記号	ELEMENTSYMBOL	VARCHAR2	2					
7	元素番号	ATOMICNUMBER	NUMBER	10	0				
8	質量番号	MASSNUMBER	NUMBER	10	0				
9	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
10	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
11	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
12	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御
	主キー	PK_MELEMENT							ELEMENTCD
	M核種_NK	MELEMENT_NK							ELEMENTNAME
	M核種_IX1	MELEMENT_IX1							ELEMENTCD, ELEMENTNAME

M基本単位

エンティティ名		
M基本単位		
テーブル名	スキーマ	表領域
MBASICUNIT	ERDBMS	

基本単位と換算係数のマスタ。

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	基本単位コード	BASICUNITCD	VARCHAR2	4		Y		1	
2	基本単位名	BASICUNITNAME	VARCHAR2	20		Y			
3	カナ名	KNAME	VARCHAR2	15					
4	英語名	ENAME	VARCHAR2	15					
5	係数	PARAM	NUMBER			Y			
6	備考	REMARK	VARCHAR2	255					
7	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
8	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
9	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
10	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御
	MBASICUNIT	PK_MBASICUNIT							BASICUNITCD
	M基本単位_NK	MBASICUNIT_NK							BASICUNITNAME

M機関

エンティティ名			
M機関			
テーブル名	スキーマ	表領域	
MLABORATORY	ERDBMS		

発行、採取、分析、測定等の機関マスタ。

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	機関コード	LABCD	VARCHAR2	4		Y		1	
2	機関名	LABNAME	VARCHAR2	60		Y			
3	カナ名	KNAME	VARCHAR2	50					
4	英語名	ENAME	VARCHAR2	100					
5	略名	SNAME	VARCHAR2	30					
6	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
7	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
8	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
9	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御
	MLABORATORY	PK_MLABORATORY							LABCD
	M機関_NK	MLABORATORY_NK							LABNAME
	M機関_IX1	MLABORATORY_IX1							LABCD, LABNAME

M機関履歴

エンティティ名									
M機関履歴									
テーブル名		スキーマ		表領域					
MLABORATORYHISTORY		ERDBMS							
機関の統廃合の追跡履歴。									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	機関コード (FK)	LABCD	VARCHAR2	4		Y		1	
2	変換先機関コード	CNVLABCD	VARCHAR2	4		Y		2	変換先の機関コード
3	変換開始日付	CNVDATE	DATE			Y			
4	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
5	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
6	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
7	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御
	MLABORATORYHISTORY	PK_MLABORATORYHISTORY							LABCD, CNVLABCD
	M機関履歴_NK	MLABORATORYHISTORY_NK							CNVLABCD, LABCD

M軍艦

エンティティ名		
M軍艦		
テーブル名	スキーマ	表領域
MWARSHIP	ERDBMS	

軍艦のマスタ。

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	軍艦コード	WSCD	VARCHAR2	4		Y		1	
2	軍艦名	WSNAME	VARCHAR2	60		Y			
3	カナ名	KNAME	VARCHAR2	30					
4	英語名	ENAME	VARCHAR2	40					
5	記号番号	SIGNNO	VARCHAR2	10					
6	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
7	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
8	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
9	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御
	MWARSHIP	PK_MWARSHIP							WSCD
	M軍艦_NK	MWARSHIP_NK							WSNAME
	M軍艦_IX1	MWARSHIP_IX1							WSCD, WSNAME

M軍艦地点

エンティティ名									
M軍艦地点									
テーブル名		スキーマ	表領域						
MWSPPOINT		ERDBMS							
軍艦系における港の地点。									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	軍艦地点コード	WSPPOINTCD	VARCHAR2	4		Y		1	軍艦系における港の地点
2	軍艦地点名	WSPPOINTNAME	VARCHAR2	50		Y			
3	カナ名	KNAME	VARCHAR2	50					
4	英語名	ENAME	VARCHAR2	50					
5	略名	SNAME	VARCHAR2	16					
6	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
7	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
8	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
9	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御
	MWSPPOINT	PK_MWSPPOINT							WSPPOINTCD
	M軍艦地点_NK	MWSPPOINT_NK							WSPPOINTNAME
	M軍艦地点_IX1	MWSPPOINT_IX1							WSPPOINTCD, WSPPOINTNAME

M計測器

エンティティ名		
M計測器		
テーブル名	スキーマ	表領域
MINSTRUMENT	ERDBMS	

分析や測定の手測器のマスター。

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	計測器コード	INSTRUMENTCD	VARCHAR2	3		Y		1	
2	計測器名	INSTRUMENTNAME	VARCHAR2	50		Y			
3	カナ名	KNAME	VARCHAR2	50					
4	英語名	ENAME	VARCHAR2	80					
5	略名	SNAME	VARCHAR2	30					
6	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
7	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
8	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
9	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御
	MINSTRUMENT	PK_MINSTRUMENT							INSTRUMENTCD
	M計測器_NK	MINSTRUMENT_NK							INSTRUMENTNAME
	M計測器_IX1	MINSTRUMENT_IX1							INSTRUMENTCD, INSTRUMENTNAME

M公開用地点名変換表

エンティティ名									
M公開用地点名変換表									
テーブル名		スキーマ	表領域						
MCHANGEPOINT		ERDBMS							
公開用DL時に地点コードから公開用地点名に変換して出力する。									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	地点コード (FK)	POINTCD	VARCHAR2	9		Y		1	
2	変換地点名	CHANGEPOINTNAME	VARCHAR2	30		Y			
3	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
4	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
5	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
6	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御
	主キー	PK_MCHANGEPOINT							POINTCD

M採取法

エンティティ名									
M採取法									
テーブル名		スキーマ		表領域					
MSAMPLING		ERDBMS							
試料の採取方法のマスタ。									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	採取法コード	SAMPLINGCD	VARCHAR2	3		Y		1	
2	採取法名	SAMPLINGNAME	VARCHAR2	40		Y			
3	カナ名	KNAME	VARCHAR2	30					
4	英語名	ENAME	VARCHAR2	50					
5	略名	SNAME	VARCHAR2	30					
6	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
7	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
8	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
9	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御
	MSAMPLING	PK_MSAMPLING							SAMPLINGCD
	M採取法_NK	MSAMPLING_NK							SAMPLINGNAME
	M採取法_IX1	MSAMPLING_IX1							SAMPLINGCD, SAMPLINGNAME

M試料

エンティティ名		
M試料		
テーブル名	スキーマ	表領域
MSAMPLE	ERDBMS	

試料のマスタ。試料種別（大分類）と試料（中分類）と記載試料名（小分類）となる。

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	試料コード	SAMPLECD	VARCHAR2	4		Y		1	
2	試料名	SAMPLENAME	VARCHAR2	26		Y			
3	カナ名	KNAME	VARCHAR2	20					
4	英語名	ENAME	VARCHAR2	50					
5	略名	SNAME	VARCHAR2	20					
6	試料種別コード (FK)	SAMPLETYPECD	VARCHAR2	2		Y			
7	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
8	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
9	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
10	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御
	MSAMPLE	PK_MSAMPLE							SAMPLECD
	M試料_NK	MSAMPLE_NK							SAMPLENAME
	M試料_IX1	MSAMPLE_IX1							SAMPLECD, SAMPLENAME

M試料テーブル系列

エンティティ名									
M試料テーブル系列									
テーブル名		スキーマ	表領域						
MSAMPLESERIES		ERDBMS							
テーブル系列で入力可能な試料種別を定義。									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	テーブル系列	TABLESERIES	VARCHAR2	1		Y		1	S:環境試料系,C:連続測定系,N:非連続測定系
2	試料種別コード (FK)	SAMPLETYPECD	VARCHAR2	2		Y		2	
3	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
4	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
5	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
6	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御
	MSAMPLESERIES	PK_MSAMPLESERIES							TABLESERIES, SAMPLETYPECD

M試料種別

エンティティ名									
M試料種別									
テーブル名		スキーマ		表領域					
MSAMPLETYPE		ERDBMS							
試料の種別（大分類）のマスタ。									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	試料種別コード	SAMPLETYPECD	VARCHAR2	2		Y		1	
2	試料種別名	SAMPLETYPENAME	VARCHAR2	26		Y			
3	カナ名	KNAME	VARCHAR2	20					
4	英語名	ENAME	VARCHAR2	30					
5	略名	SNAME	VARCHAR2	20					
6	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
7	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
8	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
9	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御
	MSAMPLETYPE	PK_MSAMPLETYPE							SAMPLETYPECD
	M試料種別_NK	MSAMPLETYPE_NK							SAMPLETYPENAME
	M試料種別_IX1	MSAMPLETYPE_IX1							SAMPLETYPECD, SAMPLETYPENAME

M集計単位

エンティティ名									
M集計単位									
テーブル名		スキーマ		表領域					
MSUMUNIT		ERDBMS							
連続測定を集計期間の単位。									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	集計単位コード	SUMUNITCD	VARCHAR2	2		Y		1	
2	集計単位名	SUMUNITNAME	VARCHAR2	15		Y			
3	カナ名	KNAME	VARCHAR2	30					
4	英語名	ENAME	VARCHAR2	20					
5	略名	SNAME	VARCHAR2	10					
6	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
7	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
8	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
9	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御
	MSUMUNIT	PK_MSUMUNIT							SUMUNITCD
	M集計単位_NK	MSUMUNIT_NK							SUMUNITNAME
	M集計単位_IX1	MSUMUNIT_IX1							SUMUNITCD, SUMUNITNAME

M食品

エンティティ名		
M食品		
テーブル名	スキーマ	表領域
MFOOD	ERDBMS	

試料の補足詳細としての食品マスタ。

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	食品コード	FOODCD	VARCHAR2	7		Y		1	
2	食品名	FOODNAME	VARCHAR2	40		Y			
3	カナ名	KNAME	VARCHAR2	30					
4	英語名	ENAME	VARCHAR2	70					
5	略名	SNAME	VARCHAR2	30					
6	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
7	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
8	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
9	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御
	MFOOD	PK_MFOOD							FOODCD
	M食品_NK	MFOOD_NK							FOODNAME
	M食品_IX1	MFOOD_IX1							FOODCD, FOODNAME

M生物

エンティティ名									
M生物									
テーブル名		スキーマ		表領域					
MLIFE		ERDBMS							
試料の補足詳細としての生物マスタ。									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	生物コード	LIFECD	VARCHAR2	12		Y		1	
2	生物名	LIFENAME	VARCHAR2	50		Y			
3	カナ名	KNAME	VARCHAR2	25					
4	英語名	ENAME	VARCHAR2	50					
5	略名	SNAME	VARCHAR2	20					
6	学術名	GNAME	VARCHAR2	60					
7	出典	BOOK	VARCHAR2	50					
8	俗名	ZNAME	VARCHAR2	50					
9	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
10	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
11	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
12	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御
	MLIFE	PK_MLIFE							LIFECD
	M生物_NK	MLIFE_NK							LIFENAME
	M生物_IX1	MLIFE_IX1							LIFECD, LIFENAME

M前処理法

エンティティ名		
M前処理法		
テーブル名	スキーマ	表領域
MPRETREATMENT	ERDBMS	

試料の前処理法のマスタ。

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	前処理法コード	PRETREATCD	VARCHAR2	2		Y		1	
2	前処理法名	PRETREATNAME	VARCHAR2	20		Y			
3	カナ名	KNAME	VARCHAR2	20					
4	英語名	ENAME	VARCHAR2	40					
5	略名	SNAME	VARCHAR2	16					
6	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
7	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
8	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
9	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御
	MPRETREATMENT	PK_MPRETREATMENT							PRETREATCD
	M前処理法_NK	MPRETREATMENT_NK							PRETREATNAME
	M前処理法_IX1	MPRETREATMENT_IX1							PRETREATCD, PRETREATNAME

M単位

エンティティ名									
M単位									
テーブル名		スキーマ		表領域					
MUNIT		ERDBMS							
基本単位の組合せ(分子/分母)による単位マスタ。									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	単位コード	UNITCD	VARCHAR2	8		Y		1	基本単位CDのペア(分子/分母)
2	単位名	UNITNAME	VARCHAR2	15		Y			
3	カナ名	KNAME	VARCHAR2	30					
4	英語名	ENAME	VARCHAR2	20					
5	略名	SNAME	VARCHAR2	15					
6	単位系列コード (FK)	UNITSERIESCD	VARCHAR2	4		Y			
7	備考	REMARK	VARCHAR2	255					
8	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
9	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
10	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
11	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御
	MUNIT	PK_MUNIT							UNITCD
	M単位_IX1	MUNIT_IX1							UNITSERIESCD, UNITCD
	M単位_NK	MUNIT_NK							UNITNAME
	M単位_IX2	MUNIT_IX2							UNITCD, UNITNAME

M単位系列

エンティティ名		
M単位系列		
テーブル名	スキーマ	表領域
MUNITSERIES	ERDBMS	

単位の系列。同系列の単位間では数値換算可能。

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	単位系列コード	UNITSERIESCD	VARCHAR2	4		Y		1	
2	単位系列名	UNITSERIESNAME	VARCHAR2	30		Y			
3	カナ名	KNAME	VARCHAR2	30					
4	英語名	ENAME	VARCHAR2	20					
5	略名	SNAME	VARCHAR2	15					
6	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
7	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
8	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
9	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御
	MUNITSERIES	PK_MUNITSERIES							UNITSERIESCD
	M単位系列_NK	MUNITSERIES_NK							UNITSERIESNAME

M地点

エンティティ名		
M地点		
テーブル名	スキーマ	表領域
MPOINT	ERDBMS	

地点のマスタ。

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	地点コード	POINTCD	VARCHAR2	9		Y		1	
2	地点名	POINTNAME	VARCHAR2	50		Y			
3	カナ名	KNAME	VARCHAR2	60					
4	英語名	ENAME	VARCHAR2	100					
5	略名	SNAME	VARCHAR2	40					
6	都道府県コード (FK)	PREFCD	VARCHAR2	2		Y			
7	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
8	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
9	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
10	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御
	MPOINT	PK_MPOINT							POINTCD
	M地点_NK	MPOINT_NK							POINTNAME
	M地点_IX1	MPOINT_IX1							PREFCD, POINTCD
	M地点_IX2	MPOINT_IX2							POINTCD, POINTNAME

M調査

エンティティ名		
M調査		
テーブル名	スキーマ	表領域
MSURVEY	ERDBMS	

報告書の調査種類を定義したマスタ。

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	調査コード	SURVEYCD	VARCHAR2	2		Y		1	
2	調査名	SURVEYNAME	VARCHAR2	40		Y			
3	カナ名	KNAME	VARCHAR2	40					
4	英語名	ENAME	VARCHAR2	120					
5	略名	SNAME	VARCHAR2	20					
6	軍艦フラグ	WARSHIPFLG	VARCHAR2	1		Y	0'		0:なし,1:定期調査,2:出港時調査
7	DB登録対象外フラグ	DBIGNOREFLG	VARCHAR2	1		Y	0'		0:通常,1:登録対象外
8	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
9	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
10	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
11	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御
	MSURVEY	PK_MSURVEY							SURVEYCD
	M調査_NK	MSURVEY_NK							SURVEYNAME
	M調査_IX1	MSURVEY_IX1							SURVEYCD, SURVEYNAME, WARSHIPFLG, DBIGNOREFLG

M天気

エンティティ名		
M天気		
テーブル名	スキーマ	表領域
MWEATHER	ERDBMS	

測定地の天気のマスタ。

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	天気コード	WEATHERCD	VARCHAR2	5		Y		1	
2	天気名	WEATHERNAME	VARCHAR2	30		Y			
3	カナ名	KNAME	VARCHAR2	20					
4	英語名	ENAME	VARCHAR2	56					
5	略名	SNAME	VARCHAR2	26					
6	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
7	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
8	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
9	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御
	MWEATHER	PK_MWEATHER							WEATHERCD
	M天気_NK	MWEATHER_NK							WEATHERNAME
	M天気_IX1	MWEATHER_IX1							WEATHERCD, WEATHERNAME

M都道府県

エンティティ名			
M都道府県			
テーブル名		スキーマ	表領域
MPREFECTURE		ERDBMS	

発行、採取、測定等の都道府県のマスタ。

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	都道府県コード	PREFCD	VARCHAR2	2		Y		1	
2	都道府県名	PREFNAME	VARCHAR2	8		Y			
3	カナ名	KNAME	VARCHAR2	10					
4	英語名	ENAME	VARCHAR2	10					
5	略名	SNAME	VARCHAR2	8					
6	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
7	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
8	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
9	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御
	主キー	PK_MPREFECTURE							PREFCD
	M都道府県_NK	MPREFECTURE_NK							PREFNAME
	M都道府県_IX1	MPREFECTURE_IX1							PREFCD, PREFNAME

M標準単位

エンティティ名									
M標準単位									
テーブル名		スキーマ	表領域						
MSTANDARDUNIT		ERDBMS							
単位項目(及び試料と核種)における指定可能な単位系列を定義。及びその単位系列における標準換算先となる単位を定義。									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	参照表SEQ	RLCSEQ	NUMBER	10	0	Y		1	参照表系のPK(代理キー)となる連番
2	単位項目ID	UNITCLMID	VARCHAR2	50		Y			単位CD項目の項目ID
3	試料コード	SAMPLECD	VARCHAR2	4		Y			
4	核種コード	ELEMENTCD	VARCHAR2	3		Y			分析核種や測定線種
5	単位系列コード (FK)	UNITSERIESCD	VARCHAR2	4		Y			
6	単位コード (FK)	UNITCD	VARCHAR2	8		Y			基本単位CDのペア(分子/分母)
7	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
8	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
9	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
10	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御
	MSTANDARDUNIT	PK_MSTANDARDUNIT							RLCSEQ
	M標準単位_NK	MSTANDARDUNIT_NK							UNITCLMID, SAMPLECD, ELEMENTCD, UNITSERIESCD

M部位

エンティティ名		
M部位		
テーブル名	スキーマ	表領域
MSECTION	ERDBMS	

試料の補足詳細としての部位マスタ。

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	部位コード	SECTIONCD	VARCHAR2	2		Y		1	
2	部位名	SECTIONNAME	VARCHAR2	20		Y			
3	カナ名	KNAME	VARCHAR2	15					
4	英語名	ENAME	VARCHAR2	50					
5	略名	SNAME	VARCHAR2	10					
6	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
7	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
8	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
9	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御
	MSECTION	PK_MSECTION							SECTIONCD
	M部位_NK	MSECTION_NK							SECTIONNAME
	M部位_IX1	MSECTION_IX1							SECTIONCD, SECTIONNAME

M和暦

エンティティ名		
M和暦		
テーブル名	スキーマ	表領域
MERA	ERDBMS	

パンチ取込における日付項目の元号から西暦への変換定義。

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	和暦番号	ERANO	NUMBER	4	0	Y		1	和暦マスタのPK
2	和暦名	ERANAME	NVARCHAR2	10		Y			
3	和暦符号	ERACODE	VARCHAR2	1		Y			S:昭和,H:平成,R:令和
4	西暦開始日付	ASDATE	DATE			Y			
5	西暦終了日付	AEDATE	DATE			Y			
6	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
7	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
8	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
9	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御
	MERA	PK_MERA							ERANO
	M和暦_NK	MERA_NK							ERACODE

M閾値

エンティティ名		
M閾値		
テーブル名	スキーマ	表領域
MTHRESHOLD	ERDBMS	

公開報告値の閾値マスタ。標準化処理の閾値チェックで使用。

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	都道府県コード	PREFCD	VARCHAR2	2		Y		1	
2	試料コード	SAMPLECD	VARCHAR2	4		Y		2	
3	核種コード	ELEMENTCD	VARCHAR2	3		Y		3	分析核種や測定線種
4	公開報告値単位	REACTIVITYUT	VARCHAR2	8		Y		4	
5	閾値最大	THRESHOLDMAX	NUMBER			Y			閾値の最大値
6	閾値最小	THRESHOLDMIN	NUMBER			Y			閾値の最小値
7	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
8	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
9	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
10	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御
	主キー	PK_MTHRESHOLD							PREFCD, SAMPLECD, ELEMENTCD, REACTIVITYUT

R記載核種参照表

エンティティ名									
R記載核種参照表									
テーブル名		スキーマ	表領域						
RLCELEMENT		ERDBMS							
記載の核種名(別名)から核種コードへの参照表。									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	参照表SEQ	RLCSEQ	NUMBER	10	0	Y		1	参照表系のPK(代理キー)となる連番
2	記載核種名	LCELEMENTNAME	VARCHAR2	16		Y			記載の核種名(別名)
3	核種コード (FK)	ELEMENTCD	VARCHAR2	3		Y			分析核種や測定線種
4	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
5	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
6	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
7	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御
	主キー	PK_RLCELEMENT							RLCSEQ
	R記載核種参照表_NK	RLCELEMENT_NK							LCELEMENTNAME

R記載基本単位参照表

エンティティ名		
R記載基本単位参照表		
テーブル名	スキーマ	表領域
RLCBASICUNIT	ERDBMS	

M単位の名称引当前に、記載単位名から基本単位名へ置換する(末尾一致箇所の置換)。

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	参照表SEQ	RLCSEQ	NUMBER	10	0	Y		1	参照表系のPK(代理キー)となる連番
2	記載基本単位名	LCBASICUNITNAME	VARCHAR2	10		Y			
3	基本単位名	BASICUNITNAME	VARCHAR2	20		Y			
4	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
5	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
6	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
7	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御
	主キー	PK_RLCBASICUNIT							RLCSEQ
	R記載基本単位参照表_NK	RLCBASICUNIT_NK							LCBASICUNITNAME

R記載機関参照表

エンティティ名			
R記載機関参照表			
テーブル名	スキーマ	表領域	
RLCLABORATORY	ERDBMS		

記載の機関名(別名)から機関コードへの参照表。

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	参照表SEQ	RLCSEQ	NUMBER	10	0	Y		1	参照表系のPK(代理キー)となる連番
2	記載機関名	LCLABNAME	VARCHAR2	40		Y			記載の機関名(別名)
3	機関コード (FK)	LABCD	VARCHAR2	4		Y			
4	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
5	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
6	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
7	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御
	主キー	PK_RLCLABORATORY							RLCSEQ
	R記載機関参照表_NK	RLCLABORATORY_NK							LCLABNAME

R記載計測器参照表

エンティティ名		
R記載計測器参照表		
テーブル名	スキーマ	表領域
RLCINSTRUMENT	ERDBMS	

記載の計測器名(別名)から計測器コードへの参照表。

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	参照表SEQ	RLCSEQ	NUMBER	10	0	Y		1	参照表系のPK(代理キー)となる連番
2	記載計測器名	LCINSTRUMENTNAME	VARCHAR2	40		Y			記載の計測器名(別名)
3	計測器コード (FK)	INSTRUMENTCD	VARCHAR2	3		Y			
4	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
5	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
6	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
7	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御
	主キー	PK_RLCINSTRUMENT							RLCSEQ
	R記載計測器参照表_NK	RLCINSTRUMENT_NK							LCINSTRUMENTNAME

R記載項目参照表

エンティティ名		
R記載項目参照表		
テーブル名	スキーマ	表領域
RLCCLM	ERDBMS	

パンチ取込における記載の項目名(別名)から標準項目への参照表。

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	参照表SEQ	RLCSEQ	NUMBER	10	0	Y		1	参照表系のPK(代理キー)となる連番
2	テーブル系列	TABLESERIES	VARCHAR2	1		Y			S:環境試料系,C:連続測定系,N:非連続測定系
3	記載項目名	LCCLMNAME	VARCHAR2	40		Y			記載の項目名(別名)
4	項目ID	CLMID	VARCHAR2	32		Y			行データの項目ID(物理名)
5	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
6	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
7	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
8	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御
	主キー	PK_RLCCLM							RLCSEQ
	R記載項目参照表_NK	RLCCLM_NK							TABLESERIES, LCCLMNAME

R記載試料参照表

エンティティ名		
R記載試料参照表		
テーブル名	スキーマ	表領域
RLCSAMPLE	ERDBMS	

記載の試料名(別名)から試料コードへの参照表。及び生物食品部位の組合せセットを定義。

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	参照表SEQ	RLCSEQ	NUMBER	10	0	Y		1	参照表系のPK(代理キー)となる連番
2	試料種別コード	SAMPLETYPECD	VARCHAR2	2		Y			
3	記載試料名	LCSAMPLENAME	VARCHAR2	60		Y			記載の試料名(小分類)
4	試料コード (FK)	SAMPLECD	VARCHAR2	4		Y			
5	生物コード (FK)	LIFECD	VARCHAR2	12					
6	食品コード (FK)	FOODCD	VARCHAR2	7					
7	部位コード (FK)	SECTIONCD	VARCHAR2	2					
8	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
9	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
10	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
11	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御
	主キー	PK_RLCSAMPLE							RLCSEQ
	R記載試料参照表_NK	RLCSAMPLE_NK							SAMPLETYPECD, LCSAMPLENAME

R記載試料種別参照表

エンティティ名		
R記載試料種別参照表		
テーブル名	スキーマ	表領域
RLCSAMPLETYPE	ERDBMS	

記載の試料種別名(別名)から試料種別コードへの参照表。

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	参照表SEQ	RLCSEQ	NUMBER	10	0	Y		1	参照表系のPK(代理キー)となる連番
2	記載試料種別名	LSAMPLETYPE_NAME	VARCHAR2	24		Y			記載の試料種別名(別名)
3	試料種別コード (FK)	SAMPLETYPE_CD	VARCHAR2	2		Y			
4	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
5	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
6	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
7	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御
	主キー	PK_RLCSAMPLETYPE							RLCSEQ
	R記載試料種別参照表_NK	RLCSAMPLETYPE_NK							LSAMPLETYPE_NAME

R記載地点参照表

エンティティ名									
R記載地点参照表									
テーブル名		スキーマ	表領域						
RLCPOINT		ERDBMS							
記載の地点名(別名)から地点コードへの参照表。及び経度緯度の組合せセットを定義する。振込年度で世代を表現。									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	参照表SEQ	RLCSEQ	NUMBER	10	0	Y		1	参照表系のPK(代理キー)となる連番
2	調査コード	SURVEYCD	VARCHAR2	2		Y			
3	機関コード	LABCD	VARCHAR2	4		Y			
4	試料コード	SAMPLECD	VARCHAR2	4		Y			
5	都道府県コード	PREFCD	VARCHAR2	2		Y			
6	記載地点名	LCPOINTNAME	VARCHAR2	100		Y			記載の地点名
7	地点コード (FK)	POINTCD	VARCHAR2	9		Y			
8	地点振込年度	POINTSEYEAR	NUMBER	4	0	Y			記載地点の振込年度
9	緯度 (世界測地系)	SLATITUDE	NVARCHAR2	20					DMS/DMM/DEG
10	経度 (世界測地系)	SLONGITUDE	NVARCHAR2	20					DMS/DMM/DEG
11	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
12	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
13	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
14	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御
	RLCPOINT	PK_RLCPOINT							RLCSEQ
	R記載地点参照表_NK	RLCPOINT_NK							SURVEYCD, LABCD, SAMPLECD, PREFCD, LCPOINTNAME
	R記載地点参照表_IX1	RLCPOINT_IX1							POINTCD

R単位文字列変換表

エンティティ名			
R単位文字列変換表			
テーブル名		スキーマ	表領域
RUNITREP		ERDBMS	

M単位の名称引当前に、記載単位名から標準文字列へ置換する(部分一致箇所の置換)。

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	参照表SEQ	RLCSEQ	NUMBER	10	0	Y		1	参照表系のPK(代理キー)となる連番
2	表記文字列	REPSTRING	VARCHAR2	20		Y			
3	標準文字列	STSTRING	VARCHAR2	20		Y			
4	PRIORITY	PRIORITY	NUMBER	8	0	Y			
5	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
6	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
7	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
8	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御
	主キー	PK_RUNITREP							RLCSEQ
	R単位文字列変換表_NK	RUNITREP_NK							REPSTRING

お気に入り報告書

エンティティ名			
お気に入り報告書			
テーブル名		スキーマ	表領域
FAVORITE_REPORT		ERDBMS	

ユーザがお気に入り登録した報告書との連結表。

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	ユーザSEQ (FK)	USER_SEQ	NUMBER	10	0	Y		1	ユーザマスタのSEQ
2	報告書番号 (FK)	REPORTCD	VARCHAR2	6		Y		2	
3	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
	主キー	PK_FAVORITE_REPORT							USER_SEQ, REPORTCD

プロパティマスタ

エンティティ名									
プロパティマスタ									
テーブル名		スキーマ	表領域						
PROPERTY_MST		ERDBMS							
本アプリのプロパティ定義。									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	プロパティキー	PROPERTY_KEY	VARCHAR2	100		Y		1	プロパティのキー
2	プロパティ値	PROPERTY_VALUE	NVARCHAR2	2000					プロパティの値
3	プロパティ備考	PROPERTY_MEMO	NVARCHAR2	100					プロパティの備考
	主キー	PK_PROPERTY_MST							PROPERTY_KEY

ユーザパスワード

エンティティ名									
ユーザパスワード									
テーブル名		スキーマ	表領域						
USER_PSWD		ERDBMS							
ユーザのパスワード状態管理									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	ユーザSEQ (FK)	USER_SEQ	NUMBER	10	0	Y		1	ユーザマスタのSEQ
2	パスワードHASH	PSWD_HASH	VARCHAR2	64					パスワードのhash
3	パスワード状態	PSWD_STATUS	VARCHAR2	1		Y	0'		0:無効,1:正規,2:仮
4	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
5	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
6	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
7	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御
	主キー	PK_USER_PSWD							USER_SEQ

ユーザマスタ

エンティティ名									
ユーザマスタ									
テーブル名		スキーマ		表領域					
USER_MST		ERDBMS							
アプリの利用ユーザ。									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	ユーザSEQ	USER_SEQ	NUMBER	10	0	Y		1	ユーザマスタのSEQ
2	ユーザID	USER_ID	VARCHAR2	50		Y			ユーザのログインID
3	ユーザ名	USER_NAME	NVARCHAR2	50		Y			ユーザの名前
4	会社名	CORP_NAME	NVARCHAR2	50		Y			会社の名称
5	部署名	DEPT_NAME	NVARCHAR2	50					部署(所属)の名称
6	メールアドレス	MAIL_ADDR	VARCHAR2	250					
7	権限ARRAY	PERMIT_ARRAY	VARCHAR2	4000					権限(basicなど)の配列(カンマ区切)
8	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
9	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
10	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
11	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御
	主キー	PK_USER_MST							USER_SEQ
	ユーザマスタ_NK	USER_MST_NK							USER_ID

ユーザロック

エンティティ名									
ユーザロック									
テーブル名		スキーマ	表領域						
USER_LOCK		ERDBMS							
ユーザのロック状態管理									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	ユーザSEQ (FK)	USER_SEQ	NUMBER	10	0	Y		1	ユーザマスタのSEQ
2	認証失敗カウント	AUTH_NG_COUNT	NUMBER	5	0	Y	0		認証失敗した累積カウント。認証成功でリセット。
3	ロック状態	LOCK_STATUS	VARCHAR2	1		Y	0'		0:無し,1:ロック,2:認証失敗超過
4	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
5	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
6	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
7	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御
	主キー	PK_USER_LOCK							USER_SEQ

環境試料

エンティティ名									
環境試料									
テーブル名		スキーマ	表領域						
TSAMPLE		ERDBMS							
環境試料系の行データ。試料と分析(1:N)で構成。									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	試料番号	SAMPLENO	NUMBER	9	0	Y		1	
2	報告書番号	REPORTCD	VARCHAR2	6		Y			
3	表データSEQ (FK)	SHEETSEQ	NUMBER	10	0	Y			表データのPKとなる連番
4	行番号	LINENO	NUMBER	8	0	Y			表データ配下の行データの行番号(1...N)
5	標準化状態	STDN_STATUS	VARCHAR2	1		Y	0'		0:未実行,1:成功,2:エラー,9:対象外
6	標準化エラーJSON	STDN_ERROR_JSON	NCLOB						標準化のエラー内容のJSON形式データ
7	基準日	BASEDATE	DATE						SCNの採取や測定の間日。年度算出やプロットの基準日。
8	県試料番号	LOCALSAMPLENO	VARCHAR2	20					
9	採取機関コード	SAMPLABCD	VARCHAR2	4					
10	試料種別コード	SAMPLETYPECD	VARCHAR2	2					
11	記載試料名	LCSAMPLENAME	VARCHAR2	60					記載の試料名(小分類)
12	試料コード	SAMPLECD	VARCHAR2	4					
13	生物コード	LIFECD	VARCHAR2	12					
14	食品コード	FOODCD	VARCHAR2	7					
15	部位コード	SECTIONCD	VARCHAR2	2					
16	採取開始日	SAMPLESDATE	VARCHAR2	10					YYYY/MM/DD
17	採取開始時刻	SAMPLESTIME	VARCHAR2	8					HH:mm:ss
18	採取終了日	SAMPLEEDATE	VARCHAR2	10					YYYY/MM/DD
19	採取終了時刻	SAMPLEETIME	VARCHAR2	8					HH:mm:ss
20	採取年度	SAMPLEYEAR	NUMBER	4	0				
21	採取四半期	SAMPLEQUARTER	NUMBER	1	0				1:4-6,2:7-9,3:10-12,4:1-3
22	採取年	SAMPLEPYEAR	NUMBER	4	0				
23	採取月	SAMPLEMONTH	NUMBER	2	0				1-12
24	採取日数	SAMPLEDAY	NUMBER	9	0				
25	降雨開始日	RAINSDATE	VARCHAR2	10					YYYY/MM/DD
26	降雨開始時刻	RAINSTIME	VARCHAR2	8					HH:mm:ss
27	降雨終了日	RAINEDATE	VARCHAR2	10					YYYY/MM/DD
28	降雨終了時刻	RAINETIME	VARCHAR2	8					HH:mm:ss
29	採取都道府県コード	SAMPLEPREFC	VARCHAR2	2					採取地点の都道府県
30	記載採取地点名	LCSAMPLEPOINTNAME	VARCHAR2	100					記載の地点名
31	採取地点コード	SAMPLEPOINTCD	VARCHAR2	9					
32	地点振込年度	POINTSETYEAR	NUMBER	4	0				記載地点の振込年度
33	緯度 (世界測地系)	SLATITUDE	NVARCHAR2	20					DMS/DMM/DEG
34	経度 (世界測地系)	SLONGITUDE	NVARCHAR2	20					DMS/DMM/DEG
35	緯度 (日本測地系)	LATITUDE	NVARCHAR2	20					DMS/DMM/DEG
36	経度 (日本測地系)	LONGITUDE	NVARCHAR2	20					DMS/DMM/DEG

環境試料

エンティティ名									
環境試料									
テーブル名		スキーマ		表領域					
TSAMPLE		ERDBMS							
環境試料系の行データ。試料と分析(1:N)で構成。									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
37	軍艦地点コード	WSPPOINTCD	VARCHAR2	4					軍艦系における港の地点
38	採取法コード	SAMPLINGCD	VARCHAR2	3					
39	採取面積	SAMPLEAREA	NUMBER						
40	採取面積単位	SAMPLEAREAUT	VARCHAR2	8					
41	水深	DEPTHWATER	NUMBER						
42	水深単位	DEPTHWATERUT	VARCHAR2	8					
43	採取層1	SAMPLELAYER1	NUMBER						
44	採取層2	SAMPLELAYER2	NUMBER						
45	採取層単位	SAMPLELAYERUT	VARCHAR2	8					
46	採取層区分	SAMPLELAYERKBN	VARCHAR2	1					0:第1層,1:第2層
47	採取量1	SAMPLEVOL1	NUMBER						
48	採取量1単位	SAMPLEVOL1UT	VARCHAR2	8					
49	採取量2	SAMPLEVOL2	NUMBER						
50	採取量2単位	SAMPLEVOL2UT	VARCHAR2	8					
51	換算係数	CONVCOEFF	NUMBER						
52	換算係数単位	CONVCOEFFUT	VARCHAR2	8					
53	外観	APEARANCE	VARCHAR2	20					
54	水温	WATERTEMP	NUMBER						
55	水温単位	WATERTEMPUT	VARCHAR2	8					
56	塩素	CHLORINITY	NUMBER						
57	塩素単位	CHLORINITYUT	VARCHAR2	8					
58	塩分	SALINITY	NUMBER						
59	塩分単位	SALINITYUT	VARCHAR2	8					
60	PH	PH	NUMBER						
61	生産製造地	PRODUCT	VARCHAR2	50					
62	試料備考	SAMREMARK	VARCHAR2	255					
63	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
64	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
65	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
66	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御
	主キー	PK_TSAMPLE							SAMPLENO
	環境試料_IX1	TSAMPLE_IX1							REPORTCD, SHEETSEQ, LINENO, SAMPLENO, BASEDATE
	環境試料_IX2	TSAMPLE_IX2							BASEDATE, REPORTCD, SHEETSEQ, LINENO, SAMPLENO

環境試料

エンティティ名									
環境試料									
テーブル名		スキーマ	表領域						
TSAMPLE		ERDBMS							
環境試料系の行データ。試料と分析(1:N)で構成。									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
	環境試料_IX3	TSAMPLE_IX3							STDN_STATUS, SAMPLECD, SAMPLEPREFCD, BASEDATE, SAMPLEPOINTCD, SAMPLELAYERKBN, SAMPLENO, REPORTCD, SHEETSEQ, LINENO
	環境試料_IX4	TSAMPLE_IX4							SAMPLETYPECD, LCSAMPLENAME, SAMPLECD, LIFECD, FOODCD, SECTIONCD, REPORTCD, BASEDATE
	環境試料_IX5	TSAMPLE_IX5							SAMPLABCD, SAMPLECD, SAMPLEPREFCD, LCSAMPLEPOINTNAME, SAMPLEPOINTCD, POINTSETYEAR, SLATITUDE, SLONGITUDE, REPORTCD, SAMPLEYEAR
	環境試料_NK	TSAMPLE_NK							SHEETSEQ, LINENO
	環境試料_IX6	TSAMPLE_IX6							STDN_STATUS, SAMPLETYPECD, SAMPLECD, SAMPLEPREFCD, SAMPLEPOINTCD, BASEDATE, SAMPLELAYER1, SAMPLELAYER2, SAMPLELAYERUT, REPORTCD, SHEETSEQ, LINENO, SAMPLENO

環境試料共通入力

エンティティ名									
環境試料共通入力									
テーブル名		スキーマ		表領域					
TS_COM_INP		ERDBMS							
環境試料の共通入力行									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	表データSEQ	SHEETSEQ	NUMBER	10	0	Y			1 表データのPKとなる連番
2	県試料番号	LOCALSAMPLENO	VARCHAR2	20					
3	採取機関コード	SAMPLABCD	VARCHAR2	4					
4	試料種別コード	SAMPLETYPECD	VARCHAR2	2					
5	記載試料名	LCSAMPLENAME	VARCHAR2	60					記載の試料名(小分類)
6	試料コード	SAMPLECD	VARCHAR2	4					
7	生物コード	LIFECD	VARCHAR2	12					
8	食品コード	FOODCD	VARCHAR2	7					
9	部位コード	SECTIONCD	VARCHAR2	2					
10	採取開始日	SAMPLESDATE	VARCHAR2	10					YYYY/MM/DD
11	採取開始時刻	SAMPLESTIME	VARCHAR2	8					HH:mm:ss
12	採取終了日	SAMPLEEDATE	VARCHAR2	10					YYYY/MM/DD
13	採取終了時刻	SAMPLEETIME	VARCHAR2	8					HH:mm:ss
14	採取年度	SAMPLEYEAR	NUMBER	4	0				
15	採取四半期	SAMPLEQUARTER	NUMBER	1	0				1:4-6,2:7-9,3:10-12,4:1-3
16	採取年	SAMPLEPYEAR	NUMBER	4	0				
17	採取月	SAMPLEMONTH	NUMBER	2	0				1-12
18	採取日数	SAMPLEDAY	NUMBER	9	0				
19	降雨開始日	RAINSDATE	VARCHAR2	10					YYYY/MM/DD
20	降雨開始時刻	RAINSTIME	VARCHAR2	8					HH:mm:ss
21	降雨終了日	RAINEDATE	VARCHAR2	10					YYYY/MM/DD
22	降雨終了時刻	RAINETIME	VARCHAR2	8					HH:mm:ss
23	採取都道府県コード	SAMPLEPREFCD	VARCHAR2	2					採取地点の都道府県
24	記載採取地点名	LCSAMPLEPOINTNAME	VARCHAR2	100					記載の地点名
25	採取地点コード	SAMPLEPOINTCD	VARCHAR2	9					
26	地点振込年度	POINTSETYEAR	NUMBER	4	0				記載地点の振込年度
27	緯度 (世界測地系)	SLATITUDE	NVARCHAR2	20					DMS/DMM/DEG
28	経度 (世界測地系)	SLONGITUDE	NVARCHAR2	20					DMS/DMM/DEG
29	緯度 (日本測地系)	LATITUDE	NVARCHAR2	20					DMS/DMM/DEG
30	経度 (日本測地系)	LONGITUDE	NVARCHAR2	20					DMS/DMM/DEG
31	軍艦地点コード	WSPPOINTCD	VARCHAR2	4					軍艦系における港の地点
32	採取法コード	SAMPLINGCD	VARCHAR2	3					
33	採取面積	SAMPLEAREA	NUMBER						
34	採取面積単位	SAMPLEAREAUT	VARCHAR2	8					
35	水深	DEPTHWATER	NUMBER						
36	水深単位	DEPTHWATERUT	VARCHAR2	8					

環境試料共通入力

エンティティ名									
環境試料共通入力									
テーブル名		スキーマ		表領域					
TS_COM_INP		ERDBMS							
環境試料の共通入力行									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
37	採取層1	SAMPLELAYER1	NUMBER						
38	採取層2	SAMPLELAYER2	NUMBER						
39	採取層単位	SAMPLELAYERUT	VARCHAR2	8					
40	採取層区分	SAMPLELAYERKBN	VARCHAR2	1					0:第1層,1:第2層
41	採取量1	SAMPLEVOL1	NUMBER						
42	採取量1単位	SAMPLEVOL1UT	VARCHAR2	8					
43	採取量2	SAMPLEVOL2	NUMBER						
44	採取量2単位	SAMPLEVOL2UT	VARCHAR2	8					
45	換算係数	CONVCOEFF	NUMBER						
46	換算係数単位	CONVCOEFFUT	VARCHAR2	8					
47	外観	APEARANCE	VARCHAR2	20					
48	水温	WATERTEMP	NUMBER						
49	水温単位	WATERTEMPUT	VARCHAR2	8					
50	塩素	CHLORINITY	NUMBER						
51	塩素単位	CHLORINITYUT	VARCHAR2	8					
52	塩分	SALINITY	NUMBER						
53	塩分単位	SALINITYUT	VARCHAR2	8					
54	PH	PH	NUMBER						
55	生産製造地	PRODUCT	VARCHAR2	50					
56	試料備考	SAMREMARK	VARCHAR2	255					
57	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
58	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
59	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
60	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御
	主キー	PK_TS_COM_INP							SHEETSEQ

取込エラー

エンティティ名		
取込エラー		
テーブル名	スキーマ	表領域
IMP_ERROR	ERDBMS	

報告書のパンチデータ取込みのエラー内容（最新世代）。

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	報告書番号 (FK)	REPORTCD	VARCHAR2	6		Y		1	
2	取込エラーJSON	IMP_ERROR_JSON	NCLOB						パンチ取込のエラー内容のJSON形式データ
3	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
	主キー	PK_IMP_ERROR							REPORTCD

入港情報

エンティティ名		
入港情報		
テーブル名	スキーマ	表領域
INPORT	ERDBMS	

原子力艦出港時調査の場合に入港属性を入力する。

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	報告書番号 (FK)	REPORTCD	VARCHAR2	6		Y		1	
2	入港名	INPORTNAME	VARCHAR2	50		Y			
3	軍艦コード	WSCD	VARCHAR2	4		Y			
4	入港日	ENTERDATE	VARCHAR2	10		Y			
5	出港日	EXITDATE	VARCHAR2	10		Y			
6	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
7	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
8	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
9	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御
	INPORT	PK_INPORT							REPORTCD

認証操作履歴

エンティティ名		
認証操作履歴		
テーブル名	スキーマ	表領域
AUTH_OPE_HIST	ERDBMS	

ログイン等の認証に関する操作履歴。

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	認証操作履歴SEQ	AUTH_OPE_HIST_SEQ	NUMBER	10	0	Y		1	認証操作の履歴SEQ
2	認証操作日時	AUTH_OPE_DT	TIMESTAMP(0)			Y			認証操作した日時
3	ユーザID	USER_ID	VARCHAR2	50		Y			ユーザのログインID
4	認証操作区分	AUTH_OPE_KBN	VARCHAR2	1		Y			0:ログイン,1:ログアウト,3:パスワード変更,4:認証失敗超過
5	CLIENT_IP	CLIENT_IP	VARCHAR2	50					IPアドレス表記
6	HTTP_XFF	HTTP_XFF	VARCHAR2	4000					HTTPヘッダ(X-Forwarded-For)の値
7	HTTP_ORIGIN	HTTP_ORIGIN	VARCHAR2	4000					HTTPヘッダ(Origin)の値
8	HTTP_UA	HTTP_UA	VARCHAR2	4000					HTTPヘッダ(User-Agent)の値
9	AP_NODE	AP_NODE	VARCHAR2	256					APサーバのノード
	主キー	PK_AUTH_OPE_HIST							AUTH_OPE_HIST_SEQ
	認証操作履歴_IX1	AUTH_OPE_HIST_IX1							AUTH_OPE_DT, AUTH_OPE_HIST_SEQ

非連続測定

エンティティ名											
非連続測定											
テーブル名		スキーマ		表領域							
TNMEASURE		ERDBMS									
非連続測定系の測定値。積算線量やサーベイメータ。											
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容		
1	測定番号	MEASURENO	NUMBER	9	0	Y			1		
2	報告書番号	REPORTCD	VARCHAR2	6		Y					
3	表データSEQ (FK)	SHEETSEQ	NUMBER	10	0	Y				表データのPKとなる連番	
4	行番号	LINENO	NUMBER	8	0	Y				表データ配下の行データの行番号(1...N)	
5	標準化状態	STDN_STATUS	VARCHAR2	1		Y	0'			0:未実行,1:成功,2:エラー,9:対象外	
6	標準化エラーJSON	STDN_ERROR_JSON	NCLOB							標準化のエラー内容のJSON形式データ	
7	基準日	BASEDATE	DATE							SCNの採取や測定の中間日。年度算出やプロットの基準日。	
8	県試料番号	LOCALSAMPLENO	VARCHAR2	20							
9	測定機関コード	MEASURELABCD	VARCHAR2	4							
10	試料種別コード	SAMPLETYPECD	VARCHAR2	2							
11	記載試料名	LCSAMPLENAME	VARCHAR2	60						記載の試料名(小分類)	
12	試料コード	SAMPLECD	VARCHAR2	4							
13	測定開始日	MEASURESDATE	VARCHAR2	10						YYYY/MM/DD	
14	測定開始時刻	MEASURESTIME	VARCHAR2	8						HH:mm:ss	
15	測定終了日	MEASUREEDATE	VARCHAR2	10						YYYY/MM/DD	
16	測定終了時刻	MEASUREETIME	VARCHAR2	8						HH:mm:ss	
17	測定年度	MEASUREYEAR	NUMBER	4	0						
18	測定四半期	MEASUREQUARTER	NUMBER	1	0					1:4-6,2:7-9,3:10-12,4:1-3	
19	測定年	MEASUREPYEAR	NUMBER	4	0						
20	測定月	MEASUREMONTH	NUMBER	2	0					1-12	
21	測定期間	MEASURELENGTH	NUMBER	9	0						
22	測定期間単位	MEASURELENGTHUT	VARCHAR2	8							
23	測定都道府県コード	MEASUREPREFCD	VARCHAR2	2						測定地点の都道府県	
24	記載測定地点名	LCMEASUREPOINTNAM	VARCHAR2	100						記載の地点名	
25	測定地点コード	MEASUREPOINTCD	VARCHAR2	9							
26	地点振込年度	POINTSETYEAR	NUMBER	4	0					記載地点の振込年度	
27	緯度 (世界測地系)	SLATITUDE	NVARCHAR2	20						DMS/DMM/DEG	
28	経度 (世界測地系)	SLONGITUDE	NVARCHAR2	20						DMS/DMM/DEG	
29	緯度 (日本測地系)	LATITUDE	NVARCHAR2	20						DMS/DMM/DEG	
30	経度 (日本測地系)	LONGITUDE	NVARCHAR2	20						DMS/DMM/DEG	
31	軍艦地点コード	WSPPOINTCD	VARCHAR2	4						軍艦系における港の地点	
32	測定ポイント番号	MEASUREPOINTNO	NUMBER	5	0					測定地(港など)における詳細なポイント番号	
33	計測器コード	INSTRUMENTCD	VARCHAR2	3							
34	宇宙線除	COSMICRAYFG	VARCHAR2	1		Y	0'			0:なし,1:含む	
35	高さ	HEIGHT	NUMBER								
36	高さ単位	HEIGHTUT	VARCHAR2	8							

非連続測定

エンティティ名											
非連続測定											
テーブル名		スキーマ		表領域							
TNMEASURE		ERDBMS									
非連続測定系の測定値。積算線量やサーベイメータ。											
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容		
37	記載報告値最大	REPACTIVITYMAXTEXT	VARCHAR2	30							
38	記載報告値最小	REPACTIVITYMINTEXT	VARCHAR2	30							
39	記載報告値	REPACTIVITYTEXT	VARCHAR2	30							
40	記載報告値単位	REPACTIVITYUTTEXT	VARCHAR2	16					記載値のまま入力する単位名		
41	公開報告値最大	REPACTIVITYMAX	NUMBER								
42	公開報告値最小	REPACTIVITYMIN	NUMBER								
43	公開報告値	REPACTIVITY	NUMBER								
44	公開報告値誤差	REPACTIVITYERR	NUMBER								
45	公開報告値単位	REPACTIVITYUT	VARCHAR2	8							
46	NDフラグ	NDFG	VARCHAR2	1		Y	0'		0:通常,1:ND		
47	非公開フラグ	PRIVATEFLG	VARCHAR2	1		Y	0'		0:公開,1:非公開		
48	測定備考	MEAREMARK	VARCHAR2	255							
49	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)								
50	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)								
51	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50							
52	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御		
53	変動備考	FLUC_REMARK	NVARCHAR2	200							
	主キー	PK_TNMEASURE							MEASURENO		
	非連続測定_IX1	TNMEASURE_IX1							REPORTCD, SHEETSEQ, LINENO, BASEDATE		
	非連続測定_IX2	TNMEASURE_IX2							BASEDATE, REPORTCD, SHEETSEQ, LINENO		
	非連続測定_IX3	TNMEASURE_IX3							STDN_STATUS, SAMPLECD, MEASUREPREFCD, MEASURELABCD, REPACTIVITYUT, BASEDATE, MEASUREPOINTCD, MEASURENO, REPORTCD, SHEETSEQ, LINENO, REPACTIVITYMAX, REPACTIVITYMIN, REPACTIVITYERR		
	非連続測定_IX4	TNMEASURE_IX4							SAMPLETYPECD, LCSAMPLENAME, SAMPLECD, REPORTCD, BASEDATE		
	非連続測定_IX5	TNMEASURE_IX5							MEASURELABCD, SAMPLECD, MEASUREPREFCD, LCMEASUREPOINTNAME, MEASUREPOINTCD, POINTSETYEAR, SLATITUDE, SLONGITUDE, REPORTCD, MEASUREYEAR		
	非連続測定_NK	TNMEASURE_NK							SHEETSEQ, LINENO		
	非連続測定_IX6	TNMEASURE_IX6							STDN_STATUS, SAMPLETYPECD, SAMPLECD, MEASUREPREFCD, MEASUREPOINTCD, REPACTIVITYUT, BASEDATE, REPORTCD, SHEETSEQ, LINENO, MEASURENO, REPACTIVITYMAX, REPACTIVITYMIN, REPACTIVITY		

非連続測定共通入力

エンティティ名									
非連続測定共通入力									
テーブル名		スキーマ	表領域						
TN_COM_INP		ERDBMS							
非連続測定系の測定値。積算線量やサーベイメータ。									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	表データSEQ	SHEETSEQ	NUMBER	10	0	Y			1 表データのPKとなる連番
2	県試料番号	LOCALSAMPLENO	VARCHAR2	20					
3	測定機関コード	MEASURELABCD	VARCHAR2	4					
4	試料種別コード	SAMPLETYPECD	VARCHAR2	2					
5	記載試料名	LCSAMPLENAME	VARCHAR2	60					記載の試料名(小分類)
6	試料コード	SAMPLECD	VARCHAR2	4					
7	測定開始日	MEASURESDATE	VARCHAR2	10					YYYY/MM/DD
8	測定開始時刻	MEASURESTIME	VARCHAR2	8					HH:mm:ss
9	測定終了日	MEASUREEDATE	VARCHAR2	10					YYYY/MM/DD
10	測定終了時刻	MEASUREETIME	VARCHAR2	8					HH:mm:ss
11	測定年度	MEASUREYEAR	NUMBER	4	0				
12	測定四半期	MEASUREQUARTER	NUMBER	1	0				1:4-6,2:7-9,3:10-12,4:1-3
13	測定年	MEASUREPEYEAR	NUMBER	4	0				
14	測定月	MEASUREMONTH	NUMBER	2	0				1-12
15	測定期間	MEASURELENGTH	NUMBER	9	0				
16	測定期間単位	MEASURELENGTHUT	VARCHAR2	8					
17	測定都道府県コード	MEASUREPREFCD	VARCHAR2	2					測定地点の都道府県
18	記載測定地点名	LCMEASUREPOINTNAM	VARCHAR2	100					記載の地点名
19	測定地点コード	MEASUREPOINTCD	VARCHAR2	9					
20	地点振込年度	POINTSEYEAR	NUMBER	4	0				記載地点の振込年度
21	緯度 (世界測地系)	SLATITUDE	NVARCHAR2	20					DMS/DMM/DEG
22	経度 (世界測地系)	SLONGITUDE	NVARCHAR2	20					DMS/DMM/DEG
23	緯度 (日本測地系)	LATITUDE	NVARCHAR2	20					DMS/DMM/DEG
24	経度 (日本測地系)	LONGITUDE	NVARCHAR2	20					DMS/DMM/DEG
25	軍艦地点コード	WSPPOINTCD	VARCHAR2	4					軍艦系における港の地点
26	測定ポイント番号	MEASUREPOINTNO	NUMBER	5	0				測定地(港など)における詳細なポイント番号
27	計測器コード	INSTRUMENTCD	VARCHAR2	3					
28	宇宙線含除	COSMICRAYFG	VARCHAR2	1		Y	0'		0:なし,1:含む
29	高さ	HEIGHT	NUMBER						
30	高さ単位	HEIGHTUT	VARCHAR2	8					
31	記載報告値最大	REACTIVITYMAXTEXT	VARCHAR2	30					
32	記載報告値最小	REACTIVITYMINTEXT	VARCHAR2	30					
33	記載報告値	REACTIVITYTEXT	VARCHAR2	30					
34	記載報告値単位	REACTIVITYUTTEXT	VARCHAR2	16					記載値のまま入力する単位名
35	公開報告値最大	REACTIVITYMAX	NUMBER						
36	公開報告値最小	REACTIVITYMIN	NUMBER						

非連続測定共通入力

エンティティ名			
非連続測定共通入力			
テーブル名	スキーマ	表領域	
TN_COM_INP	ERDBMS		

非連続測定系の測定値。積算線量やサーベイメータ。

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
37	公開報告値	REPACTIVITY	NUMBER						
38	公開報告値誤差	REPACTIVITYERR	NUMBER						
39	公開報告値単位	REPACTIVITYUT	VARCHAR2	8					
40	NDフラグ	NDFG	VARCHAR2	1		Y	0'		0:通常,1:ND
41	非公開フラグ	PRIVATEFLG	VARCHAR2	1		Y	0'		0:公開,1:非公開
42	測定備考	MEAREMARK	VARCHAR2	255					
43	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
44	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
45	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
46	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御
47	変動備考	FLUC_REMARK	NVARCHAR2	200					
	主キー	PK_TN_COM_INP							SHEETSEQ

表データ

エンティティ名		
表データ		
テーブル名	スキーマ	表領域
SHEET	ERDBMS	

報告書記下の表データ。表の入力項目を定義。

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	表データSEQ	SHEETSEQ	NUMBER	10	0	Y		1	表データのPKとなる連番
2	報告書番号 (FK)	REPORTCD	VARCHAR2	6		Y			
3	ページ番号	PAGENO	NUMBER	9	0	Y			
4	表番号	SHEETNO	NUMBER	9	0	Y			
5	テーブル系列	TABLESERIES	VARCHAR2	1		Y			S:環境試料系,C:連続測定系,N:非連続測定系
6	表題	SHEETTITLE	NVARCHAR2	100					
7	標準化状態	STDN_STATUS	VARCHAR2	1		Y	0'		0:未実行,1:成功,2:エラー,9:対象外
8	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
9	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
10	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
11	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御
	主キー	PK_SHEET							SHEETSEQ
	表データ_NK	SHEET_NK							REPORTCD, PAGENO, SHEETNO, TABLESERIES

表項目定義

エンティティ名									
表項目定義									
テーブル名		スキーマ	表領域						
SHEET_CLM_DEF		ERDBMS							
表の項目定義									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	表データSEQ (FK)	SHEETSEQ	NUMBER	10	0	Y		1	表データのPKとなる連番
2	項目定義JSON	CLM_DEF_JSON	NCLOB						項目定義のJSON形式データ
3	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
4	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
5	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
6	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御
	主キー	PK_SHEET_CLM_DEF							SHEETSEQ

分析

エンティティ名									
分析									
テーブル名		スキーマ		表領域					
TANALYSIS		ERDBMS							
環境試料系の試料に対する分析明細(1:N)。同一試料に対して複数の核種分析や分析機関など。									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	分析番号	ANALYSISNO	NUMBER	9	0	Y		1	
2	試料番号 (FK)	SAMPLENO	NUMBER	9	0	Y			
3	分析明細番号	ANALYSISDTLNO	NUMBER	5	0	Y			試料配下の分析の明細連番(1...N)。移行時は0で後日整列
4	分析機関コード	ANALABCD	VARCHAR2	4					
5	Ca濃度	CALCIUM	NUMBER						
6	Ca濃度単位	CALCIUMUT	VARCHAR2	8					
7	K濃度	POTTASSIUM	NUMBER						
8	K濃度単位	POTTASSIUMUT	VARCHAR2	8					
9	前処理量	PRETREATVOL	NUMBER						
10	前処理量単位	PRETREATVOLUT	VARCHAR2	8					
11	分析供試量	MEASUREWEIGHT	NUMBER						
12	分析供試量単位	MEASUREWEIGHTUT	VARCHAR2	8					
13	前処理法コード	PRETREATCD	VARCHAR2	2					
14	化学分離法コード	CHEMSEPARCD	VARCHAR2	2					
15	計測器コード	INSTRUMENTCD	VARCHAR2	3					
16	測定開始日	MEASURESDATE	VARCHAR2	10					YYYY/MM/DD
17	測定開始時刻	MEASURESTIME	VARCHAR2	8					HH:mm:ss
18	測定終了日	MEASUREEDATE	VARCHAR2	10					YYYY/MM/DD
19	測定終了時刻	MEASUREETIME	VARCHAR2	8					HH:mm:ss
20	測定迄の時間	UNTILMEASURE	NUMBER						
21	測定迄の時間単位	UNTILMEASUREUT	VARCHAR2	8					
22	測定時間	MEASURETIMES	NUMBER						
23	測定時間単位	MEASURETIMESUT	VARCHAR2	8					
24	核種コード	ELEMENTCD	VARCHAR2	3					分析核種や測定線種
25	記載報告値	REACTIVITYTEXT	VARCHAR2	30					
26	記載報告値単位	REACTIVITYUTTEXT	VARCHAR2	16					記載値のまま入力する単位名
27	公開報告値	REACTIVITY	NUMBER						
28	公開報告値誤差	REACTIVITYERR	NUMBER						
29	公開報告値単位	REACTIVITYUT	VARCHAR2	8					
30	NDフラグ	NDFG	VARCHAR2	1		Y	0'		0:通常,1:ND
31	非公開フラグ	PRIVATEFLG	VARCHAR2	1		Y	0'		0:公開,1:非公開
32	分析備考	ANAREMARK	VARCHAR2	255					
33	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
34	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
35	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
36	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御

分析

エンティティ名									
分析									
テーブル名		スキーマ	表領域						
TANALYSIS		ERDBMS							
環境試料系の試料に対する分析明細(1:N)。同一試料に対して複数の核種分析や分析機関など。									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
37	変動備考	FLUC_REMARK	NVARCHAR2	200					
	主キー	PK_TANALYSIS							ANALYSISNO
	分析_NK	TANALYSIS_NK							SAMPLENO, ANALYSISDTLNO, ANALYSISNO
	分析_IX1	TANALYSIS_IX1							SAMPLENO, ANALABCD, ELEMENTCD, REACTIVITYUT, ANALYSISNO, ANALYSISDTLNO, REACTIVITY, REACTIVITYERR
	分析_IX2	TANALYSIS_IX2							SAMPLENO, ELEMENTCD, REACTIVITYUT, ANALYSISNO, ANALYSISDTLNO, REACTIVITY

分析共通入力

エンティティ名									
分析共通入力									
テーブル名		スキーマ		表領域					
TA_COM_INP		ERDBMS							
環境試料系の試料に対する分析明細(1:N)。同一試料に対して複数の核種分析や分析機関など。									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	表データSEQ (FK)	SHEETSEQ	NUMBER	10	0	Y			1 表データのPKとなる連番
2	分析明細番号	ANALYSISDTLNO	NUMBER	5	0	Y			2 試料配下の分析の明細連番(1...N)。移行時は0で後日整理
3	分析機関コード	ANALABCD	VARCHAR2	4					
4	Ca濃度	CALCIUM	NUMBER						
5	Ca濃度単位	CALCIUMUT	VARCHAR2	8					
6	K濃度	POTTASSIUM	NUMBER						
7	K濃度単位	POTTASSIUMUT	VARCHAR2	8					
8	前処理量	PRETREATVOL	NUMBER						
9	前処理量単位	PRETREATVOLUT	VARCHAR2	8					
10	分析供試量	MEASUREWEIGHT	NUMBER						
11	分析供試量単位	MEASUREWEIGHTUT	VARCHAR2	8					
12	前処理法コード	PRETREATCD	VARCHAR2	2					
13	化学分離法コード	CHEMSEPARCD	VARCHAR2	2					
14	計測器コード	INSTRUMENTCD	VARCHAR2	3					
15	測定開始日	MEASURESDATE	VARCHAR2	10					YYYY/MM/DD
16	測定開始時刻	MEASURESTIME	VARCHAR2	8					HH:mm:ss
17	測定終了日	MEASUREEDATE	VARCHAR2	10					YYYY/MM/DD
18	測定終了時刻	MEASUREETIME	VARCHAR2	8					HH:mm:ss
19	測定迄の時間	UNTILMEASURE	NUMBER						
20	測定迄の時間単位	UNTILMEASUREUT	VARCHAR2	8					
21	測定時間	MEASURETIMES	NUMBER						
22	測定時間単位	MEASURETIMESUT	VARCHAR2	8					
23	核種コード	ELEMENTCD	VARCHAR2	3					分析核種や測定線種
24	記載報告値	REACTIVITYTEXT	VARCHAR2	30					
25	記載報告値単位	REACTIVITYUTTEXT	VARCHAR2	16					記載値のまま入力する単位名
26	公開報告値	REACTIVITY	NUMBER						
27	公開報告値誤差	REACTIVITYERR	NUMBER						
28	公開報告値単位	REACTIVITYUT	VARCHAR2	8					
29	NDフラグ	NDFG	VARCHAR2	1		Y	0'		0:通常,1:ND
30	非公開フラグ	PRIVATEFLG	VARCHAR2	1		Y	0'		0:公開,1:非公開
31	分析備考	ANAREMARK	VARCHAR2	255					
32	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
33	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
34	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
35	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御
36	変動備考	FLUC_REMARK	NVARCHAR2	200					

分析共通入力

エンティティ名		
分析共通入力		
テーブル名	スキーマ	表領域
TA_COM_INP	ERDBMS	

環境試料系の試料に対する分析明細(1:N)。同一試料に対して複数の核種分析や分析機関など。

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
	主キー	PK_TA_COM_INP							SHEETSEQ, ANALYSISDTLNO

変動幅グラフ出力状態

エンティティ名									
変動幅グラフ出力状態									
テーブル名		スキーマ	表領域						
FLUC_CHART_EXPORT_ST		ERDBMS							
変動幅グラフの出力状態管理									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	報告書番号	REPORTCD	VARCHAR2	6		Y		1	
2	テーブル系列	TABLESERIES	VARCHAR2	1		Y		2	S:環境試料系,C:連続測定系,N:非連続測定系
3	カテゴリキー	CATEGORY_KEY	VARCHAR2	200		Y		3	変動幅のカテゴリ項目を連結
4	出力回数	EXPORT_COUNT	NUMBER	5	0	Y			
5	出力日時	EXPORT_DT	TIMESTAMP(0)			Y			
6	出力ユーザID	EXPORT_USER_ID	VARCHAR2	50		Y			
	主キー	FLUC_CHART_EXPORT_ST_pk							REPORTCD, TABLESERIES, CATEGORY_KEY

報告書

エンティティ名											
報告書											
テーブル名		スキーマ		表領域							
REPORT		ERDBMS									
環境放射線データの報告書。											
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容		
1	報告書番号	REPORTCD	VARCHAR2	6		Y		1			
2	報告書名	REPORTNAME	VARCHAR2	255		Y					
3	英語名	ENAME	VARCHAR2	255							
4	調査コード	SURVEYCD	VARCHAR2	2		Y					
5	調査開始日	SURVEYSDATE	VARCHAR2	10		Y			YYYY/MM/DD		
6	調査終了日	SURVEYEDATE	VARCHAR2	10		Y			YYYY/MM/DD		
7	調査年度	SURVEYYEAR	NUMBER	4	0	Y			4月からの年度		
8	発行機関コード	REPLABCD	VARCHAR2	4		Y					
9	発行都道府県コード	REPPREFCD	VARCHAR2	2					報告書の都道府県		
10	発行日	PUBDATE	VARCHAR2	10							
11	受付日	RECEPTDATE	VARCHAR2	10							
12	VOL	VOL	NUMBER	10	0						
13	報告書備考	REPREMARK	VARCHAR2	255							
14	管理ユーザID	MAN_USER_ID	VARCHAR2	50					報告書データの管理担当ユーザ		
15	機関担当者情報	LAB_CONTACT_INFO	NCLOB						機関担当者等のフリーメモ項目		
16	初期採取都道府県コード	INISAMPLEPREFCD	VARCHAR2	2					報告書配下の初期値用		
17	初期採取機関コード	INISAMPLABCD	VARCHAR2	4					報告書配下の初期値用		
18	初期分析機関コード	INIANALABCD	VARCHAR2	4					報告書配下の初期値用		
19	初期測定都道府県コード	INIMEASUREPREFCD	VARCHAR2	2					報告書配下の初期値用		
20	初期測定機関コード	INIMEASURELABCD	VARCHAR2	4					報告書配下の初期値用		
21	削除フラグ	DELETEFLG	VARCHAR2	1		Y	0'		0:通常,1:削除		
22	取込状態	IMP_STATUS	VARCHAR2	1		Y	0'		0:未実行,1:成功,2:エラー,9:対象外		
23	取込日時	IMP_DT	TIMESTAMP(0)								
24	取込ユーザID	IMP_USER_ID	VARCHAR2	50					取込を実施したユーザ		
25	標準化状態	STDN_STATUS	VARCHAR2	1		Y	0'		0:未実行,1:成功,2:エラー,9:対象外		
26	標準化日時	STDN_DT	TIMESTAMP(0)								
27	標準化ユーザID	STDN_USER_ID	VARCHAR2	50					標準化を実施したユーザ		
28	公開DL状態	PUB_DL_STATUS	VARCHAR2	1		Y	0'		0:未実行,1:実行済,9:対象外		
29	公開DL日時	PUB_DL_DT	TIMESTAMP(0)								
30	公開DLユーザID	PUB_DL_USER_ID	VARCHAR2	50					公開DLを実施したユーザ		
31	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)								
32	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)								
33	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50							
34	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御		
35	報告用タイトル	REPORT_TITLE	NVARCHAR2	200					規制庁報告用のタイトル		

報告書

エンティティ名									
報告書									
テーブル名		スキーマ	表領域						
REPORT		ERDBMS							
環境放射線データの報告書。									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
	MREPORT	PK_REPORT							REPORTCD
	報告書_IX1	REPORT_IX1							SURVEYYEAR, SURVEYSDATE, REPORTCD, DELETEFLG
	報告書_IX2	REPORT_IX2							REPORTCD, SURVEYCD, REPLABCD, DELETEFLG

連続測定

エンティティ名									
連続測定									
テーブル名		スキーマ	表領域						
TCMEASURE		ERDBMS							
連続測定系の行データ。連続測定しているモニタリングポストやダストモニタの集計値。									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	測定番号	MEASURENO	NUMBER	9	0	Y		1	
2	報告書番号	REPORTCD	VARCHAR2	6		Y			
3	表データSEQ (FK)	SHEETSEQ	NUMBER	10	0	Y			表データのPKとなる連番
4	行番号	LINENO	NUMBER	8	0	Y			表データ配下の行データの行番号(1...N)
5	標準化状態	STDN_STATUS	VARCHAR2	1		Y	0'		0:未実行,1:成功,2:エラー,9:対象外
6	標準化エラーJSON	STDN_ERROR_JSON	NCLOB						標準化のエラー内容のJSON形式データ
7	基準日	BASEDATE	DATE						SCNの採取や測定の間日。年度算出やプロットの基準日。
8	測定機関コード	MEASURELABCD	VARCHAR2	4					
9	試料種別コード	SAMPLETYPECD	VARCHAR2	2					
10	記載試料名	LCSAMPLENAME	VARCHAR2	60					記載の試料名(小分類)
11	試料コード	SAMPLECD	VARCHAR2	4					
12	測定都道府県コード	MEASUREPREFCD	VARCHAR2	2					測定地点の都道府県
13	記載測定地点名	LCMEASUREPOINTNAM	VARCHAR2	100					記載の地点名
14	測定地点コード	MEASUREPOINTCD	VARCHAR2	9					
15	地点振込年度	POINTSETYEAR	NUMBER	4	0				記載地点の振込年度
16	緯度 (世界測地系)	SLATITUDE	NVARCHAR2	20					DMS/DMM/DEG
17	経度 (世界測地系)	SLONGITUDE	NVARCHAR2	20					DMS/DMM/DEG
18	緯度 (日本測地系)	LATITUDE	NVARCHAR2	20					DMS/DMM/DEG
19	経度 (日本測地系)	LONGITUDE	NVARCHAR2	20					DMS/DMM/DEG
20	計測器コード	INSTRUMENTCD	VARCHAR2	3					
21	宇宙線含除	COSMICRAYFG	VARCHAR2	1		Y	0'		0:なし,1:含む
22	高さ	HEIGHT	NUMBER						
23	高さ単位	HEIGHTUT	VARCHAR2	8					
24	核種コード	ELEMENTCD	VARCHAR2	3					分析核種や測定線種
25	集計単位コード	SUMUNITCD	VARCHAR2	2					
26	測定開始日	MEASURESDATE	VARCHAR2	10					YYYY/MM/DD
27	測定開始時刻	MEASURESTIME	VARCHAR2	8					HH:mm:ss
28	測定終了日	MEASUREEDATE	VARCHAR2	10					YYYY/MM/DD
29	測定終了時刻	MEASUREETIME	VARCHAR2	8					HH:mm:ss
30	測定年度	MEASUREYEAR	NUMBER	4	0				
31	測定四半期	MEASUREQUARTER	NUMBER	1	0				1:4-6,2:7-9,3:10-12,4:1-3
32	測定年	MEASUREPYEAR	NUMBER	4	0				
33	測定月	MEASUREMONTH	NUMBER	2	0				1-12
34	測定期間	MEASURELENGTH	NUMBER	9	0				
35	測定期間単位	MEASURELENGTHUT	VARCHAR2	8					
36	天気コード	WEATHERCD	VARCHAR2	5					

連続測定

エンティティ名									
連続測定									
テーブル名		スキーマ		表領域					
TCMEASURE		ERDBMS							
連続測定系の行データ。連続測定しているモニタリングポストやダストモニタの集計値。									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
37	欠測フラグ	MEASUREFG	VARCHAR2	1		Y	0'		0:通常,1:欠測
38	記載報告値最大	REACTIVITYMAXTEXT	VARCHAR2	30					
39	記載報告値最小	REACTIVITYMINTEXT	VARCHAR2	30					
40	記載報告値平均	REACTIVITYAVGTEXT	VARCHAR2	30					
41	記載報告値単位	REACTIVITYUTTEXT	VARCHAR2	16					記載値のまま入力する単位名
42	公開報告値最大	REACTIVITYMAX	NUMBER						
43	公開報告値最小	REACTIVITYMIN	NUMBER						
44	公開報告値平均	REACTIVITYAVG	NUMBER						
45	公開報告値単位	REACTIVITYUT	VARCHAR2	8					
46	非公開フラグ	PRIVATEFLG	VARCHAR2	1		Y	0'		0:公開,1:非公開
47	測定備考	MEAREMARK	VARCHAR2	255					
48	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
49	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
50	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
51	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御
52	変動備考	FLUC_REMARK	NVARCHAR2	200					
	主キー	PK_TCMEASURE							MEASURENO
	連続測定_IX1	TCMEASURE_IX1							REPORTCD, SHEETSEQ, LINENO, BASEDATE
	連続測定_IX2	TCMEASURE_IX2							BASEDATE, REPORTCD, SHEETSEQ, LINENO
	連続測定_IX3	TCMEASURE_IX3							STDN_STATUS, SAMPLECD, MEASUREPREFCD, MEASURELABCD, ELEMENTCD, REACTIVITYUT, BASEDATE, MEASUREPOINTCD, MEASURENO, REPORTCD, SHEETSEQ, LINENO, REACTIVITYMAX, REACTIVITYMIN, REACTIVITYAVG
	連続測定_IX4	TCMEASURE_IX4							SAMPLETYPECD, LCSAMPLENAME, SAMPLECD, REPORTCD, BASEDATE
	連続測定_IX5	TCMEASURE_IX5							MEASURELABCD, SAMPLECD, MEASUREPREFCD, LCMEASUREPOINTNAME, MEASUREPOINTCD, POINTSETYEAR, SLATITUDE, SLONGITUDE, REPORTCD, MEASUREYEAR
	連続測定_NK	TCMEASURE_NK							SHEETSEQ, LINENO
	連続測定_IX6	TCMEASURE_IX6							STDN_STATUS, SAMPLETYPECD, SAMPLECD, MEASUREPREFCD, MEASUREPOINTCD, ELEMENTCD, REACTIVITYUT, BASEDATE, REPORTCD, SHEETSEQ, LINENO, MEASURENO, REACTIVITYMAX, REACTIVITYMIN, REACTIVITYAVG

連続測定共通入力

エンティティ名									
連続測定共通入力									
テーブル名		スキーマ	表領域						
TC_COM_INP		ERDBMS							
連続測定系の行データ。連続測定しているモニタリングポストやダストモニタの集計値。									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
1	表データSEQ	SHEETSEQ	NUMBER	10	0	Y		1	表データのPKとなる連番
2	測定機関コード	MEASURELABCD	VARCHAR2	4					
3	試料種別コード	SAMPLETYPECD	VARCHAR2	2					
4	記載試料名	LCSAMPLENAME	VARCHAR2	60					記載の試料名(小分類)
5	試料コード	SAMPLECD	VARCHAR2	4					
6	測定都道府県コード	MEASUREPREFCD	VARCHAR2	2					測定地点の都道府県
7	記載測定地点名	LCMEASUREPOINTNAM	VARCHAR2	100					記載の地点名
8	測定地点コード	MEASUREPOINTCD	VARCHAR2	9					
9	地点振込年度	POINTSETYEAR	NUMBER	4	0				記載地点の振込年度
10	緯度 (世界測地系)	SLATITUDE	NVARCHAR2	20					DMS/DMM/DEG
11	経度 (世界測地系)	SLONGITUDE	NVARCHAR2	20					DMS/DMM/DEG
12	緯度 (日本測地系)	LATITUDE	NVARCHAR2	20					DMS/DMM/DEG
13	経度 (日本測地系)	LONGITUDE	NVARCHAR2	20					DMS/DMM/DEG
14	計測器コード	INSTRUMENTCD	VARCHAR2	3					
15	宇宙線含除	COSMICRAYFG	VARCHAR2	1		Y	0'		0:なし,1:含む
16	高さ	HEIGHT	NUMBER						
17	高さ単位	HEIGHTUT	VARCHAR2	8					
18	核種コード	ELEMENTCD	VARCHAR2	3					分析核種や測定線種
19	集計単位コード	SUMUNITCD	VARCHAR2	2					
20	測定開始日	MEASURESDATE	VARCHAR2	10					YYYY/MM/DD
21	測定開始時刻	MEASURESTIME	VARCHAR2	8					HH:mm:ss
22	測定終了日	MEASUREEDATE	VARCHAR2	10					YYYY/MM/DD
23	測定終了時刻	MEASUREETIME	VARCHAR2	8					HH:mm:ss
24	測定年度	MEASUREYEAR	NUMBER	4	0				
25	測定四半期	MEASUREQUARTER	NUMBER	1	0				1:4-6,2:7-9,3:10-12,4:1-3
26	測定年	MEASUREPYEAR	NUMBER	4	0				
27	測定月	MEASUREMONTH	NUMBER	2	0				1-12
28	測定期間	MEASURELENGTH	NUMBER	9	0				
29	測定期間単位	MEASURELENGTHUT	VARCHAR2	8					
30	天気コード	WEATHERCD	VARCHAR2	5					
31	欠測フラグ	MEASUREFG	VARCHAR2	1		Y	0'		0:通常,1:欠測
32	記載報告値最大	REACTIVITYMAXTEXT	VARCHAR2	30					
33	記載報告値最小	REACTIVITYMINTEXT	VARCHAR2	30					
34	記載報告値平均	REACTIVITYAVGTEXT	VARCHAR2	30					
35	記載報告値単位	REACTIVITYUTTEXT	VARCHAR2	16					記載値のまま入力する単位名
36	公開報告値最大	REACTIVITYMAX	NUMBER						

連続測定共通入力

エンティティ名									
連続測定共通入力									
テーブル名		スキーマ	表領域						
TC_COM_INP		ERDBMS							
連続測定系の行データ。連続測定しているモニタリングポストやダストモニタの集計値。									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	default	PK	定義内容
37	公開報告値最小	REACTIVITYMIN	NUMBER						
38	公開報告値平均	REACTIVITYAVG	NUMBER						
39	公開報告値単位	REACTIVITYUT	VARCHAR2	8					
40	非公開フラグ	PRIVATEFLG	VARCHAR2	1		Y	0'		0:公開,1:非公開
41	測定備考	MEAREMARK	VARCHAR2	255					
42	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
43	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
44	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
45	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		ROW更新の楽観排他制御
46	変動備考	FLUC_REMARK	NVARCHAR2	200					
	主キー	PK_TC_COM_INP							SHEETSEQ

M公開用地点名変換表_VIEW

エンティティ名									
M公開用地点名変換表_VIEW									
テーブル名		スキーマ	表領域						
MCHANGEPOINT_VIEW		ERDBMS							
M公開用地点名変換表のVIEW									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
1	地点コード (FK)	POINTCD	VARCHAR2	9		Y		1	
2	地点名	POINTNAME	VARCHAR2	50		Y			p.POINTNAME
3	変換地点名	CHANGEPOINTNAME	VARCHAR2	30		Y			
4	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
5	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
6	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
7	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		
	主キー	PK_MCHANGEPOINT							POINTCD
									from MCHANGEPOINT x
									left join MPOINT p on (x.POINTCD = p.POINTCD)

M機関履歴_VIEW

エンティティ名									
M機関履歴_VIEW									
ビュー名		スキーマ	表領域						
MLABORATORYHISTORY_VIEW		ERDBMS							
M機関履歴のVIEW									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
1	機関コード (FK)	LABCD	VARCHAR2	4		Y		1	
2	機関名	LABNAME	VARCHAR2	60		Y			lb.LABNAME
3	変換先機関コード	CNVLABCD	VARCHAR2	4		Y		2	
4	変換先機関名	CNVLABNAME	VARCHAR2	60		Y			cv.LABNAME
5	変換開始日付	CNVDATE	DATE			Y			
6	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
7	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
8	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
9	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		
									from MLABORATORYHISTORY x
									left join MLABORATORY lb on (x.LABCD = lb.LABCD)
									left join MLABORATORY cv on (x.CNVLABCD = cv.LABCD)

M地点_VIEW

エンティティ名									
M地点_VIEW									
ビュー名		スキーマ		表領域					
MPOINT_VIEW		ERDBMS							
M地点のVIEW									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
1	地点コード	POINTCD	VARCHAR2	9		Y		1	
2	地点名	POINTNAME	VARCHAR2	50		Y			
3	カナ名	KNAME	VARCHAR2	60					
4	英語名	ENAME	VARCHAR2	100					
5	略名	SNAME	VARCHAR2	40					
6	都道府県コード (FK)	PREFCD	VARCHAR2	2		Y			
7	都道府県名	PREFNAME	VARCHAR2	8		Y			pr.PREFNAME
8	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
9	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
10	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
11	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		
									from MPOINT x
									left join MPREFECTURE pr on (x.PREFCD = pr.PREFCD)

M試料_VIEW

エンティティ名									
M試料_VIEW									
ビュー名		スキーマ	表領域						
MSAMPLE_VIEW		ERDBMS							
M試料のVIEW									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
1	試料コード	SAMPLECD	VARCHAR2	4		Y		1	
2	試料名	SAMPLENAME	VARCHAR2	26		Y			
3	カナ名	KNAME	VARCHAR2	20					
4	英語名	ENAME	VARCHAR2	50					
5	略名	SNAME	VARCHAR2	20					
6	試料種別コード (FK)	SAMPLETYPECD	VARCHAR2	2		Y			
2	試料種別名	SAMPLETYPENAME	VARCHAR2	26		Y			
7	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						st.SAMPLETYPENAME
8	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
9	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
10	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		
									from MSAMPLE x
									left join MSAMPLETYPE st on (x.SAMPLETYPECD = st.SAMPLETYPECD)

M試料テーブル系列_VIEW

エンティティ名									
M試料テーブル系列_VIEW									
ビュー名		スキーマ		表領域					
MSAMPLESERIES_VIEW		ERDBMS							
M試料テーブル系列のVIEW									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
1	テーブル系列	TABLESERIES	VARCHAR2	1		Y		1	
2	試料種別コード	SAMPLETYPECD	VARCHAR2	2		Y		2	
3	試料種別名	SAMPLETYPENAME	VARCHAR2	26		Y			st.SAMPLETYPENAME
4	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
5	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
6	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
7	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		
									from MSAMPLESERIES x
									left join MSAMPLETYPE st on (x.SAMPLETYPECD = st.SAMPLETYPECD)

M標準単位_VIEW

エンティティ名											
M標準単位_VIEW											
ビュー名		スキーマ	表領域								
MSTANDARDUNIT_VIEW		ERDBMS									
M標準単位のVIEW											
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容		
1	参照表SEQ	RLCSEQ	NUMBER	10	0	Y			1		
2	単位項目ID	UNITCLMID	VARCHAR2	50		Y					
3	試料コード	SAMPLECD	VARCHAR2	4		Y					
4	試料名	SAMPLENAME	VARCHAR2	26		Y				sp.SAMPLENAME	
5	核種コード	ELEMENTCD	VARCHAR2	3		Y					
6	核種名	ELEMENTNAME	VARCHAR2	16		Y				el.ELEMENTNAME	
7	単位系列コード	UNITSERIESCD	VARCHAR2	4		Y					
8	単位系列名	UNITSERIESNAME	VARCHAR2	30		Y				us.UNITSERIESNAME	
9	単位コード (FK)	UNITCD	VARCHAR2	8		Y					
10	単位名	UNITNAME	VARCHAR2	15		Y				ut.UNITNAME	
11	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)								
12	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)								
13	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50							
14	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0				
										from MSTANDARDUNIT x	
										left join MSAMPLE sp on (x.SAMPLECD = sp.SAMPLECD)	
										left join MELEMENT el on (x.ELEMENTCD = el.ELEMENTCD)	
										left join MUNITSERIES us on (x.UNITSERIESCD = us.UNITSERIESCD)	
										left join MUNIT ut on (x.UNITCD = ut.UNITCD)	

M閾値_VIEW

エンティティ名									
M閾値_VIEW									
ビュー名									
MTHRESHOLD_VIEW			スキーマ				表領域		
MTHRESHOLD_VIEW			ERDBMS						
M閾値のVIEW									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
1	都道府県コード	PREFCD	NUMBER	2	0	Y		1	
2	都道府県名	PREFNAME	VARCHAR2	8		Y			pr.PREFNAME
3	試料コード	SAMPLECD	VARCHAR2	4		Y		2	
4	試料名	SAMPLENAME	VARCHAR2	26		Y			sp.SAMPLENAME
5	核種コード	ELEMENTCD	VARCHAR2	3		Y		3	
6	核種名	ELEMENTNAME	VARCHAR2	16		Y			el.ELEMENTNAME
7	公開報告値単位	REACTIVITYUT	VARCHAR2	8		Y		4	
8	公開報告値単位名	REACTIVITYUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut.UNITNAME
9	閾値最大	THRESHOLDMAX	NUMBER			Y			
10	閾値最小	THRESHOLDMIN	NUMBER			Y			
11	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
12	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
13	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
14	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		
									from MTHRESHOLD X
									left join MPREFECTURE PR on (X.PREFCD = PR.PREFCD)
									left join MSAMPLE SP on (X.SAMPLECD = SP.SAMPLECD)
									left join MELEMENT EL on (X.ELEMENTCD = EL.ELEMENTCD)
									left join MUNIT UT on (X.REACTIVITYUT = UT.UNITCD)

M単位_VIEW

エンティティ名									
M単位_VIEW									
テーブル名		スキーマ		表領域					
MUNIT_VIEW		ERDBMS							
M単位のVIEW									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
1	単位コード	UNITCD	VARCHAR2	8		Y		1	
2	単位名	UNITNAME	VARCHAR2	15		Y			
3	カナ名	KNAME	VARCHAR2	30					
4	英語名	ENAME	VARCHAR2	20					
5	略名	SNAME	VARCHAR2	15					
6	単位系列コード (FK)	UNITSERIESCD	VARCHAR2	4		Y			
7	単位系列名	UNITSERIESNAME	VARCHAR2	30		Y			us.UNITSERIESNAME
8	備考	REMARK	VARCHAR2	255					
9	係数L	PARAM_L	NUMBER						bu_l.PARAM
10	係数R	PARAM_R	NUMBER						bu_r.PARAM
11	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
12	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
13	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
14	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		
									from MUNIT x
									left join MUNITSERIES us on (x.UNITSERIESCD = us.UNITSERIESCD)
									left join MBASICUNIT bu_l on (substr(x.UNITCD,1,4) = bu_l.BASICUNITCD)
									left join MBASICUNIT bu_r on (substr(x.UNITCD,5,4) = bu_r.BASICUNITCD)

M単位_SCN_VIEW

エンティティ名									
MUNIT_SCN_VIEW									
ビュー名		スキーマ	表領域						
MUNIT_SCN_VIEW		ERDBMS							
データ行(SCN)から選択可能なM単位を抽出するためのVIEW									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
1	参照表SEQ	RLCSEQ	NUMBER	10	0	Y		1	
2	単位項目ID	UNITCLMID	VARCHAR2	50		Y			
3	試料コード	SAMPLECD	VARCHAR2	4		Y			
4	試料名	SAMPLENAME	VARCHAR2	26		Y			sp.SAMPLENAME
5	核種コード	ELEMENTCD	VARCHAR2	3		Y			
6	核種名	ELEMENTNAME	VARCHAR2	16		Y			el.ELEMENTNAME
7	単位系列コード	UNITSERIESCD	VARCHAR2	4		Y			
8	単位系列名	UNITSERIESNAME	VARCHAR2	30		Y			us.UNITSERIESNAME
9	単位コード	UNITCD	VARCHAR2	8		Y			
10	単位名	UNITNAME	VARCHAR2	15		Y			ut.UNITNAME
11	標準単位フラグ	STDUTFLAG	VARCHAR2	1		Y			0:なし,1:標準単位
									from MSTDANDARDUNIT su
									join MUNIT ut on (su.UNITSERIESCD = ut.UNITSERIESCD)
									left join MSAMPLE sp on (su.SAMPLECD = sp.SAMPLECD)
									left join MELEMENT el on (su.ELEMENTCD = el.ELEMENTCD)
									left join MUNITSERIES us on (su.UNITSERIESCD = us.UNITSERIESCD)

R記載核種参照表_VIEW

エンティティ名									
R記載核種参照表_VIEW									
ビュー名		スキーマ	表領域						
RLCELEMENT_VIEW		ERDBMS							
R記載核種参照表のVIEW									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
1	参照表SEQ	RLCSEQ	NUMBER	10	0	Y		1	
2	記載核種名	LCELEMENTNAME	VARCHAR2	16		Y			
3	核種コード (FK)	ELEMENTCD	VARCHAR2	3		Y			
4	核種名	ELEMENTNAME	VARCHAR2	16		Y			el.ELEMENTNAME
5	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
6	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
7	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
8	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		
									from RLCELEMENT x
									left join MELEMENT el on (x.ELEMENTCD = el.ELEMENTCD)

R記載計測器参照表_VIEW

エンティティ名									
R記載計測器参照表_VIEW									
ビュー名		スキーマ	表領域						
RLCINSTRUMENT_VIEW		ERDBMS							
R記載計測器参照表のVIEW									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
1	参照表SEQ	RLCSEQ	NUMBER	10	0	Y		1	
2	記載計測器名	LCINSTRUMENTNAME	VARCHAR2	40		Y			
3	計測器コード (FK)	INSTRUMENTCD	VARCHAR2	3		Y			
4	計測器名	INSTRUMENTNAME	VARCHAR2	50		Y			ins.INSTRUMENTNAME
5	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
6	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
7	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
8	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		
									from RLCINSTRUMENT x
									left join MINSTRUMENT ins on (x.INSTRUMENTCD = ins.INSTRUMENTCD)

R記載機関参照表_VIEW

エンティティ名									
R記載機関参照表_VIEW									
ビュー名		スキーマ	表領域						
RLCLABORATORY_VIEW		ERDBMS							
R記載機関参照表のVIEW									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
1	参照表SEQ	RLCSEQ	NUMBER	10	0	Y		1	
2	記載機関名	LCLABNAME	VARCHAR2	40		Y			
3	機関コード (FK)	LABCD	VARCHAR2	4		Y			
4	機関名	LABNAME	VARCHAR2	60		Y			lb.LABNAME
5	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
6	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
7	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
8	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		
									from RLCLABORATORY x
									left join MLABORATORY lb on (x.LABCD = lb.LABCD)

R記載地点参照表_VIEW

エンティティ名									
R記載地点参照表_VIEW									
ビュー名		スキーマ	表領域						
RLCPOINT_VIEW		ERDBMS							
R記載地点参照表のVIEW									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
1	参照表SEQ	RLCSEQ	NUMBER	10	0	Y		1	
2	調査コード	SURVEYCD	VARCHAR2	2		Y			
3	調査名	SURVEYNAME	VARCHAR2	40		Y			sv.SURVEYNAME
4	機関コード	LABCD	VARCHAR2	4		Y			
5	機関名	LABNAME	VARCHAR2	60		Y			lb.LABNAME
6	試料コード	SAMPLECD	VARCHAR2	4		Y			
7	試料名	SAMPLENAME	VARCHAR2	26		Y			sp.SAMPLENAME
8	都道府県コード	PREFCD	VARCHAR2	2		Y			
9	都道府県名	PREFNAME	VARCHAR2	8		Y			pr.PREFNAME
10	記載地点名	LCPOINTNAME	VARCHAR2	100		Y			
11	地点コード (FK)	POINTCD	VARCHAR2	9		Y			
12	地点名	POINTNAME	VARCHAR2	50		Y			pt.POINTNAME
13	地点振込年度	POINTSEYEAR	NUMBER	4	0	Y			
14	緯度 (世界測地系)	SLATITUDE	NVARCHAR2	20					
15	経度 (世界測地系)	SLONGITUDE	NVARCHAR2	20					
16	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
17	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
18	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
19	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		
									from RLCPOINT x
									left join MSURVEY sv on (x.SURVEYCD = sv.SURVEYCD)
									left join MLABORATORY lb on (x.LABCD = lb.LABCD)
									left join MSAMPLE sp on (x.SAMPLECD = sp.SAMPLECD)
									left join MPREFECTURE pr on (x.PREFCD = pr.PREFCD)
									left join MPOINT pt on (x.POINTCD = pt.POINTCD)

R記載地点参照表FB_VIEW

エンティティ名									
R記載地点参照表FB_VIEW									
ビュー名		スキーマ	表領域						
RLCPOINT_FB_VIEW		ERDBMS							
R記載地点参照表のfeedback用のVIEW									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
1	参照表SEQ	RLCSEQ	NUMBER	10	0	Y		1	連番(1..n)
2	調査コード	SURVEYCD	VARCHAR2	2		Y			r.調査コード
3	機関コード	LABCD	VARCHAR2	4		Y			s.採取機関コード、cn:測定期間コード
4	試料コード	SAMPLECD	VARCHAR2	4		Y			scn:試料コード
5	都道府県コード	PREFCD	VARCHAR2	2		Y			s:採取都道府県コード、cn:測定都道府県コード
6	記載地点名	LCPOINTNAME	VARCHAR2	100		Y			s:記載採取地点名、cn:記載測定地点名
7	地点コード (FK)	POINTCD	VARCHAR2	9		Y			s:採取地点コード、cn:測定地点コード
8	地点振込年度	POINTSEYEAR	NUMBER	4	0	Y			nvl(地点振込年度, s:採取年度 cn:測定年度)
9	緯度 (世界測地系)	SLATITUDE	NVARCHAR2	20					scn:緯度 (世界測地系)
10	経度 (世界測地系)	SLONGITUDE	NVARCHAR2	20					scn:経度 (世界測地系)
11	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						SYSTIMESTAMP
12	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						SYSTIMESTAMP
13	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					system
14	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0	0	
									from TSAMPLE ts, TCMEASURE tc, TNMEASURE tn のunion
									join REPORT r on (ts.REPORTCD = r.REPORTCD)
									join MPOINT pt on (ts.SAMPLEPOINTCD = pt.POINTCD and ts.SAMPLEPREFCD = pt.PREFCD) where r.DELETEFLG = '0'
									and r.SURVEYCD is not null
									and ts.SAMLABCD is not null
									and ts.SAMPLECD is not null
									and ts.SAMPLEPREFCD is not null
									and ts.LCSAMPLEPOINTNAME is not null
									and ts.SAMPLEPOINTCD is not null

R記載試料参照表_VIEW

エンティティ名									
R記載試料参照表_VIEW									
テーブル名		スキーマ	表領域						
RLCSAMPLE_VIEW		ERDBMS							
R記載試料参照表のVIEW									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
1	参照表SEQ	RLCSEQ	NUMBER	10	0	Y		1	
2	試料種別コード	SAMPLETYPECD	VARCHAR2	2		Y			
3	試料種別名	SAMPLETYPENAME	VARCHAR2	26		Y			st.SAMPLETYPENAME
2	記載試料名	LCSAMPLENAME	VARCHAR2	60		Y			
5	試料コード (FK)	SAMPLECD	VARCHAR2	4		Y			
6	試料名	SAMPLENAME	VARCHAR2	26		Y			sp.SAMPLENAME
7	生物コード	LIFECD	VARCHAR2	12					
8	生物名	LIFENAME	VARCHAR2	50					lf.LIFENAME
9	食品コード	FOODCD	VARCHAR2	7					
10	食品名	FOODNAME	VARCHAR2	40					fd.FOODNAME
11	部位コード	SECTIONCD	VARCHAR2	2					
12	部位名	SECTIONNAME	VARCHAR2	20					sc.SECTIONNAME
13	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
14	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
15	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
16	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		
									from RLCSAMPLE x
									left join MSAMPLETYPE st on (x.SAMPLETYPECD = st.SAMPLETYPECD)
									left join MSAMPLE sp on (x.SAMPLECD = sp.SAMPLECD)
									left join MLIFE lf on (x.LIFECD = lf.LIFECD)
									left join MFOOD fd on (x.FOODCD = fd.FOODCD)
									left join MSECTION sc on (x.SECTIONCD = sc.SECTIONCD)

R記載試料参照表FB_VIEW

エンティティ名		スキーマ		表領域					
R記載試料参照表FB_VIEW		ERDBMS							
テーブル名		スキーマ		表領域					
RLCSAMPLE_FB_VIEW		ERDBMS							
R記載試料参照表のfeedback用のVIEW									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
1	参照表SEQ	RLCSEQ	NUMBER	10	0	Y		1	連番(1..n)
2	試料種別コード	SAMPLETYPECD	VARCHAR2	2		Y			scn:試料種別コード
2	記載試料名	LCSAMPLENAME	VARCHAR2	60		Y			scn:記載試料名(全角ひらがな→全角カナ)
5	試料コード(FK)	SAMPLECD	VARCHAR2	4		Y			scn:試料コード
7	生物コード	LIFECD	VARCHAR2	12					s:生物コード、cn:null
9	食品コード	FOODCD	VARCHAR2	7					s:食品コード、cn:null
11	部位コード	SECTIONCD	VARCHAR2	2					s.部位コード、cn:null
13	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						SYSTIMESTAMP
14	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						SYSTIMESTAMP
15	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					system
16	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0	0	
									(試料種別CD,記載試料名)で集約して、最新の基準日の行を採用
									from TSAMPLE ts, TCMEASURE tc, TNMEASURE tn のunion
									join REPORT r on (ts.REPORTCD = r.REPORTCD)
									join MSAMPLE sa on (ts.SAMPLECD = sa.SAMPLECD and ts.SAMPLETYPECD =
									where r.DELETEFLG = '0'
									and ts.SAMPLETYPECD is not null
									and ts.LCSAMPLENAME is not null
									and ts.SAMPLECD is not null
									and ts.BASEDATE is not null

R記載試料種別参照表_VIEW

エンティティ名									
R記載試料種別参照表_VIEW									
テーブル名		スキーマ	表領域						
RLCSAMPLETYPE_VIEW		ERDBMS							
R記載試料種別参照表のVIEW									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
1	参照表SEQ	RLCSEQ	NUMBER	10	0	Y		1	
2	記載試料種別名	LSAMPLETYPEPENAME	VARCHAR2	24		Y			
3	試料種別コード (FK)	SAMPLETYPEPCD	VARCHAR2	2		Y			
4	試料種別名	SAMPLETYPEPENAME	VARCHAR2	26		Y			st.SAMPLETYPEPENAME
5	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
6	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
7	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
8	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		
									from RLCSAMPLETYPE x
									left join MSAMPLETYPE st on (x.SAMPLETYPEPCD = st.SAMPLETYPEPCD)

報告書_VIEW

エンティティ名									
報告書_VIEW									
テーブル名		スキーマ		表領域					
REPORT_VIEW		ERDBMS							
報告書のVIEW									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
1	報告書番号	REPORTCD	VARCHAR2	6		Y		1	
2	報告書名	REPORTNAME	VARCHAR2	255		Y			
3	英語名	ENAME	VARCHAR2	255					
4	調査コード	SURVEYCD	VARCHAR2	2		Y			
5	調査名	SURVEYNAME	VARCHAR2	40		Y			sv.SURVEYNAME
6	軍艦フラグ	WARSHIPFLG	VARCHAR2	1		Y	0'		sv.WARSHIPFLG
7	DB登録対象外フラグ	DBIGNOREFLG	VARCHAR2	1		Y	0'		sv.DBIGNOREFLG
8	調査開始日	SURVEYSDATE	VARCHAR2	10		Y			
9	調査終了日	SURVEYEDATE	VARCHAR2	10		Y			
10	調査年度	SURVEYYEAR	NUMBER	4	0	Y			
11	発行機関コード	REPLABCD	VARCHAR2	4		Y			
12	発行機関名	REPLABNAME	VARCHAR2	60		Y			lb.LABNAME
13	発行都道府県コード	REPPREFCD	VARCHAR2	2					
14	発行都道府県名	REPPREFNAME	VARCHAR2	8		Y			pr.PREFNAME
15	発行日	PUBDATE	VARCHAR2	10					
16	受付日	RECEPTDATE	VARCHAR2	10					
17	VOL	VOL	NUMBER	10	0				
18	報告書備考	REPREMARK	VARCHAR2	255					
19	管理ユーザID	MAN_USER_ID	VARCHAR2	50					
20	機関担当者情報	LAB_CONTACT_INFO	NCLOB						
21	初期採取都道府県コード	INISAMPLEPREFCD	VARCHAR2	2					
22	初期採取都道府県コード	INISAMREPPREFCD	VARCHAR2	2					pr_s.PREFNAME
23	初期採取機関コード	INISAMLABCD	VARCHAR2	4					
24	初期採取機関名	INISAMLABNAME	VARCHAR2	60		Y			lb_s.LABNAME
25	初期分析機関コード	INIANALABCD	VARCHAR2	4					
26	初期分析機関名	INIANALABNAME	VARCHAR2	60		Y			lb_a.LABNAME
27	初期測定都道府県コード	INIMEASUREPREFCD	VARCHAR2	2					
28	初期測定都道府県コード	INIMEASUREPREFNAM	VARCHAR2	2					pr_m.PREFNAME
29	初期測定機関コード	INIMEASURELABCD	VARCHAR2	4					
30	初期測定機関名	INIMEASURELABNAME	VARCHAR2	60		Y			lb_m.LABNAME
31	削除フラグ	DELETEFLG	VARCHAR2	1		Y	0'		
32	取込状態	IMP_STATUS	VARCHAR2	1		Y	0'		
33	取込日時	IMP_DT	TIMESTAMP(0)						
34	取込ユーザID	IMP_USER_ID	VARCHAR2	50					
35	標準化状態	STDN_STATUS	VARCHAR2	1		Y	0'		
36	標準化日時	STDN_DT	TIMESTAMP(0)						

報告書_VIEW

エンティティ名									
報告書_VIEW									
テーブル名		スキーマ		表領域					
REPORT_VIEW		ERDBMS							
報告書のVIEW									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
37	標準化ユーザID	STDN_USER_ID	VARCHAR2	50					
38	公開DL状態	PUB_DL_STATUS	VARCHAR2	1		Y	0'		
39	公開DL日時	PUB_DL_DT	TIMESTAMP(0)						
40	公開DLユーザID	PUB_DL_USER_ID	VARCHAR2	50					
41	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
42	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
43	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
44	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		
45	入港名	INPORTNAME	VARCHAR2	50		Y			inp.INPORTNAME
46	軍艦コード	WSCD	VARCHAR2	4		Y			inp.WSCD
47	軍艦名	WSNAME	VARCHAR2	60		Y			ws.WSNAME
48	入港日	ENTERDATE	VARCHAR2	10		Y			inp.ENTERDATE
49	出港日	EXITDATE	VARCHAR2	10		Y			inp.EXITDATE
									from REPORT x
									join MSURVEY sv on (x.SURVEYCD = sv.SURVEYCD)
									join MLABORATORY lb on (x.REPLABCD = lb.LABCD)
									left join MPREFECTURE pr on (x.REPPREFCD = pr.PREFCD)
									left join MPREFECTURE pr_s on (x.INISAMPLEPREFCD = pr_s.PREFCD)
									left join MLABORATORY lb_s on (x.INISAMPLABCD = lb_s.LABCD)
									left join MLABORATORY lb_a on (x.INIANALABCD = lb_a.LABCD)
									left join MPREFECTURE pr_m on (x.INIMEASUREPREFCD = pr_m.PREFCD)
									left join MLABORATORY lb_m on (x.INIMEASURELABCD = lb_m.LABCD)
									left join INPORT inp on (x.REPORTCD = inp.REPORTCD)
									left join MWARSHIP ws on (inp.WSCD = ws.WSCD)
									where x.DELETEFLG = '0'

環境試料分析_VIEW

エンティティ名											
環境試料分析_VIEW											
テーブル名		スキーマ		表領域							
TS_TA_VIEW		ERDBMS									
環境試料と分析の結合VIEW。行データ一覧画面や公開DLで使用する。											
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容		
1	分析番号	ANALYSISNO	NUMBER	9	0	Y			1		
2	試料番号	SAMPLENO	NUMBER	9	0	Y					
3	報告書番号	REPORTCD	VARCHAR2	6		Y					
4	調査コード	SURVEYCD	VARCHAR2	2		Y				r.SURVEYCD	
5	調査名	SURVEYNAME	VARCHAR2	40		Y				sv.SURVEYNAME	
6	軍艦フラグ	WARSHIPFLG	VARCHAR2	1		Y	0'			sv.WARSHIPFLG	
7	発行機関コード	REPLABCD	VARCHAR2	4		Y				r.REPLABCD	
8	発行機関名	REPLABNAME	VARCHAR2	60		Y				lb_r.LABNAME	
9	表データSEQ	SHEETSEQ	NUMBER	10	0	Y					
10	ページ番号	PAGENO	NUMBER	9	0	Y				sh.PAGENO	
11	表番号	SHEETNO	NUMBER	9	0	Y				sh.SHEETNO	
12	行番号	LINENO	NUMBER	8	0	Y					
13	標準化状態	STDN_STATUS	VARCHAR2	1		Y	0'				
14	標準化エラーJSON	STDN_ERROR_JSON	NCLOB								
15	基準日	BASEDATE	DATE								
16	県試料番号	LOCALSAMPLENO	VARCHAR2	20							
17	採取機関コード	SAMPLABCD	VARCHAR2	4							
18	採取機関名	SAMPLABNAME	VARCHAR2	60		Y				lb_s.LABNAME	
19	試料種別コード	SAMPLETYPECD	VARCHAR2	2							
20	試料種別名	SAMPLETYPENAME	VARCHAR2	26		Y				st.SAMPLETYPENAME	
21	記載試料名	LCSAMPLENAME	VARCHAR2	60							
22	試料コード	SAMPLECD	VARCHAR2	4							
23	試料名	SAMPLENAME	VARCHAR2	26		Y				sp.SAMPLENAME	
24	生物コード	LIFECD	VARCHAR2	12							
25	生物名	LIFENAME	VARCHAR2	50		Y				lf.LIFENAME	
26	食品コード	FOODCD	VARCHAR2	7							
27	食品名	FOODNAME	VARCHAR2	40		Y				fd.FOODNAME	
28	部位コード	SECTIONCD	VARCHAR2	2							
29	部位名	SECTIONNAME	VARCHAR2	20		Y				sc.SECTIONNAME	
30	採取開始日	SAMPLESDATE	VARCHAR2	10							
31	採取開始時刻	SAMPLESTIME	VARCHAR2	8							
32	採取終了日	SAMPLEEDATE	VARCHAR2	10							
33	採取終了時刻	SAMPLEETIME	VARCHAR2	8							
34	採取年度	SAMPLEYEAR	NUMBER	4	0						
35	採取四半期	SAMPLEQUARTER	NUMBER	1	0						
36	採取年	SAMPLEPYEAR	NUMBER	4	0						

環境試料分析_VIEW

エンティティ名		
環境試料分析_VIEW		
テーブル名	スキーマ	表領域
TS_TA_VIEW	ERDBMS	

環境試料と分析の結合VIEW。行データ一覧画面や公開DLで使用する。

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
37	採取月	SAMPLEMONTH	NUMBER	2	0				
38	採取日数	SAMPLEDAY	NUMBER	9	0				
39	降雨開始日	RAINSDATE	VARCHAR2	10					
40	降雨開始時刻	RAINSTIME	VARCHAR2	8					
41	降雨終了日	RAINEDATE	VARCHAR2	10					
42	降雨終了時刻	RAINETIME	VARCHAR2	8					
43	採取都道府県コード	SAMPLEPREFCD	VARCHAR2	2					
44	採取都道府県名	SAMPLEPREFNAME	VARCHAR2	8		Y			pr.PREFNAME
45	記載採取地点名	LCSAMPLEPOINTNAME	VARCHAR2	100					
46	採取地点コード	SAMPLEPOINTCD	VARCHAR2	9					
47	地点名	SAMPLEPOINTNAME	VARCHAR2	50		Y			pt.POINTNAME
48	地点振込年度	POINTSEYEAR	NUMBER	4	0				
49	緯度 (世界測地系)	SLATITUDE	NVARCHAR2	20					
50	経度 (世界測地系)	SLONGITUDE	NVARCHAR2	20					
51	緯度 (日本測地系)	LATITUDE	NVARCHAR2	20					
52	経度 (日本測地系)	LONGITUDE	NVARCHAR2	20					
53	軍艦地点コード	WSPPOINTCD	VARCHAR2	4					
54	軍艦地点名	WSPPOINTNAME	VARCHAR2	50		Y			wpt.WSPPOINTNAME
55	採取法コード	SAMPLINGCD	VARCHAR2	3					
56	採取法名	SAMPLINGNAME	VARCHAR2	40		Y			sl.SAMPLINGNAME
57	採取面積	SAMPLEAREA	NUMBER						
58	採取面積単位	SAMPLEAREAUT	VARCHAR2	8					
59	採取面積単位名	SAMPLEAREAUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut1.UNITNAME
60	水深	DEPTHWATER	NUMBER						
61	水深単位	DEPTHWATERUT	VARCHAR2	8					
62	水深単位名	DEPTHWATERUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut2.UNITNAME
63	採取層1	SAMPLELAYER1	NUMBER						
64	採取層2	SAMPLELAYER2	NUMBER						
65	採取層単位	SAMPLELAYERUT	VARCHAR2	8					
66	採取層単位名	SAMPLELAYERUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut3.UNITNAME
67	採取層区分	SAMPLELAYERKBN	VARCHAR2	1					
68	採取量1	SAMPLEVOL1	NUMBER						
69	採取量1単位	SAMPLEVOL1UT	VARCHAR2	8					
70	採取量1単位名	SAMPLEVOL1UTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut4.UNITNAME
71	採取量2	SAMPLEVOL2	NUMBER						
72	採取量2単位	SAMPLEVOL2UT	VARCHAR2	8					

環境試料分析_VIEW

エンティティ名									
環境試料分析_VIEW									
テーブル名		スキーマ		表領域					
TS_TA_VIEW		ERDBMS							
環境試料と分析の結合VIEW。行データ一覧画面や公開DLで使用する。									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
73	採取量2単位名	SAMPLEVOL2UTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut5.UNITNAME
74	換算係数	CONVCOEFF	NUMBER						
75	換算係数単位	CONVCOEFFUT	VARCHAR2	8					
76	換算係数単位名	CONVCOEFFUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut6.UNITNAME
77	外観	APEARANCE	VARCHAR2	20					
78	水温	WATERTEMP	NUMBER						
79	水温単位	WATERTEMPUT	VARCHAR2	8					
80	水温単位名	WATERTEMPUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut7.UNITNAME
81	塩素	CHLORINITY	NUMBER						
82	塩素単位	CHLORINITYUT	VARCHAR2	8					
83	塩素単位名	CHLORINITYUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut8.UNITNAME
84	塩分	SALINITY	NUMBER						
85	塩分単位	SALINITYUT	VARCHAR2	8					
86	塩分単位名	SALINITYUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut9.UNITNAME
87	PH	PH	NUMBER						
88	生産製造地	PRODUCT	VARCHAR2	50					
89	試料備考	SAMREMARK	VARCHAR2	255					
90	分析明細番号	ANALYSISDTLNO	NUMBER	5	0	Y			
91	分析機関コード	ANALABCD	VARCHAR2	4					
92	分析機関名	ANALABNAME	VARCHAR2	60		Y			lb_a.LABNAME
93	Ca濃度	CALCIUM	NUMBER						
94	Ca濃度単位	CALCIUMUT	VARCHAR2	8					
95	Ca濃度単位名	CALCIUMUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut11.UNITNAME
96	K濃度	POTTASSIUM	NUMBER						
97	K濃度単位	POTTASSIUMUT	VARCHAR2	8					
98	K濃度単位名	POTTASSIUMUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut12.UNITNAME
99	前処理量	PRETREATVOL	NUMBER						
100	前処理量単位	PRETREATVOLUT	VARCHAR2	8					
101	前処理量単位名	PRETREATVOLUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut13.UNITNAME
102	分析供試量	MEASUREWEIGHT	NUMBER						
103	分析供試量単位	MEASUREWEIGHTUT	VARCHAR2	8					
104	分析供試量単位名	MEASUREWEIGHTUTNA	VARCHAR2	15		Y			ut14.UNITNAME
105	前処理法コード	PRETREATCD	VARCHAR2	2					
106	前処理法名	PRETREATNAME	VARCHAR2	20		Y			prt.PRETREATNAME
107	化学分離法コード	CHEMSEPARCD	VARCHAR2	2					
108	化学分離法名	CHEMSEPARNAME	VARCHAR2	40		Y			che.CHEMSEPARNAME

環境試料分析_VIEW

エンティティ名									
環境試料分析_VIEW									
テーブル名		スキーマ		表領域					
TS_TA_VIEW		ERDBMS							
環境試料と分析の結合VIEW。行データ一覧画面や公開DLで使用する。									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
109	計測器コード	INSTRUMENTCD	VARCHAR2	3					
110	計測器名	INSTRUMENTNAME	VARCHAR2	50		Y			ins.INSTRUMENTNAME
111	測定開始日	MEASURESDATE	VARCHAR2	10					
112	測定開始時刻	MEASURESTIME	VARCHAR2	8					
113	測定終了日	MEASUREEDATE	VARCHAR2	10					
114	測定終了時刻	MEASUREETIME	VARCHAR2	8					
115	測定迄の時間	UNTILMEASURE	NUMBER						
116	測定迄の時間単位	UNTILMEASUREUT	VARCHAR2	8					
117	測定迄の時間単位名	UNTILMEASUREUTNAM	VARCHAR2	15		Y			ut15.UNITNAME
118	測定時間	MEASURETIMES	NUMBER						
119	測定時間単位	MEASURETIMESUT	VARCHAR2	8					
120	測定時間単位名	MEASURETIMESUTNAM	VARCHAR2	15		Y			ut16.UNITNAME
121	核種コード	ELEMENTCD	VARCHAR2	3					
122	核種名	ELEMENTNAME	VARCHAR2	16		Y			el.ELEMENTNAME
123	記載報告値	REACTIVITYTEXT	VARCHAR2	30					
124	記載報告値単位	REACTIVITYUTTEXT	VARCHAR2	16					
125	公開報告値	REACTIVITY	NUMBER						
126	公開報告値誤差	REACTIVITYERR	NUMBER						
127	公開報告値単位	REACTIVITYUT	VARCHAR2	8					
128	公開報告値単位名	REACTIVITYUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut17.UNITNAME
129	NDフラグ	NDFG	VARCHAR2	1		Y	0'		
130	非公開フラグ	PRIVATEFLG	VARCHAR2	1		Y	0'		
131	分析備考	ANAREMARK	VARCHAR2	255					
132	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
133	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
134	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
135	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		
									from TSAMPLE ts
									join SHEET sh on (ts.SHEETSEQ = sh.SHEETSEQ)
									join REPORT r on (sh.REPORTCD = r.REPORTCD)
									join MSURVEY sv on (r.SURVEYCD = sv.SURVEYCD)
									join TANALYSIS ta on (ts.SAMPLENO = ta.SAMPLENO)
									left join MLABORATORY lb_r on (r.REPLABCD = lb_r.LABCD)
									left join MLABORATORY lb_s on (ts.SAMLABCD = lb_s.LABCD)

環境試料分析_VIEW

エンティティ名		
環境試料分析_VIEW		
テーブル名	スキーマ	表領域
TS_TA_VIEW	ERDBMS	

環境試料と分析の結合VIEW。行データ一覧画面や公開DLで使用する。

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
									left join MSAMPLETYPE st on (ts.SAMPLETYPECD = st.SAMPLETYPECD)
									left join MSAMPLE sp on (ts.SAMPLECD = sp.SAMPLECD)
									left join MLIFE lf on (ts.LIFECD = lf.LIFECD)
									left join MFOOD fd on (ts.FOODCD = fd.FOODCD)
									left join MSECTION sc on (ts.SECTIONCD = sc.SECTIONCD)
									left join MSAMPLING sl on (ts.SAMPLINGCD = sl.SAMPLINGCD)
									left join MPREFECTURE pr on (ts.SAMPLEPREFCD = pr.PREFCD)
									left join MPOINT pt on (ts.SAMPLEPOINTCD = pt.POINTCD)
									left join MWSPPOINT wpt on (ts.WSPPOINTCD = wpt.WSPPOINTCD)
									left join MUNIT ut1 on (ts.SAMPLEAREAUT = ut1.UNITCD)
									left join MUNIT ut2 on (ts.DEPTHWATERUT = ut2.UNITCD)
									left join MUNIT ut3 on (ts.SAMPLELAYERUT = ut3.UNITCD)
									left join MUNIT ut4 on (ts.SAMPLEVOL1UT = ut4.UNITCD)
									left join MUNIT ut5 on (ts.SAMPLEVOL2UT = ut5.UNITCD)
									left join MUNIT ut6 on (ts.CONVCOEFFUT = ut6.UNITCD)
									left join MUNIT ut7 on (ts.WATERTEMPUT = ut7.UNITCD)
									left join MUNIT ut8 on (ts.CHLORINITYUT = ut8.UNITCD)
									left join MUNIT ut9 on (ts.SALINITYUT = ut9.UNITCD)
									left join MLABORATORY lb_a on (ta.ANALABCD = lb_a.LABCD)
									left join MPRETREATMENT prt on (ta.PRETREATCD = prt.PRETREATCD)
									left join MCHEMSEPAR che on (ta.CHEMSEPARCD = che.CHEMSEPARCD)
									left join MINSTRUMENT ins on (ta.INSTRUMENTCD = ins.INSTRUMENTCD)
									left join MELEMENT el on (ta.ELEMENTCD = el.ELEMENTCD)
									left join MUNIT ut11 on (ta.CALCIUMUT = ut11.UNITCD)
									left join MUNIT ut12 on (ta.POTTASSIUMUT = ut12.UNITCD)
									left join MUNIT ut13 on (ta.PRETREATVOLUT = ut13.UNITCD)
									left join MUNIT ut14 on (ta.MEASUREWEIGHTUT = ut14.UNITCD)
									left join MUNIT ut15 on (ta.UNTILMEASUREUT = ut15.UNITCD)
									left join MUNIT ut16 on (ta.MEASURETIMESUT = ut16.UNITCD)
									left join MUNIT ut17 on (ta.REPACTIVITYUT = ut17.UNITCD)
									where r.DELETEFLG = '0'

環境試料分析_NOMST

エンティティ名											
環境試料分析_NOMST											
テーブル名		スキーマ		表領域							
TS_TA_VIEW_NOMST		ERDBMS									
環境試料と分析の結合VIEWの検索用(マスタjoinを省く、検索項目のみ)。TS_TA_VIEWが大量行と大量joinで遅い対策で、まずこの軽量VIEWでページングしてからTS_TA_VIEWを抽出。											
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容		
1	分析番号	ANALYSISNO	NUMBER	9	0	Y			1		
2	試料番号	SAMPLENO	NUMBER	9	0	Y					
3	報告書番号	REPORTCD	VARCHAR2	6		Y					
4	調査コード	SURVEYCD	VARCHAR2	2		Y				r.SURVEYCD	
5	軍艦フラグ	WARSHIPFLG	VARCHAR2	1		Y	0'			sv.WARSHIPFLG	
6	発行機関コード	REPLABCD	VARCHAR2	4		Y				r.REPLABCD	
7	表データSEQ	SHEETSEQ	NUMBER	10	0	Y					
8	ページ番号	PAGENO	NUMBER	9	0	Y				sh.PAGENO	
9	表番号	SHEETNO	NUMBER	9	0	Y				sh.SHEETNO	
10	行番号	LINENO	NUMBER	8	0	Y					
11	標準化状態	STDN_STATUS	VARCHAR2	1		Y	0'				
12	基準日	BASEDATE	DATE								
13	採取機関コード	SAMPLABCD	VARCHAR2	4							
14	試料種別コード	SAMPLETYPECD	VARCHAR2	2							
15	記載試料名	LCSAMPLENAME	VARCHAR2	60							
16	試料コード	SAMPLECD	VARCHAR2	4							
17	生物コード	LIFECD	VARCHAR2	12							
18	食品コード	FOODCD	VARCHAR2	7							
19	部位コード	SECTIONCD	VARCHAR2	2							
20	採取都道府県コード	SAMPLEPREFCD	VARCHAR2	2							
21	記載採取地点名	LCSAMPLEPOINTNAME	VARCHAR2	100							
22	採取地点コード	SAMPLEPOINTCD	VARCHAR2	9							
23	軍艦地点コード	WSPPOINTCD	VARCHAR2	4							
24	採取法コード	SAMPLINGCD	VARCHAR2	3							
25	採取層1	SAMPLELAYER1	NUMBER								
26	採取層2	SAMPLELAYER2	NUMBER								
27	採取層単位	SAMPLELAYERUT	VARCHAR2	8							
28	採取層区分	SAMPLELAYERKBN	VARCHAR2	1							
29	分析明細番号	ANALYSISDTLNO	NUMBER	5	0	Y					
30	分析機関コード	ANALABCD	VARCHAR2	4							
31	前処理法コード	PRETREATCD	VARCHAR2	2							
32	化学分離法コード	CHEMSEPARCD	VARCHAR2	2							
33	計測器コード	INSTRUMENTCD	VARCHAR2	3							
34	核種コード	ELEMENTCD	VARCHAR2	3							
35	記載報告値	REPACTIVITYTEXT	VARCHAR2	30							
36	記載報告値単位	REPACTIVITYUTTEXT	VARCHAR2	16							

環境試料分析_NOMST

エンティティ名	環境試料分析_NOMST	
テーブル名	スキーマ	表領域
TS_TA_VIEW_NOMST	ERDBMS	

環境試料と分析の結合VIEWの検索用(マスタjoinを省く、検索項目のみ)。TS_TA_VIEWが大量行と大量joinで遅い対策で、まずこの軽量VIEWでページングしてからTS_TA_VIEWを抽出。

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
37	NDフラグ	NDFG	VARCHAR2	1		Y	0'		
38	非公開フラグ	PRIVATEFLG	VARCHAR2	1		Y	0'		
									from TSAMPLE ts
									join SHEET sh on (ts.SHEETSEQ = sh.SHEETSEQ)
									join REPORT r on (sh.REPORTCD = r.REPORTCD)
									join MSURVEY sv on (r.SURVEYCD = sv.SURVEYCD)
									join TANALYSIS ta on (ts.SAMPLENO = ta.SAMPLENO)
									where r.DELETEFLG = '0'

環境試料_VIEW

エンティティ名											
環境試料_VIEW											
テーブル名		スキーマ		表領域							
TS_VIEW		ERDBMS									
環境試料のVIEW											
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容		
1	試料番号	SAMPLENO	NUMBER	9	0	Y		1			
2	報告書番号	REPORTCD	VARCHAR2	6		Y					
3	調査コード	SURVEYCD	VARCHAR2	2		Y			r.SURVEYCD		
4	調査名	SURVEYNAME	VARCHAR2	40		Y			sv.SURVEYNAME		
5	軍艦フラグ	WARSHIPFLG	VARCHAR2	1		Y	0'		sv.WARSHIPFLG		
6	発行機関コード	REPLABCD	VARCHAR2	4		Y			r.REPLABCD		
7	発行機関名	REPLABNAME	VARCHAR2	60		Y			lb_r.LABNAME		
8	表データSEQ	SHEETSEQ	NUMBER	10	0	Y					
9	ページ番号	PAGENO	NUMBER	9	0	Y			sh.PAGENO		
10	表番号	SHEETNO	NUMBER	9	0	Y			sh.SHEETNO		
11	行番号	LINENO	NUMBER	8	0	Y					
12	標準化状態	STDN_STATUS	VARCHAR2	1		Y	0'				
13	標準化エラーJSON	STDN_ERROR_JSON	NCLOB								
14	基準日	BASEDATE	DATE								
15	県試料番号	LOCALSAMPLENO	VARCHAR2	20							
16	採取機関コード	SAMPLABCD	VARCHAR2	4							
17	採取機関名	SAMPLABNAME	VARCHAR2	60		Y			lb_s.LABNAME		
18	試料種別コード	SAMPLETYPECD	VARCHAR2	2							
19	試料種別名	SAMPLETYPENAME	VARCHAR2	26		Y			st.SAMPLETYPENAME		
20	記載試料名	LCSAMPLENAME	VARCHAR2	60							
21	試料コード	SAMPLECD	VARCHAR2	4							
22	試料名	SAMPLENAME	VARCHAR2	26		Y			sp.SAMPLENAME		
23	生物コード	LIFECD	VARCHAR2	12							
24	生物名	LIFENAME	VARCHAR2	50		Y			lf.LIFENAME		
25	食品コード	FOODCD	VARCHAR2	7							
26	食品名	FOODNAME	VARCHAR2	40		Y			fd.FOODNAME		
27	部位コード	SECTIONCD	VARCHAR2	2							
28	部位名	SECTIONNAME	VARCHAR2	20		Y			sc.SECTIONNAME		
29	採取開始日	SAMPLESDATE	VARCHAR2	10							
30	採取開始時刻	SAMPLESTIME	VARCHAR2	8							
31	採取終了日	SAMPLEEDATE	VARCHAR2	10							
32	採取終了時刻	SAMPLEETIME	VARCHAR2	8							
33	採取年度	SAMPLEYEAR	NUMBER	4	0						
34	採取四半期	SAMPLEQUARTER	NUMBER	1	0						
35	採取年	SAMPLEPYEAR	NUMBER	4	0						
36	採取月	SAMPLEMONTH	NUMBER	2	0						

環境試料_VIEW

エンティティ名									
環境試料_VIEW									
テーブル名		スキーマ		表領域					
TS_VIEW		ERDBMS							
環境試料のVIEW									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
37	採取日数	SAMPLEDAY	NUMBER	9	0				
38	降雨開始日	RAINSDATE	VARCHAR2	10					
39	降雨開始時刻	RAINSTIME	VARCHAR2	8					
40	降雨終了日	RAINEDATE	VARCHAR2	10					
41	降雨終了時刻	RAINETIME	VARCHAR2	8					
42	採取都道府県コード	SAMPLEPREFCD	VARCHAR2	2					
43	採取都道府県名	SAMPLEPREFNAME	VARCHAR2	8		Y			pr.PREFNAME
44	記載採取地点名	LCSAMPLEPOINTNAME	VARCHAR2	100					
45	採取地点コード	SAMPLEPOINTCD	VARCHAR2	9					
46	採取地点名	SAMPLEPOINTNAME	VARCHAR2	50		Y			pt.POINTNAME
47	地点振込年度	POINTSEYEAR	NUMBER	4	0				
48	緯度 (世界測地系)	SLATITUDE	NVARCHAR2	20					
49	経度 (世界測地系)	SLONGITUDE	NVARCHAR2	20					
50	緯度 (日本測地系)	LATITUDE	NVARCHAR2	20					
51	経度 (日本測地系)	LONGITUDE	NVARCHAR2	20					
52	軍艦地点コード	WSPPOINTCD	VARCHAR2	4					
53	軍艦地点名	WSPPOINTNAME	VARCHAR2	50		Y			wpt.WSPPOINTNAME
54	採取法コード	SAMPLINGCD	VARCHAR2	3					
55	採取法名	SAMPLINGNAME	VARCHAR2	40		Y			sl.SAMPLINGNAME
56	採取面積	SAMPLEAREA	NUMBER						
57	採取面積単位	SAMPLEAREAUT	VARCHAR2	8					
58	採取面積単位名	SAMPLEAREAUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut1.UNITNAME
59	水深	DEPTHWATER	NUMBER						
60	水深単位	DEPTHWATERUT	VARCHAR2	8					
61	水深単位名	DEPTHWATERUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut2.UNITNAME
62	採取層1	SAMPLELAYER1	NUMBER						
63	採取層2	SAMPLELAYER2	NUMBER						
64	採取層単位	SAMPLELAYERUT	VARCHAR2	8					
65	採取層単位名	SAMPLELAYERUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut3.UNITNAME
66	採取層区分	SAMPLELAYERKBN	VARCHAR2	1					
67	採取量1	SAMPLEVOL1	NUMBER						
68	採取量1単位	SAMPLEVOL1UT	VARCHAR2	8					
69	採取量1単位名	SAMPLEVOL1UTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut4.UNITNAME
70	採取量2	SAMPLEVOL2	NUMBER						
71	採取量2単位	SAMPLEVOL2UT	VARCHAR2	8					
72	採取量2単位名	SAMPLEVOL2UTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut5.UNITNAME

環境試料_VIEW

エンティティ名											
環境試料_VIEW											
テーブル名		スキーマ		表領域							
TS_VIEW		ERDBMS									
環境試料のVIEW											
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容		
73	換算係数	CONVCOEFF	NUMBER								
74	換算係数単位	CONVCOEFFUT	VARCHAR2	8							
75	換算係数単位名	CONVCOEFFUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut6.UNITNAME		
76	外観	APEARANCE	VARCHAR2	20							
77	水温	WATERTEMP	NUMBER								
78	水温単位	WATERTEMPUT	VARCHAR2	8							
79	水温単位名	WATERTEMPUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut7.UNITNAME		
80	塩素	CHLORINITY	NUMBER								
81	塩素単位	CHLORINITYUT	VARCHAR2	8							
82	塩素単位名	CHLORINITYUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut8.UNITNAME		
83	塩分	SALINITY	NUMBER								
84	塩分単位	SALINITYUT	VARCHAR2	8							
85	塩分単位名	SALINITYUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut9.UNITNAME		
86	PH	PH	NUMBER								
87	生産製造地	PRODUCT	VARCHAR2	50							
88	試料備考	SAMREMARK	VARCHAR2	255							
89	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)								
90	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)								
91	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50							
92	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0				
									from TSAMPLE ts		
									join SHEET sh on (ts.SHEETSEQ = sh.SHEETSEQ)		
									join REPORT r on (sh.REPORTCD = r.REPORTCD)		
									join MSURVEY sv on (r.SURVEYCD = sv.SURVEYCD)		
									left join MLABORATORY lb_r on (r.REPLABCD = lb_r.LABCD)		
									left join MLABORATORY lb_s on (ts.SAMPLABCD = lb_s.LABCD)		
									left join MSAMPLETYPE st on (ts.SAMPLETYPECD = st.SAMPLETYPECD)		
									left join MSAMPLE sp on (ts.SAMPLECD = sp.SAMPLECD)		
									left join MLIFE lf on (ts.LIFECD = lf.LIFECD)		
									left join MFOOD fd on (ts.FOODCD = fd.FOODCD)		
									left join MSECTION sc on (ts.SECTIONCD = sc.SECTIONCD)		
									left join MSAMPLING sl on (ts.SAMPLINGCD = sl.SAMPLINGCD)		
									left join MPREFECTURE pr on (ts.SAMPLEPREFCD = pr.PREFCD)		
									left join MPOINT pt on (ts.SAMPLEPOINTCD = pt.POINTCD)		

環境試料_VIEW

エンティティ名		
環境試料_VIEW		
テーブル名	スキーマ	表領域
TS_VIEW	ERDBMS	

環境試料のVIEW

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
									left join MWSPPOINT wpt on (ts.WSPPOINTCD = wpt.WSPPOINTCD)
									left join MUNIT ut1 on (ts.SAMPLEAREAUT = ut1.UNITCD)
									left join MUNIT ut2 on (ts.DEPTHWATERUT = ut2.UNITCD)
									left join MUNIT ut3 on (ts.SAMPLELAYERUT = ut3.UNITCD)
									left join MUNIT ut4 on (ts.SAMPLEVOL1UT = ut4.UNITCD)
									left join MUNIT ut5 on (ts.SAMPLEVOL2UT = ut5.UNITCD)
									left join MUNIT ut6 on (ts.CONVCOEFFUT = ut6.UNITCD)
									left join MUNIT ut7 on (ts.WATERTEMPUT = ut7.UNITCD)
									left join MUNIT ut8 on (ts.CHLORINITYUT = ut8.UNITCD)
									left join MUNIT ut9 on (ts.SALINITYUT = ut9.UNITCD)
									where r.DELETEFLG = '0'

環境試料_共通入力_VIEW

エンティティ名									
環境試料_共通入力_VIEW									
テーブル名		スキーマ		表領域					
TS_COM_INP_VIEW		ERDBMS							
環境試料の共通入力用のVIEW									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
1	表データSEQ	SHEETSEQ	NUMBER	10	0	Y		1	
2	調査コード	SURVEYCD	VARCHAR2	2		Y			r.SURVEYCD
3	調査名	SURVEYNAME	VARCHAR2	40		Y			sv.SURVEYNAME
4	軍艦フラグ	WARSHIPFLG	VARCHAR2	1		Y	0'		sv.WARSHIPFLG
5	発行機関コード	REPLABCD	VARCHAR2	4		Y			r.REPLABCD
6	発行機関名	REPLABNAME	VARCHAR2	60		Y			lb_r.LABNAME
7	県試料番号	LOCALSAMPLENO	VARCHAR2	20					
8	採取機関コード	SAMPLABCD	VARCHAR2	4					
9	採取機関名	SAMPLABNAME	VARCHAR2	60		Y			lb_s.LABNAME
10	試料種別コード	SAMPLETYPECD	VARCHAR2	2					
11	試料種別名	SAMPLETYPENAME	VARCHAR2	26		Y			st.SAMPLETYPENAME
12	記載試料名	LCSAMPLENAME	VARCHAR2	60					
13	試料コード	SAMPLECD	VARCHAR2	4					
14	試料名	SAMPLENAME	VARCHAR2	26		Y			sp.SAMPLENAME
15	生物コード	LIFECD	VARCHAR2	12					
16	生物名	LIFENAME	VARCHAR2	50		Y			lf.LIFENAME
17	食品コード	FOODCD	VARCHAR2	7					
18	食品名	FOODNAME	VARCHAR2	40		Y			fd.FOODNAME
19	部位コード	SECTIONCD	VARCHAR2	2					
20	部位名	SECTIONNAME	VARCHAR2	20		Y			sc.SECTIONNAME
21	採取開始日	SAMPLESDATE	VARCHAR2	10					
22	採取開始時刻	SAMPLESTIME	VARCHAR2	8					
23	採取終了日	SAMPLEEDATE	VARCHAR2	10					
24	採取終了時刻	SAMPLEETIME	VARCHAR2	8					
25	採取年度	SAMPLEYEAR	NUMBER	4	0				
26	採取四半期	SAMPLEQUARTER	NUMBER	1	0				
27	採取年	SAMPLEPYEAR	NUMBER	4	0				
28	採取月	SAMPLEMONTH	NUMBER	2	0				
29	採取日数	SAMPLEDAY	NUMBER	9	0				
30	降雨開始日	RAINSDATE	VARCHAR2	10					
31	降雨開始時刻	RAINSTIME	VARCHAR2	8					
32	降雨終了日	RAINEDATE	VARCHAR2	10					
33	降雨終了時刻	RAINETIME	VARCHAR2	8					
34	採取都道府県コード	SAMPLEPREFCD	VARCHAR2	2					
35	採取都道府県名	SAMPLEPREFNAME	VARCHAR2	8		Y			pr.PREFNAME
36	記載採取地点名	LCSAMPLEPOINTNAME	VARCHAR2	100					

環境試料_共通入力_VIEW

エンティティ名									
環境試料_共通入力_VIEW									
テーブル名		スキーマ		表領域					
TS_COM_INP_VIEW		ERDBMS							
環境試料の共通入力用のVIEW									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
37	採取地点コード	SAMPLEPOINTCD	VARCHAR2	9					
38	採取地点名	SAMPLEPOINTNAME	VARCHAR2	50		Y			pt.POINTNAME
39	地点振込年度	POINTSETYEAR	NUMBER	4	0				
40	緯度 (世界測地系)	SLATITUDE	NVARCHAR2	20					
41	経度 (世界測地系)	SLONGITUDE	NVARCHAR2	20					
42	緯度 (日本測地系)	LATITUDE	NVARCHAR2	20					
43	経度 (日本測地系)	LONGITUDE	NVARCHAR2	20					
44	軍艦地点コード	WSPPOINTCD	VARCHAR2	4					
45	軍艦地点名	WSPPOINTNAME	VARCHAR2	50		Y			wpt.WSPPOINTNAME
46	採取法コード	SAMPLINGCD	VARCHAR2	3					
47	採取法名	SAMPLINGNAME	VARCHAR2	40		Y			sl.SAMPLINGNAME
48	採取面積	SAMPLEAREA	NUMBER						
49	採取面積単位	SAMPLEAREAUT	VARCHAR2	8					
50	採取面積単位名	SAMPLEAREAUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut1.UNITNAME
51	水深	DEPTHWATER	NUMBER						
52	水深単位	DEPTHWATERUT	VARCHAR2	8					
53	水深単位名	DEPTHWATERUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut2.UNITNAME
54	採取層1	SAMPLELAYER1	NUMBER						
55	採取層2	SAMPLELAYER2	NUMBER						
56	採取層単位	SAMPLELAYERUT	VARCHAR2	8					
57	採取層単位名	SAMPLELAYERUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut3.UNITNAME
58	採取層区分	SAMPLELAYERKBN	VARCHAR2	1					
59	採取量1	SAMPLEVOL1	NUMBER						
60	採取量1単位	SAMPLEVOL1UT	VARCHAR2	8					
61	採取量1単位名	SAMPLEVOL1UTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut4.UNITNAME
62	採取量2	SAMPLEVOL2	NUMBER						
63	採取量2単位	SAMPLEVOL2UT	VARCHAR2	8					
64	採取量2単位名	SAMPLEVOL2UTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut5.UNITNAME
65	換算係数	CONVCOEFF	NUMBER						
66	換算係数単位	CONVCOEFFUT	VARCHAR2	8					
67	換算係数単位名	CONVCOEFFUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut6.UNITNAME
68	外観	APEARANCE	VARCHAR2	20					
69	水温	WATERTEMP	NUMBER						
70	水温単位	WATERTEMPUT	VARCHAR2	8					
71	水温単位名	WATERTEMPUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut7.UNITNAME
72	塩素	CHLORINITY	NUMBER						

環境試料_共通入力_VIEW

エンティティ名									
環境試料_共通入力_VIEW									
テーブル名		スキーマ	表領域						
TS_COM_INP_VIEW		ERDBMS							
環境試料の共通入力用のVIEW									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
73	塩素単位	CHLORINITYUT	VARCHAR2	8					
74	塩素単位名	CHLORINITYUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut8.UNITNAME
75	塩分	SALINITY	NUMBER						
76	塩分単位	SALINITYUT	VARCHAR2	8					
77	塩分単位名	SALINITYUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut9.UNITNAME
78	PH	PH	NUMBER						
79	生産製造地	PRODUCT	VARCHAR2	50					
80	試料備考	SAMREMARK	VARCHAR2	255					
81	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
82	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
83	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
84	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		
									from TS_COM_INP ts
									join SHEET sh on (ts.SHEETSEQ = sh.SHEETSEQ)
									join REPORT r on (sh.REPORTCD = r.REPORTCD)
									join MSURVEY sv on (r.SURVEYCD = sv.SURVEYCD)
									left join MLABORATORY lb_r on (r.REPLABCD = lb_r.LABCD)
									left join MLABORATORY lb_s on (ts.SAMPLABCD = lb_s.LABCD)
									left join MSAMPLETYPE st on (ts.SAMPLETYPECD = st.SAMPLETYPECD)
									left join MSAMPLE sp on (ts.SAMPLECD = sp.SAMPLECD)
									left join MLIFE lf on (ts.LIFECD = lf.LIFECD)
									left join MFOOD fd on (ts.FOODCD = fd.FOODCD)
									left join MSECTION sc on (ts.SECTIONCD = sc.SECTIONCD)
									left join MSAMPLING sl on (ts.SAMPLINGCD = sl.SAMPLINGCD)
									left join MPREFECTURE pr on (ts.SAMPLEPREFCD = pr.PREFCD)
									left join MPOINT pt on (ts.SAMPLEPOINTCD = pt.POINTCD)
									left join MWSPPOINT wpt on (ts.WSPPOINTCD = wpt.WSPPOINTCD)
									left join MUNIT ut1 on (ts.SAMPLEAREAUT = ut1.UNITCD)
									left join MUNIT ut2 on (ts.DEPTHWATERUT = ut2.UNITCD)
									left join MUNIT ut3 on (ts.SAMPLELAYERUT = ut3.UNITCD)
									left join MUNIT ut4 on (ts.SAMPLEVOL1UT = ut4.UNITCD)
									left join MUNIT ut5 on (ts.SAMPLEVOL2UT = ut5.UNITCD)
									left join MUNIT ut6 on (ts.CONVCOEFFUT = ut6.UNITCD)
									left join MUNIT ut7 on (ts.WATERTEMPUT = ut7.UNITCD)

環境試料_共通入力_VIEW

エンティティ名									
環境試料_共通入力_VIEW									
テーブル名		スキーマ		表領域					
TS_COM_INP_VIEW		ERDBMS							
環境試料の共通入力用のVIEW									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
									left join MUNIT ut8 on (ts.CHLORINITYUT = ut8.UNITCD)
									left join MUNIT ut9 on (ts.SALINITYUT = ut9.UNITCD)
									where r.DELETEFLG = '0'

環境試料_カテゴリ_VIEW

エンティティ名									
環境試料_カテゴリ_VIEW									
テーブル名		スキーマ	表領域						
TS_CTG_VIEW		ERDBMS							
環境試料のカテゴリ。変動幅確認や誤入力チェックで使用。									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
1	報告書番号	REPORTCD	VARCHAR2	6		Y			ts.REPORTCD
2	調査コード	SURVEYCD	VARCHAR2	2		Y			r.SURVEYCD
3	調査名	SURVEYNAME	VARCHAR2	40		Y			sv.SURVEYNAME
4	試料種別コード	SAMPLETYPECD	VARCHAR2	2					
5	試料種別名	SAMPLETYPENAME	VARCHAR2	26		Y			st.SAMPLETYPENAME
6	試料コード	SAMPLECD	VARCHAR2	4				1	
7	試料名	SAMPLENAME	VARCHAR2	26		Y			sp.SAMPLENAME
8	採取都道府県コード	SAMPLEPREFCD	VARCHAR2	2				1	
9	採取都道府県名	SAMPLEPREFNAME	VARCHAR2	8		Y			pf.PREFNAME
10	採取地点コード	SAMPLEPOINTCD	VARCHAR2	9				1	
11	採取地点名	SAMPLEPOINTNAME	VARCHAR2	50		Y			pt.POINTNAME
12	採取層1	SAMPLELAYER1	NUMBER						
13	採取層2	SAMPLELAYER2	NUMBER						
14	採取層単位	SAMPLELAYERUT	VARCHAR2	8					
15	採取層単位名	SAMPLELAYERUTNAME	VARCHAR2	15					ut_sl.UNITNAME
16	核種コード	ELEMENTCD	VARCHAR2	3				1	
17	核種名	ELEMENTNAME	VARCHAR2	16		Y			el.ELEMENTNAME
18	公開報告値単位	REACTIVITYUT	VARCHAR2	8				1	
19	公開報告値単位名	REACTIVITYUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut.UNITNAME
									from (
									select
									ts.REPORTCD,
									r.SURVEYCD,
									ts.SAMPLETYPECD,
									ts.SAMPLECD,
									ts.SAMPLEPREFCD,
									ts.SAMPLEPOINTCD,
									ts.SAMPLELAYER1,
									ts.SAMPLELAYER2,
									ts.SAMPLELAYERUT,
									ta.ELEMENTCD,
									ta.REACTIVITYUT
									from TANALYSIS ta
									join TSAMPLE ts on (ta.SAMPLENO = ts.SAMPLENO)

環境試料_カテゴリ_VIEW

エンティティ名		
環境試料_カテゴリ_VIEW		
テーブル名	スキーマ	表領域
TS_CTG_VIEW	ERDBMS	

環境試料のカテゴリ。変動幅確認や誤入力チェックで使用。

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
									join REPORT r on (ts.REPORTCD = r.REPORTCD)
									where r.DELETEFLG = '0'
									and ts.STDN_STATUS = '1'
									group by
									ts.REPORTCD,
									r.SURVEYCD,
									ts.SAMPLETYPECD,
									ts.SAMPLECD,
									ts.SAMPLEPREFCD,
									ts.SAMPLEPOINTCD,
									ts.SAMPLELAYER1,
									ts.SAMPLELAYER2,
									ts.SAMPLELAYERUT,
									ta.ELEMENTCD,
									ta.REPACTIVITYUT
) ctg
									join MSURVEY sv on (ctg.SURVEYCD = sv.SURVEYCD)
									left join MSAMPLETYPE st on (ctg.SAMPLETYPECD = st.SAMPLETYPECD)
									left join MSAMPLE sp on (ctg.SAMPLECD = sp.SAMPLECD)
									left join MPREFECTURE pf on (ctg.SAMPLEPREFCD = pf.PREFCD)
									left join MPOINT pt on (ctg.SAMPLEPOINTCD = pt.POINTCD)
									left join MELEMENT el on (ctg.ELEMENTCD = el.ELEMENTCD)
									left join MUNIT ut on (ctg.REPACTIVITYUT = ut.UNITCD)
									left join MUNIT ut_sl on (ctg.SAMPLELAYERUT = ut_sl.UNITCD)

環境試料_変動_VIEW

エンティティ名									
環境試料_変動_VIEW									
テーブル名		スキーマ		表領域					
TS_FLUC_VIEW		ERDBMS							
環境試料の変動データ用のVIEW。過去データ抽出に使用。									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
1	分析番号	ANALYSISNO	NUMBER	9	0	Y		1	
2	報告書番号	REPORTCD	VARCHAR2	6		Y			ts.REPORTCD
3	表データSEQ	SHEETSEQ	NUMBER	10	0	Y			
4	ページ番号	PAGENO	NUMBER	9	0	Y			sh.PAGENO
5	表番号	SHEETNO	NUMBER	9	0	Y			sh.SHEETNO
6	行番号	LINENO	NUMBER	8	0	Y			
7	試料番号	SAMPLENO	NUMBER	9	0	Y			
8	分析明細番号	ANALYSISDTLNO	NUMBER	5	0	Y			
9	調査コード	SURVEYCD	VARCHAR2	2		Y			r.SURVEYCD
10	調査名	SURVEYNAME	VARCHAR2	40		Y			sv.SURVEYNAME
11	試料種別コード	SAMPLETYPECD	VARCHAR2	2					
12	試料種別名	SAMPLETYPENAME	VARCHAR2	26		Y			st.SAMPLETYPENAME
13	試料コード	SAMPLECD	VARCHAR2	4					
14	試料名	SAMPLENAME	VARCHAR2	26		Y			sp.SAMPLENAME
15	採取都道府県コード	SAMPLEPREFCD	VARCHAR2	2					
16	採取都道府県名	SAMPLEPREFNAME	VARCHAR2	8		Y			pf.PREFNAME
17	採取地点コード	SAMPLEPOINTCD	VARCHAR2	9					
18	採取地点名	SAMPLEPOINTNAME	VARCHAR2	50		Y			pt.POINTNAME
19	採取層1	SAMPLELAYER1	NUMBER						
20	採取層2	SAMPLELAYER2	NUMBER						
21	採取層単位	SAMPLELAYERUT	VARCHAR2	8					
22	採取層単位名	SAMPLELAYERUTNAME	VARCHAR2	15					ut_sl.UNITNAME
23	核種コード	ELEMENTCD	VARCHAR2	3					
24	核種名	ELEMENTNAME	VARCHAR2	16		Y			el.ELEMENTNAME
25	公開報告値単位	REACTIVITYUT	VARCHAR2	8					
26	公開報告値単位名	REACTIVITYUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut.UNITNAME
27	採取年度	SAMPLEYEAR	NUMBER	4	0				
28	基準日	BASEDATE	DATE			Y			
29	公開報告値	REACTIVITY	NUMBER						
									from TANALYSIS ta
									join TSAMPLE ts on (ta.SAMPLENO = ts.SAMPLENO)
									join SHEET sh on (ts.SHEETSEQ = sh.SHEETSEQ)
									join REPORT r on (sh.REPORTCD = r.REPORTCD)
									join MSURVEY sv on (r.SURVEYCD = sv.SURVEYCD)

環境試料_変動_VIEW

エンティティ名		
環境試料_変動_VIEW		
テーブル名	スキーマ	表領域
TS_FLUC_VIEW	ERDBMS	

環境試料の変動データ用のVIEW。過去データ抽出に使用。

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
									left join MSAMPLETYPE st on (ts.SAMPLETYPECD = st.SAMPLETYPECD)
									left join MSAMPLE sp on (ts.SAMPLECD = sp.SAMPLECD)
									left join MPREFECTURE pf on (ts.SAMPLEPREFCD = pf.PREFCD)
									left join MPOINT pt on (ts.SAMPLEPOINTCD = pt.POINTCD)
									left join MELEMENT el on (ta.ELEMENTCD = el.ELEMENTCD)
									left join MUNIT ut on (ta.REPACTIVITYUT = ut.UNITCD)
									left join MUNIT ut_sl on (ts.SAMPLELAYERUT = ut_sl.UNITCD)
									where r.DELETEFLG = '0'
									and ts.STDN_STATUS = '1'

環境試料_カテゴリA_VIEW

エンティティ名									
環境試料_カテゴリA_VIEW									
テーブル名		スキーマ	表領域						
TS_CTGA_VIEW		ERDBMS							
環境試料の推移カテゴリA									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
1	報告書番号	REPORTCD	VARCHAR2	6		Y			ts.REPORTCD
2	調査コード	SURVEYCD	VARCHAR2	2		Y			r.SURVEYCD
3	調査名	SURVEYNAME	VARCHAR2	40		Y			sv.SURVEYNAME
4	試料コード	SAMPLECD	VARCHAR2	4				1	
5	試料名	SAMPLENAME	VARCHAR2	26		Y			sp.SAMPLENAME
6	採取都道府県コード	SAMPLEPREFCD	VARCHAR2	2				1	
7	採取都道府県名	SAMPLEPREFNAME	VARCHAR2	8		Y			pf.PREFNAME
8	分析機関コード	ANALABCD	VARCHAR2	4				1	
9	分析機関名	ANALABNAME	VARCHAR2	60		Y			lb.LABNAME
10	核種コード	ELEMENTCD	VARCHAR2	3				1	
11	核種名	ELEMENTNAME	VARCHAR2	16		Y			el.ELEMENTNAME
12	公開報告値単位	REACTIVITYUT	VARCHAR2	8				1	
13	公開報告値単位名	REACTIVITYUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut.UNITNAME
14	採取層区分	SAMPLELAYERKBN	VARCHAR2	1				1	
									from (
									select
									ts.REPORTCD,
									r.SURVEYCD,
									ts.SAMPLECD,
									ts.SAMPLEPREFCD,
									ta.ANALABCD,
									ta.ELEMENTCD,
									ta.REACTIVITYUT,
									ts.SAMPLELAYERKBN
									from TANALYSIS ta
									join TSAMPLE ts on (ta.SAMPLENO =
									ts.SAMPLENO)
									join REPORT r on (ts.REPORTCD = r.REPORTCD)
									where r.DELETEFLG = '0'
									and ts.STDN_STATUS = '1'
									group by
									ts.REPORTCD,
									r.SURVEYCD,
									ts.SAMPLECD,
									ts.SAMPLEPREFCD,

環境試料_カテゴリA_VIEW

エンティティ名	環境試料_カテゴリA_VIEW	
テーブル名	スキーマ	表領域
TS_CTGA_VIEW	ERDBMS	
環境試料の推移カテゴリA		

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
									ta.ANALABCD,
									ta.ELEMENTCD,
									ta.REPACTIVITYUT,
									ts.SAMPLELAYERKBN
) ctg
									join MSURVEY sv on (ctg.SURVEYCD = sv.SURVEYCD)
									left join MSAMPLE sp on (ctg.SAMPLECD = sp.SAMPLECD)
									left join MPREFECTURE pf on (ctg.SAMPLEPREFCD = pf.PREFCD)
									left join MLABORATORY lb on (ctg.ANALABCD = lb.LABCD)
									left join MELEMENT el on (ctg.ELEMENTCD = el.ELEMENTCD)
									left join MUNIT ut on (ctg.REPACTIVITYUT = ut.UNITCD)

環境試料_推移_VIEW

エンティティ名									
環境試料_推移_VIEW									
テーブル名		スキーマ		表領域					
TS_TRANS_VIEW		ERDBMS							
環境試料の推移データ用のVIEW									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
1	分析番号	ANALYSISNO	NUMBER	9	0	Y		1	
2	報告書番号	REPORTCD	VARCHAR2	6		Y			ts.REPORTCD
3	表データSEQ	SHEETSEQ	NUMBER	10	0	Y			
4	ページ番号	PAGENO	NUMBER	9	0	Y			sh.PAGENO
5	表番号	SHEETNO	NUMBER	9	0	Y			sh.SHEETNO
6	行番号	LINENO	NUMBER	8	0	Y			
7	試料番号	SAMPLENO	NUMBER	9	0	Y			
8	調査コード	SURVEYCD	VARCHAR2	2		Y			r.SURVEYCD
9	調査名	SURVEYNAME	VARCHAR2	40		Y			sv.SURVEYNAME
10	試料コード	SAMPLECD	VARCHAR2	4					
11	試料名	SAMPLENAME	VARCHAR2	26		Y			sp.SAMPLENAME
12	採取都道府県コード	SAMPLEPREFCD	VARCHAR2	2					
13	採取都道府県名	SAMPLEPREFNAME	VARCHAR2	8		Y			pf.PREFNAME
14	採取地点コード	SAMPLEPOINTCD	VARCHAR2	9					
15	採取地点名	SAMPLEPOINTNAME	VARCHAR2	50		Y			pt.POINTNAME
16	分析機関コード	ANALABCD	VARCHAR2	4					
17	分析機関名	ANALABNAME	VARCHAR2	60		Y			lb.LABNAME
18	核種コード	ELEMENTCD	VARCHAR2	3					
19	核種名	ELEMENTNAME	VARCHAR2	16		Y			el.ELEMENTNAME
20	公開報告値単位	REACTIVITYUT	VARCHAR2	8					
21	公開報告値単位名	REACTIVITYUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut.UNITNAME
22	採取層区分	SAMPLELAYERKBN	VARCHAR2	1					
23	基準日	BASEDATE	DATE			Y			
24	公開報告値	REACTIVITY	NUMBER						
25	公開報告値誤差	REACTIVITYERR	NUMBER						
26	公開報告値誤差最大	REACTIVITYERRMAX	NUMBER						ta.REACTIVITY + ta.REACTIVITYERR
27	公開報告値誤差最小	REACTIVITYERRMIN	NUMBER						ta.REACTIVITY - ta.REACTIVITYERR
									from T ANALYSIS ta
									join TSAMPLE ts on (ta.SAMPLENO = ts.SAMPLENO)
									join SHEET sh on (ts.SHEETSEQ = sh.SHEETSEQ)
									join REPORT r on (sh.REPORTCD = r.REPORTCD)
									join MSURVEY sv on (r.SURVEYCD = sv.SURVEYCD)
									left join MSAMPLE sp on (ts.SAMPLECD = sp.SAMPLECD)
									left join MPREFECTURE pf on (ts.SAMPLEPREFCD = pf.PREFCD)

環境試料_推移_VIEW

エンティティ名									
環境試料_推移_VIEW									
テーブル名		スキーマ		表領域					
TS_TRANS_VIEW		ERDBMS							
環境試料の推移データ用のVIEW									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
									left join MPOINT pt on (ts.SAMPLEPOINTCD = pt.POINTCD)
									left join MLABORATORY lb on (ta.ANALABCD = lb.LABCD)
									left join MELEMENT el on (ta.ELEMENTCD = el.ELEMENTCD)
									left join MUNIT ut on (ta.REPACTIVITYUT = ut.UNITCD)
									where r.DELETEFLG = '0'
									and ts.STDN_STATUS = '1'

環境試料_CL採取法確認表

エンティティ名									
環境試料_CL採取法確認表									
テーブル名		スキーマ		表領域					
TS_CL_SAMPLING_VIEW		ERDBMS							
環境試料のチェックリストの採取法確認表のVIEW									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
1	行番号	LINENO	NUMBER	8	0	Y		2	ROW_NUMBER()
2	採取年度	SAMPLEYEAR	NUMBER	4	0				
3	採取都道府県コード	SAMPLEPREFCD	VARCHAR2	2					
4	採取都道府県名	SAMPLEPREFNAME	VARCHAR2	8					pr.PREFNAME
5	報告書番号	REPORTCD	VARCHAR2	6		Y		1	
6	採取機関コード	SAMPLABCD	VARCHAR2	4					
7	採取機関名	SAMPLABNAME	VARCHAR2	60					lb_s.LABNAME
8	試料コード	SAMPLECD	VARCHAR2	4					
9	試料名	SAMPLENAME	VARCHAR2	26					sp.SAMPLENAME
10	記載試料名	LCSAMPLENAME	VARCHAR2	60					
11	生物コード	LIFECD	VARCHAR2	12					
12	生物名	LIFENAME	VARCHAR2	50					lf.LIFENAME
13	食品コード	FOODCD	VARCHAR2	7					
14	食品名	FOODNAME	VARCHAR2	40					fd.FOODNAME
15	採取法コード	SAMPLINGCD	VARCHAR2	3					
16	採取法名	SAMPLINGNAME	VARCHAR2	40					sl.SAMPLINGNAME
17	明細数	DTL_COUNT	NUMBER						count(*)
									from (
									select
									SAMPLEYEAR,
									SAMPLEPREFCD,
									REPORTCD,
									SAMPLABCD,
									SAMPLECD,
									LCSAMPLENAME,
									LIFECD,
									FOODCD,
									SAMPLINGCD,
									count(*) as DTL_COUNT
									from TSAMPLE
									group by
									SAMPLEYEAR,
									SAMPLEPREFCD,
									REPORTCD,

環境試料_CL採取法確認表

エンティティ名									
環境試料_CL採取法確認表									
テーブル名		スキーマ	表領域						
TS_CL_SAMPLING_VIEW		ERDBMS							
環境試料のチェックリストの採取法確認表のVIEW									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
									SAMPLABCD,
									SAMPLECD,
									LCSAMPLENAME,
									LIFECD,
									FOODCD,
									SAMPLINGCD
) x
									left join MLABORATORY lb_s on (x.SAMPLABCD = lb_s.LABCD)
									left join MSAMPLE sp on (x.SAMPLECD = sp.SAMPLECD)
									left join MLIFE lf on (x.LIFECD = lf.LIFECD)
									left join MFOOD fd on (x.FOODCD = fd.FOODCD)
									left join MSAMPLING sl on (x.SAMPLINGCD = sl.SAMPLINGCD)
									left join MPREFECTURE pr on (x.SAMPLEPREFCD = pr.PREFCD)

環境試料_CL分析法確認表

エンティティ名									
環境試料_CL分析法確認表									
テーブル名		スキーマ		表領域					
TS_CL_ELEMENT_VIEW		ERDBMS							
環境試料のチェックリストの分析法確認表のVIEW									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
1	行番号	LINENO	NUMBER	8	0	Y		2	ROW_NUMBER()
2	採取年度	SAMPLEYEAR	NUMBER	4	0				
3	採取都道府県コード	SAMPLEPREFCD	VARCHAR2	2					
4	採取都道府県名	SAMPLEPREFNAME	VARCHAR2	8					pr.PREFNAME
5	報告書番号	REPORTCD	VARCHAR2	6		Y		1	
6	採取機関コード	SAMPLABCD	VARCHAR2	4					
7	採取機関名	SAMPLABNAME	VARCHAR2	60					lb_s.LABNAME
8	試料コード	SAMPLECD	VARCHAR2	4					
9	試料名	SAMPLENAME	VARCHAR2	26					sp.SAMPLENAME
10	記載試料名	LCSAMPLENAME	VARCHAR2	60					
11	前処理法コード	PRETREATCD	VARCHAR2	2					
12	前処理法名	PRETREATNAME	VARCHAR2	20					pri.PRETREATNAME
13	化学分離法コード	CHEMSEPARCD	VARCHAR2	2					
14	化学分離法名	CHEMSEPARNAME	VARCHAR2	40					che.CHEMSEPARNAME
15	計測器コード	INSTRUMENTCD	VARCHAR2	3					
16	計測器名	INSTRUMENTNAME	VARCHAR2	50					ins.INSTRUMENTNAME
17	核種コード	ELEMENTCD	VARCHAR2	3					
18	核種名	ELEMENTNAME	VARCHAR2	16					el.ELEMENTNAME
19	明細数	DTL_COUNT	NUMBER						count(*)
									from (
									select
									ts.SAMPLEYEAR,
									ts.SAMPLEPREFCD,
									ts.REPORTCD,
									ta.ANALABCD,
									ts.SAMPLECD,
									ts.LCSAMPLENAME,
									ta.PRETREATCD,
									ta.CHEMSEPARCD,
									ta.INSTRUMENTCD,
									ta.ELEMENTCD,
									count(*) as TA_DTL_COUNT
									from TSAMPLE ts
									join TANALYSIS ta on (ts.SAMPLENO =
									ta.SAMPLENO)
									group by

環境試料_CL分析法確認表

エンティティ名									
環境試料_CL分析法確認表									
テーブル名		スキーマ	表領域						
TS_CL_ELEMENT_VIEW		ERDBMS							
環境試料のチェックリストの分析法確認表のVIEW									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
									ts.SAMPLEYEAR,
									ts.SAMPLEPREFCD,
									ts.REPORTCD,
									ta.ANALABCD,
									ts.SAMPLECD,
									ts.LCSAMPLENAME,
									ta.PRETREATCD,
									ta.CHEMSEPARCD,
									ta.INSTRUMENTCD,
									ta.ELEMENTCD
) x
									left join MLABORATORY lb_a on (x.ANALABCD = lb_a.LABCD)
									left join MSAMPLE sp on (x.SAMPLECD = sp.SAMPLECD)
									left join MPREFECTURE pr on (x.SAMPLEPREFCD = pr.PREFCD)
									left join MPRETREATMENT prt on (x.PRETREATCD = prt.PRETREATCD)
									left join MCHEMSEPAR che on (x.CHEMSEPARCD = che.CHEMSEPARCD)
									left join MINSTRUMENT ins on (x.INSTRUMENTCD = ins.INSTRUMENTCD)
									left join MELEMENT el on (x.ELEMENTCD = el.ELEMENTCD)

環境試料_CL地点確認表

エンティティ名									
環境試料_CL地点確認表									
テーブル名		スキーマ	表領域						
TS_CL_POINT_VIEW		ERDBMS							
環境試料のチェックリストの地点確認表のVIEW									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
1	行番号	LINENO	NUMBER	8	0	Y		2	ROW_NUMBER()
2	採取年度	SAMPLEYEAR	NUMBER	4	0				
3	採取都道府県コード	SAMPLEPREFCD	VARCHAR2	2					
4	採取都道府県名	SAMPLEPREFNAME	VARCHAR2	8					pr.PREFNAME
5	報告書番号	REPORTCD	VARCHAR2	6		Y		1	
6	採取機関コード	SAMPLABCD	VARCHAR2	4					
7	採取機関名	SAMPLABNAME	VARCHAR2	60					lb_s.LABNAME
8	試料コード	SAMPLECD	VARCHAR2	4					
9	試料名	SAMPLENAME	VARCHAR2	26					sp.SAMPLENAME
10	記載試料名	LCSAMPLENAME	VARCHAR2	60					
11	記載採取地点名	LCSAMPLEPOINTNAME	VARCHAR2	100					
12	採取地点コード	SAMPLEPOINTCD	VARCHAR2	9					
13	採取地点名	SAMPLEPOINTNAME	VARCHAR2	50					pt.POINTNAME
14	緯度 (世界測地系)	SLATITUDE	NVARCHAR2	20					
15	経度 (世界測地系)	SLONGITUDE	NVARCHAR2	20					
16	緯度 (日本測地系)	LATITUDE	NVARCHAR2	20					
17	経度 (日本測地系)	LONGITUDE	NVARCHAR2	20					
18	地点振込年度	POINTSETYEAR	NUMBER	4	0				
19	明細数	DTL_COUNT	NUMBER						count(*)
									from (
									select
									SAMPLEYEAR,
									SAMPLEPREFCD,
									REPORTCD,
									SAMPLABCD,
									SAMPLECD,
									LCSAMPLENAME,
									LCSAMPLEPOINTNAME,
									SAMPLEPOINTCD,
									SLATITUDE,
									SLONGITUDE,
									LATITUDE,
									LONGITUDE,
									POINTSETYEAR,
									count(*) as DTL_COUNT

環境試料_CL地点確認表

エンティティ名									
環境試料_CL地点確認表									
テーブル名		スキーマ	表領域						
TS_CL_POINT_VIEW		ERDBMS							
環境試料のチェックリストの地点確認表のVIEW									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
									from TSAMPLE
									group by
									SAMPLEYEAR,
									SAMPLEPREFCD,
									REPORTCD,
									SAMLABCD,
									SAMPLECD,
									LCSAMPLENAME,
									LCSAMPLEPOINTNAME,
									SAMPLEPOINTCD,
									SLATITUDE,
									SLONGITUDE,
									LATITUDE,
									LONGITUDE,
									POINTSETYEAR
) x
									left join MLABORATORY lb_s on (x.SAMLABCD = lb_s.LABCD)
									left join MSAMPLE sp on (x.SAMPLECD = sp.SAMPLECD)
									left join MPREFECTURE pr on (x.SAMPLEPREFCD = pr.PREFCD)
									left join MPOINT pt on (x.SAMPLEPOINTCD = pt.POINTCD)

分析_VIEW

エンティティ名									
分析_VIEW									
ビュー名		スキーマ	表領域						
TA_VIEW		ERDBMS							
環境試料の配下の分析明細のVIEW									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
1	分析番号	ANALYSISNO	NUMBER	9	0	Y		1	
2	報告書番号	REPORTCD	VARCHAR2	6		Y			ts.REPORTCD
3	表データSEQ	SHEETSEQ	NUMBER	10	0	Y			
4	試料番号 (FK)	SAMPLENO	NUMBER	9	0	Y			
5	分析明細番号	ANALYSISDTLNO	NUMBER	5	0	Y			
6	分析機関コード	ANALABCD	VARCHAR2	4					
7	分析機関名	ANALABNAME	VARCHAR2	60		Y			lb.LABNAME
8	Ca濃度	CALCIUM	NUMBER						
9	Ca濃度単位	CALCIUMUT	VARCHAR2	8					
10	Ca濃度単位名	CALCIUMUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut1.UNITNAME
11	K濃度	POTTASSIUM	NUMBER						
12	K濃度単位	POTTASSIUMUT	VARCHAR2	8					
13	K濃度単位名	POTTASSIUMUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut2.UNITNAME
14	前処理量	PRETREATVOL	NUMBER						
15	前処理量単位	PRETREATVOLUT	VARCHAR2	8					
16	前処理量単位名	PRETREATVOLUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut3.UNITNAME
17	分析供試量	MEASUREWEIGHT	NUMBER						
18	分析供試量単位	MEASUREWEIGHTUT	VARCHAR2	8					
19	分析供試量単位名	MEASUREWEIGHTUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut4.UNITNAME
20	前処理法コード	PRETREATCD	VARCHAR2	2					
21	前処理法名	PRETREATNAME	VARCHAR2	20		Y			prt.PRETREATNAME
22	化学分離法コード	CHEMSEPARCD	VARCHAR2	2					
23	化学分離法名	CHEMSEPARNAME	VARCHAR2	40		Y			che.CHEMSEPARNAME
24	計測器コード	INSTRUMENTCD	VARCHAR2	3					
25	計測器名	INSTRUMENTNAME	VARCHAR2	50		Y			ins.INSTRUMENTNAME
26	測定開始日	MEASURESDATE	VARCHAR2	10					
27	測定開始時刻	MEASURESTIME	VARCHAR2	8					
28	測定終了日	MEASUREEDATE	VARCHAR2	10					
29	測定終了時刻	MEASUREETIME	VARCHAR2	8					
30	測定迄の時間	UNTILMEASURE	NUMBER						
31	測定迄の時間単位	UNTILMEASUREUT	VARCHAR2	8					
32	測定迄の時間単位名	UNTILMEASUREUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut5.UNITNAME
33	測定時間	MEASURETIMES	NUMBER						
34	測定時間単位	MEASURETIMESUT	VARCHAR2	8					
35	測定時間単位名	MEASURETIMESUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut6.UNITNAME
36	核種コード	ELEMENTCD	VARCHAR2	3					

分析_VIEW

エンティティ名									
分析_VIEW									
ビュー名		スキーマ	表領域						
TA_VIEW		ERDBMS							
環境試料の配下の分析明細のVIEW									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
37	核種名	ELEMENTNAME	VARCHAR2	16		Y			el.ELEMENTNAME
38	記載報告値	REACTIVITYTEXT	VARCHAR2	30					
39	記載報告値単位	REACTIVITYUTTEXT	VARCHAR2	16					
40	公開報告値	REACTIVITY	NUMBER						
41	公開報告値誤差	REACTIVITYERR	NUMBER						
42	公開報告値単位	REACTIVITYUT	VARCHAR2	8					
43	公開報告値単位名	REACTIVITYUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut7.UNITNAME
44	NDフラグ	NDFG	VARCHAR2	1		Y	0'		
45	非公開フラグ	PRIVATEFLG	VARCHAR2	1		Y	0'		
46	分析備考	ANAREMARK	VARCHAR2	255					
47	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
48	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
49	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
50	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		
									from TANALYSIS ta
									join TSAMPLE ts on (ta.SAMPLENO = ts.SAMPLENO)
									left join MLABORATORY lb on (ta.ANALABCD = lb.LABCD)
									left join MPRETREATMENT prt on (ta.PRETREATCD = prt.PRETREATCD)
									left join MCHEMSEPAR che on (ta.CHEMSEPARCD = che.CHEMSEPARCD)
									left join MINSTRUMENT ins on (ta.INSTRUMENTCD = ins.INSTRUMENTCD)
									left join MELEMENT el on (ta.ELEMENTCD = el.ELEMENTCD)
									left join MUNIT ut1 on (ta.CALCIUMUT = ut1.UNITCD)
									left join MUNIT ut2 on (ta.POTTASSIUMUT = ut2.UNITCD)
									left join MUNIT ut3 on (ta.PRETREATVOLUT = ut3.UNITCD)
									left join MUNIT ut4 on (ta.MEASUREWEIGHTUT = ut4.UNITCD)
									left join MUNIT ut5 on (ta.UNTILMEASUREUT = ut5.UNITCD)
									left join MUNIT ut6 on (ta.MEASURETIMESUT = ut6.UNITCD)
									left join MUNIT ut7 on (ta.REACTIVITYUT = ut7.UNITCD)

分析_共通入力_VIEW

エンティティ名											
分析_共通入力_VIEW											
ビュー名		スキーマ		表領域							
TA_COM_INP_VIEW		ERDBMS									
環境試料配下の分析の共通入力用のVIEW											
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容		
1	表データSEQ	SHEETSEQ	NUMBER	10	0	Y			1		
2	分析明細番号	ANALYSISDTLNO	NUMBER	5	0	Y			2		
3	分析機関コード	ANALABCD	VARCHAR2	4							
4	分析機関名	ANALABNAME	VARCHAR2	60		Y				lb.LABNAME	
5	Ca濃度	CALCIUM	NUMBER								
6	Ca濃度単位	CALCIUMUT	VARCHAR2	8							
7	Ca濃度単位名	CALCIUMUTNAME	VARCHAR2	15		Y				ut1.UNITNAME	
8	K濃度	POTTASSIUM	NUMBER								
9	K濃度単位	POTTASSIUMUT	VARCHAR2	8							
10	K濃度単位名	POTTASSIUMUTNAME	VARCHAR2	15		Y				ut2.UNITNAME	
11	前処理量	PRETREATVOL	NUMBER								
12	前処理量単位	PRETREATVOLUT	VARCHAR2	8							
13	前処理量単位名	PRETREATVOLUTNAME	VARCHAR2	15		Y				ut3.UNITNAME	
14	分析供試量	MEASUREWEIGHT	NUMBER								
15	分析供試量単位	MEASUREWEIGHTUT	VARCHAR2	8							
16	分析供試量単位名	MEASUREWEIGHTUTNAME	VARCHAR2	15		Y				ut4.UNITNAME	
17	前処理法コード	PRETREATCD	VARCHAR2	2							
18	前処理法名	PRETREATNAME	VARCHAR2	20		Y				prt.PRETREATNAME	
19	化学分離法コード	CHEMSEPARCD	VARCHAR2	2							
20	化学分離法名	CHEMSEPARNAME	VARCHAR2	40		Y				che.CHEMSEPARNAME	
21	計測器コード	INSTRUMENTCD	VARCHAR2	3							
22	計測器名	INSTRUMENTNAME	VARCHAR2	50		Y				ins.INSTRUMENTNAME	
23	測定開始日	MEASURESDATE	VARCHAR2	10							
24	測定開始時刻	MEASURESTIME	VARCHAR2	8							
25	測定終了日	MEASUREEDATE	VARCHAR2	10							
26	測定終了時刻	MEASUREETIME	VARCHAR2	8							
27	測定迄の時間	UNTILMEASURE	NUMBER								
28	測定迄の時間単位	UNTILMEASUREUT	VARCHAR2	8							
29	測定迄の時間単位名	UNTILMEASUREUTNAME	VARCHAR2	15		Y				ut5.UNITNAME	
30	測定時間	MEASURETIMES	NUMBER								
31	測定時間単位	MEASURETIMESUT	VARCHAR2	8							
32	測定時間単位名	MEASURETIMESUTNAME	VARCHAR2	15		Y				ut6.UNITNAME	
33	核種コード	ELEMENTCD	VARCHAR2	3							
34	核種名	ELEMENTNAME	VARCHAR2	16		Y				el.ELEMENTNAME	
35	記載報告値	REACTIVITYTEXT	VARCHAR2	30							
36	記載報告値単位	REACTIVITYUTTEXT	VARCHAR2	16							

分析_共通入力_VIEW

エンティティ名									
分析_共通入力_VIEW									
ビュー名		スキーマ	表領域						
TA_COM_INP_VIEW		ERDBMS							
環境試料配下の分析の共通入力用のVIEW									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
37	公開報告値	REACTIVITY	NUMBER						
38	公開報告値誤差	REACTIVITYERR	NUMBER						
39	公開報告値単位	REACTIVITYUT	VARCHAR2	8					
40	公開報告値単位名	REACTIVITYUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut7.UNITNAME
41	NDフラグ	NDFG	VARCHAR2	1		Y	0'		
42	非公開フラグ	PRIVATEFLG	VARCHAR2	1		Y	0'		
43	分析備考	ANAREMARK	VARCHAR2	255					
44	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
45	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
46	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
47	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		
									from TA_COM_INP ta
									left join MLABORATORY lb on (ta.ANALABCD = lb.LABCD)
									left join MPRETREATMENT prt on (ta.PRETREATCD = prt.PRETREATCD)
									left join MCHEMSEPAR che on (ta.CHEMSEPARCD = che.CHEMSEPARCD)
									left join MINSTRUMENT ins on (ta.INSTRUMENTCD = ins.INSTRUMENTCD)
									left join MELEMENT el on (ta.ELEMENTCD = el.ELEMENTCD)
									left join MUNIT ut1 on (ta.CALCIUMUT = ut1.UNITCD)
									left join MUNIT ut2 on (ta.POTTASSIUMUT = ut2.UNITCD)
									left join MUNIT ut3 on (ta.PRETREATVOLUT = ut3.UNITCD)
									left join MUNIT ut4 on (ta.MEASUREWEIGHTUT = ut4.UNITCD)
									left join MUNIT ut5 on (ta.UNTILMEASUREUT = ut5.UNITCD)
									left join MUNIT ut6 on (ta.MEASURETIMESUT = ut6.UNITCD)
									left join MUNIT ut7 on (ta.REACTIVITYUT = ut7.UNITCD)

連続測定_VIEW

エンティティ名											
連続測定_VIEW											
テーブル名		スキーマ		表領域							
TC_VIEW		ERDBMS									
連続測定のVIEW											
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容		
1	測定番号	MEASURENO	NUMBER	9	0	Y		1			
2	報告書番号	REPORTCD	VARCHAR2	6		Y					
3	調査コード	SURVEYCD	VARCHAR2	2		Y			r.SURVEYCD		
4	調査名	SURVEYNAME	VARCHAR2	40		Y			sv.SURVEYNAME		
5	軍艦フラグ	WARSHIPFLG	VARCHAR2	1		Y	0'		sv.WARSHIPFLG		
6	発行機関コード	REPLABCD	VARCHAR2	4		Y			r.REPLABCD		
7	発行機関名	REPLABNAME	VARCHAR2	60		Y			lb_r.LABNAME		
8	表データSEQ (FK)	SHEETSEQ	NUMBER	10	0	Y					
9	ページ番号	PAGENO	NUMBER	9	0	Y			sh.PAGENO		
10	表番号	SHEETNO	NUMBER	9	0	Y			sh.SHEETNO		
11	行番号	LINENO	NUMBER	8	0	Y					
12	標準化状態	STDN_STATUS	VARCHAR2	1		Y	0'				
13	標準化エラーJSON	STDN_ERROR_JSON	NCLOB								
14	基準日	BASEDATE	DATE								
15	測定機関コード	MEASURELABCD	VARCHAR2	4							
16	測定機関名	MEASURELABNAME	VARCHAR2	60		Y			lb_m.LABNAME		
17	試料種別コード	SAMPLETYPECD	VARCHAR2	2							
18	試料種別名	SAMPLETYPENAME	VARCHAR2	26		Y			st.SAMPLETYPENAME		
19	記載試料名	LCSAMPLENAME	VARCHAR2	60							
20	試料コード	SAMPLECD	VARCHAR2	4							
21	試料名	SAMPLENAME	VARCHAR2	26		Y			sa.SAMPLENAME		
22	測定都道府県コード	MEASUREPREFCD	VARCHAR2	2							
23	測定都道府県名	MEASUREPREFNAME	VARCHAR2	8		Y			pr.PREFNAME		
24	記載測定地点名	LCMEASUREPOINTNAM	VARCHAR2	100							
25	測定地点コード	MEASUREPOINTCD	VARCHAR2	9							
26	測定地点名	MEASUREPOINTNAME	VARCHAR2	50		Y			pt.POINTNAME		
27	地点振込年度	POINTSEYEAR	NUMBER	4	0						
28	緯度 (世界測地系)	SLATITUDE	NVARCHAR2	20							
29	経度 (世界測地系)	SLONGITUDE	NVARCHAR2	20							
30	緯度 (日本測地系)	LATITUDE	NVARCHAR2	20							
31	経度 (日本測地系)	LONGITUDE	NVARCHAR2	20							
32	計測器コード	INSTRUMENTCD	VARCHAR2	3							
33	計測器名	INSTRUMENTNAME	VARCHAR2	50		Y			ins.INSTRUMENTNAME		
34	宇宙線含除	COSMICRAYFG	VARCHAR2	1		Y	0'				
35	高さ	HEIGHT	NUMBER								
36	高さ単位	HEIGHTUT	VARCHAR2	8							

連続測定_VIEW

エンティティ名									
連続測定_VIEW									
テーブル名		スキーマ	表領域						
TC_VIEW		ERDBMS							
連続測定のVIEW									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
37	高さ単位名	HEIGHTUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut1.UNITNAME
38	核種コード	ELEMENTCD	VARCHAR2	3					
39	核種名	ELEMENTNAME	VARCHAR2	16		Y			el.ELEMENTNAME
40	集計単位コード	SUMUNITCD	VARCHAR2	2					
41	集計単位名	SUMUNITNAME	VARCHAR2	15		Y			sm.SUMUNITNAME
42	測定開始日	MEASURESDATE	VARCHAR2	10					
43	測定開始時刻	MEASURESTIME	VARCHAR2	8					
44	測定終了日	MEASUREEDATE	VARCHAR2	10					
45	測定終了時刻	MEASUREETIME	VARCHAR2	8					
46	測定年度	MEASUREYEAR	NUMBER	4	0				
47	測定四半期	MEASUREQUARTER	NUMBER	1	0				
48	測定年	MEASUREPEYER	NUMBER	4	0				
49	測定月	MEASUREMONTH	NUMBER	2	0				
50	測定期間	MEASURELENGTH	NUMBER	9	0				
51	測定期間単位	MEASURELENGTHUT	VARCHAR2	8					
52	測定期間単位名	MEASURELENGTHUTN	VARCHAR2	15		Y			ut2.UNITNAME
53	天気コード	WEATHERCD	VARCHAR2	5					
54	天気名	WEATHERNAME	VARCHAR2	30		Y			we.WEATHERNAME
55	欠測フラグ	MEASUREFG	VARCHAR2	1		Y	0'		
56	記載報告値最大	REACTIVITYMAXTEXT	VARCHAR2	30					
57	記載報告値最小	REACTIVITYMINTEXT	VARCHAR2	30					
58	記載報告値平均	REACTIVITYAVGTEXT	VARCHAR2	30					
59	記載報告値単位	REACTIVITYUTTEXT	VARCHAR2	16					
60	公開報告値最大	REACTIVITYMAX	NUMBER						
61	公開報告値最小	REACTIVITYMIN	NUMBER						
62	公開報告値平均	REACTIVITYAVG	NUMBER						
63	公開報告値単位	REACTIVITYUT	VARCHAR2	8					
64	公開報告値単位名	REACTIVITYUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut3.UNITNAME
65	非公開フラグ	PRIVATEFLG	VARCHAR2	1		Y	0'		
66	測定備考	MEAREMARK	VARCHAR2	255					
67	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
68	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
69	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
70	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		

連続測定_VIEW

エンティティ名									
連続測定_VIEW									
テーブル名		スキーマ	表領域						
TC_VIEW		ERDBMS							
連続測定のVIEW									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
									from TCMEASURE tc
									join SHEET sh on (tc.SHEETSEQ = sh.SHEETSEQ)
									join REPORT r on (sh.REPORTCD = r.REPORTCD)
									join MSURVEY sv on (r.SURVEYCD = sv.SURVEYCD)
									left join MLABORATORY lb_r on (r.REPLABCD = lb_r.LABCD)
									left join MLABORATORY lb_m on (tc.MEASURELABCD = lb_m.LABCD)
									left join MSAMPLETYPE st on (tc.SAMPLETYPECD = st.SAMPLETYPECD)
									left join MSAMPLE sa on (tc.SAMPLECD = sa.SAMPLECD)
									left join MPREFECTURE pr on (tc.MEASUREPREFCD = pr.PREFCD)
									left join MPOINT pt on (tc.MEASUREPOINTCD = pt.POINTCD)
									left join MINSTRUMENT ins on (tc.INSTRUMENTCD = ins.INSTRUMENTCD)
									left join MSUMUNIT sm on (tc.SUMUNITCD = sm.SUMUNITCD)
									left join MELEMENT el on (tc.ELEMENTCD = el.ELEMENTCD)
									left join MWEATHER we on (tc.WEATHERCD = we.WEATHERCD)
									left join MUNIT ut1 on (tc.HEIGHTUT = ut1.UNITCD)
									left join MUNIT ut2 on (tc.MEASURELENGTHUT = ut2.UNITCD)
									left join MUNIT ut3 on (tc.REPACTIVITYUT = ut3.UNITCD)
									where r.DELETEFLG = '0'

連続測定_共通入力_VIEW

エンティティ名									
連続測定_共通入力_VIEW									
テーブル名		スキーマ		表領域					
TC_COM_INP_VIEW		ERDBMS							
連続測定の共通入力用のVIEW									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
1	表データSEQ	SHEETSEQ	NUMBER	10	0	Y		1	
2	調査コード	SURVEYCD	VARCHAR2	2		Y			r.SURVEYCD
3	調査名	SURVEYNAME	VARCHAR2	40		Y			sv.SURVEYNAME
4	軍艦フラグ	WARSHIPFLG	VARCHAR2	1		Y	0'		sv.WARSHIPFLG
5	発行機関コード	REPLABCD	VARCHAR2	4		Y			r.REPLABCD
6	発行機関名	REPLABNAME	VARCHAR2	60		Y			lb_r.LABNAME
7	測定機関コード	MEASURELABCD	VARCHAR2	4					
8	測定機関名	MEASURELABNAME	VARCHAR2	60		Y			lb_m.LABNAME
9	試料種別コード	SAMPLETYPECD	VARCHAR2	2					
10	試料種別名	SAMPLETYPENAME	VARCHAR2	26		Y			st.SAMPLETYPENAME
11	記載試料名	LCSAMPLENAME	VARCHAR2	60					
12	試料コード	SAMPLECD	VARCHAR2	4					
13	試料名	SAMPLENAME	VARCHAR2	26		Y			sa.SAMPLENAME
14	測定都道府県コード	MEASUREPREFCD	VARCHAR2	2					
15	測定都道府県名	MEASUREPREFNAME	VARCHAR2	8		Y			pr.PREFNAME
16	記載測定地点名	LCMEASUREPOINTNAM	VARCHAR2	100					
17	測定地点コード	MEASUREPOINTCD	VARCHAR2	9					
18	測定地点名	MEASUREPOINTNAME	VARCHAR2	50		Y			pt.POINTNAME
19	地点振込年度	POINTSEYEAR	NUMBER	4	0				
20	緯度 (世界測地系)	SLATITUDE	NVARCHAR2	20					
21	経度 (世界測地系)	SLONGITUDE	NVARCHAR2	20					
22	緯度 (日本測地系)	LATITUDE	NVARCHAR2	20					
23	経度 (日本測地系)	LONGITUDE	NVARCHAR2	20					
24	計測器コード	INSTRUMENTCD	VARCHAR2	3					
25	計測器名	INSTRUMENTNAME	VARCHAR2	50		Y			ins.INSTRUMENTNAME
26	宇宙線含除	COSMICRAYFG	VARCHAR2	1		Y	0'		
27	高さ	HEIGHT	NUMBER						
28	高さ単位	HEIGHTUT	VARCHAR2	8					
29	高さ単位名	HEIGHTUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut1.UNITNAME
30	核種コード	ELEMENTCD	VARCHAR2	3					
31	核種名	ELEMENTNAME	VARCHAR2	16		Y			el.ELEMENTNAME
32	集計単位コード	SUMUNITCD	VARCHAR2	2					
33	集計単位名	SUMUNITNAME	VARCHAR2	15		Y			sm.SUMUNITNAME
34	測定開始日	MEASURESDATE	VARCHAR2	10					
35	測定開始時刻	MEASURESTIME	VARCHAR2	8					
36	測定終了日	MEASUREEDATE	VARCHAR2	10					

連続測定_共通入力_VIEW

エンティティ名											
連続測定_共通入力_VIEW											
テーブル名		スキーマ		表領域							
TC_COM_INP_VIEW		ERDBMS									
連続測定の共通入力用のVIEW											
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容		
37	測定終了時刻	MEASUREETIME	VARCHAR2	8							
38	測定年度	MEASUREYEAR	NUMBER	4	0						
39	測定四半期	MEASUREQUARTER	NUMBER	1	0						
40	測定年	MEASUREPEYER	NUMBER	4	0						
41	測定月	MEASUREMONTH	NUMBER	2	0						
42	測定期間	MEASURELENGTH	NUMBER	9	0						
43	測定期間単位	MEASURELENGTHUT	VARCHAR2	8							
44	測定期間単位名	MEASURELENGTHUTN	VARCHAR2	15		Y			ut2.UNITNAME		
45	天気コード	WEATHERCD	VARCHAR2	5							
46	天気名	WEATHERNAME	VARCHAR2	30		Y			we.WEATHERNAME		
47	欠測フラグ	MEASUREFG	VARCHAR2	1		Y	0'				
48	記載報告値最大	REACTIVITYMAXTEXT	VARCHAR2	30							
49	記載報告値最小	REACTIVITYMINTEXT	VARCHAR2	30							
50	記載報告値平均	REACTIVITYAVGTEXT	VARCHAR2	30							
51	記載報告値単位	REACTIVITYUTTEXT	VARCHAR2	16							
52	公開報告値最大	REACTIVITYMAX	NUMBER								
53	公開報告値最小	REACTIVITYMIN	NUMBER								
54	公開報告値平均	REACTIVITYAVG	NUMBER								
55	公開報告値単位	REACTIVITYUT	VARCHAR2	8							
56	公開報告値単位名	REACTIVITYUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut3.UNITNAME		
57	非公開フラグ	PRIVATEFLG	VARCHAR2	1		Y	0'				
58	測定備考	MEAREMARK	VARCHAR2	255							
59	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)								
60	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)								
61	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50							
62	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0				
									from TC_COM_INP tc		
									join SHEET sh on (tc.SHEETSEQ = sh.SHEETSEQ)		
									join REPORT r on (sh.REPORTCD = r.REPORTCD)		
									join MSURVEY sv on (r.SURVEYCD = sv.SURVEYCD)		
									left join MLABORATORY lb_r on (r.REPLABCD = lb_r.LABCD)		
									left join MLABORATORY lb_m on (tc.MEASURELABCD = lb_m.LABCD)		
									left join MSAMPLETYPE st on (tc.SAMPLETYPEPCD = st.SAMPLETYPEPCD)		
									left join MSAMPLE sa on (tc.SAMPLECD = sa.SAMPLECD)		
									left join MPREFECTURE pr on (tc.MEASUREPREFCD = pr.PREFCD)		

連続測定_共通入力_VIEW

エンティティ名		
連続測定_共通入力_VIEW		
テーブル名	スキーマ	表領域
TC_COM_INP_VIEW	ERDBMS	

連続測定の共通入力用のVIEW

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
									left join MPOINT pt on (tc.MEASUREPOINTCD = pt.POINTCD)
									left join MINSTRUMENT ins on (tc.INSTRUMENTCD = ins.INSTRUMENTCD)
									left join MSUMUNIT sm on (tc.SUMUNITCD = sm.SUMUNITCD)
									left join MELEMENT el on (tc.ELEMENTCD = el.ELEMENTCD)
									left join MWEATHER we on (tc.WEATHERCD = we.WEATHERCD)
									left join MUNIT ut1 on (tc.HEIGHTUT = ut1.UNITCD)
									left join MUNIT ut2 on (tc.MEASURELENGTHUT = ut2.UNITCD)
									left join MUNIT ut3 on (tc.REPACTIVITYUT = ut3.UNITCD)
									where r.DELETEFLG = '0'

連続測定_カテゴリ_VIEW

エンティティ名		
連続測定_カテゴリ_VIEW		
テーブル名	スキーマ	表領域
TC_CTG_VIEW	ERDBMS	

連続測定のカテゴリ。変動幅確認や誤入力チェックで使用。

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
1	報告書番号	REPORTCD	VARCHAR2	6		Y			ts.REPORTCD
2	調査コード	SURVEYCD	VARCHAR2	2		Y			r.SURVEYCD
3	調査名	SURVEYNAME	VARCHAR2	40		Y			sv.SURVEYNAME
4	試料種別コード	SAMPLETYPECD	VARCHAR2	2					
5	試料種別名	SAMPLETYPENAME	VARCHAR2	26		Y			st.SAMPLETYPENAME
6	試料コード	SAMPLECD	VARCHAR2	4				1	
7	試料名	SAMPLENAME	VARCHAR2	26		Y			sp.SAMPLENAME
8	測定都道府県コード	MEASUREPREFCD	VARCHAR2	2				1	
9	測定都道府県名	MEASUREPREFNAME	VARCHAR2	8		Y			pf.PREFNAME
10	核種コード	ELEMENTCD	VARCHAR2	3				1	
11	核種名	ELEMENTNAME	VARCHAR2	16		Y			el.ELEMENTNAME
12	公開報告値単位	REACTIVITYUT	VARCHAR2	8				1	
13	公開報告値単位名	REACTIVITYUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut.UNITNAME
									from (
									select
									tc.REPORTCD,
									r.SURVEYCD,
									tc.SAMPLETYPECD,
									tc.SAMPLECD,
									tc.MEASUREPREFCD,
									tc.ELEMENTCD,
									tc.REACTIVITYUT
									from TCMEASURE tc
									join REPORT r on (tc.REPORTCD = r.REPORTCD)
									where r.DELETEFLG = '0'
									and tc.STDN_STATUS = '1'
									group by
									tc.REPORTCD,
									r.SURVEYCD,
									tc.SAMPLETYPECD,
									tc.SAMPLECD,
									tc.MEASUREPREFCD,
									tc.ELEMENTCD,
									tc.REACTIVITYUT
) ctg

連続測定_カテゴリ_VIEW

エンティティ名		
連続測定_カテゴリ_VIEW		
テーブル名	スキーマ	表領域
TC_CTG_VIEW	ERDBMS	
連続測定のカテゴリ。変動幅確認や誤入力チェックで使用。		

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
									join MSURVEY sv on (ctg.SURVEYCD = sv.SURVEYCD)
									left join MSAMPLETYPE st on (ctg.SAMPLETYPECD = st.SAMPLETYPECD)
									left join MSAMPLE sp on (ctg.SAMPLECD = sp.SAMPLECD)
									left join MPREFECTURE pf on (ctg.MEASUREPREFCD = pf.PREFCD)
									left join MELEMENT el on (ctg.ELEMENTCD = el.ELEMENTCD)
									left join MUNIT ut on (ctg.REPACTIVITYUT = ut.UNITCD)

連続測定_変動_VIEW

エンティティ名									
連続測定_変動_VIEW									
テーブル名		スキーマ		表領域					
TC_FLUC_VIEW		ERDBMS							
連続測定の変動データ用のVIEW。過去データ抽出に使用。									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
1	測定番号	MEASURENO	NUMBER	9	0	Y		1	
2	報告書番号	REPORTCD	VARCHAR2	6		Y			
3	表データSEQ	SHEETSEQ	NUMBER	10	0	Y			
4	ページ番号	PAGENO	NUMBER	9	0	Y			sh.PAGENO
5	表番号	SHEETNO	NUMBER	9	0	Y			sh.SHEETNO
6	行番号	LINENO	NUMBER	8	0	Y			
7	調査コード	SURVEYCD	VARCHAR2	2		Y			r.SURVEYCD
8	調査名	SURVEYNAME	VARCHAR2	40		Y			sv.SURVEYNAME
9	試料コード	SAMPLECD	VARCHAR2	4					
10	試料名	SAMPLENAME	VARCHAR2	26		Y			sp.SAMPLENAME
11	測定都道府県コード	MEASUREPREFCD	VARCHAR2	2					
12	測定都道府県名	MEASUREPREFNAME	VARCHAR2	8		Y			pf.PREFNAME
13	測定地点コード	MEASUREPOINTCD	VARCHAR2	9					
14	測定地点名	MEASUREPOINTNAME	VARCHAR2	50		Y			pt.POINTNAME
15	測定機関コード	MEASURELABCD	VARCHAR2	4					
16	測定機関名	MEASURELABNAME	VARCHAR2	60		Y			lb.LABNAME
17	核種コード	ELEMENTCD	VARCHAR2	3					
18	核種名	ELEMENTNAME	VARCHAR2	16		Y			el.ELEMENTNAME
19	公開報告値単位	REACTIVITYUT	VARCHAR2	8					
20	公開報告値単位名	REACTIVITYUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut.UNITNAME
21	測定年度	MEASUREYEAR	NUMBER	4	0				
22	基準日	BASEDATE	DATE			Y			
23	公開報告値最小	REACTIVITYMIN	NUMBER						
24	公開報告値平均	REACTIVITYAVG	NUMBER						
25	公開報告値最大	REACTIVITYMAX	NUMBER						
									from TCMEASURE tc
									join SHEET sh on (tc.SHEETSEQ = sh.SHEETSEQ)
									join REPORT r on (sh.REPORTCD = r.REPORTCD)
									join MSURVEY sv on (r.SURVEYCD = sv.SURVEYCD)
									left join MSAMPLETYPE st on (tc.SAMPLETYPEPCD = st.SAMPLETYPEPCD)
									left join MSAMPLE sp on (tc.SAMPLECD = sp.SAMPLECD)
									left join MPREFECTURE pf on (tc.MEASUREPREFCD = pf.PREFCD)
									left join MPOINT pt on (tc.MEASUREPOINTCD = pt.POINTCD)
									left join MELEMENT el on (tc.ELEMENTCD = el.ELEMENTCD)

連続測定_変動_VIEW

エンティティ名										
連続測定_変動_VIEW										
テーブル名		スキーマ	表領域							
TC_FLUC_VIEW		ERDBMS								
連続測定の変動データ用のVIEW。過去データ抽出に使用。										
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容	
									left join MUNIT ut on (tc.REPACTIVITYUT = ut.UNITCD)	
									where r.DELETEFLG = '0'	
									and tc.STDN_STATUS = '1'	

連続測定_カテゴリA_VIEW

エンティティ名									
連続測定_カテゴリA_VIEW									
テーブル名		スキーマ	表領域						
TC_CTGA_VIEW		ERDBMS							
連続測定の推移カテゴリA									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
1	報告書番号	REPORTCD	VARCHAR2	6		Y			ts.REPORTCD
2	調査コード	SURVEYCD	VARCHAR2	2		Y			r.SURVEYCD
3	調査名	SURVEYNAME	VARCHAR2	40		Y			sv.SURVEYNAME
4	試料コード	SAMPLECD	VARCHAR2	4				1	
5	試料名	SAMPLENAME	VARCHAR2	26		Y			sp.SAMPLENAME
6	測定都道府県コード	MEASUREPREFCD	VARCHAR2	2				1	
7	測定都道府県名	MEASUREPREFNAME	VARCHAR2	8		Y			pf.PREFNAME
8	測定機関コード	MEASURELABCD	VARCHAR2	4				1	
9	測定機関名	MEASURELABNAME	VARCHAR2	60		Y			lb.LABNAME
10	核種コード	ELEMENTCD	VARCHAR2	3				1	
11	核種名	ELEMENTNAME	VARCHAR2	16		Y			el.ELEMENTNAME
12	公開報告値単位	REACTIVITYUT	VARCHAR2	8				1	
13	公開報告値単位名	REACTIVITYUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut.UNITNAME
									from (
									select
									tc.REPORTCD,
									r.SURVEYCD,
									tc.SAMPLECD,
									tc.MEASUREPREFCD,
									tc.MEASURELABCD,
									tc.ELEMENTCD,
									tc.REACTIVITYUT
									from TCMEASURE tc
									join REPORT r on (tc.REPORTCD = r.REPORTCD)
									where r.DELETEFLG = '0'
									and tc.STDN_STATUS = '1'
									group by
									tc.REPORTCD,
									r.SURVEYCD,
									tc.SAMPLECD,
									tc.MEASUREPREFCD,
									tc.MEASURELABCD,
									tc.ELEMENTCD,
									tc.REACTIVITYUT
) ctg

連続測定_カテゴリA_VIEW

エンティティ名									
連続測定_カテゴリA_VIEW									
テーブル名									
TC_CTGA_VIEW					スキーマ			表領域	
ERDBMS									
連続測定の推移カテゴリA									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
									join MSURVEY sv on (ctg.SURVEYCD = sv.SURVEYCD)
									left join MSAMPLE sp on (ctg.SAMPLECD = sp.SAMPLECD)
									left join MPREFECTURE pf on (ctg.MEASUREPREFCD = pf.PREFCD)
									left join MLABORATORY lb on (ctg.MEASURELABCD = lb.LABCD)
									left join MELEMENT el on (ctg.ELEMENTCD = el.ELEMENTCD)
									left join MUNIT ut on (ctg.REPACTIVITYUT = ut.UNITCD)

連続測定_カテゴリB_VIEW

エンティティ名		
連続測定_カテゴリB_VIEW		
テーブル名	スキーマ	表領域
TC_CTGB_VIEW	ERDBMS	

連続測定の推移カテゴリB。カテゴリAに地点CDも加えて細分化

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
1	報告書番号	REPORTCD	VARCHAR2	6		Y			ts.REPORTCD
2	調査コード	SURVEYCD	VARCHAR2	2		Y			r.SURVEYCD
3	調査名	SURVEYNAME	VARCHAR2	40		Y			sv.SURVEYNAME
4	試料コード	SAMPLECD	VARCHAR2	4				1	
5	試料名	SAMPLENAME	VARCHAR2	26		Y			sp.SAMPLENAME
6	測定都道府県コード	MEASUREPREFCD	VARCHAR2	2				1	
7	測定都道府県名	MEASUREPREFNAME	VARCHAR2	8		Y			pf.PREFNAME
8	測定地点コード	MEASUREPOINTCD	VARCHAR2	9				1	
9	測定地点名	MEASUREPOINTNAME	VARCHAR2	50		Y			pt.POINTNAME
10	測定機関コード	MEASURELABCD	VARCHAR2	4				1	
11	測定機関名	MEASURELABNAME	VARCHAR2	60		Y			lb.LABNAME
12	核種コード	ELEMENTCD	VARCHAR2	3				1	
13	核種名	ELEMENTNAME	VARCHAR2	16		Y			el.ELEMENTNAME
14	公開報告値単位	REACTIVITYUT	VARCHAR2	8				1	
15	公開報告値単位名	REACTIVITYUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut.UNITNAME
									from (
									select
									tc.REPORTCD,
									r.SURVEYCD,
									tc.SAMPLECD,
									tc.MEASUREPREFCD,
									tc.MEASUREPOINTCD,
									tc.MEASURELABCD,
									tc.ELEMENTCD,
									tc.REACTIVITYUT
									from TCMEASURE tc
									join REPORT r on (tc.REPORTCD = r.REPORTCD)
									where r.DELETEFLG = '0'
									and tc.STDN_STATUS = '1'
									group by
									tc.REPORTCD,
									r.SURVEYCD,
									tc.SAMPLECD,
									tc.MEASUREPREFCD,
									tc.MEASUREPOINTCD,

連続測定_カテゴリB_VIEW

エンティティ名		
連続測定_カテゴリB_VIEW		
テーブル名	スキーマ	表領域
TC_CTGB_VIEW	ERDBMS	

連続測定の推移カテゴリB。カテゴリAに地点CDも加えて細分化

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
									tc.MEASURELABCD,
									tc.ELEMENTCD,
									tc.REPACTIVITYUT
) ctg
									join MSURVEY sv on (ctg.SURVEYCD = sv.SURVEYCD)
									left join MSAMPLE sp on (ctg.SAMPLECD = sp.SAMPLECD)
									left join MPREFECTURE pf on (ctg.MEASUREPREFCD = pf.PREFCD)
									left join MPOINT pt on (ctg.MEASUREPOINTCD = pt.POINTCD)
									left join MLABORATORY lb on (ctg.MEASURELABCD = lb.LABCD)
									left join MELEMENT el on (ctg.ELEMENTCD = el.ELEMENTCD)
									left join MUNIT ut on (ctg.REPACTIVITYUT = ut.UNITCD)

連続測定_推移_VIEW

エンティティ名											
連続測定_推移_VIEW (廃止)											
テーブル名		スキーマ		表領域							
TC_TRANS_VIEW		ERDBMS									
連続測定の推移データ用のVIEW											
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容		
1	測定番号	MEASURENO	NUMBER	9	0	Y		1			
2	報告書番号	REPORTCD	VARCHAR2	6		Y					
3	表データSEQ	SHEETSEQ	NUMBER	10	0	Y					
4	ページ番号	PAGENO	NUMBER	9	0	Y			sh.PAGENO		
5	表番号	SHEETNO	NUMBER	9	0	Y			sh.SHEETNO		
6	行番号	LINENO	NUMBER	8	0	Y					
7	調査コード	SURVEYCD	VARCHAR2	2		Y			r.SURVEYCD		
8	調査名	SURVEYNAME	VARCHAR2	40		Y			sv.SURVEYNAME		
9	試料コード	SAMPLECD	VARCHAR2	4							
10	試料名	SAMPLENAME	VARCHAR2	26		Y			sp.SAMPLENAME		
11	測定都道府県コード	MEASUREPREFCD	VARCHAR2	2							
12	測定都道府県名	MEASUREPREFNAME	VARCHAR2	8		Y			pf.PREFNAME		
13	測定地点コード	MEASUREPOINTCD	VARCHAR2	9							
14	測定地点名	MEASUREPOINTNAME	VARCHAR2	50		Y			pt.POINTNAME		
15	測定機関コード	MEASURELABCD	VARCHAR2	4							
16	測定機関名	MEASURELABNAME	VARCHAR2	60		Y			lb.LABNAME		
17	核種コード	ELEMENTCD	VARCHAR2	3							
18	核種名	ELEMENTNAME	VARCHAR2	16		Y			el.ELEMENTNAME		
19	公開報告値単位	REACTIVITYUT	VARCHAR2	8							
20	公開報告値単位名	REACTIVITYUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut.UNITNAME		
21	基準日	BASEDATE	DATE			Y					
22	公開報告値最大	REACTIVITYMAX	NUMBER								
23	公開報告値最小	REACTIVITYMIN	NUMBER								
24	公開報告値平均	REACTIVITYAVG	NUMBER								
									from TCMEASURE tc		
									join SHEET sh on (tc.SHEETSEQ = sh.SHEETSEQ)		
									join REPORT r on (sh.REPORTCD = r.REPORTCD)		
									join MSURVEY sv on (r.SURVEYCD = sv.SURVEYCD)		
									left join MSAMPLE sp on (tc.SAMPLECD = sp.SAMPLECD)		
									left join MPREFECTURE pf on (tc.MEASUREPREFCD = pf.PREFCD)		
									left join MPOINT pt on (tc.MEASUREPOINTCD = pt.POINTCD)		
									left join MLABORATORY lb on (tc.MEASURELABCD = lb.LABCD)		
									left join MELEMENT el on (tc.ELEMENTCD = el.ELEMENTCD)		
									left join MUNIT ut on (tc.REACTIVITYUT = ut.UNITCD)		

連続測定_推移_VIEW

エンティティ名									
連続測定_推移_VIEW (廃止)									
テーブル名		スキーマ	表領域						
TC_TRANS_VIEW		ERDBMS							
連続測定の推移データ用のVIEW									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
									where r.DELETEFLG = '0'
									and tc.STDN_STATUS = '1'

連続測定_CL分析法確認表

エンティティ名									
連続測定_CL分析法確認表									
テーブル名		スキーマ	表領域						
TC_CL_ELEMENT_VIEW		ERDBMS							
連続測定のチェックリストの分析法確認表のVIEW									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
1	行番号	LINENO	NUMBER	8	0	Y		2	ROW_NUMBER()
2	測定年度	MEASUREYEAR	NUMBER	4	0				
3	測定都道府県コード	MEASUREPREFCD	VARCHAR2	2					
4	測定都道府県名	MEASUREPREFNAME	VARCHAR2	8					pr.PREFNAME
5	報告書番号	REPORTCD	VARCHAR2	6		Y		1	
6	測定機関コード	MEASURELABCD	VARCHAR2	4					
7	測定機関名	MEASURELABNAME	VARCHAR2	60					lb_m.LABNAME
8	試料コード	SAMPLECD	VARCHAR2	4					
9	試料名	SAMPLENAME	VARCHAR2	26					sp.SAMPLENAME
10	記載試料名	LCSAMPLENAME	VARCHAR2	60					
11	計測器コード	INSTRUMENTCD	VARCHAR2	3					
12	計測器名	INSTRUMENTNAME	VARCHAR2	50					ins.INSTRUMENTNAME
13	核種コード	ELEMENTCD	VARCHAR2	3					
14	核種名	ELEMENTNAME	VARCHAR2	16					el.ELEMENTNAME
15	明細数	DTL_COUNT	NUMBER						count(*)
									from (
									select
									MEASUREYEAR,
									MEASUREPREFCD,
									REPORTCD,
									MEASURELABCD,
									SAMPLECD,
									LCSAMPLENAME,
									INSTRUMENTCD,
									ELEMENTCD,
									count(*) as DTL_COUNT
									from TCMEASURE
									group by
									MEASUREYEAR,
									MEASUREPREFCD,
									REPORTCD,
									MEASURELABCD,
									SAMPLECD,
									LCSAMPLENAME,
									INSTRUMENTCD,

連続測定_CL分析法確認表

エンティティ名		
連続測定_CL分析法確認表		
テーブル名	スキーマ	表領域
TC_CL_ELEMENT_VIEW	ERDBMS	
連続測定のチェックリストの分析法確認表のVIEW		

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
									ELEMENTCD
) x
									left join MLABORATORY lb_m on (x.MEASURELABCD = lb_m.LABCD)
									left join MSAMPLE sp on (x.SAMPLECD = sp.SAMPLECD)
									left join MPREFECTURE pr on (x.MEASUREPREFCD = pr.PREFCD)
									left join MINSTRUMENT ins on (x.INSTRUMENTCD = ins.INSTRUMENTCD)
									left join MELEMENT el on (x.ELEMENTCD = el.ELEMENTCD)

連続測定_CL地点確認表

エンティティ名									
連続測定_CL地点確認表									
テーブル名									
TC_CL_POINT_VIEW				スキーマ			表領域		
ERDBMS									
連続測定のチェックリストの地点確認表のVIEW									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
1	行番号	LINENO	NUMBER	8	0	Y		2	ROW_NUMBER()
2	測定年度	MEASUREYEAR	NUMBER	4	0				
3	測定都道府県コード	MEASUREPREFCD	VARCHAR2	2					
4	測定都道府県名	MEASUREPREFNAME	VARCHAR2	8					pr.PREFNAME
5	報告書番号	REPORTCD	VARCHAR2	6		Y		1	
6	測定機関コード	MEASURELABCD	VARCHAR2	4					
7	測定機関名	MEASURELABNAME	VARCHAR2	60					lb_m.LABNAME
8	試料コード	SAMPLECD	VARCHAR2	4					
9	試料名	SAMPLENAME	VARCHAR2	26					sp.SAMPLENAME
10	記載試料名	LCSAMPLENAME	VARCHAR2	60					
11	記載測定地点名	LCMEASUREPOINTNAM	VARCHAR2	100					
12	測定地点コード	MEASUREPOINTCD	VARCHAR2	9					
13	測定地点名	MEASUREPOINTNAME	VARCHAR2	50					pt.POINTNAME
14	緯度 (世界測地系)	SLATITUDE	NVARCHAR2	20					
15	経度 (世界測地系)	SLONGITUDE	NVARCHAR2	20					
16	緯度 (日本測地系)	LATITUDE	NVARCHAR2	20					
17	経度 (日本測地系)	LONGITUDE	NVARCHAR2	20					
18	地点振込年度	POINTSETYEAR	NUMBER	4	0				
19	明細数	DTL_COUNT	NUMBER						count(*)
									from (
									select
									MEASUREYEAR,
									MEASUREPREFCD,
									REPORTCD,
									MEASURELABCD,
									SAMPLECD,
									LCSAMPLENAME,
									LCMEASUREPOINTNAME,
									MEASUREPOINTCD,
									SLATITUDE,
									SLONGITUDE,
									LATITUDE,
									LONGITUDE,
									POINTSETYEAR,
									count(*) as DTL_COUNT

連続測定_CL地点確認表

エンティティ名		
連続測定_CL地点確認表		
テーブル名	スキーマ	表領域
TC_CL_POINT_VIEW	ERDBMS	

連続測定のチェックリストの地点確認表のVIEW

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
									from TCMEASURE
									group by
									MEASUREYEAR,
									MEASUREPREFCD,
									REPORTCD,
									MEASURELABCD,
									SAMPLECD,
									LCSAMPLENAME,
									LCMEASUREPOINTNAME,
									MEASUREPOINTCD,
									SLATITUDE,
									SLONGITUDE,
									LATITUDE,
									LONGITUDE,
									POINTSETYEAR
) x
									left join MLABORATORY lb_m on (x.MEASURELABCD = lb_m.LABCD)
									left join MSAMPLE sp on (x.SAMPLECD = sp.SAMPLECD)
									left join MPREFECTURE pr on (x.MEASUREPREFCD = pr.PREFCD)
									left join MPOINT pt on (x.MEASUREPOINTCD = pt.POINTCD)

非連続測定_VIEW

エンティティ名											
非連続測定_VIEW											
テーブル名		スキーマ	表領域								
TN_VIEW		ERDBMS									
非連続測定のVIEW											
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容		
1	測定番号	MEASURENO	NUMBER	9	0	Y			1		
2	報告書番号	REPORTCD	VARCHAR2	6		Y					
3	調査コード	SURVEYCD	VARCHAR2	2		Y				r.SURVEYCD	
4	調査名	SURVEYNAME	VARCHAR2	40		Y				sv.SURVEYNAME	
5	軍艦フラグ	WARSHIPFLG	VARCHAR2	1		Y	0'			sv.WARSHIPFLG	
6	発行機関コード	REPLABCD	VARCHAR2	4		Y				r.REPLABCD	
7	発行機関名	REPLABNAME	VARCHAR2	60		Y				lb_r.LABNAME	
8	表データSEQ (FK)	SHEETSEQ	NUMBER	10	0	Y					
9	ページ番号	PAGENO	NUMBER	9	0	Y				sh.PAGENO	
10	表番号	SHEETNO	NUMBER	9	0	Y				sh.SHEETNO	
11	行番号	LINENO	NUMBER	8	0	Y					
12	標準化状態	STDN_STATUS	VARCHAR2	1		Y	0'				
13	標準化エラーJSON	STDN_ERROR_JSON	NCLOB								
14	基準日	BASEDATE	DATE								
15	県試料番号	LOCALSAMPLENO	VARCHAR2	20							
16	測定機関コード	MEASURELABCD	VARCHAR2	4							
17	測定機関名	MEASURELABNAME	VARCHAR2	60		Y				lb_m.LABNAME	
18	試料種別コード	SAMPLETYPECD	VARCHAR2	2							
19	試料種別名	SAMPLETYPENAME	VARCHAR2	26		Y				st.SAMPLETYPENAME	
20	記載試料名	LCSAMPLENAME	VARCHAR2	60							
21	試料コード	SAMPLECD	VARCHAR2	4							
22	試料名	SAMPLENAME	VARCHAR2	26		Y				sa.SAMPLENAME	
23	測定開始日	MEASURESDATE	VARCHAR2	10							
24	測定開始時刻	MEASURESTIME	VARCHAR2	8							
25	測定終了日	MEASUREEDATE	VARCHAR2	10							
26	測定終了時刻	MEASUREETIME	VARCHAR2	8							
27	測定年度	MEASUREYEAR	NUMBER	4	0						
28	測定四半期	MEASUREQUARTER	NUMBER	1	0						
29	測定年	MEASUREPYEAR	NUMBER	4	0						
30	測定月	MEASUREMONTH	NUMBER	2	0						
31	測定期間	MEASURELENGTH	NUMBER	9	0						
32	測定期間単位	MEASURELENGTHUT	VARCHAR2	8							
33	測定期間単位名	MEASURELENGTHUTN	VARCHAR2	15		Y				ut1.UNITNAME	
34	測定都道府県コード	MEASUREPREFCD	VARCHAR2	2							
35	測定都道府県名	MEASUREPREFNAME	VARCHAR2	8		Y				pr.PREFNAME	
36	記載測定地点名	LCMEASUREPOINTNAM	VARCHAR2	100							

非連続測定_VIEW

エンティティ名									
非連続測定_VIEW									
テーブル名		スキーマ	表領域						
TN_VIEW		ERDBMS							
非連続測定のVIEW									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
37	測定地点コード	MEASUREPOINTCD	VARCHAR2	9					
38	測定地点名	MEASUREPOINTNAME	VARCHAR2	50		Y			pt.POINTNAME
39	地点振込年度	POINTSETYEAR	NUMBER	4	0				
40	緯度 (世界測地系)	SLATITUDE	NVARCHAR2	20					
41	経度 (世界測地系)	SLONGITUDE	NVARCHAR2	20					
42	緯度 (日本測地系)	LATITUDE	NVARCHAR2	20					
43	経度 (日本測地系)	LONGITUDE	NVARCHAR2	20					
44	軍艦地点コード	WSPPOINTCD	VARCHAR2	4					
45	軍艦地点名	WSPPOINTNAME	VARCHAR2	50		Y			wpt.WSPPOINTNAME
46	測定ポイント番号	MEASUREPOINTNO	NUMBER	5	0				
47	計測器コード	INSTRUMENTCD	VARCHAR2	3					
48	計測器名	INSTRUMENTNAME	VARCHAR2	50		Y			ins.INSTRUMENTNAME
49	宇宙線含除	COSMICRAYFG	VARCHAR2	1		Y	0'		
50	高さ	HEIGHT	NUMBER						
51	高さ単位	HEIGHTUT	VARCHAR2	8					
52	高さ単位名	HEIGHTUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut2.UNITNAME
53	記載報告値最大	REACTIVITYMAXTEXT	VARCHAR2	30					
54	記載報告値最小	REACTIVITYMINTEXT	VARCHAR2	30					
55	記載報告値	REACTIVITYTEXT	VARCHAR2	30					
56	記載報告値単位	REACTIVITYUTTEXT	VARCHAR2	16					
57	公開報告値最大	REACTIVITYMAX	NUMBER						
58	公開報告値最小	REACTIVITYMIN	NUMBER						
59	公開報告値	REACTIVITY	NUMBER						
60	公開報告値誤差	REACTIVITYERR	NUMBER						
61	公開報告値単位	REACTIVITYUT	VARCHAR2	8					
62	公開報告値単位名	REACTIVITYUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut3.UNITNAME
63	NDフラグ	NDFG	VARCHAR2	1		Y	0'		
64	非公開フラグ	PRIVATEFLG	VARCHAR2	1		Y	0'		
65	測定備考	MEAREMARK	VARCHAR2	255					
66	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
67	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
68	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
69	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		

非連続測定_VIEW

エンティティ名		
非連続測定_VIEW		
テーブル名	スキーマ	表領域
TN_VIEW	ERDBMS	
非連続測定のVIEW		

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
									from TNMEASURE tn
									join SHEET sh on (tn.SHEETSEQ = sh.SHEETSEQ)
									join REPORT r on (sh.REPORTCD = r.REPORTCD)
									join MSURVEY sv on (r.SURVEYCD = sv.SURVEYCD)
									left join MLABORATORY lb_r on (r.REPLABCD = lb_r.LABCD)
									left join MLABORATORY lb_m on (tn.MEASURELABCD = lb_m.LABCD)
									left join MSAMPLETYPE st on (tn.SAMPLETYPECD = st.SAMPLETYPECD)
									left join MSAMPLE sa on (tn.SAMPLECD = sa.SAMPLECD)
									left join MPREFECTURE pr on (tn.MEASUREPREFCD = pr.PREFCD)
									left join MPOINT pt on (tn.MEASUREPOINTCD = pt.POINTCD)
									left join MWSPOINT wpt on (tn.WSPOINTCD = wpt.WSPOINTCD)
									left join MINSTRUMENT ins on (tn.INSTRUMENTCD = ins.INSTRUMENTCD)
									left join MUNIT ut1 on (tn.MEASURELENGTHUT = ut1.UNITCD)
									left join MUNIT ut2 on (tn.HEIGHTUT = ut2.UNITCD)
									left join MUNIT ut3 on (tn.REPACTIVITYUT = ut3.UNITCD)
									where r.DELETEFLG = '0'

非連続測定_共通入力_VIEW

エンティティ名			
非連続測定_共通入力_VIEW			
テーブル名	スキーマ	表領域	
TN_COM_INP_VIEW	ERDBMS		
非連続測定の共通入力用のVIEW			

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
1	表データSEQ	SHEETSEQ	NUMBER	10	0	Y		1	
2	調査コード	SURVEYCD	VARCHAR2	2		Y			r.SURVEYCD
3	調査名	SURVEYNAME	VARCHAR2	40		Y			sv.SURVEYNAME
4	軍艦フラグ	WARSHIPFLG	VARCHAR2	1		Y	0'		sv.WARSHIPFLG
5	発行機関コード	REPLABCD	VARCHAR2	4		Y			r.REPLABCD
6	発行機関名	REPLABNAME	VARCHAR2	60		Y			lb_r.LABNAME
7	県試料番号	LOCALSAMPLENO	VARCHAR2	20					
8	測定機関コード	MEASURELABCD	VARCHAR2	4					
9	測定機関名	MEASURELABNAME	VARCHAR2	60		Y			lb.LABNAME
10	試料種別コード	SAMPLETYPECD	VARCHAR2	2					
11	試料種別名	SAMPLETYPENAME	VARCHAR2	26		Y			st.SAMPLETYPENAME
12	記載試料名	LCSAMPLENAME	VARCHAR2	60					
13	試料コード	SAMPLECD	VARCHAR2	4					
14	試料名	SAMPLENAME	VARCHAR2	26		Y			sa.SAMPLENAME
15	測定開始日	MEASURESDATE	VARCHAR2	10					
16	測定開始時刻	MEASURESTIME	VARCHAR2	8					
17	測定終了日	MEASUREEDATE	VARCHAR2	10					
18	測定終了時刻	MEASUREETIME	VARCHAR2	8					
19	測定年度	MEASUREYEAR	NUMBER	4	0				
20	測定四半期	MEASUREQUARTER	NUMBER	1	0				
21	測定年	MEASUREPEYEAR	NUMBER	4	0				
22	測定月	MEASUREMONTH	NUMBER	2	0				
23	測定期間	MEASURELENGTH	NUMBER	9	0				
24	測定期間単位	MEASURELENGTHUT	VARCHAR2	8					
25	測定期間単位名	MEASURELENGTHUTN	VARCHAR2	15		Y			ut1.UNITNAME
26	測定都道府県コード	MEASUREPREFCD	VARCHAR2	2					
27	測定都道府県名	MEASUREPREFNAME	VARCHAR2	8		Y			pr.PREFNAME
28	記載測定地点名	LCMEASUREPOINTNAM	VARCHAR2	100					
29	測定地点コード	MEASUREPOINTCD	VARCHAR2	9					
30	測定地点名	MEASUREPOINTNAME	VARCHAR2	50		Y			pt.POINTNAME
31	地点振込年度	POINTSEYEAR	NUMBER	4	0				
32	緯度 (世界測地系)	SLATITUDE	NVARCHAR2	20					
33	経度 (世界測地系)	SLONGITUDE	NVARCHAR2	20					
34	緯度 (日本測地系)	LATITUDE	NVARCHAR2	20					
35	経度 (日本測地系)	LONGITUDE	NVARCHAR2	20					
36	軍艦地点コード	WSPPOINTCD	VARCHAR2	4					

非連続測定_共通入力_VIEW

エンティティ名									
非連続測定_共通入力_VIEW									
テーブル名		スキーマ	表領域						
TN_COM_INP_VIEW		ERDBMS							
非連続測定の共通入力用のVIEW									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
37	軍艦地点名	WSPPOINTNAME	VARCHAR2	50		Y			wpt.WSPPOINTNAME
38	測定ポイント番号	MEASUREPOINTNO	NUMBER	5	0				
39	計測器コード	INSTRUMENTCD	VARCHAR2	3					
40	計測器名	INSTRUMENTNAME	VARCHAR2	50		Y			ins.INSTRUMENTNAME
41	宇宙線含除	COSMICRAYFG	VARCHAR2	1		Y	0'		
42	高さ	HEIGHT	NUMBER						
43	高さ単位	HEIGHTUT	VARCHAR2	8					
44	高さ単位名	HEIGHTUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut2.UNITNAME
45	記載報告値最大	REACTIVITYMAXTEXT	VARCHAR2	30					
46	記載報告値最小	REACTIVITYMINTEXT	VARCHAR2	30					
47	記載報告値	REACTIVITYTEXT	VARCHAR2	30					
48	記載報告値単位	REACTIVITYUTTEXT	VARCHAR2	16					
49	公開報告値最大	REACTIVITYMAX	NUMBER						
50	公開報告値最小	REACTIVITYMIN	NUMBER						
51	公開報告値	REACTIVITY	NUMBER						
52	公開報告値誤差	REACTIVITYERR	NUMBER						
53	公開報告値単位	REACTIVITYUT	VARCHAR2	8					
54	公開報告値単位名	REACTIVITYUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut3.UNITNAME
55	NDフラグ	NDFG	VARCHAR2	1		Y	0'		
56	非公開フラグ	PRIVATEFLG	VARCHAR2	1		Y	0'		
57	測定備考	MEAREMARK	VARCHAR2	255					
58	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
59	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
60	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
61	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		
									from TN_COM_INP tn
									join SHEET sh on (tn.SHEETSEQ = sh.SHEETSEQ)
									join REPORT r on (sh.REPORTCD = r.REPORTCD)
									join MSURVEY sv on (r.SURVEYCD = sv.SURVEYCD)
									left join MLABORATORY lb_r on (r.REPLABCD = lb_r.LABCD)
									left join MLABORATORY lb_m on (tn.MEASURELABCD = lb_m.LABCD)
									left join MSAMPLETYPE st on (tn.SAMPLETYPEPCD = st.SAMPLETYPEPCD)
									left join MSAMPLE sa on (tn.SAMPLECD = sa.SAMPLECD)
									left join MPREFECTURE pr on (tn.MEASUREPREFCD = pr.PREFCD)
									left join MPOINT pt on (tn.MEASUREPOINTCD = pt.POINTCD)

非連続測定_共通入力_VIEW

エンティティ名		
非連続測定_共通入力_VIEW		
テーブル名	スキーマ	表領域
TN_COM_INP_VIEW	ERDBMS	
非連続測定の共通入力用のVIEW		

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
									left join MWSPPOINT wpt on (tn.WSPPOINTCD = wpt.WSPPOINTCD)
									left join MINSTRUMENT ins on (tn.INSTRUMENTCD = ins.INSTRUMENTCD)
									left join MUNIT ut1 on (tn.MEASURELENGTHUT = ut1.UNITCD)
									left join MUNIT ut2 on (tn.HEIGHTUT = ut2.UNITCD)
									left join MUNIT ut3 on (tn.REPACTIVITYUT = ut3.UNITCD)
									where r.DELETEFLG = '0'

非連続測定_カテゴリ_VIEW

エンティティ名		
非連続測定_カテゴリ_VIEW		
テーブル名	スキーマ	表領域
TN_CTG_VIEW	ERDBMS	

非連続測定のカテゴリ。変動幅確認や誤入力チェックで使用。

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
1	報告書番号	REPORTCD	VARCHAR2	6		Y			ts.REPORTCD
2	調査コード	SURVEYCD	VARCHAR2	2		Y			r.SURVEYCD
3	調査名	SURVEYNAME	VARCHAR2	40		Y			sv.SURVEYNAME
4	試料種別コード	SAMPLETYPECD	VARCHAR2	2					
5	試料種別名	SAMPLETYPENAME	VARCHAR2	26		Y			st.SAMPLETYPENAME
6	試料コード	SAMPLECD	VARCHAR2	4				1	
7	試料名	SAMPLENAME	VARCHAR2	26		Y			sp.SAMPLENAME
8	測定都道府県コード	MEASUREPREFCD	VARCHAR2	2				1	
9	測定都道府県名	MEASUREPREFNAME	VARCHAR2	8		Y			pf.PREFNAME
10	測定地点コード	MEASUREPOINTCD	VARCHAR2	9				1	
11	測定地点名	MEASUREPOINTNAME	VARCHAR2	50		Y			pt.POINTNAME
12	公開報告値単位	REACTIVITYUT	VARCHAR2	8				1	
13	公開報告値単位名	REACTIVITYUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut.UNITNAME
									from (
									select
									tn.REPORTCD,
									r.SURVEYCD,
									tn.SAMPLETYPECD,
									tn.SAMPLECD,
									tn.MEASUREPREFCD,
									tn.MEASUREPOINTCD,
									tn.REACTIVITYUT
									from TNMEASURE tn
									join REPORT r on (tn.REPORTCD = r.REPORTCD)
									where r.DELETEFLG = '0'
									and tn.STDN_STATUS = '1'
									group by
									tn.REPORTCD,
									r.SURVEYCD,
									tn.SAMPLETYPECD,
									tn.SAMPLECD,
									tn.MEASUREPREFCD,
									tn.MEASUREPOINTCD,
									tn.REACTIVITYUT

非連続測定_カテゴリ_VIEW

エンティティ名		
非連続測定_カテゴリ_VIEW		
テーブル名	スキーマ	表領域
TN_CTG_VIEW	ERDBMS	

非連続測定のカテゴリ。変動幅確認や誤入力チェックで使用。

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
) ctg
									join MSURVEY sv on (ctg.SURVEYCD = sv.SURVEYCD)
									left join MSAMPLETYPE sp on (ctg.SAMPLETYPECD = st.SAMPLETYPECD)
									left join MSAMPLE sp on (ctg.SAMPLECD = sp.SAMPLECD)
									left join MPREFECTURE pf on (ctg.MEASUREPREFCD = pf.PREFCD)
									left join MPOINT pt on (ctg.MEASUREPOINTCD = pt.POINTCD)
									left join MUNIT ut on (ctg.REPACTIVITYUT = ut.UNITCD)

非連続測定_変動_VIEW

エンティティ名									
非連続測定_変動_VIEW									
テーブル名		スキーマ	表領域						
TN_FLUC_VIEW		ERDBMS							
非連続測定の変動データ用のVIEW。過去データ抽出に使用。									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
1	測定番号	MEASURENO	NUMBER	9	0	Y		1	
2	報告書番号	REPORTCD	VARCHAR2	6		Y			
3	表データSEQ (FK)	SHEETSEQ	NUMBER	10	0	Y			
4	ページ番号	PAGENO	NUMBER	9	0	Y			sh.PAGENO
5	表番号	SHEETNO	NUMBER	9	0	Y			sh.SHEETNO
6	行番号	LINENO	NUMBER	8	0	Y			
7	調査コード	SURVEYCD	VARCHAR2	2		Y			r.SURVEYCD
8	調査名	SURVEYNAME	VARCHAR2	40		Y			sv.SURVEYNAME
9	試料種別コード	SAMPLETYPECD	VARCHAR2	2					
10	試料種別名	SAMPLETYPENAME	VARCHAR2	26		Y			st.SAMPLETYPENAME
11	試料コード	SAMPLECD	VARCHAR2	4					
12	試料名	SAMPLENAME	VARCHAR2	26		Y			sp.SAMPLENAME
13	測定都道府県コード	MEASUREPREFCD	VARCHAR2	2					
14	測定都道府県名	MEASUREPREFNAME	VARCHAR2	8		Y			pf.PREFNAME
15	測定地点コード	MEASUREPOINTCD	VARCHAR2	9					
16	測定地点名	MEASUREPOINTNAME	VARCHAR2	50		Y			pt.POINTNAME
17	公開報告値単位	REACTIVITYUT	VARCHAR2	8					
18	公開報告値単位名	REACTIVITYUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut.UNITNAME
19	測定年度	MEASUREYEAR	NUMBER	4	0				
20	基準日	BASEDATE	DATE			Y			
21	公開報告値最小	REACTIVITYMIN	NUMBER						
22	公開報告値	REACTIVITY	NUMBER						
23	公開報告値最大	REACTIVITYMAX	NUMBER						
									from TNMEASURE tn
									join SHEET sh on (tn.SHEETSEQ = sh.SHEETSEQ)
									join REPORT r on (sh.REPORTCD = r.REPORTCD)
									join MSURVEY sv on (r.SURVEYCD = sv.SURVEYCD)
									left join MSAMPLETYPE st on (tn.SAMPLETYPECD = st.SAMPLETYPECD)
									left join MSAMPLE sp on (tn.SAMPLECD = sp.SAMPLECD)
									left join MPREFECTURE pf on (tn.MEASUREPREFCD = pf.PREFCD)
									left join MPOINT pt on (tn.MEASUREPOINTCD = pt.POINTCD)
									left join MUNIT ut on (tn.REACTIVITYUT = ut.UNITCD)
									where r.DELETEFLG = '0'
									and tn.STDN_STATUS = '1'

非連続測定_変動_VIEW

エンティティ名									
非連続測定_変動_VIEW									
テーブル名		スキーマ	表領域						
TN_FLUC_VIEW		ERDBMS							
非連続測定の変動データ用のVIEW。過去データ抽出に使用。									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容

非連続測定_カテゴリA_VIEW

エンティティ名			
非連続測定_カテゴリA_VIEW			
テーブル名	スキーマ	表領域	
TN_CTGA_VIEW	ERDBMS		
非連続測定の推移カテゴリA			

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
1	報告書番号	REPORTCD	VARCHAR2	6		Y			ts.REPORTCD
2	調査コード	SURVEYCD	VARCHAR2	2		Y			r.SURVEYCD
3	調査名	SURVEYNAME	VARCHAR2	40		Y			sv.SURVEYNAME
4	試料コード	SAMPLECD	VARCHAR2	4				1	
5	試料名	SAMPLENAME	VARCHAR2	26		Y			sp.SAMPLENAME
6	測定都道府県コード	MEASUREPREFCD	VARCHAR2	2				1	
7	測定都道府県名	MEASUREPREFNAME	VARCHAR2	8		Y			pf.PREFNAME
8	測定機関コード	MEASURELABCD	VARCHAR2	4				1	
9	測定機関名	MEASURELABNAME	VARCHAR2	60		Y			lb.LABNAME
10	公開報告値単位	REACTIVITYUT	VARCHAR2	8				1	
11	公開報告値単位名	REACTIVITYUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut.UNITNAME
									from (
									select
									tn.REPORTCD,
									r.SURVEYCD,
									tn.SAMPLECD,
									tn.MEASUREPREFCD,
									tn.MEASURELABCD,
									tn.REACTIVITYUT
									from TNMEASURE tn
									join REPORT r on (tn.REPORTCD = r.REPORTCD)
									where r.DELETEFLG = '0'
									and tn.STDN_STATUS = '1'
									group by
									tn.REPORTCD,
									r.SURVEYCD,
									tn.SAMPLECD,
									tn.MEASUREPREFCD,
									tn.MEASURELABCD,
									tn.REACTIVITYUT
) ctg
									join MSURVEY sv on (ctg.SURVEYCD = sv.SURVEYCD)
									left join MSAMPLE sp on (ctg.SAMPLECD = sp.SAMPLECD)
									left join MPREFECTURE pf on (ctg.MEASUREPREFCD = pf.PREFCD)
									left join MLABORATORY lb on (ctg.MEASURELABCD = lb.LABCD)

非連続測定_カテゴリA_VIEW

エンティティ名									
非連続測定_カテゴリA_VIEW									
テーブル名		スキーマ	表領域						
TN_CTGA_VIEW		ERDBMS							
非連続測定の推移カテゴリA									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
									left join MUNIT ut on (ctg.REPACTIVITYUT = ut.UNITCD)

非連続測定_カテゴリB_VIEW

エンティティ名			
非連続測定_カテゴリB_VIEW			
テーブル名	スキーマ	表領域	
TN_CTGB_VIEW	ERDBMS		

非連続測定の推移カテゴリB。カテゴリAに地点CDも加えて細分化

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
1	報告書番号	REPORTCD	VARCHAR2	6		Y			ts.REPORTCD
2	調査コード	SURVEYCD	VARCHAR2	2		Y			r.SURVEYCD
3	調査名	SURVEYNAME	VARCHAR2	40		Y			sv.SURVEYNAME
4	試料コード	SAMPLECD	VARCHAR2	4				1	
5	試料名	SAMPLENAME	VARCHAR2	26		Y			sp.SAMPLENAME
6	測定都道府県コード	MEASUREPREFCD	VARCHAR2	2				1	
7	測定都道府県名	MEASUREPREFNAME	VARCHAR2	8		Y			pf.PREFNAME
8	測定地点コード	MEASUREPOINTCD	VARCHAR2	9				1	
9	測定地点名	MEASUREPOINTNAME	VARCHAR2	50		Y			pt.POINTNAME
10	測定機関コード	MEASURELABCD	VARCHAR2	4				1	
11	測定機関名	MEASURELABNAME	VARCHAR2	60		Y			lb.LABNAME
12	公開報告値単位	REACTIVITYUT	VARCHAR2	8				1	
13	公開報告値単位名	REACTIVITYUTNAME	VARCHAR2	15		Y			ut.UNITNAME
									from (
									select
									tn.REPORTCD,
									r.SURVEYCD,
									tn.SAMPLECD,
									tn.MEASUREPREFCD,
									tn.MEASUREPOINTCD,
									tn.MEASURELABCD,
									tn.REACTIVITYUT
									from TNMEASURE tn
									join REPORT r on (tn.REPORTCD = r.REPORTCD)
									where r.DELETEFLG = '0'
									and tn.STDN_STATUS = '1'
									group by
									tn.REPORTCD,
									r.SURVEYCD,
									tn.SAMPLECD,
									tn.MEASUREPREFCD,
									tn.MEASUREPOINTCD,
									tn.MEASURELABCD,
									tn.REACTIVITYUT

非連続測定_カテゴリB_VIEW

エンティティ名			
非連続測定_カテゴリB_VIEW			
テーブル名		スキーマ	表領域
TN_CTGB_VIEW		ERDBMS	

非連続測定の推移カテゴリB。カテゴリAに地点CDも加えて細分化

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
) ctg
									join MSURVEY sv on (ctg.SURVEYCD = sv.SURVEYCD)
									left join MSAMPLE sp on (ctg.SAMPLECD = sp.SAMPLECD)
									left join MPREFECTURE pf on (ctg.MEASUREPREFCD = pf.PREFCD)
									left join MPOINT pt on (ctg.MEASUREPOINTCD = pt.POINTCD)
									left join MLABORATORY lb on (ctg.MEASURELABCD = lb.LABCD)
									left join MUNIT ut on (ctg.REPACTIVITYUT = ut.UNITCD)

非連続測定_推移_VIEW

エンティティ名											
非連続測定_推移_VIEW (廃止)											
テーブル名		スキーマ		表領域							
TN_TRANS_VIEW		ERDBMS									
非連続測定の推移データ用のVIEW											
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容		
1	測定番号	MEASURENO	NUMBER	9	0	Y			1		
2	報告書番号	REPORTCD	VARCHAR2	6		Y					
3	表データSEQ (FK)	SHEETSEQ	NUMBER	10	0	Y					
4	ページ番号	PAGENO	NUMBER	9	0	Y				sh.PAGENO	
5	表番号	SHEETNO	NUMBER	9	0	Y				sh.SHEETNO	
6	行番号	LINENO	NUMBER	8	0	Y					
7	調査コード	SURVEYCD	VARCHAR2	2		Y				r.SURVEYCD	
8	調査名	SURVEYNAME	VARCHAR2	40		Y				sv.SURVEYNAME	
9	試料コード	SAMPLECD	VARCHAR2	4							
10	試料名	SAMPLENAME	VARCHAR2	26		Y				sp.SAMPLENAME	
11	測定都道府県コード	MEASUREPREFCD	VARCHAR2	2							
12	測定都道府県名	MEASUREPREFNAME	VARCHAR2	8		Y				pf.PREFNAME	
13	測定地点コード	MEASUREPOINTCD	VARCHAR2	9							
14	測定地点名	MEASUREPOINTNAME	VARCHAR2	50		Y				pt.POINTNAME	
15	測定機関コード	MEASURELABCD	VARCHAR2	4							
16	測定機関名	MEASURELABNAME	VARCHAR2	60		Y				lb.LABNAME	
17	公開報告値単位	REACTIVITYUT	VARCHAR2	8							
18	公開報告値単位名	REACTIVITYUTNAME	VARCHAR2	15		Y				ut.UNITNAME	
19	基準日	BASEDATE	DATE			Y					
20	公開報告値最大	REACTIVITYMAX	NUMBER								
21	公開報告値最小	REACTIVITYMIN	NUMBER								
22	公開報告値	REACTIVITY	NUMBER								
23	公開報告値誤差	REACTIVITYERR	NUMBER								
24	公開報告値誤差最大	REACTIVITYERRMAX	NUMBER							tn.REACTIVITY + tn.REACTIVITYERR	
25	公開報告値誤差最小	REACTIVITYERRMIN	NUMBER							tn.REACTIVITY - tn.REACTIVITYERR	
										from TNMEASURE tn	
										join SHEET sh on (tn.SHEETSEQ = sh.SHEETSEQ)	
										join REPORT r on (sh.REPORTCD = r.REPORTCD)	
										join MSURVEY sv on (r.SURVEYCD = sv.SURVEYCD)	
										left join MSAMPLE sp on (tn.SAMPLECD = sp.SAMPLECD)	
										left join MPREFECTURE pf on (tn.MEASUREPREFCD = pf.PREFCD)	
										left join MPOINT pt on (tn.MEASUREPOINTCD = pt.POINTCD)	
										left join MLABORATORY lb on (tn.MEASURELABCD = lb.LABCD)	
										left join MUNIT ut on (tn.REACTIVITYUT = ut.UNITCD)	
										where r.DELETEFLG = '0'	

非連続測定_推移_VIEW

エンティティ名									
非連続測定_推移_VIEW (廃止)									
テーブル名		スキーマ	表領域						
TN_TRANS_VIEW		ERDBMS							
非連続測定の推移データ用のVIEW									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
									and tn.STDN_STATUS = '1'

非連続測定_CL分析法確認表

エンティティ名									
非連続測定_CL分析法確認表									
テーブル名		スキーマ	表領域						
TN_CL_ELEMENT_VIEW		ERDBMS							
非連続測定のチェックリストの分析法確認表のVIEW									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
1	行番号	LINENO	NUMBER	8	0	Y		2	ROW_NUMBER()
2	測定年度	MEASUREYEAR	NUMBER	4	0				
3	測定都道府県コード	MEASUREPREFCD	VARCHAR2	2					
4	測定都道府県名	MEASUREPREFNAME	VARCHAR2	8					pr.PREFNAME
5	報告書番号	REPORTCD	VARCHAR2	6		Y		1	
6	測定機関コード	MEASURELABCD	VARCHAR2	4					
7	測定機関名	MEASURELABNAME	VARCHAR2	60					lb_m.LABNAME
8	試料コード	SAMPLECD	VARCHAR2	4					
9	試料名	SAMPLENAME	VARCHAR2	26					sp.SAMPLENAME
10	記載試料名	LCSAMPLENAME	VARCHAR2	60					
11	計測器コード	INSTRUMENTCD	VARCHAR2	3					
12	計測器名	INSTRUMENTNAME	VARCHAR2	50					ins.INSTRUMENTNAME
13	明細数	DTL_COUNT	NUMBER						count(*)
									from (
									select
									MEASUREYEAR,
									MEASUREPREFCD,
									REPORTCD,
									MEASURELABCD,
									SAMPLECD,
									LCSAMPLENAME,
									INSTRUMENTCD,
									count(*) as DTL_COUNT
									from TNMEASURE
									group by
									MEASUREYEAR,
									MEASUREPREFCD,
									REPORTCD,
									MEASURELABCD,
									SAMPLECD,
									LCSAMPLENAME,
									INSTRUMENTCD
) x
									left join MLABORATORY lb_m on
									(x.MEASURELABCD = lb_m.LABCD)
									left join MSAMPLE sp on (x.SAMPLECD =
									sp.SAMPLECD)

非連続測定_CL分析法確認表

エンティティ名									
非連続測定_CL分析法確認表									
テーブル名		スキーマ	表領域						
TN_CL_ELEMENT_VIEW		ERDBMS							
非連続測定のチェックリストの分析法確認表のVIEW									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
									left join MPREFECTURE pr on (x.MEASUREPREFCD = pr.PREFCD)
									left join MINSTRUMENT ins on (x.INSTRUMENTCD = ins.INSTRUMENTCD)

非連続測定_CL地点確認表

エンティティ名									
非連続測定_CL地点確認表									
テーブル名		スキーマ	表領域						
TN_CL_POINT_VIEW		ERDBMS							
非連続測定のチェックリストの地点確認表のVIEW									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
1	行番号	LINENO	NUMBER	8	0	Y		2	ROW_NUMBER()
2	測定年度	MEASUREYEAR	NUMBER	4	0				
3	測定都道府県コード	MEASUREPREFCD	VARCHAR2	2					
4	測定都道府県名	MEASUREPREFNAME	VARCHAR2	8					pr.PREFNAME
5	報告書番号	REPORTCD	VARCHAR2	6		Y		1	
6	測定機関コード	MEASURELABCD	VARCHAR2	4					
7	測定機関名	MEASURELABNAME	VARCHAR2	60					lb_m.LABNAME
8	試料コード	SAMPLECD	VARCHAR2	4					
9	試料名	SAMPLENAME	VARCHAR2	26					sp.SAMPLENAME
10	記載試料名	LCSAMPLENAME	VARCHAR2	60					
11	記載測定地点名	LCMEASUREPOINTNAM	VARCHAR2	100					
12	測定地点コード	MEASUREPOINTCD	VARCHAR2	9					
13	測定地点名	MEASUREPOINTNAME	VARCHAR2	50					pt.POINTNAME
14	緯度 (世界測地系)	SLATITUDE	NVARCHAR2	20					
15	経度 (世界測地系)	SLONGITUDE	NVARCHAR2	20					
16	緯度 (日本測地系)	LATITUDE	NVARCHAR2	20					
17	経度 (日本測地系)	LONGITUDE	NVARCHAR2	20					
18	地点振込年度	POINTSETYEAR	NUMBER	4	0				
19	明細数	DTL_COUNT	NUMBER						count(*)
									from (
									select
									MEASUREYEAR,
									MEASUREPREFCD,
									REPORTCD,
									MEASURELABCD,
									SAMPLECD,
									LCSAMPLENAME,
									LCMEASUREPOINTNAME,
									MEASUREPOINTCD,
									SLATITUDE,
									SLONGITUDE,
									LATITUDE,
									LONGITUDE,
									POINTSETYEAR,
									count(*) as DTL_COUNT

非連続測定_CL地点確認表

エンティティ名									
非連続測定_CL地点確認表									
テーブル名		スキーマ	表領域						
TN_CL_POINT_VIEW		ERDBMS							
非連続測定のチェックリストの地点確認表のVIEW									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
									from TNMEASURE
									group by
									MEASUREYEAR,
									MEASUREPREFCD,
									REPORTCD,
									MEASURELABCD,
									SAMPLECD,
									LCSAMPLENAME,
									LCMEASUREPOINTNAME,
									MEASUREPOINTCD,
									SLATITUDE,
									SLONGITUDE,
									LATITUDE,
									LONGITUDE,
									POINTSETYEAR
) x
									left join MLABORATORY lb_m on (x.MEASURELABCD = lb_m.LABCD)
									left join MSAMPLE sp on (x.SAMPLECD = sp.SAMPLECD)
									left join MPREFECTURE pr on (x.MEASUREPREFCD = pr.PREFCD)
									left join MPOINT pt on (x.MEASUREPOINTCD = pt.POINTCD)

試料種別数_VIEW

エンティティ名		
試料種別数_VIEW		
テーブル名	スキーマ	表領域
SAMPLETYPE_COUNT_VIEW	ERDBMS	

試料種別毎のデータ行の明細数のVIEW。試料種別毎のチェックリスト(詳細データ)の事前提示(dialog)に用いる。

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
1	報告書番号	REPORTCD	VARCHAR2	6		Y		1	
2	テーブル系列	TABLESERIES	VARCHAR2	1		Y		2	S, C, N
3	試料種別コード	SAMPLETYPECD	VARCHAR2	2		Y		3	
4	試料種別名	SAMPLETYPENAME	VARCHAR2	26		Y			st.SAMPLETYPENAME
5	明細数	DTL_COUNT	NUMBER	9	0	Y			count(*)
									from TSAMPLE , TCMEASURE, TNMEASURE の union
									group by REPORTCD, SAMPLETYPECD
									join MSAMPLETYPE st on (x.SAMPLETYPECD = st.SAMPLETYPECD)

標準化サマリ_報告書_VIEW

エンティティ名		
標準化サマリ_報告書_VIEW		
テーブル名	スキーマ	表領域
STDN_REPORT_SUM	ERDBMS	

報告書単位の標準化状態のサマリ。報告書配下の全データ行を標準化状態毎にサマリしたもの。この結果を報告書の標準化状態として算出セットされる。

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
1	報告書番号	REPORTCD	VARCHAR2	6		Y		1	
2	標準化状態	STDN_STATUS	VARCHAR2	1		Y		2	
3	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
4	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
5	明細数	DTL_COUNT	NUMBER	9	0	Y			COUNT(*) OVER (PARTITION BY REPORTCD, STDN_STATUS)
									select REPORTCD, STDN_STATUS, ROW_UPD_DT, ROW_UPD_USER_ID from TSAMPLE
									union all
									select REPORTCD, STDN_STATUS, ROW_UPD_DT, ROW_UPD_USER_ID from
									union all
									select REPORTCD, STDN_STATUS, ROW_UPD_DT, ROW_UPD_USER_ID from

標準化サマリ_表データ_VIEW

エンティティ名			
標準化サマリ_表データ_VIEW			
テーブル名		スキーマ	表領域
STDN_SHEET_SUM		ERDBMS	

表データ単位の標準化状態のサマリ。表データ配下の全データ行を標準化状態毎にサマリしたもの。この結果を表データの標準化状態として算出セットされる。

No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
1	表データSEQ	SHEETSEQ	NUMBER	10		Y		1	
2	標準化状態	STDN_STATUS	VARCHAR2	1		Y		2	
3	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
4	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
5	明細数	DTL_COUNT	NUMBER	9	0	Y			COUNT(*) OVER (PARTITION BY SHEETSEQ, STDN_STATUS)
									select SHEETSEQ, STDN_STATUS, ROW_UPD_DT, ROW_UPD_USER_ID from TSAMPLE
									union all
									select SHEETSEQ, STDN_STATUS, ROW_UPD_DT, ROW_UPD_USER_ID from
									union all
									select SHEETSEQ, STDN_STATUS, ROW_UPD_DT, ROW_UPD_USER_ID from

ユーザマスタ_VIEW

エンティティ名									
ユーザマスタ_VIEW									
テーブル名		スキーマ	表領域						
USER_MST_VIEW		ERDBMS							
ユーザマスタとパスワードとロックの結合VIEW									
No.	論理名	物理名	型	長さ	精度	必須	def	PK	定義内容
1	ユーザSEQ	USER_SEQ	NUMBER	10	0	Y		1	
2	ユーザID	USER_ID	VARCHAR2	50		Y			
3	ユーザ名	USER_NAME	NVARCHAR2	50		Y			
4	会社名	CORP_NAME	NVARCHAR2	50		Y			
5	部署名	DEPT_NAME	NVARCHAR2	50					
6	メールアドレス	MAIL_ADDR	VARCHAR2	250					
7	権限ARRAY	PERMIT_ARRAY	VARCHAR2	4000					
8	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	TIMESTAMP(0)						
9	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						
10	ROW更新日時	ROW_UPD_USER_ID	VARCHAR2	50					
11	ROW_VER	ROW_VER	NUMBER	8	0	Y	0		
12	パスワードHASH	PSWD_HASH	VARCHAR2	64					p.PSWD_HASH
13	パスワード状態	PSWD_STATUS	VARCHAR2	1		Y	0'		p.PSWD_STATUS
14	パスワード更新日時	ROW_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						p.ROW_UPD_DT
15	パスワード更新日時	PSWD_UPD_USER_ID	VARCHAR2						p.ROW_UPD_USER_ID
16	認証失敗カウント	AUTH_NG_COUNT	NUMBER	5	0	Y	0		I.AUTH_NG_COUNT
17	ロック状態	LOCK_STATUS	VARCHAR2	1		Y	0'		I.LOCK_STATUS
18	ロック更新日時	LOCK_UPD_DT	TIMESTAMP(0)						I.ROW_UPD_DT
19	ロック更新日時	LOCK_UPD_USER_ID	VARCHAR2						I.ROW_UPD_USER_ID
									from USER_MST x
									inner join USER_PSWD p on (x.USER_SEQ = p.USER_SEQ)
									inner join USER_LOCK I on (x.USER_SEQ = I.USER_SEQ)

データ公開用システム

テーブル一覧

No.	論理テーブル名	物理テーブル名	備考
1	核種マスタ	MELEMENT	
2	食品マスタ	MFOOD	
3	食品試料大分類マスタ	MFOOD_LARGE	
4	食品試料中分類マスタ	MFOOD_MIDDLE	
5	都道府県マスタ	MPREFECTURE	
6	試料マスタ	MSAMPLE	
7	試料テーブル系列マスタ	MSAMPLESERIES	
8	試料種別マスタ	MSAMPLETYPE	
9	調査名マスタ	MSURVEY	
10	単位マスタ	MUNIT	
11	連続系データ格納テーブル	OCMEASURE	

テーブル情報

論理DB名	検索条件表示用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	DB_MAIN		
スキーマ名	DB_MAIN		
論理テーブル名	核種マスタ		
物理テーブル名	MELEMENT		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	コード	CODE	char (3)	Yes (PK)		
2	名称	NAME	varchar (16)			
3	食品フラグ	FOOD_FLG	char (1)			食品と放射能HPIに表示する核種かどうかの判断フラグ 1: 表示
4	KNAME	KNAME	varchar (20)			
5	FOOD_DAILY_INTAKE_FLG	FOOD_DAILY_INTAKE_FLG	char (1)			
6	英語名	ENAME	varchar (25)			サイト英語化時に追加

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	MELEMENT_PK	CODE	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	MELEMENT_PK	PRIMARY KEY	CODE

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索条件表示用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	DB_MAIN		
スキーマ名	DB_MAIN		
論理テーブル名	食品マスタ		
物理テーブル名	MFOOD		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	コード	CODE	char (7)	Yes (PK)		
2	食品試料大分類コード	FOODCD L	char (3)			
3	食品試料中分類コード	FOODCD M	char (3)			
4	名称	NAME	varchar (40)			
5	略称	SNAME	varchar (14)			
6	登録日	INS_DATE	datetime2			
7	更新日	UPD_DATE	datetime2			
8	英語名	ENAME	varchar (70)			サイト英語化時に追加

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	DB_MAIN_MFOOD_PK	CODE	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	DB_MAIN_MFOOD_PK	PRIMARY KEY	CODE

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索条件表示用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	DB_MAIN		
スキーマ名	DB_MAIN		
論理テーブル名	食品試料大分類マスタ		
物理テーブル名	MFOOD_LARGE		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	コード	CODE	char (3)	Yes (PK)		
2	名称	NAME	varchar (40)			
3	デフォルト核種コー	DEF_ELEMENTCD	char (3)			
4	英語名	ENAME	varchar (70)			サイト英語化時に追加

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	DB_MAIN_MFOOD_LARGE PK	CODE	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	DB_MAIN_MFOOD_LARGE PK	PRIMARY KEY	CODE

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索条件表示用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	DB_MAIN		
スキーマ名	DB_MAIN		
論理テーブル名	食品試料中分類マスタ		
物理テーブル名	MFOOD_MIDDLE		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	コード	CODE	char (3)	Yes (PK)		
2	食品試料大分類 コー	FOODCD_L	char (3)	Yes (PK)		
3	名称	NAME	varchar (40)			
4	英語名	ENAME	varchar (70)			サイト英語化時に追加

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	DB_MAIN_MFOOD_MIDDL E_PK	CODE, FOODCD_L	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	DB_MAIN_MFOOD_MIDDL E_PK	PRIMARY KEY	CODE, FOODCD_L

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索条件表示用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	DB_MAIN		
スキーマ名	DB_MAIN		
論理テーブル名	都道府県マスタ		
物理テーブル名	MPREFECTURE		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	コード	CODE	char (2)	Yes (PK)		
2	名称	NAME	varchar (8)			
3	名称 (軍艦用)	WSNAME	varchar (20)			KindCode3=1の場合のみ値を設定
4	地域コード	STATECODE	numeric (2, 0)			1~7の地域を保持
5	地域名称	STATENAME	varchar (20)			1: 北海道・東北 2: 関東 3: 中部 4: 近畿 5: 中国 6: 四国 7: 九州・沖縄
6	対象調査種別コード2	KINDCODE2	char (1)			対象調査種別が「原子力施設周辺」の場合に表示する都道府県に“1”を設定
7	対象調査種別コード3	KINDCODE3	char (1)			対象調査種別が「原子力軍艦」の場合に表示する都道府県に“1”を設定
8	食品用地域コード	FOOD_STATECODE	numeric (2, 0)			食品と放射能HPで使用する1~9の地域を保持
9	食品用地域名称	FOOD_STATENAME	varchar (20)			食品と放射能HPで使用する 1: 北海道 2: 東北 3: 関東 4: 北陸・甲信越 5: 東海 6: 近畿 7: 中国 8: 四国 9: 九州・沖縄
10	英語名	ENAME	varchar (10)			サイト英語化時に追加
11	地域名称 (英語)	ESTATENAME	varchar (40)			サイト英語化時に追加
12	食品用地域名称 (英語)	EFOOD_STATENAME	varchar (40)			サイト英語化時に追加

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	MPREFECTURE_PK	CODE	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	MPREFECTURE_PK	PRIMARY KEY	CODE

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索条件表示用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	DB_MAIN		
スキーマ名	DB_MAIN		
論理テーブル名	試料マスタ		
物理テーブル名	MSAMPLE		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	試料種別コード	SAMPLETYPECODE	char (2)	Yes (PK)		
2	コード	CODE	char (4)	Yes (PK)		
3	名称	NAME	varchar (26)			
4	DISPNO	DISPNO	numeric (2, 0)			
5	FIGUREFG	FIGUREFG	char (1)			
6	英語名	ENAME	varchar (50)			サイト英語化時に追加

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	MSAMPLE_PK	SAMPLETYPECODE, CODE	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	MSAMPLE_PK	PRIMARY KEY	SAMPLETYPECODE, CODE

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索条件表示用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	DB_MAIN		
スキーマ名	DB_MAIN		
論理テーブル名	試料テーブル系列マスタ		
物理テーブル名	MSAMPLESERIES		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	試料種別コード	SAMPLETYPECD	varchar (2)	Yes (PK)		
2	テーブル系列	TABLESERIES	varchar (1)	Yes		S:環境試料系, C:連続測定系, N:非連続測定系

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_MSAMPLESERIES	SAMPLETYPECD	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_MSAMPLESERIES	PRIMARY KEY	SAMPLETYPECD

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索条件表示用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	DB_MAIN		
スキーマ名	DB_MAIN		
論理テーブル名	試料種別マスタ		
物理テーブル名	MSAMPLETYPE		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	コード	CODE	char (2)	Yes (PK)		
2	名称	NAME	varchar (26)			
3	表示順序	SORTNO	numeric (3, 0)			
4	対象調査フラグ	TARGETSURVEYFG	char (1)			
5	FIGUREFG	FIGUREFG	char (1)			
6	英語名	ENAME	varchar (60)			サイト英語化時に追加

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	MSAMPLETYPE_PK	CODE	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	MSAMPLETYPE_PK	PRIMARY KEY	CODE

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索条件表示用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	DB_MAIN		
スキーマ名	DB_MAIN		
論理テーブル名	調査名マスタ		
物理テーブル名	MSURVEY		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	コード	CODE	char (2)	Yes (PK)		
2	名称	NAME	varchar (40)			
3	略称	SNAME	varchar (20)			
4	対象調査種別コード	KINDCODE	char (1)			1 : 一般環境 2 : 原子力施設周辺 3 : 原子力軍艦
5	PREFNOTFG	PREFNOTFG	char (1)			
6	作表作図表示フラグ	FIGUREFG	char (1)			1 : 条件画面に表示する
7	英語名	ENAME	varchar (120)			サイト英語化時に追加

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	MSURVEY_PK	CODE	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	MSURVEY_PK	PRIMARY KEY	CODE

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索条件表示用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	DB_MAIN		
スキーマ名	DB_MAIN		
論理テーブル名	単位マスタ		
物理テーブル名	MUNIT		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	試料種別コード	SAMPLETYPECODE	char (2)	Yes (PK)		
2	コード	CODE	char (8)	Yes (PK)		
3	名称	NAME	varchar (15)			
4	SORTNO	SORTNO	numeric (3, 0)			
5	英語名	ENAME	varchar (20)			サイト英語化時に追加

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	MUNIT_PK	SAMPLETYPECODE, CODE	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	MUNIT_PK	PRIMARY KEY	SAMPLETYPECODE, CODE

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索条件表示用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	DB_MAIN		
スキーマ名	DB_MAIN		
論理テーブル名	連続系データ格納テーブル		
物理テーブル名	OCMEASURE		
備考	本テーブルは現在未使用。		

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	測定番号	MEASURENO	numeric(9, 0)	Yes (PK)		
2	集計番号	STATISTICSNO	numeric(9, 0)	Yes (PK)		
3	県コード	PREFCD	char(2)			
4	県名称	PREFNAME	varchar(8)			
5	報告機関名	REPLABNAME	varchar(60)			
6	測定機関名	MEASURELABNAME	varchar(60)			
7	調査名コード	SURVEYCD	char(2)			
8	調査名	SURVEYNAME	varchar(40)			
9	記載試料名	LCSAMPLENAME	varchar(60)			
10	試料種別名	SAMPLETYPECD	char(2)			
11	試料種別名	SAMPLETYPENAME	varchar(26)			
12	試料コード	SAMPLECD	char(4)			
13	試料名	SAMPLENAME	varchar(26)			
14	測定年	MEASUREPYEAR	numeric(9, 0)			
15	測定年度	MEASUREYEAR	numeric(9, 0)			
16	閲覧用記載測定地点名	LCMEASUREREADPOINTNAME	varchar(60)			
17	測定点コード	MEASUREPOINTCD	char(9)			
18	緯度	SLATITUDE	char(9)			
19	経度	SLONGITUDE	char(10)			
20	設置場所	PLACE	varchar(20)			
21	高さ	HEIGHT	float(53)			モニタリングポストの場合のみ使用
22	高さ単位	HEIGHTUT	varchar(15)			モニタリングポストの場合のみ使用
23	計測器名	INSTRUMENTNAME	varchar(50)			
24	宇宙線含除	COSMICRAYFG	char(1)			モニタリングポストの場合のみ使用
25	集計単位名称	SUMUNITNAME	varchar(15)			
26	分析項目コード	ELEMENTCD	char(3)			
27	分析項目名	ELEMENTNAME	varchar(16)			
28	欠測フラグ	MEASUREFG	char(1)			大気浮遊じんの場合のみ使用
29	測定四半期	MEASUREQUARTER	numeric(9, 0)			
30	測定月	MEASUREMONTH	numeric(9, 0)			
31	測定開始日	MEASURESDATE	char(10)			
32	測定開始時刻	MEASURESTIME	char(8)			
33	測定終了日	MEASUREEDATE	char(10)			
34	測定終了時刻	MEASUREETIME	char(8)			大気浮遊じんの場合のみ使用
35	測定期間	MEASURELENGTH	float(53)			
36	測定期間単位	MEASURELENGTHUT	varchar(15)			
37	入力値最大値	INPUTACTIVITYMAX	float(53)			
38	入力値最小値	INPUTACTIVITYMIN	float(53)			
39	入力値平均値	INPUTACTIVITYAVG	float(53)			
40	入力値単位	INPUTACTIVITYUT	varchar(15)			
41	報告値最大値	REPACTIVITYMAX	float(53)			
42	報告値最小値	REPACTIVITYMIN	float(53)			
43	報告値平均値	REPACTIVITYAVG	float(53)			
44	報告値単位コード	REPACTIVITYUTCD	char(8)			
45	報告値単位	REPACTIVITYUT	varchar(15)			
46	報告値最大値文字	REPACTIVITYMAXTEX	varchar(30)			
47	報告値最小値文字	REPACTIVITYMINTEX	varchar(30)			
48	報告値平均値文字	REPACTIVITYAVGTEX	varchar(30)			
49	報告値単位文字列	REPACTIVITYUTTEXT	char(16)			
50	報告書番号	REPORTCD	varchar(6)			
51	報告書名	REPORTNAME	varchar(200)			
52	ページ情報	PAGEINFO	numeric(9, 0)			
53	備考	REMARK	varchar(255)			
54	登録日	INS_DATE	datetime2			

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	OCMEASURE_PK	MEASURENO, STATISTICSNO	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	OCMEASURE_PK	PRIMARY KEY	MEASURENO, STATISTICSNO

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル一覧

No.	論理テーブル名	物理テーブル名	備考
1	福島事故関連モニタリングデータ格納	FJKKDATA	
2	核種マスタ	MELEMENT	
3	都道府県マスタ	MPREFECTURE	
4	試料種別マスタ	MSAMPLETYPE	
5	調査名マスタ	MSURVEY	

テーブル情報

論理DB名	福島事故関連DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	DB_MONI		
スキーマ名	DB_MONI		
論理テーブル名	福島事故関連モニタリングデータ格納データ		
物理テーブル名	FJKKDATA		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	調査名コード	SURVEYCD	char (2)			
2	調査実施機関名	SURVLABNAME	varchar (60)			
3	試料種別コード	SAMPLETYPECD	char (2)			
4	試料名	SAMPLENAME	varchar (26)			
5	都道府県コード	PREFCODE	char (2)	Yes		
6	試料採取開始日 (表示用)	SMPLSTDATEDISP	varchar (20)			
7	試料採取開始年度	SMPLSTYEARED	numeric (4, 0)			
8	試料採取開始年	SMPLSTYYYY	numeric (4, 0)			
9	試料採取開始月	SMPLSTMM	numeric (2, 0)			
10	試料採取開始日	SMPLSTDD	numeric (2, 0)			
11	試料採取開始時	SMPLSTHH	numeric (2, 0)			
12	試料採取開始分	SMPLSTMI	numeric (2, 0)			
13	試料採取終了日 (表示用)	SMPLEDDATEDISP	varchar (20)			
14	試料採取終了年度	SMPLEDEYARED	numeric (4, 0)			
15	試料採取終了年	SMPLEDEYYYY	numeric (4, 0)			
16	試料採取終了月	SMPLEDEMM	numeric (2, 0)			
17	試料採取終了日	SMPLEDEDD	numeric (2, 0)			
18	試料採取終了時	SMPLEDEHH	numeric (2, 0)			
19	試料採取終了分	SMPLEDEMI	numeric (2, 0)			
20	試料採取地点	SAMPLEPOINTCD	varchar (60)			
21	緯度	LATITUDEI	varchar (20)			
22	経度	LONGITUDEK	varchar (20)			
23	試料採取機関名	SAMPLABNAME	varchar (60)			
24	測定方法	MMETHOD	varchar (200)			
25	測定機関名	MEASURELABNAME	varchar (60)			
26	核種コード	ELEMENTCD	char (3)			
27	報告値	REPACTIVITY	float (53)			
28	報告値誤差	REPACTIVITYERR	float (53)			
29	報告値単位	REPACTIVITYUT	varchar (15)			
30	検出下限値	DETECTLOWLV	varchar (50)			
31	NDフラグ	NDFLG	char (1)			0 : NOT ND (報告値を表示) 1 : ND (「不検出」と表示) 欠測フラグが"1"の場合はnull
32	欠測フラグ	KSFLG	char (1)			NULL : 欠測でない 1 : 欠測 (「欠測」と表示) NDフラグが"0"、"1"の場合はnull
33	備考 1	NOTE1BK	varchar (500)			
34	備考 2	NOTE2BK	varchar (500)			
35	備考 3	NOTE3BK	varchar (500)			
36	備考 4	NOTE4BK	varchar (500)			
37	備考 5	NOTE5BK	varchar (500)			
38	削除フラグ	DEFLG	char (1)	Yes		0 : 管理対象 1 : 管理対象外
39	登録者	INS_NAME	varchar (20)			
40	登録日	INS_DATE	datetime2			
41	更新者	UPD_NAME	varchar (20)			
42	更新日	UPD_DATE	datetime2			
43	ID	ROWID	uniqueidentifier	Yes	newid()	
44	調査実施機関名 (英語)	ESURVLABNAME	varchar (100)			
45	試料名 (英語)	ESAMPLENAME	varchar (50)			
46	試料採取地点 (英語)	ESAMPLEPOINTCD	varchar (100)			
47	報告値単位 (英語)	EREPACTIVITYUT	varchar (20)			
48	備考 1 (英語)	ENOTE1BK	varchar (500)			

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	ROWID\$INDEX	ROWID		Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
-----	-----	----	------

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	備考
1	InsteadOfInsertOn\$F JKKDATA	Insert	Instead of	英語化によるテーブル内容変更のため 無効化中
2	InsteadOfUpdateOn\$F JKKDATA	Update	Instead of	英語化によるテーブル内容変更のため 無効化中

テーブル情報

論理DB名	福島事故関連DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	DB_MONI		
スキーマ名	DB_MONI		
論理テーブル名	核種マスタ		
物理テーブル名	MELEMENT		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	核種コード	CODE	char (3)	Yes (PK)		
2	核種名称	NAME	varchar (16)			
3	表示順	SORTNO	numeric (3, 0)			
4	削除フラグ	DELFG	char (1)			0 : 管理対象 1 : 管理対象外
5	登録者	INS_NAME	varchar (20)			
6	登録日	INS_DATE	datetime2			
7	更新者	UPD_NAME	varchar (20)			
8	更新日	UPD_DATE	datetime2			
9	ID	ROWID	uniqueidentifier	Yes	newid()	
10	英語名	ENAME	varchar (25)			

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	MELEMENT_PK	CODE	Yes	Yes	
2	ROWID\$INDEX	ROWID		Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	MELEMENT_PK	PRIMARY KEY	CODE

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	備考
1	InsteadOfInsertOn\$MELEMENT	Insert	Instead of	英語化によるテーブル内容変更のため無効化中
2	InsteadOfUpdateOn\$MELEMENT	Update	Instead of	英語化によるテーブル内容変更のため無効化中

テーブル情報

論理DB名	福島事関連DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	DB_MONI		
スキーマ名	DB_MONI		
論理テーブル名	都道府県マスタ		
物理テーブル名	MPREFECTURE		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	都道府県コード	CODE	char (2)	Yes (PK)		
2	都道府県名称	NAME	varchar (8)			
3	地域コード	STATECODE	numeric (2, 0)			
4	地域名称	STATENAME	varchar (20)			
5	削除フラグ	DELFG	char (1)			0 : 管理対象 1 : 管理対象外
6	登録者	INS_NAME	varchar (20)			
7	登録日	INS_DATE	datetime2			
8	更新者	UPD_NAME	varchar (20)			
9	更新日	UPD_DATE	datetime2			
10	ID	ROWID	uniqueidentifier	Yes	newid()	
11	都道府県名称(英語)	ENAME	varchar (10)			
12	地域名称(英語)	ESTATENAME	varchar (40)			

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	MPREFECTURE_PK	CODE	Yes	Yes	
2	ROWID\$INDEX	ROWID		Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	MPREFECTURE_PK	PRIMARY KEY	CODE

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報(PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	備考
1	InsteadOfInsertOn\$M PREFECTURE	Insert	Instead of	英語化によるテーブル内容変更のため 無効化中
2	InsteadOfUpdateOn\$M PREFECTURE	Update	Instead of	英語化によるテーブル内容変更のため 無効化中

テーブル情報

論理DB名	福島事故関連DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	DB_MONI		
スキーマ名	DB_MONI		
論理テーブル名	試料種別マスタ		
物理テーブル名	MSAMPLETYPE		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	試料種別名コード	CODE	char (2)	Yes (PK)		
2	試料種別名称	NAME	varchar (26)			
3	表示順序	SORTNO	numeric (3, 0)			
4	調査対象フラグ	TARGETSURVEYFG	char (1)			0: 対象外 (非表示) 1~3: 既存機能で利用 4: 福島事故関連
5	削除フラグ	DELFG	char (1)			0: 管理対象 1: 管理対象外
6	登録者	INS_NAME	nvarchar (20)			
7	登録日	INS_DATE	datetime2			
8	更新者	UPD_NAME	nvarchar (20)			
9	更新日	UPD_DATE	datetime2			
10	ID	ROWID	uniqueidentifier	Yes	newid()	
11	英語名	ENAME	varchar (30)			

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	MSAMPLETYPE_PK	CODE	Yes	Yes	
2	ROWID\$INDEX	ROWID		Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	MSAMPLETYPE_PK	PRIMARY KEY	CODE

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	備考
1	InsteadOfInsertOn\$MSAMPLETYPE	Insert	Instead of	英語化によるテーブル内容変更のため無効化中
2	InsteadOfUpdateOn\$MSAMPLETYPE	Update	Instead of	英語化によるテーブル内容変更のため無効化中

テーブル情報

論理DB名	福島事故関連DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	DB_MONI		
スキーマ名	DB_MONI		
論理テーブル名	調査名マスタ		
物理テーブル名	MSURVEY		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	調査名コード	CODE	char (2)	Yes (PK)		
2	調査名名称	NAME	varchar (80)			
3	調査名略称	SNAME	varchar (40)			
4	調査月数	SPERIOD	numeric (5, 0)			0 : 毎日 1 : 毎月 2 : 2ヶ月間 3 : 3ヶ月間 ...
5	削除フラグ	DELFG	char (1)			0 : 管理対象 1 : 管理対象外
6	登録者	INS_NAME	varchar (20)			
7	登録日	INS_DATE	datetime2			
8	更新者	UPD_NAME	varchar (20)			
9	更新日	UPD_DATE	datetime2			
10	ID	ROWID	unique identifier	Yes	newid ()	
11	英語名	ENAME	varchar (120)			

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	MSURVEY_PK	CODE	Yes	Yes	
2	ROWID\$INDEX	ROWID		Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	MSURVEY_PK	PRIMARY KEY	CODE

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	備考
1	InsteadOfInsertOn\$MSURVEY	Insert	Instead of	英語化によるテーブル内容変更のため無効化中
2	InsteadOfUpdateOn\$MSURVEY	Update	Instead of	英語化によるテーブル内容変更のため無効化中

テーブル一覧

No.	論理テーブル名	物理テーブル名	備考
1	線量係数マスタ	DB_MAIN_MDOSE_COEFFICIENT	
2	核種マスタ	DB_MAIN_MELEMENT	サイト英語化時にカラム追加
3	食品マスタ	DB_MAIN_MFOOD	サイト英語化時にカラム追加
4	食品コード変換マスタ	DB_MAIN_MFOOD_CONVERT	
5	食品単位変換マスタ	DB_MAIN_MFOOD_CONVERT_UNIT	
6	食品群小分類マスタ	DB_MAIN_MFOOD_INTAKE	
7	食品試料大分類マスタ	DB_MAIN_MFOOD_LARGE	
8	食品試料中分類マスタ	DB_MAIN_MFOOD_MIDDLE	
9	食品群別食品コードマスタ	DB_MAIN_MFOODGRP	
10	都道府県マスタ	DB_MAIN_MPREFECTURE	サイト英語化時にカラム追加
11	入港情報	IMPORT	サイト英語化時にカラム追加
12	M公開用地点名変換表	MCHANGEPOINT	サイト英語化時にカラム追加
13	M化学分離法	MCHEMSEPAR	
14	M核種	MELEMENT	
15	M食品	MFOOD	
16	M計測器	MINSTRUMENT	
17	M機関	MLABORATORY	
18	M生物	MLIFE	
19	M地点	MPOINT	
20	M都道府県	MPREFECTURE	
21	M前処理法	MPRETREATMENT	
22	M試料	MSAMPLE	
23	M試料テーブル系列	MSAMPLESERIES	
24	M試料種別	MSAMPLETYPE	
25	M採取法	MSAMPLING	
26	M部位	MSECTION	
27	M調査	MSURVEY	
28	M単位	MUNIT	
29	M軍艦	MWARSHIP	
30	M軍艦地点	MWSPOINT	
31	報告書	REPORT	モニタリングポストデータ保存のため オリジナルのDBからの変更あり
32	分析	TANALYSIS	
33	連続測定	TCMEASURE	モニタリングポストデータ保存のため オリジナルのDBからの変更あり
34	非連続測定	TNMEASURE	
35	環境試料	TSAMPLE	
36	モニタリングポスト測定地点	T_MonitoringPost_Point	

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	線量係数マスタ		
物理テーブル名	DB_MAIN_MDOSE_COEFFICIENT		
備考	実効線量の計算に使用する		

コラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	核種コード	ELEMENTCD	char (3)	Yes (PK)		
2	サブコード	SUBCD	char (3)	Yes (PK)		
3	核種名	NAME	varchar (16)			
4	線量係数	DOSE_COEFFICIENT	float (53)			単位 : mSv/Bq
5	自然核種フラグ	NATURALFG	char (1)			1 : 自然核種 0 : 人工核種
6	計算フラグ	CALCFG	char (1)			1 : 実効線量係数計算対象 0 : 計算対象外
7	備考	REMARK	varchar (240)			

インデックス情報

No.	インデックス名	コラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	MDOSE_COEFFICIENT_PK	ELEMENTCD, SUBCD	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	MDOSE_COEFFICIENT_PK	PRIMARY KEY	ELEMENTCD, SUBCD

外部キー情報

No.	外部キー名	コラムリスト	参照先テーブル名	参照先コラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	コラムリスト	参照元テーブル名	参照元コラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	核種マスタ		
物理テーブル名	DB_MAIN_MELEMENT		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	コード	CODE	char (3)	Yes (PK)		
2	名称	NAME	varchar (16)			
3	食品フラグ	FOOD_FLG	char (1)			
4	カナ名	KNAME	varchar (20)			
5	FOOD_DAILY_INTAKE_FLG	FOOD_DAILY_INTAKE_FLG	char (1)			
6	英語名	ENAME	varchar (25)			サイト英語化時に追加

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	MELEMENT_PK	CODE	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	MELEMENT_PK	PRIMARY KEY	CODE

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	食品マスタ		
物理テーブル名	DB_MAIN_MFOOD		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	コード	CODE	char (7)	Yes (PK)		
2	食品試料大分類コード	FOODCD_L	char (3)			
3	食品試料中分類コード	FOODCD_M	char (3)			
4	名称	NAME	varchar (40)			
5	略称	SNAME	varchar (14)			
6	登録日	INS_DATE	datetime2			
7	更新日	UPD_DATE	datetime2			
8	英語名	ENAME	varchar (25)			サイト英語化時に追加

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	DB_MAIN_MFOOD_PK	CODE	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	DB_MAIN_MFOOD_PK	PRIMARY KEY	CODE

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	食品コード変換マスタ		
物理テーブル名	DB_MAIN_MFOOD_CONVERT		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	変換前コード	PRECODE	char (7)	Yes (PK)		
2	変換後コード	NEWCODE	char (7)	Yes		
3	登録日	INS_DATE	datetime2			
4	更新日	UPD_DATE	datetime2			

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	DB_MAIN_MFOOD_CONVE RT_PK	PRECODE	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	DB_MAIN_MFOOD_CONVE RT_PK	PRIMARY KEY	PRECODE

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	食品単位変換マスタ		
物理テーブル名	DB_MAIN_MFOOD_CONVERT_UNIT		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	変換前単位コード	PRECODE	char (8)	Yes (PK)		単位変換前の単位コード
2	変換前単位名称	PRENAME	varchar (15)			
3	変換後単位コード	NEWCODE	char (8)	Yes		単位変換を行う単位コード
4	変換後単位名称	NEWNAME	varchar (15)			
5	換算係数率	CONVERT_RATE	numeric (10, 5)			放射能濃度を変換する際に、乗算する係数率
6	登録日	INS_DATE	datetime2			
7	更新日	UPD_DATE	datetime2			

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	DB_MAIN_MFOOD_CONVERT_UNIT_PK	PRECODE	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	DB_MAIN_MFOOD_CONVERT_UNIT_PK	PRIMARY KEY	PRECODE

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	食品群小分類マスタ		
物理テーブル名	DB_MAIN_MFOOD_INTAKE		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	食品群コード	FOODGRPCD	char (3)	Yes (PK)		
2	食品群大分類コード	FOODGRPCD L	char (3)			
3	食品群中分類コード	FOODGRPCD M	char (3)			
4	名称	NAME	varchar (40)			
5	略称	SNAME	varchar (40)			
6	摂取量	FOOD_INTAKE	float (53)			
7	預託実効線量	COMMITTED_EFFECTIVE DOSE	float (53)			
8	対象食品数	FOODCNT	float (53)			
9	登録日	INS_DATE	datetime2			
10	更新日	UPD_DATE	datetime2			

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	DB_MAIN_MFOOD_INTAKE PK	FOODGRPCD	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	DB_MAIN_MFOOD_INTAKE PK	PRIMARY KEY	FOODGRPCD

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	食品試料大分類マスタ		
物理テーブル名	DB_MAIN_MFOOD_LARGE		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	コード	CODE	char (3)	Yes (PK)		
2	名称	NAME	varchar (40)			
3	デフォルト核種コード	DEF_ELEMENTCD	char (3)			

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	DB_MAIN_MFOOD_LARGE_PK	CODE	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	DB_MAIN_MFOOD_LARGE_PK	PRIMARY KEY	CODE

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	食品試料中分類マスタ		
物理テーブル名	DB_MAIN_MFOOD_MIDDLE		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	コード	CODE	char (3)	Yes (PK)		
2	食品試料大分類コード	FOODCD_L	char (3)	Yes (PK)		
3	名称	NAME	varchar (40)			

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	DB_MAIN_MFOOD_MIDDLE PK	CODE, FOODCD_L	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	DB_MAIN_MFOOD_MIDDLE PK	PRIMARY KEY	CODE, FOODCD_L

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	食品群別食品コードマスタ		
物理テーブル名	DB_MAIN_MFOODGRP		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	食品コード	FOODCD	char (7)	Yes (PK)		食品マスタと同じ
2	食品名称	FOODNAME	varchar (40)			食品マスタと同じ
3	食品群コード	FOODGRPCD	char (3)			食品群別摂取量マスタ
4	食品カテゴリコード	FOODCATCD	char (3)			食品カテゴリ別摂取量マスタ

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	DB_MAIN_MFOODGRP_PK	FOODCD	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	DB_MAIN_MFOODGRP_PK	PRIMARY KEY	FOODCD

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	都道府県マスタ		
物理テーブル名	DB_MAIN_MPREFECTURE		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	コード	CODE	char (2)	Yes (PK)		
2	名称	NAME	varchar (8)			
3	名称 (軍艦用)	WSNAME	varchar (20)			
4	地域コード	STATECODE	numeric (2, 0)			
5	地域名称	STATENAME	varchar (20)			
6	対象調査種別コード2	KINDCODE2	char (1)			
7	対象調査種別コード3	KINDCODE3	char (1)			
8	食品用地域コード	FOOD_STATECODE	numeric (2, 0)			
9	食品用地域名称	FOOD_STATENAME	varchar (20)			
10	英語名	ENAME	varchar (10)			サイト英語化時に追加
11	食品用地域名称 (英語)	EFOOD_STATENAME	varchar (40)			サイト英語化時に追加

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	DB_MAIN_MPREFECTURE PK	CODE	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	DB_MAIN_MPREFECTURE PK	PRIMARY KEY	CODE

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	入港情報		
物理テーブル名	INPORT		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	報告書番号	REPORTCD	varchar (6)	Yes (PK)		
2	入港名	INPORTNAME	varchar (50)	Yes		
3	軍艦コード	WSCD	varchar (4)	Yes		
4	入港日	ENTERDATE	varchar (10)	Yes		
5	出港日	EXITDATE	varchar (10)	Yes		
6	ROW作成日時	ROW CRE DT	datetime2			
7	ROW更新日時	ROW UPD DT	datetime2			
8	ROW更新ユーザID	ROW UPD USER ID	varchar (50)			
9	ROW_VER	ROW_VER	numeric (8, 0)	Yes	0	
10	英語名	ENAME	varchar (100)			サイト英語化時に追加

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_INPORT	REPORTCD	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_INPORT	PRIMARY KEY	REPORTCD

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	M公開用地点名変換表		
物理テーブル名	MCHANGEPOINT		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	地点コード	POINTCD	varchar (9)	Yes (PK)		
2	変換地点名	CHANGEPOINTNAME	varchar (30)	Yes		
3	ROW作成日時	ROW CRE DT	datetime2			
4	ROW更新日時	ROW UPD DT	datetime2			
5	ROW更新ユーザID	ROW UPD USER ID	varchar (50)			
6	ROW VER	ROW VER	numeric (8, 0)	Yes	0	
7	英語名	ENAME	varchar (100)			サイト英語化時に追加

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_MCHANGEPOINT	POINTCD	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_MCHANGEPOINT	PRIMARY KEY	POINTCD

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	M化学分離法		
物理テーブル名	MCHEMSEPAR		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	化学分離法コード	CHEMSEPARCD	varchar (2)	Yes (PK)		
2	化学分離法名	CHEMSEPARNAME	varchar (40)	Yes		
3	カナ名	KNAME	varchar (50)			
4	英語名	ENAME	varchar (80)			
5	略名	SNAME	varchar (30)			
6	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	datetime2			
7	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	datetime2			
8	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	varchar (50)			
9	ROW_VER	ROW_VER	numeric (8, 0)	Yes	0	

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_MCHEMSEPAR	CHEMSEPARCD	Yes	Yes	
2	MCHEMSEPAR_NK	CHEMSEPARNAME		Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_MCHEMSEPAR	PRIMARY KEY	CHEMSEPARCD

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	M核種		
物理テーブル名	MELEMENT		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	核種コード	ELEMENTCD	varchar (3)	Yes (PK)		
2	核種名	ELEMENTNAME	varchar (16)	Yes		
3	カナ名	KNAME	varchar (20)			
4	英語名	ENAME	varchar (25)			
5	略名	SNAME	varchar (16)			
6	元素記号	ELEMENTSYMBOL	varchar (2)			
7	元素番号	ATOMICNUMBER	numeric (10, 0)			
8	質量番号	MASSNUMBER	numeric (10, 0)			
9	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	datetime2			
10	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	datetime2			
11	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	varchar (50)			
12	ROW VER	ROW_VER	numeric (8, 0)	Yes	0	

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_MELEMENT	ELEMENTCD	Yes	Yes	
2	MELEMENT_NK	ELEMENTNAME		Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_MELEMENT	PRIMARY KEY	ELEMENTCD

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	M食品		
物理テーブル名	MFOOD		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	食品コード	FOODCD	varchar (7)	Yes (PK)		
2	食品名	FOODNAME	varchar (40)	Yes		
3	カナ名	KNAME	varchar (30)			
4	英語名	ENAME	varchar (70)			
5	略名	SNAME	varchar (30)			
6	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	datetime2			
7	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	datetime2			
8	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	varchar (50)			
9	ROW_VER	ROW_VER	numeric (8, 0)	Yes	0	

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_MFOOD	FOODCD	Yes	Yes	
2	MFOOD_NK	FOODNAME		Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_MFOOD	PRIMARY KEY	FOODCD

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	M計測器		
物理テーブル名	MINSTRUMENT		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	計測器コード	INSTRUMENTCD	varchar (3)	Yes (PK)		
2	計測器名	INSTRUMENTNAME	varchar (50)	Yes		
3	カナ名	KNAME	varchar (50)			
4	英語名	ENAME	varchar (80)			
5	略名	SNAME	varchar (30)			
6	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	datetime2			
7	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	datetime2			
8	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	varchar (50)			
9	ROW_VER	ROW_VER	numeric (8, 0)	Yes	0	

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_MINSTRUMENT	INSTRUMENTCD	Yes	Yes	
2	MINSTRUMENT_NK	INSTRUMENTNAME		Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_MINSTRUMENT	PRIMARY KEY	INSTRUMENTCD

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	M機関		
物理テーブル名	MLABORATORY		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	機関コード	LABCD	varchar (4)	Yes (PK)		
2	機関名	LABNAME	varchar (60)	Yes		
3	カナ名	KNAME	varchar (50)			
4	英語名	ENAME	varchar (100)			
5	略名	SNAME	varchar (30)			
6	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	datetime2			
7	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	datetime2			
8	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	varchar (50)			
9	ROW_VER	ROW_VER	numeric (8, 0)	Yes	0	

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_MLABORATORY	LABCD	Yes	Yes	
2	MLABORATORY_NK	LABNAME		Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_MLABORATORY	PRIMARY KEY	LABCD

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	M生物		
物理テーブル名	MLIFE		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	生物コード	LIFECD	varchar (12)	Yes (PK)		
2	生物名	LIFENAME	varchar (50)	Yes		
3	カナ名	KNAME	varchar (25)			
4	英語名	ENAME	varchar (50)			
5	略名	SNAME	varchar (20)			
6	学術名	GNAME	varchar (60)			
7	出典	BOOK	varchar (50)			
8	俗名	ZNAME	varchar (50)			
9	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	datetime2			
10	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	datetime2			
11	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	varchar (50)			
12	ROW VER	ROW_VER	numeric (8, 0)	Yes	0	

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_MLIFE	LIFECD	Yes	Yes	
2	MLIFE_NK	LIFENAME		Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_MLIFE	PRIMARY KEY	LIFECD

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	M地点		
物理テーブル名	MPOINT		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	地点コード	POINTCD	varchar (9)	Yes (PK)		
2	地点名	POINTNAME	varchar (50)	Yes		
3	カナ名	KNAME	varchar (60)			
4	英語名	ENAME	varchar (100)			
5	略名	SNAME	varchar (40)			
6	都道府県コード	PREFCD	varchar (2)	Yes		
7	ROW作成日時	ROW CRE_DT	datetime2			
8	ROW更新日時	ROW UPD_DT	datetime2			
9	ROW更新ユーザID	ROW UPD_USER_ID	varchar (50)			
10	ROW VER	ROW VER	numeric (8, 0)	Yes	0	

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_MPOINT	POINTCD	Yes	Yes	
2	MPOINT_IX1	PREFCD, POINTCD			
3	MPOINT_NK	POINTNAME			

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_MPOINT	PRIMARY KEY	POINTCD

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	M都道府県		
物理テーブル名	MPREFECTURE		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	都道府県コード	PREFCD	varchar (2)	Yes (PK)		
2	都道府県名	PREFNAME	varchar (8)	Yes		
3	カナ名	KNAME	varchar (10)			
4	英語名	ENAME	varchar (10)			
5	略名	SNAME	varchar (8)			
6	ROW作成日時	ROW CRE DT	datetime2			
7	ROW更新日時	ROW UPD DT	datetime2			
8	ROW更新ユーザID	ROW UPD USER ID	varchar (50)			
9	ROW VER	ROW VER	numeric (8, 0)	Yes	0	

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_MPREFECTURE	PREFCD	Yes	Yes	
2	MPREFECTURE_NK	PREFNAME		Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_MPREFECTURE	PRIMARY KEY	PREFCD

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	M前処理法		
物理テーブル名	MPRETREATMENT		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	前処理法コード	PRETREATCD	varchar (2)	Yes (PK)		
2	前処理法名	PRETREATNAME	varchar (20)	Yes		
3	カナ名	KNAME	varchar (20)			
4	英語名	ENAME	varchar (40)			
5	略名	SNAME	varchar (16)			
6	ROW作成日時	ROW CRE DT	datetime2			
7	ROW更新日時	ROW UPD DT	datetime2			
8	ROW更新ユーザID	ROW UPD USER ID	varchar (50)			
9	ROW VER	ROW VER	numeric (8, 0)	Yes	0	

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_MPRETREATMENT	PRETREATCD	Yes	Yes	
2	MPRETREATMENT_NK	PRETREATNAME		Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_MPRETREATMENT	PRIMARY KEY	PRETREATCD

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	M試料		
物理テーブル名	MSAMPLE		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	試料コード	SAMPLECD	varchar (4)	Yes (PK)		
2	試料名	SAMPLENAME	varchar (26)	Yes		
3	カナ名	KNAME	varchar (20)			
4	英語名	ENAME	varchar (50)			
5	略名	SNAME	varchar (20)			
6	試料種別コード	SAMPLETYPECD	varchar (2)	Yes		
7	ROW作成日時	ROW CRE DT	datetime2			
8	ROW更新日時	ROW UPD DT	datetime2			
9	ROW更新ユーザID	ROW UPD_USER_ID	varchar (50)			
10	ROW VER	ROW VER	numeric (8, 0)	Yes	0	

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_MSAMPLE	SAMPLECD	Yes	Yes	
2	MSAMPLE_NK	SAMPLENAME		Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_MSAMPLE	PRIMARY KEY	SAMPLECD

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	M試料テーブル系列		
物理テーブル名	MSAMPLESERIES		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	テーブル系列	TABLESERIES	varchar (1)	Yes (PK)		
2	試料種別コード	SAMPLETYPECD	varchar (2)	Yes (PK)		
3	ROW作成日時	ROW CRE DT	datetime2			
4	ROW更新日時	ROW UPD DT	datetime2			
5	ROW更新ユーザID	ROW UPD USER ID	varchar (50)			
6	ROW_VER	ROW_VER	numeric (8, 0)	Yes	0	

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_MSAMPLESERIES	TABLESERIES, SAMPLETYPECD	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_MSAMPLESERIES	PRIMARY KEY	TABLESERIES, SAMPLETYPECD

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	M試料種別		
物理テーブル名	MSAMPLETYPE		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	試料種別コード	SAMPLETYPECD	varchar (2)	Yes (PK)		
2	試料種別名	SAMPLETYPENAME	varchar (26)	Yes		
3	カナ名	KNAME	varchar (20)			
4	英語名	ENAME	varchar (30)			
5	略名	SNAME	varchar (20)			
6	ROW作成日時	ROW CRE DT	datetime2			
7	ROW更新日時	ROW UPD DT	datetime2			
8	ROW更新ユーザID	ROW UPD USER ID	varchar (50)			
9	ROW VER	ROW VER	numeric (8, 0)	Yes	0	

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_MSAMPLETYPE	SAMPLETYPECD	Yes	Yes	
2	MSAMPLETYPE_NK	SAMPLETYPENAME		Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_MSAMPLETYPE	PRIMARY KEY	SAMPLETYPECD

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	M採取法		
物理テーブル名	MSAMPLING		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	採取法コード	SAMPLINGCD	varchar (3)	Yes (PK)		
2	採取法名	SAMPLINGNAME	varchar (40)	Yes		
3	カナ名	KNAME	varchar (30)			
4	英語名	ENAME	varchar (50)			
5	略名	SNAME	varchar (30)			
6	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	datetime2			
7	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	datetime2			
8	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	varchar (50)			
9	ROW_VER	ROW_VER	numeric (8, 0)	Yes	0	

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_MSAMPLING	SAMPLINGCD	Yes	Yes	
2	MSAMPLING_NK	SAMPLINGNAME		Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_MSAMPLING	PRIMARY KEY	SAMPLINGCD

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	M部位		
物理テーブル名	MSECTION		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	部位コード	SECTIONCD	varchar (2)	Yes (PK)		
2	部位名	SECTIONNAME	varchar (20)	Yes		
3	カナ名	KNAME	varchar (15)			
4	英語名	ENAME	varchar (50)			
5	略名	SNAME	varchar (10)			
6	ROW作成日時	ROW CRE_DT	datetime2			
7	ROW更新日時	ROW UPD_DT	datetime2			
8	ROW更新ユーザID	ROW UPD_USER_ID	varchar (50)			
9	ROW VER	ROW_VER	numeric (8, 0)	Yes	0	

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_MSECTION	SECTIONCD	Yes	Yes	
2	MSECTION_NK	SECTIONNAME		Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_MSECTION	PRIMARY KEY	SECTIONCD

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	M調査		
物理テーブル名	MSURVEY		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	調査コード	SURVEYCD	varchar (2)	Yes (PK)		
2	調査名	SURVEYNAME	varchar (40)	Yes		
3	カナ名	KNAME	varchar (40)			
4	英語名	ENAME	varchar (120)			
5	略名	SNAME	varchar (20)			
6	軍艦フラグ	WARSHIPFLG	varchar (1)	Yes	'0'	
7	DB登録対象外フラグ	DBIGNOREFLG	varchar (1)	Yes	'0'	
8	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	datetime2			
9	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	datetime2			
10	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	varchar (50)			
11	ROW_VER	ROW_VER	numeric (8, 0)	Yes	0	

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_MSURVEY	SURVEYCD	Yes	Yes	
2	MSURVEY_NK	SURVEYNAME		Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_MSURVEY	PRIMARY KEY	SURVEYCD

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	M単位		
物理テーブル名	MUNIT		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	単位コード	UNITCD	varchar (8)	Yes (PK)		
2	単位名	UNITNAME	varchar (15)	Yes		
3	カナ名	KNAME	varchar (30)			
4	英語名	ENAME	varchar (20)			
5	略名	SNAME	varchar (15)			
6	単位系列コード	UNITSERIESCD	varchar (4)	Yes		
7	備考	REMARK	varchar (255)			
8	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	datetime2			
9	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	datetime2			
10	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	varchar (50)			
11	ROW_VER	ROW_VER	numeric (8, 0)	Yes	0	

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_MUNIT	UNITCD	Yes	Yes	
2	MUNIT_IX1	UNITSERIESCD, UNITCD			
3	MUNIT_NK	UNITNAME		Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_MUNIT	PRIMARY KEY	UNITCD

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	M軍艦		
物理テーブル名	MWARSHIP		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	軍艦コード	WSCD	varchar (4)	Yes (PK)		
2	軍艦名	WSNAME	varchar (60)	Yes		
3	カナ名	KNAME	varchar (30)			
4	英語名	ENAME	varchar (40)			
5	記号番号	SIGNNO	varchar (10)			
6	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	datetime2			
7	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	datetime2			
8	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	varchar (50)			
9	ROW_VER	ROW_VER	numeric (8, 0)	Yes	0	

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_MWARSHIP	WSCD	Yes	Yes	
2	MWARSHIP_NK	WSNAME		Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_MWARSHIP	PRIMARY KEY	WSCD

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	M軍艦地点		
物理テーブル名	MWSPPOINT		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	軍艦地点コード	WSPPOINTCD	varchar (4)	Yes (PK)		
2	軍艦地点名	WSPPOINTNAME	varchar (50)	Yes		
3	カナ名	KNAME	varchar (50)			
4	英語名	ENAME	varchar (50)			
5	略名	SNAME	varchar (16)			
6	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	datetime2			
7	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	datetime2			
8	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	varchar (50)			
9	ROW_VER	ROW_VER	numeric (8, 0)	Yes	0	

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_MWSPPOINT	WSPPOINTCD	Yes	Yes	
2	MWSPPOINT_NK	WSPPOINTNAME		Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_MWSPPOINT	PRIMARY KEY	WSPPOINTCD

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	報告書		
物理テーブル名	REPORT		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	報告書番号	REPORTCD	varchar (9)	Yes (PK)		モニタリングポストデータ保存のため オリジナルのDBから下記を変更 ・主キー制約を削除 ・データ型をvarchar (6)から変更
2	報告書名	REPORTNAME	varchar (255)	Yes		
3	英語名	ENAME	varchar (255)			
4	調査コード	SURVEYCD	varchar (2)	Yes		
5	調査開始日	SURVEYSDATE	varchar (10)	Yes		
6	調査終了日	SURVEYEDATE	varchar (10)	Yes		
7	調査年度	SURVEYYEAR	numeric (4, 0)	Yes		
8	発行機関コード	REPLABCD	varchar (4)	Yes		
9	発行都道府県コード	REPPREFCD	varchar (2)			
10	発行日	PUBDATE	varchar (10)			
11	受付日	RECEPTDATE	varchar (10)			
12	VOL	VOL	numeric (10, 0)			
13	報告書備考	REPREMARK	varchar (255)			
14	管理ユーザID	MAN_USER_ID	varchar (50)			
15	機関担当者情報	LAB_CONTACT_INFO	nvarchar (max)			
16	初期採取都道府県 コード	INISAMPLEPREFCD	varchar (2)			
17	初期採取機関コード	INISAMLABCD	varchar (4)			
18	初期分析機関コード	INIANALABCD	varchar (4)			
19	初期測定都道府県 コード	INIMEASUREPREFCD	varchar (2)			
20	初期測定機関コード	INIMEASURELABCD	varchar (4)			
21	削除フラグ	DELETEFLG	varchar (1)	Yes	0	0:通常, 1:削除
22	取込状態	IMP_STATUS	varchar (1)	Yes	0	
23	取込日時	IMP_DT	datetime2			
24	取込ユーザID	IMP_USER_ID	varchar (50)			
25	標準化状態	STDN_STATUS	varchar (1)	Yes	0	0:未実行, 1:成功, 2:エラー, 9:対象外
26	標準化日時	STDN_DT	datetime2			
27	標準化ユーザID	STDN_USER_ID	varchar (50)			
28	公開DL状態	PUB_DL_STATUS	varchar (1)	Yes	0	
29	公開DL日時	PUB_DL_DT	datetime2			
30	公開DLユーザID	PUB_DL_USER_ID	varchar (50)			
31	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	datetime2			
32	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	datetime2			
33	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	varchar (50)			
34	ROW_VER	ROW_VER	numeric (8, 0)	Yes	0	

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_REPORT	REPORTCD	Yes	Yes	モニタリングポストデータ保存のため オリジナルのDBから下記を変更 ・主キー制約を削除
2	REPORT_IX1	SURVEYYEAR, SURVEYSDATE, REPORTCD, DELETEFLG			

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義	備考
1	PK_REPORT	PRIMARY KEY	REPORTCD	モニタリングポストデータ保存のため オリジナルのDBから下記を変更 ・主キー制約を削除

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	分析		
物理テーブル名	TANALYSIS		
備考 検索条件の試料(大分類)で「大気浮遊じん・大気」、「降水物」、「降水」、「陸水」、「土壌」、「堆積物」、「農林産物」、「牛乳」、「海水」、「水産物」、「食品」、「日常食」、「特定製品等」を選択した場合に検索されるデータが保存されたテーブル。検索時にはTSAMPLE(標準試料)と関連付けて出力される。			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	分析番号	ANALYSISNO	numeric(9, 0)	Yes (PK)		
2	試料番号	SAMPLENO	numeric(9, 0)	Yes		
3	分析明細番号	ANALYSISDTLNO	numeric(5, 0)	Yes		
4	分析機関コード	ANALABCD	varchar(4)			
5	Ca濃度	CALCIUM	float(53)			
6	Ca濃度単位	CALCIUMUT	varchar(8)			
7	K濃度	POTASSIUM	float(53)			
8	K濃度単位	POTASSIUMUT	varchar(8)			
9	前処理量	PRETREATVOL	float(53)			
10	前処理量単位	PRETREATVOLUT	varchar(8)			
11	分析供試量	MEASUREWEIGHT	float(53)			
12	分析供試量単位	MEASUREWEIGHTUT	varchar(8)			
13	前処理法コード	PRETREATCD	varchar(2)			
14	化学分離法コード	CHEMSEPARCD	varchar(2)			
15	計測器コード	INSTRUMENTCD	varchar(3)			
16	測定開始日	MEASURESDATE	varchar(10)			
17	測定開始時刻	MEASURESTIME	varchar(8)			
18	測定終了日	MEASUREEDATE	varchar(10)			
19	測定終了時刻	MEASUREETIME	varchar(8)			
20	測定迄の時間	UNTILMEASURE	float(53)			
21	測定迄の時間単位	UNTILMEASUREUT	varchar(8)			
22	測定時間	MEASURETIMES	float(53)			
23	測定時間単位	MEASURETIMESUT	varchar(8)			
24	核種コード	ELEMENTCD	varchar(3)			
25	記載報告値	REACTIVITYTEXT	varchar(30)			
26	記載報告値単位	REACTIVITYUTTEXT	varchar(16)			
27	公開報告値	REACTIVITY	float(53)			
28	公開報告値誤差	REACTIVITYERR	float(53)			
29	公開報告値単位	REACTIVITYUT	varchar(8)			
30	NDフラグ	NDFG	varchar(1)	Yes	'0'	0:通常,1:ND
31	非公開フラグ	PRIVATEFLG	varchar(1)	Yes	'0'	0:公開,1:非公開
32	分析備考	ANAREMARK	varchar(255)			
33	ROW作成日時	ROW CRE DT	datetime2			
34	ROW更新日時	ROW UPD DT	datetime2			
35	ROW更新ユーザID	ROW UPD USER ID	varchar(50)			
36	ROW VER	ROW VER	numeric(8, 0)	Yes	0	

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_TANALYSIS	ANALYSISNO	Yes	Yes	
2	TANALYSIS_IX1	SAMPLENO, ANALABCD, ELEMENTCD, REACTIVITYUT, ANALYSISNO, ANALYSISDTLNO, REACTIVITY, REACTIVITYERR			
3	TANALYSIS_NK	SAMPLENO, ANALYSISDTLNO, ANALYSISNO			

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_TANALYSIS	PRIMARY KEY	ANALYSISNO

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	連続測定		
物理テーブル名	TCMEASURE		
備考 検索条件の試料(大分類)で「大気浮遊じん・大気(連続測定)」または「モニタリングポスト」を選択した場合に検索されるデータが保存されたテーブル。			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	測定番号	MEASURENO	numeric(9, 0)	Yes (PK)		
2	報告書番号	REPORTCD	varchar(9)	Yes		モニタリングポストデータ保存のためオリジナルのDBから下記を変更 ・データ型をvarchar(6)から変更
3	表データSEQ	SHEETSEQ	numeric(10, 0)	Yes		
4	行番号	LINENO	numeric(8, 0)	Yes		
5	標準化状態	STDN STATUS	varchar(1)	Yes	'0'	0:未実行, 1:成功, 2:エラー, 9:対象外
6	標準化エラーJSON	STDN ERROR JSON	nvarchar(max)			
7	基準日	BASEDATE	datetime2			
8	測定機関コード	MEASURELABCD	varchar(4)			
9	試料種別コード	SAMPLETYPECD	varchar(2)			
10	記載試料名	LCSAMPLENAME	varchar(60)			記載の試料名(小分類)
11	試料コード	SAMPLECD	varchar(4)			
12	測定都道府県コード	MEASUREPREFCD	varchar(2)			
13	記載測定地点名	LCMEASUREPOINTNAM	varchar(100)			
14	測定地点コード	MEASUREPOINTCD	varchar(9)			
15	地点振込年度	POINTSETYEAR	numeric(4, 0)			
16	緯度(世界測地系)	SLATITUDE	nvarchar(20)			
17	経度(世界測地系)	SLONGITUDE	nvarchar(20)			
18	緯度(日本測地系)	LATITUDE	nvarchar(20)			
19	経度(日本測地系)	LONGITUDE	nvarchar(20)			
20	計測器コード	INSTRUMENTCD	varchar(3)			
21	宇宙線含除	COSMICRAYFG	varchar(1)	Yes	'0'	0:なし, 1:含む
22	高さ	HEIGHT	float(53)			
23	高さ単位	HEIGHTUT	varchar(8)			
24	核種コード	ELEMENTCD	varchar(3)			
25	集計単位コード	SUMUNITCD	varchar(2)			
26	測定開始日	MEASURESDATE	varchar(10)			
27	測定開始時刻	MEASURESTIME	varchar(8)			
28	測定終了日	MEASUREEDATE	varchar(10)			
29	測定終了時刻	MEASUREETIME	varchar(8)			
30	測定年度	MEASUREYEAR	numeric(4, 0)			
31	測定四半期	MEASUREQUARTER	numeric(1, 0)			
32	測定年	MEASUREPYEAR	numeric(4, 0)			
33	測定月	MEASUREMONTH	numeric(2, 0)			1-12
34	測定期間	MEASURELENGTH	numeric(9, 0)			
35	測定期間単位	MEASURELENGTHUT	varchar(8)			
36	天気コード	WEATHERCD	varchar(5)			
37	欠測フラグ	MEASUREFG	varchar(1)	Yes	'0'	
38	記載報告値最大	REACTIVITYMAXTEX	varchar(30)			
39	記載報告値最小	REACTIVITYMINTEX	varchar(30)			
40	記載報告値平均	REACTIVITYAVGTTEX	varchar(30)			
41	記載報告値単位	REACTIVITYUTTEXT	varchar(16)			
42	公開報告値最大	REACTIVITYMAX	float(53)			
43	公開報告値最小	REACTIVITYMIN	float(53)			
44	公開報告値平均	REACTIVITYAVG	float(53)			
45	公開報告値単位	REACTIVITYUT	varchar(8)			
46	非公開フラグ	PRIVATEFLG	varchar(1)	Yes	'0'	0:公開, 1:非公開
47	測定備考	MEAREMARK	varchar(255)			
48	ROW作成日時	ROW CRE DT	datetime2			
49	ROW更新日時	ROW UPD DT	datetime2			
50	ROW更新ユーザID	ROW UPD USER ID	varchar(50)			
51	ROW VER	ROW VER	numeric(8, 0)	Yes	0	

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_TCMEASURE	MEASURENO	Yes	Yes	
2	TCMEASURE_IX1	REPORTCD, SHEETSEQ, LINENO, BASEDATE			
3	TCMEASURE_IX2	BASEDATE, REPORTCD, SHEETSEQ, LINENO			
4	TCMEASURE_IX3	STDN_STATUS, SAMPLECD, MEASUREPREFCD, MEASURELABCD, ELEMENTCD, REACTIVITYUT, BASEDATE, MEASUREPOINTCD, MEASURENO, REPORTCD, SHEETSEQ, LINENO, REACTIVITYMAX, REACTIVITYMIN, REACTIVITYAVG			
5	TCMEASURE_IX4	SAMPLETYPECD, LCSAMPLENAME, SAMPLECD, REPORTCD, BASEDATE			
6	TCMEASURE_IX5	MEASURELABCD, SAMPLECD, MEASUREPREFCD, LCMEASUREPOINTNAME, MEASUREPOINTCD, POINTSEYEAR, SLATITUDE, SLONGITUDE, REPORTCD, MEASUREYEAR			
7	TCMEASURE_NK	SHEETSEQ, LINENO			

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_TCMEASURE	PRIMARY KEY	MEASURENO

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	非連続測定		
物理テーブル名	TNMEASURE		
備考 検索条件の試料(大分類)で「積算線量」、「サーベイメータ」、「中性子線量率」を選択した場合に検索されるデータが保存されたテーブル。			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	測定番号	MEASURENO	numeric(9, 0)	Yes (PK)		
2	報告書番号	REPORTCD	varchar(6)	Yes		
3	表データSEQ	SHEETSEQ	numeric(10, 0)	Yes		
4	行番号	LINENO	numeric(8, 0)	Yes		
5	標準化状態	STDN STATUS	varchar(1)	Yes	'0'	0:未実行, 1:成功, 2:エラー, 9:対象外
6	標準化エラーJSON	STDN_ERROR_JSON	nvarchar(max)			
7	基準日	BASEDATE	datetime2			
8	県試料番号	LOCALSAMPLNO	varchar(20)			
9	測定機関コード	MEASURELABCD	varchar(4)			
10	試料種別コード	SAMPLETYPECD	varchar(2)			
11	記載試料名	LCSAMPLNAME	varchar(60)			記載の試料名(小分類)
12	試料コード	SAMPLECD	varchar(4)			
13	測定開始日	MEASURESDATE	varchar(10)			
14	測定開始時刻	MEASURESTIME	varchar(8)			
15	測定終了日	MEASUREEDATE	varchar(10)			
16	測定終了時刻	MEASUREETIME	varchar(8)			
17	測定年度	MEASUREYEAR	numeric(4, 0)			
18	測定四半期	MEASUREQUARTER	numeric(1, 0)			
19	測定年	MEASUREPYEAR	numeric(4, 0)			
20	測定月	MEASUREMONTH	numeric(2, 0)			1-12
21	測定期間	MEASURELENGTH	numeric(9, 0)			
22	測定期間単位	MEASURELENGTHUT	varchar(8)			
23	測定都道府県コード	MEASUREPREFCD	varchar(2)			
24	記載測定地点名	LCMEASUREPOINTNAM	varchar(100)			
25	測定地点コード	MEASUREPOINTCD	varchar(9)			
26	地点振込年度	POINTSETYEAR	numeric(4, 0)			
27	緯度(世界測地系)	SLATITUDE	nvarchar(20)			
28	経度(世界測地系)	SLONGITUDE	nvarchar(20)			
29	緯度(日本測地系)	LATITUDE	nvarchar(20)			
30	経度(日本測地系)	LONGITUDE	nvarchar(20)			
31	重層地点コード	WSPPOINTCD	varchar(4)			
32	測定ポイント番号	MEASUREPOINTNO	numeric(5, 0)			
33	計測器コード	INSTRUMENTCD	varchar(3)			
34	宇宙線含除	COSMICRAYFG	varchar(1)	Yes	'0'	0:なし, 1:含む
35	高さ	HEIGHT	float(53)			
36	高さ単位	HEIGHTUT	varchar(8)			
37	記載報告値最大	REACTIVITYMAXTEXT	varchar(30)			
38	記載報告値最小	REACTIVITYMINTEXT	varchar(30)			
39	記載報告値	REACTIVITYTEXT	varchar(30)			
40	記載報告値単位	REACTIVITYUTTEXT	varchar(16)			
41	公開報告値最大	REACTIVITYMAX	float(53)			
42	公開報告値最小	REACTIVITYMIN	float(53)			
43	公開報告値	REACTIVITY	float(53)			
44	公開報告値誤差	REACTIVITYERR	float(53)			
45	公開報告値単位	REACTIVITYUT	varchar(8)			
46	NDフラグ	NDFG	varchar(1)	Yes	'0'	0:通常, 1:ND
47	非公開フラグ	PRIVATEFLG	varchar(1)	Yes	'0'	0:公開, 1:非公開
48	測定備考	MEAREMARK	varchar(255)			
49	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	datetime2			
50	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	datetime2			
51	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	varchar(50)			
52	ROW VER	ROW_VER	numeric(8, 0)	Yes	0	

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_TNMEASURE	MEASURENO	Yes	Yes	
2	TNMEASURE_IX1	REPORTCD, SHEETSEQ, LINENO, BASEDATE			
3	TNMEASURE_IX2	BASEDATE, REPORTCD, SHEETSEQ, LINENO			
4	TNMEASURE_IX3	STDN_STATUS, SAMPLECD, MEASUREPREFCD, MEASURELABCD, REACTIVITYUT, BASEDATE, MEASUREPOINTCD, MEASURENO, REPORTCD, SHEETSEQ, LINENO, REACTIVITYMAX, REACTIVITYMIN, REACTIVITY, REACTIVITYERR			
5	TNMEASURE_IX4	SAMPLETYPECD, LCSAMPLENAME, SAMPLECD, REPORTCD, BASEDATE			
6	TNMEASURE_IX5	MEASURELABCD, SAMPLECD, MEASUREPREFCD, LCMEASUREPOINTNAME, MEASUREPOINTCD, POINTSETYEAR, SLATITUDE, SLONGITUDE, REPORTCD, MEASUREYEAR			
7	TNMEASURE_NK	SHEETSEQ, LINENO			

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_TNMEASURE	PRIMARY KEY	MEASURENO

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	環境試料		
物理テーブル名	TSAMPLE		
備考 検索条件の試料(大分類)で「大気浮遊じん・大気」、「降水物」、「降水」、「陸水」、「土壌」、「堆積物」、「農林産物」、「牛乳」、「海水」、「水産物」、「食品」、「日常食」、「特定製品等」を選択した場合に検索されるデータが保存されたテーブル。検索時にはTANALYSIS(分析テーブル)と関連付けて出力される。			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	試料番号	SAMPLENO	numeric(9, 0)	Yes (PK)		
2	報告書番号	REPORTCD	varchar(6)	Yes		
3	表データSEQ	SHEETSEQ	numeric(10, 0)	Yes		
4	行番号	LINENO	numeric(8, 0)	Yes		
5	標準化状態	STDN STATUS	varchar(1)	Yes	0	0:未実行,1:成功,2:エラー,9:対象外
6	標準化エラーJSON	STDN ERROR JSON	nvarchar(max)			標準化のエラー内容のJSON形式データ
7	基準日	BASEDATE	datetime2			
8	県試料番号	LOCALSAMPLENO	varchar(20)			
9	採取機関コード	SAMPLABCD	varchar(4)			
10	試料種別コード	SAMPLETYPECD	varchar(2)			
11	記載試料名	LCSAMPLENAME	varchar(60)			記載の試料名(小分類)
12	試料コード	SAMPLECD	varchar(4)			
13	生物コード	LIFECD	varchar(12)			
14	食品コード	FOODCD	varchar(7)			
15	部位コード	SECTIONCD	varchar(2)			
16	採取開始日	SAMPLESDATE	varchar(10)			YYYY/MM/DD
17	採取開始時刻	SAMPLESTIME	varchar(8)			HH:mm:ss
18	採取終了日	SAMPLEEDATE	varchar(10)			YYYY/MM/DD
19	採取終了時刻	SAMPLEETIME	varchar(8)			HH:mm:ss
20	採取年度	SAMPLEYEAR	numeric(4, 0)			
21	採取四半期	SAMPLEQUARTER	numeric(1, 0)			
22	採取年	SAMPLEYEAR	numeric(4, 0)			
23	採取月	SAMPLEMONTH	numeric(2, 0)			1-12
24	採取日数	SAMPLEDAY	numeric(9, 0)			
25	降雨開始日	RAINSDATE	varchar(10)			
26	降雨開始時刻	RAINSTIME	varchar(8)			
27	降雨終了日	RAINEDATE	varchar(10)			
28	降雨終了時刻	RAINE TIME	varchar(8)			
29	採取都道府県コード	SAMPLEPREFCD	varchar(2)			
30	記載採取地点名	LCSAMPLEPOINTNAME	varchar(100)			
31	採取地点コード	SAMPLEPOINTCD	varchar(9)			
32	地点振込年度	POINTSETYEAR	numeric(4, 0)			
33	緯度(世界測地系)	SLATITUDE	nvarchar(20)			
34	経度(世界測地系)	SLONGITUDE	nvarchar(20)			
35	緯度(日本測地系)	LATITUDE	nvarchar(20)			
36	経度(日本測地系)	LONGITUDE	nvarchar(20)			
37	重艦地点コード	WSPPOINTCD	varchar(4)			
38	採取法コード	SAMPLINGCD	varchar(3)			
39	採取面積	SAMPLEAREA	float(53)			
40	採取面積単位	SAMPLEAREAUT	varchar(8)			
41	水深	DEPTHWATER	float(53)			
42	水深単位	DEPTHWATERUT	varchar(8)			
43	採取層1	SAMPLELAYER1	float(53)			
44	採取層2	SAMPLELAYER2	float(53)			
45	採取層単位	SAMPLELAYERUT	varchar(8)			
46	採取層区分	SAMPLELAYERKBN	varchar(1)			
47	採取量1	SAMPLEVOL1	float(53)			
48	採取量1単位	SAMPLEVOL1UT	varchar(8)			
49	採取量2	SAMPLEVOL2	float(53)			
50	採取量2単位	SAMPLEVOL2UT	varchar(8)			
51	換算係数	CONVCOEFF	float(53)			
52	換算係数単位	CONVCOEFFUT	varchar(8)			
53	外観	APEARANCE	varchar(20)			
54	水温	WATERTEMP	float(53)			
55	水温単位	WATERTEMPUT	varchar(8)			
56	塩素	CHLORINITY	float(53)			
57	塩素単位	CHLORINITYUT	varchar(8)			
58	塩分	SALINITY	float(53)			
59	塩分単位	SALINITYUT	varchar(8)			
60	PH	PH	float(53)			
61	生産製造地	PRODUCT	varchar(50)			
62	試料備考	SAMREMARK	varchar(255)			
63	ROW作成日時	ROW CRE DT	datetime2			

64	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	datetime2			
65	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	varchar(50)			
66	ROW VER	ROW_VER	numeric(8, 0)	Yes	0	

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_TSAMPLE	SAMPLENO	Yes	Yes	
2	TSAMPLE_IX1	REPORTCD, SHEETSEQ, LINENO, SAMPLENO, BASEDATE			
3	TSAMPLE_IX2	BASEDATE, REPORTCD, SHEETSEQ, LINENO, SAMPLENO			
4	TSAMPLE_IX3	STDN_STATUS, SAMPLECD, SAMPLEPREFCO, BASEDATE, SAMPLEPOINTCD, SAMPLELAYERKBN, SAMPLENO, REPORTCD, SHEETSEQ, LINENO			
5	TSAMPLE_IX4	SAMPLETYPECD, LCSAMPLENAME, SAMPLECD, LIFECD, FOODCD, SECTIONCD, REPORTCD, BASEDATE			
6	TSAMPLE_IX5	SAMPLABCD, SAMPLECD, SAMPLEPREFCO, LCSAMPLEPOINTNAME, SAMPLEPOINTCD, POINTSEYEAR, SLATITUDE, SLONGITUDE, REPORTCD, SAMPLEYEAR			
7	TSAMPLE_NK	SHEETSEQ, LINENO			

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_TSAMPLE	PRIMARY KEY	SAMPLENO

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

エンティティ情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理エンティティ名	モニタリングポスト測定地点		
物理エンティティ名	T_MonitoringPost_Point		
備考	モニタリングポストデータの検索結果に測定地点名を出力するためのテーブル。 ※DB「SearchConditionList」にある同名テーブルからコピーして作成。		

カラム情報

No	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	測定地点コード	PointCode	char (9)	Y (PK)		ERDBMS. TCMEASURE. MEASUREPOINTCDに対応する9桁の数字。
2	都道府県コード	PrefectureCode	char (2)	Y		01~47。絞り込み用。
3	測定地点名	Name	nvarchar (64)	Y		文字コードはシフトJIS。 ※MPOINTの測定地点名とは別物。 ※サイズは適当。実データに合わせて今後大きくする可能性あり。
4	英語名	ENAME	varchar (150)			サイト英語化時に追加

インデックス情報

No	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_T_MonitoringPost_Point	PointCode	Yes	Yes	クラスタ化インデックス
2	Point_01	PrefectureCode			絞り込み用。

リレーションシップ情報 (FK側)

No	動詞句	カラムリスト	参照先エンティティ名	参照先カラムリスト
----	-----	--------	------------	-----------

リレーションシップ情報 (PK側)

No	動詞句	カラムリスト	参照元エンティティ名	参照元カラムリスト
----	-----	--------	------------	-----------

テーブル一覧

No.	論理テーブル名	物理テーブル名	備考
1	測定データ	T_Data	
2	モニタリングポスト情報	T_Info	

テーブル情報

論理DB名	リアルタイムデータ	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	RealTimeData		
スキーマ名	dbo		
論理エンティティ名	測定データ		
物理エンティティ名	T_Data		
備考 テーブルの初期状態はレコード無し。 CSVファイルからこのテーブルに保存する。 各測定地点の最新データのみ保存するのでWEBではテーブル内のデータを全て表示する。古いデータは保存ソフトが削除する。			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	都道府県コード	PrefectureCode	char (2)	Y (PK)		01~47
2	モニタリングポストコード	MpCode	char (2)	Y (PK)		01~99(実際は2021/2/24時点で11が最大)
3	測定日時	DataTime	datetime	Y		年月日時分まで保存。秒とミリ秒は常に0。
4	線量率	DoseRate	float	Y		単位：nGy/h(GSV内はμGy/hのため変換して保存)

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_T_Data	PrefectureCode, MpCode	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_T_Data	PRIMARY KEY	PrefectureCode, MpCode

テーブル情報

論理DB名	リアルタイムデータ	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	RealTimeData		
スキーマ名	dbo		
論理エンティティ名	モニタリングポスト情報		
物理エンティティ名	T_Info		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	都道府県コード	PrefectureCode	char (2)	Yes (PK)		01~47
2	モニタリングポストコード	MpCode	char (2)	Yes (PK)		01~99(実際は2021/2/24時点で11が最大)
3	名称	Name	nvarchar (64)	Yes		文字コードはシフトJIS ※サイズは適当。実データに合わせて今後大きくする可能性あり。
4	緯度	Latitude	decimal (8, 6)	Yes		10進表記で00.000000の形式。
5	経度	Longitude	decimal (9, 6)	Yes		10進表記で000.000000の形式。
6	高度	Height	decimal (4, 2)	Yes		単位：m
7	測定地点コード	PointCode	char (9)	Yes		ERDBMS. TCMEASURE. MEASUREPOINTCDに対応する9桁の数字。
8	英語名	ENAME	varchar (150)			サイト英語化時に追加

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_T_Info	PrefectureCode, MpCode	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_T_Info	PRIMARY KEY	PrefectureCode, MpCode

テーブル一覧

No.	論理テーブル名	物理テーブル名	備考
1	モニタリングポスト測定地点	T_MonitoringPost_Point	

エンティティ情報

論理DB名	検索条件一覧	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	SearchConditionList		
スキーマ名	dbo		
論理エンティティ名	モニタリングポスト測定地点		
物理エンティティ名	T_MonitoringPost_Point		
備考	「空間放射線量率図」ページの「測定地点」の選択肢の表示に使用する。		

カラム情報

No	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	測定地点コード	PointCode	char (9)	Y (PK)		ERDBMS. TCMEASURE. MEASUREPOINTCDに対応する9桁の数字。
2	都道府県コード	PrefectureCode	char (2)	Y		01~47。絞り込み用。
3	測定地点名	Name	nvarchar (64)	Y		文字コードはシフトJIS。 ※MPOINTの測定地点名とは別物。 ※サイズは適当。実データに合わせて今後大きくする可能性あり。
4	英語名	ENAME	varchar (150)			サイト英語化時に追加

インデックス情報

No	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_T_MonitoringPost_Point	PointCode	Yes	Yes	クラスタ化インデックス
2	Point_01	PrefectureCode			絞り込み用。

リレーションシップ情報 (FK側)

No	動詞句	カラムリスト	参照先エンティティ名	参照先カラムリスト
----	-----	--------	------------	-----------

リレーションシップ情報 (PK側)

No	動詞句	カラムリスト	参照元エンティティ名	参照元カラムリスト
----	-----	--------	------------	-----------

モニタリングポストデータオンライン収集システム

システム設計書	モニタリングポストデータオンライン収集システム	版数	日付	作成者

テーブル一覧

No.	テーブル名	テーブルID	保存期間	初期件数	増加件数／単位	説明
1	MPデータテーブル	MPDT				
2	MPデータ修正用テーブル	MPUP				
3	MPデータ状態テーブル	MPST				
4	MPデータエラー情報テーブル	MPER				
5	MPデータその他情報テーブル	MPOT				
6	MPデータメール送信テーブル	MPML				
7	MP情報(地点別)	RADKYK				MPデータメンテナンスシステム
8	MP情報(共通)	RADDEF				MPデータメンテナンスシステム
9	放射線測定データ	RADMPDT				MPデータメンテナンスシステム
10	コード名称データ管理テーブル	ZJCDN				
11	基準値等管理テーブル	ZJKJN				
12	測定項目管理テーブル	ZJKMK				
13	測定MP管理	ZJMP				
14	メッセージ管理テーブル	ZJMSG				
15	フィールド定義	ZZFLDDEF				
16	テーブル管理	ZZTBLMNG				
17	ユーザパスワード	ZZUSRPSW				

システム設計書			モニタリングポストデータオンライン収集システム		テーブル定義		版数	日付	作成者
テーブル名	MPデータテーブル	テーブルID	MPDT						

※修正不可

No.	項目名	項目名(英名)	識別キー	外部参照キー	NOT NULL 属性	型	桁数		説明	備考 (インデックス)
							整数	小数		
1	削除フラグ	DELFLG			N	VARCHAR2	1		0:未削除、1:削除済	
2	行の種類コード	SHUCODE	1		Y	VARCHAR2	2			
3	都道府県コード	PREFCODE	2		Y	VARCHAR2	2			
4	ポストの識別コード	MPCODE	3		Y	VARCHAR2	2			
5	測定終了年月日	SOKDATE	4		Y	VARCHAR2	8		YYYYMMDD	
6	項目コード	KMKCODE	6		Y	VARCHAR2	2		01:線量率(μGy/h)、02:計数率(cps)	
7	測定結果001	DT001			N	NUMBER	5	4	00:10の測定結果	
8	測定結果002	DT002			N	NUMBER	5	4	00:20の測定結果	
9	測定結果003	DT003			N	NUMBER	5	4	00:30の測定結果	
10	測定結果004	DT004			N	NUMBER	5	4	00:40の測定結果	
11	測定結果005	DT005			N	NUMBER	5	4	00:50の測定結果	
12	測定結果006	DT006			N	NUMBER	5	4	01:00の測定結果	
13	測定結果007	DT007			N	NUMBER	5	4	01:10の測定結果	
14	測定結果008	DT008			N	NUMBER	5	4	01:20の測定結果	
15	測定結果009	DT009			N	NUMBER	5	4	01:30の測定結果	
16	測定結果010	DT010			N	NUMBER	5	4	01:40の測定結果	
17	測定結果011	DT011			N	NUMBER	5	4	01:50の測定結果	
18	測定結果012	DT012			N	NUMBER	5	4	02:00の測定結果	
19	測定結果013	DT013			N	NUMBER	5	4	02:10の測定結果	
20	測定結果014	DT014			N	NUMBER	5	4	02:20の測定結果	
21	測定結果015	DT015			N	NUMBER	5	4	02:30の測定結果	
22	測定結果016	DT016			N	NUMBER	5	4	02:40の測定結果	
23	測定結果017	DT017			N	NUMBER	5	4	02:50の測定結果	
24	測定結果018	DT018			N	NUMBER	5	4	03:00の測定結果	
25	測定結果019	DT019			N	NUMBER	5	4	03:10の測定結果	
26	測定結果020	DT020			N	NUMBER	5	4	03:20の測定結果	
27	測定結果021	DT021			N	NUMBER	5	4	03:30の測定結果	
28	測定結果022	DT022			N	NUMBER	5	4	03:40の測定結果	
29	測定結果023	DT023			N	NUMBER	5	4	03:50の測定結果	
30	測定結果024	DT024			N	NUMBER	5	4	04:00の測定結果	
31	測定結果025	DT025			N	NUMBER	5	4	04:10の測定結果	
32	測定結果026	DT026			N	NUMBER	5	4	04:20の測定結果	
33	測定結果027	DT027			N	NUMBER	5	4	04:30の測定結果	
34	測定結果028	DT028			N	NUMBER	5	4	04:40の測定結果	
35	測定結果029	DT029			N	NUMBER	5	4	04:50の測定結果	
36	測定結果030	DT030			N	NUMBER	5	4	05:00の測定結果	
37	測定結果031	DT031			N	NUMBER	5	4	05:10の測定結果	
38	測定結果032	DT032			N	NUMBER	5	4	05:20の測定結果	
39	測定結果033	DT033			N	NUMBER	5	4	05:30の測定結果	
40	測定結果034	DT034			N	NUMBER	5	4	05:40の測定結果	
41	測定結果035	DT035			N	NUMBER	5	4	05:50の測定結果	
42	測定結果036	DT036			N	NUMBER	5	4	06:00の測定結果	
43	測定結果037	DT037			N	NUMBER	5	4	06:10の測定結果	
44	測定結果038	DT038			N	NUMBER	5	4	06:20の測定結果	
45	測定結果039	DT039			N	NUMBER	5	4	06:30の測定結果	
46	測定結果040	DT040			N	NUMBER	5	4	06:40の測定結果	
47	測定結果041	DT041			N	NUMBER	5	4	06:50の測定結果	
48	測定結果042	DT042			N	NUMBER	5	4	07:00の測定結果	
49	測定結果043	DT043			N	NUMBER	5	4	07:10の測定結果	
50	測定結果044	DT044			N	NUMBER	5	4	07:20の測定結果	
51	測定結果045	DT045			N	NUMBER	5	4	07:30の測定結果	
52	測定結果046	DT046			N	NUMBER	5	4	07:40の測定結果	
53	測定結果047	DT047			N	NUMBER	5	4	07:50の測定結果	
54	測定結果048	DT048			N	NUMBER	5	4	08:00の測定結果	
55	測定結果049	DT049			N	NUMBER	5	4	08:10の測定結果	
56	測定結果050	DT050			N	NUMBER	5	4	08:20の測定結果	
57	測定結果051	DT051			N	NUMBER	5	4	08:30の測定結果	
58	測定結果052	DT052			N	NUMBER	5	4	08:40の測定結果	
59	測定結果053	DT053			N	NUMBER	5	4	08:50の測定結果	
60	測定結果054	DT054			N	NUMBER	5	4	09:00の測定結果	
61	測定結果055	DT055			N	NUMBER	5	4	09:10の測定結果	
62	測定結果056	DT056			N	NUMBER	5	4	09:20の測定結果	
63	測定結果057	DT057			N	NUMBER	5	4	09:30の測定結果	
64	測定結果058	DT058			N	NUMBER	5	4	09:40の測定結果	
65	測定結果059	DT059			N	NUMBER	5	4	09:50の測定結果	
66	測定結果060	DT060			N	NUMBER	5	4	10:00の測定結果	
67	測定結果061	DT061			N	NUMBER	5	4	10:10の測定結果	
68	測定結果062	DT062			N	NUMBER	5	4	10:20の測定結果	
69	測定結果063	DT063			N	NUMBER	5	4	10:30の測定結果	
70	測定結果064	DT064			N	NUMBER	5	4	10:40の測定結果	
71	測定結果065	DT065			N	NUMBER	5	4	10:50の測定結果	
72	測定結果066	DT066			N	NUMBER	5	4	11:00の測定結果	
73	測定結果067	DT067			N	NUMBER	5	4	11:10の測定結果	
74	測定結果068	DT068			N	NUMBER	5	4	11:20の測定結果	
75	測定結果069	DT069			N	NUMBER	5	4	11:30の測定結果	
76	測定結果070	DT070			N	NUMBER	5	4	11:40の測定結果	
77	測定結果071	DT071			N	NUMBER	5	4	11:50の測定結果	
78	測定結果072	DT072			N	NUMBER	5	4	12:00の測定結果	
79	測定結果073	DT073			N	NUMBER	5	4	12:10の測定結果	
80	測定結果074	DT074			N	NUMBER	5	4	12:20の測定結果	

システム設計書			モニタリングポストデータオンライン収集システム		テーブル定義		版数	日付	作成者
テーブル名	MPデータテーブル	テーブルID	MPDT						

※修正不可

No.	項目名	項目名(英名)	識別キー	外部参照キー	NOT NULL 属性	型	桁数		説明	備考 (インデックス)
							整数	小数		
81	測定結果075	DT075			N	NUMBER	5	4	12:30の測定結果	
82	測定結果076	DT076			N	NUMBER	5	4	12:40の測定結果	
83	測定結果077	DT077			N	NUMBER	5	4	12:50の測定結果	
84	測定結果078	DT078			N	NUMBER	5	4	13:00の測定結果	
85	測定結果079	DT079			N	NUMBER	5	4	13:10の測定結果	
86	測定結果080	DT080			N	NUMBER	5	4	13:20の測定結果	
87	測定結果081	DT081			N	NUMBER	5	4	13:30の測定結果	
88	測定結果082	DT082			N	NUMBER	5	4	13:40の測定結果	
89	測定結果083	DT083			N	NUMBER	5	4	13:50の測定結果	
90	測定結果084	DT084			N	NUMBER	5	4	14:00の測定結果	
91	測定結果085	DT085			N	NUMBER	5	4	14:10の測定結果	
92	測定結果086	DT086			N	NUMBER	5	4	14:20の測定結果	
93	測定結果087	DT087			N	NUMBER	5	4	14:30の測定結果	
94	測定結果088	DT088			N	NUMBER	5	4	14:40の測定結果	
95	測定結果089	DT089			N	NUMBER	5	4	14:50の測定結果	
96	測定結果090	DT090			N	NUMBER	5	4	15:00の測定結果	
97	測定結果091	DT091			N	NUMBER	5	4	15:10の測定結果	
98	測定結果092	DT092			N	NUMBER	5	4	15:20の測定結果	
99	測定結果093	DT093			N	NUMBER	5	4	15:30の測定結果	
100	測定結果094	DT094			N	NUMBER	5	4	15:40の測定結果	
101	測定結果095	DT095			N	NUMBER	5	4	15:50の測定結果	
102	測定結果096	DT096			N	NUMBER	5	4	16:00の測定結果	
103	測定結果097	DT097			N	NUMBER	5	4	16:10の測定結果	
104	測定結果098	DT098			N	NUMBER	5	4	16:20の測定結果	
105	測定結果099	DT099			N	NUMBER	5	4	16:30の測定結果	
106	測定結果100	DT100			N	NUMBER	5	4	16:40の測定結果	
107	測定結果101	DT101			N	NUMBER	5	4	16:50の測定結果	
108	測定結果102	DT102			N	NUMBER	5	4	17:00の測定結果	
109	測定結果103	DT103			N	NUMBER	5	4	17:10の測定結果	
110	測定結果104	DT104			N	NUMBER	5	4	17:20の測定結果	
111	測定結果105	DT105			N	NUMBER	5	4	17:30の測定結果	
112	測定結果106	DT106			N	NUMBER	5	4	17:40の測定結果	
113	測定結果107	DT107			N	NUMBER	5	4	17:50の測定結果	
114	測定結果108	DT108			N	NUMBER	5	4	18:00の測定結果	
115	測定結果109	DT109			N	NUMBER	5	4	18:10の測定結果	
116	測定結果110	DT110			N	NUMBER	5	4	18:20の測定結果	
117	測定結果111	DT111			N	NUMBER	5	4	18:30の測定結果	
118	測定結果112	DT112			N	NUMBER	5	4	18:40の測定結果	
119	測定結果113	DT113			N	NUMBER	5	4	18:50の測定結果	
120	測定結果114	DT114			N	NUMBER	5	4	19:00の測定結果	
121	測定結果115	DT115			N	NUMBER	5	4	19:10の測定結果	
122	測定結果116	DT116			N	NUMBER	5	4	19:20の測定結果	
123	測定結果117	DT117			N	NUMBER	5	4	19:30の測定結果	
124	測定結果118	DT118			N	NUMBER	5	4	19:40の測定結果	
125	測定結果119	DT119			N	NUMBER	5	4	19:50の測定結果	
126	測定結果120	DT120			N	NUMBER	5	4	20:00の測定結果	
127	測定結果121	DT121			N	NUMBER	5	4	20:10の測定結果	
128	測定結果122	DT122			N	NUMBER	5	4	20:20の測定結果	
129	測定結果123	DT123			N	NUMBER	5	4	20:30の測定結果	
130	測定結果124	DT124			N	NUMBER	5	4	20:40の測定結果	
131	測定結果125	DT125			N	NUMBER	5	4	20:50の測定結果	
132	測定結果126	DT126			N	NUMBER	5	4	21:00の測定結果	
133	測定結果127	DT127			N	NUMBER	5	4	21:10の測定結果	
134	測定結果128	DT128			N	NUMBER	5	4	21:20の測定結果	
135	測定結果129	DT129			N	NUMBER	5	4	21:30の測定結果	
136	測定結果130	DT130			N	NUMBER	5	4	21:40の測定結果	
137	測定結果131	DT131			N	NUMBER	5	4	21:50の測定結果	
138	測定結果132	DT132			N	NUMBER	5	4	22:00の測定結果	
139	測定結果133	DT133			N	NUMBER	5	4	22:10の測定結果	
140	測定結果134	DT134			N	NUMBER	5	4	22:20の測定結果	
141	測定結果135	DT135			N	NUMBER	5	4	22:30の測定結果	
142	測定結果136	DT136			N	NUMBER	5	4	22:40の測定結果	
143	測定結果137	DT137			N	NUMBER	5	4	22:50の測定結果	
144	測定結果138	DT138			N	NUMBER	5	4	23:00の測定結果	
145	測定結果139	DT139			N	NUMBER	5	4	23:10の測定結果	
146	測定結果140	DT140			N	NUMBER	5	4	23:20の測定結果	
147	測定結果141	DT141			N	NUMBER	5	4	23:30の測定結果	
148	測定結果142	DT142			N	NUMBER	5	4	23:40の測定結果	
149	測定結果143	DT143			N	NUMBER	5	4	23:50の測定結果	
150	測定結果144	DT144			N	NUMBER	5	4	24:00の測定結果	
151	登録年月日時分	ATIME			N	VARCHAR2	12			
152	更新年月日時分	UTIME			N	VARCHAR2	12			
153	ユニークキー	DTIME			N	VARCHAR2	12			

システム設計書			モニタリングポストデータオンライン収集システム	テーブル定義	版数	日付	作成者
テーブル名	MPデータ修正用テーブル	テーブルID	MPUP				

※画面で修正する

No.	項目名	項目名(英名)	識別キー	外部参照キー	NOT NULL 属性	型	桁数		説明	備考 (インデックス)
							整数	小数		
1	削除フラグ	DELFLG			N	VARCHAR2	1		0:未削除、1:削除済	
2	行の種類コード	SHUCODE	1		Y	VARCHAR2	2			
3	都道府県コード	PREFCODE	2		Y	VARCHAR2	2			
4	ポストの識別コード	MPCODE	3		Y	VARCHAR2	2			
5	測定終了年月日	SOKDATE	4		Y	VARCHAR2	8		YYYYMMDD	
6	項目コード	KMKCODE	5		Y	VARCHAR2	2		01:線量率(μGy/h)、02:計数率(cps)	
7	測定結果001	DT001			N	NUMBER	5	4	00:10の測定結果	
8	測定結果002	DT002			N	NUMBER	5	4	00:20の測定結果	
9	測定結果003	DT003			N	NUMBER	5	4	00:30の測定結果	
10	測定結果004	DT004			N	NUMBER	5	4	00:40の測定結果	
11	測定結果005	DT005			N	NUMBER	5	4	00:50の測定結果	
12	測定結果006	DT006			N	NUMBER	5	4	01:00の測定結果	
13	測定結果007	DT007			N	NUMBER	5	4	01:10の測定結果	
14	測定結果008	DT008			N	NUMBER	5	4	01:20の測定結果	
15	測定結果009	DT009			N	NUMBER	5	4	01:30の測定結果	
16	測定結果010	DT010			N	NUMBER	5	4	01:40の測定結果	
17	測定結果011	DT011			N	NUMBER	5	4	01:50の測定結果	
18	測定結果012	DT012			N	NUMBER	5	4	02:00の測定結果	
19	測定結果013	DT013			N	NUMBER	5	4	02:10の測定結果	
20	測定結果014	DT014			N	NUMBER	5	4	02:20の測定結果	
21	測定結果015	DT015			N	NUMBER	5	4	02:30の測定結果	
22	測定結果016	DT016			N	NUMBER	5	4	02:40の測定結果	
23	測定結果017	DT017			N	NUMBER	5	4	02:50の測定結果	
24	測定結果018	DT018			N	NUMBER	5	4	03:00の測定結果	
25	測定結果019	DT019			N	NUMBER	5	4	03:10の測定結果	
26	測定結果020	DT020			N	NUMBER	5	4	03:20の測定結果	
27	測定結果021	DT021			N	NUMBER	5	4	03:30の測定結果	
28	測定結果022	DT022			N	NUMBER	5	4	03:40の測定結果	
29	測定結果023	DT023			N	NUMBER	5	4	03:50の測定結果	
30	測定結果024	DT024			N	NUMBER	5	4	04:00の測定結果	
31	測定結果025	DT025			N	NUMBER	5	4	04:10の測定結果	
32	測定結果026	DT026			N	NUMBER	5	4	04:20の測定結果	
33	測定結果027	DT027			N	NUMBER	5	4	04:30の測定結果	
34	測定結果028	DT028			N	NUMBER	5	4	04:40の測定結果	
35	測定結果029	DT029			N	NUMBER	5	4	04:50の測定結果	
36	測定結果030	DT030			N	NUMBER	5	4	05:00の測定結果	
37	測定結果031	DT031			N	NUMBER	5	4	05:10の測定結果	
38	測定結果032	DT032			N	NUMBER	5	4	05:20の測定結果	
39	測定結果033	DT033			N	NUMBER	5	4	05:30の測定結果	
40	測定結果034	DT034			N	NUMBER	5	4	05:40の測定結果	
41	測定結果035	DT035			N	NUMBER	5	4	05:50の測定結果	
42	測定結果036	DT036			N	NUMBER	5	4	06:00の測定結果	
43	測定結果037	DT037			N	NUMBER	5	4	06:10の測定結果	
44	測定結果038	DT038			N	NUMBER	5	4	06:20の測定結果	
45	測定結果039	DT039			N	NUMBER	5	4	06:30の測定結果	
46	測定結果040	DT040			N	NUMBER	5	4	06:40の測定結果	
47	測定結果041	DT041			N	NUMBER	5	4	06:50の測定結果	
48	測定結果042	DT042			N	NUMBER	5	4	07:00の測定結果	
49	測定結果043	DT043			N	NUMBER	5	4	07:10の測定結果	
50	測定結果044	DT044			N	NUMBER	5	4	07:20の測定結果	
51	測定結果045	DT045			N	NUMBER	5	4	07:30の測定結果	
52	測定結果046	DT046			N	NUMBER	5	4	07:40の測定結果	
53	測定結果047	DT047			N	NUMBER	5	4	07:50の測定結果	
54	測定結果048	DT048			N	NUMBER	5	4	08:00の測定結果	
55	測定結果049	DT049			N	NUMBER	5	4	08:10の測定結果	
56	測定結果050	DT050			N	NUMBER	5	4	08:20の測定結果	
57	測定結果051	DT051			N	NUMBER	5	4	08:30の測定結果	
58	測定結果052	DT052			N	NUMBER	5	4	08:40の測定結果	
59	測定結果053	DT053			N	NUMBER	5	4	08:50の測定結果	
60	測定結果054	DT054			N	NUMBER	5	4	09:00の測定結果	
61	測定結果055	DT055			N	NUMBER	5	4	09:10の測定結果	
62	測定結果056	DT056			N	NUMBER	5	4	09:20の測定結果	
63	測定結果057	DT057			N	NUMBER	5	4	09:30の測定結果	
64	測定結果058	DT058			N	NUMBER	5	4	09:40の測定結果	
65	測定結果059	DT059			N	NUMBER	5	4	09:50の測定結果	
66	測定結果060	DT060			N	NUMBER	5	4	10:00の測定結果	
67	測定結果061	DT061			N	NUMBER	5	4	10:10の測定結果	
68	測定結果062	DT062			N	NUMBER	5	4	10:20の測定結果	
69	測定結果063	DT063			N	NUMBER	5	4	10:30の測定結果	
70	測定結果064	DT064			N	NUMBER	5	4	10:40の測定結果	
71	測定結果065	DT065			N	NUMBER	5	4	10:50の測定結果	
72	測定結果066	DT066			N	NUMBER	5	4	11:00の測定結果	
73	測定結果067	DT067			N	NUMBER	5	4	11:10の測定結果	
74	測定結果068	DT068			N	NUMBER	5	4	11:20の測定結果	
75	測定結果069	DT069			N	NUMBER	5	4	11:30の測定結果	
76	測定結果070	DT070			N	NUMBER	5	4	11:40の測定結果	
77	測定結果071	DT071			N	NUMBER	5	4	11:50の測定結果	
78	測定結果072	DT072			N	NUMBER	5	4	12:00の測定結果	
79	測定結果073	DT073			N	NUMBER	5	4	12:10の測定結果	
80	測定結果074	DT074			N	NUMBER	5	4	12:20の測定結果	

システム設計書			モニタリングポストデータオンライン収集システム		テーブル定義		版数	日付	作成者
テーブル名	MPデータ修正用テーブル	テーブルID	MPUP						

※画面で修正する

No.	項目名	項目名(英名)	識別キー	外部参照キー	NOT NULL 属性	型	桁数		説明	備考 (インデックス)
							整数	小数		
81	測定結果075	DT075			N	NUMBER	5	4	12:30の測定結果	
82	測定結果076	DT076			N	NUMBER	5	4	12:40の測定結果	
83	測定結果077	DT077			N	NUMBER	5	4	12:50の測定結果	
84	測定結果078	DT078			N	NUMBER	5	4	13:00の測定結果	
85	測定結果079	DT079			N	NUMBER	5	4	13:10の測定結果	
86	測定結果080	DT080			N	NUMBER	5	4	13:20の測定結果	
87	測定結果081	DT081			N	NUMBER	5	4	13:30の測定結果	
88	測定結果082	DT082			N	NUMBER	5	4	13:40の測定結果	
89	測定結果083	DT083			N	NUMBER	5	4	13:50の測定結果	
90	測定結果084	DT084			N	NUMBER	5	4	14:00の測定結果	
91	測定結果085	DT085			N	NUMBER	5	4	14:10の測定結果	
92	測定結果086	DT086			N	NUMBER	5	4	14:20の測定結果	
93	測定結果087	DT087			N	NUMBER	5	4	14:30の測定結果	
94	測定結果088	DT088			N	NUMBER	5	4	14:40の測定結果	
95	測定結果089	DT089			N	NUMBER	5	4	14:50の測定結果	
96	測定結果090	DT090			N	NUMBER	5	4	15:00の測定結果	
97	測定結果091	DT091			N	NUMBER	5	4	15:10の測定結果	
98	測定結果092	DT092			N	NUMBER	5	4	15:20の測定結果	
99	測定結果093	DT093			N	NUMBER	5	4	15:30の測定結果	
100	測定結果094	DT094			N	NUMBER	5	4	15:40の測定結果	
101	測定結果095	DT095			N	NUMBER	5	4	15:50の測定結果	
102	測定結果096	DT096			N	NUMBER	5	4	16:00の測定結果	
103	測定結果097	DT097			N	NUMBER	5	4	16:10の測定結果	
104	測定結果098	DT098			N	NUMBER	5	4	16:20の測定結果	
105	測定結果099	DT099			N	NUMBER	5	4	16:30の測定結果	
106	測定結果100	DT100			N	NUMBER	5	4	16:40の測定結果	
107	測定結果101	DT101			N	NUMBER	5	4	16:50の測定結果	
108	測定結果102	DT102			N	NUMBER	5	4	17:00の測定結果	
109	測定結果103	DT103			N	NUMBER	5	4	17:10の測定結果	
110	測定結果104	DT104			N	NUMBER	5	4	17:20の測定結果	
111	測定結果105	DT105			N	NUMBER	5	4	17:30の測定結果	
112	測定結果106	DT106			N	NUMBER	5	4	17:40の測定結果	
113	測定結果107	DT107			N	NUMBER	5	4	17:50の測定結果	
114	測定結果108	DT108			N	NUMBER	5	4	18:00の測定結果	
115	測定結果109	DT109			N	NUMBER	5	4	18:10の測定結果	
116	測定結果110	DT110			N	NUMBER	5	4	18:20の測定結果	
117	測定結果111	DT111			N	NUMBER	5	4	18:30の測定結果	
118	測定結果112	DT112			N	NUMBER	5	4	18:40の測定結果	
119	測定結果113	DT113			N	NUMBER	5	4	18:50の測定結果	
120	測定結果114	DT114			N	NUMBER	5	4	19:00の測定結果	
121	測定結果115	DT115			N	NUMBER	5	4	19:10の測定結果	
122	測定結果116	DT116			N	NUMBER	5	4	19:20の測定結果	
123	測定結果117	DT117			N	NUMBER	5	4	19:30の測定結果	
124	測定結果118	DT118			N	NUMBER	5	4	19:40の測定結果	
125	測定結果119	DT119			N	NUMBER	5	4	19:50の測定結果	
126	測定結果120	DT120			N	NUMBER	5	4	20:00の測定結果	
127	測定結果121	DT121			N	NUMBER	5	4	20:10の測定結果	
128	測定結果122	DT122			N	NUMBER	5	4	20:20の測定結果	
129	測定結果123	DT123			N	NUMBER	5	4	20:30の測定結果	
130	測定結果124	DT124			N	NUMBER	5	4	20:40の測定結果	
131	測定結果125	DT125			N	NUMBER	5	4	20:50の測定結果	
132	測定結果126	DT126			N	NUMBER	5	4	21:00の測定結果	
133	測定結果127	DT127			N	NUMBER	5	4	21:10の測定結果	
134	測定結果128	DT128			N	NUMBER	5	4	21:20の測定結果	
135	測定結果129	DT129			N	NUMBER	5	4	21:30の測定結果	
136	測定結果130	DT130			N	NUMBER	5	4	21:40の測定結果	
137	測定結果131	DT131			N	NUMBER	5	4	21:50の測定結果	
138	測定結果132	DT132			N	NUMBER	5	4	22:00の測定結果	
139	測定結果133	DT133			N	NUMBER	5	4	22:10の測定結果	
140	測定結果134	DT134			N	NUMBER	5	4	22:20の測定結果	
141	測定結果135	DT135			N	NUMBER	5	4	22:30の測定結果	
142	測定結果136	DT136			N	NUMBER	5	4	22:40の測定結果	
143	測定結果137	DT137			N	NUMBER	5	4	22:50の測定結果	
144	測定結果138	DT138			N	NUMBER	5	4	23:00の測定結果	
145	測定結果139	DT139			N	NUMBER	5	4	23:10の測定結果	
146	測定結果140	DT140			N	NUMBER	5	4	23:20の測定結果	
147	測定結果141	DT141			N	NUMBER	5	4	23:30の測定結果	
148	測定結果142	DT142			N	NUMBER	5	4	23:40の測定結果	
149	測定結果143	DT143			N	NUMBER	5	4	23:50の測定結果	
150	測定結果144	DT144			N	NUMBER	5	4	24:00の測定結果	
151	登録年月日時分	ATIME			N	VARCHAR2	12			
152	更新年月日時分	UTIME			N	VARCHAR2	12			
153	ユニークキー	DTIME			N	VARCHAR2	12			

システム設計書			モニタリングポストデータオンライン収集システム		テーブル定義		版数	日付	作成者
---------	--	--	-------------------------	--	--------	--	----	----	-----

テーブル名	MPデータ状態テーブル	テーブルID	MPST						
-------	-------------	--------	------	--	--	--	--	--	--

※画面でMPデータ修正用テーブルが修正された場合、該当箇所「1:修正済」を設定。データ取込時に存在した場合はクリアする

No.	項目名	項目名(英名)	識別キー	外部参照キー	NOT NULL属性	型	桁数		説明	備考 (インデックス)
							整数	小数		
1	削除フラグ	DELFLG			N	VARCHAR2	1		0:未削除、1:削除済	
2	行の種類コード	SHUCODE	1		Y	VARCHAR2	2			
3	都道府県コード	PREFCODE	2		Y	VARCHAR2	2			
4	ポストの識別コード	MPCODE	3		Y	VARCHAR2	2			
5	測定終了年月日	SOKDATE	4		Y	VARCHAR2	8		YYYYMMDD	
6	項目コード	KMKCODE	6		Y	VARCHAR2	2		01:線量率(μGy/h)、02:計数率(cps)	
7	状態コード001	ST001			N	VARCHAR2	1		00:10の状態コード 1:修正済み	
8	状態コード002	ST002			N	VARCHAR2	1		00:20の状態コード 1:修正済み	
9	状態コード003	ST003			N	VARCHAR2	1		00:30の状態コード 1:修正済み	
10	状態コード004	ST004			N	VARCHAR2	1		00:40の状態コード 1:修正済み	
11	状態コード005	ST005			N	VARCHAR2	1		00:50の状態コード 1:修正済み	
12	状態コード006	ST006			N	VARCHAR2	1		01:00の状態コード 1:修正済み	
13	状態コード007	ST007			N	VARCHAR2	1		01:10の状態コード 1:修正済み	
14	状態コード008	ST008			N	VARCHAR2	1		01:20の状態コード 1:修正済み	
15	状態コード009	ST009			N	VARCHAR2	1		01:30の状態コード 1:修正済み	
16	状態コード010	ST010			N	VARCHAR2	1		01:40の状態コード 1:修正済み	
17	状態コード011	ST011			N	VARCHAR2	1		01:50の状態コード 1:修正済み	
18	状態コード012	ST012			N	VARCHAR2	1		02:00の状態コード 1:修正済み	
19	状態コード013	ST013			N	VARCHAR2	1		02:10の状態コード 1:修正済み	
20	状態コード014	ST014			N	VARCHAR2	1		02:20の状態コード 1:修正済み	
21	状態コード015	ST015			N	VARCHAR2	1		02:30の状態コード 1:修正済み	
22	状態コード016	ST016			N	VARCHAR2	1		02:40の状態コード 1:修正済み	
23	状態コード017	ST017			N	VARCHAR2	1		02:50の状態コード 1:修正済み	
24	状態コード018	ST018			N	VARCHAR2	1		03:00の状態コード 1:修正済み	
25	状態コード019	ST019			N	VARCHAR2	1		03:10の状態コード 1:修正済み	
26	状態コード020	ST020			N	VARCHAR2	1		03:20の状態コード 1:修正済み	
27	状態コード021	ST021			N	VARCHAR2	1		03:30の状態コード 1:修正済み	
28	状態コード022	ST022			N	VARCHAR2	1		03:40の状態コード 1:修正済み	
29	状態コード023	ST023			N	VARCHAR2	1		03:50の状態コード 1:修正済み	
30	状態コード024	ST024			N	VARCHAR2	1		04:00の状態コード 1:修正済み	
31	状態コード025	ST025			N	VARCHAR2	1		04:10の状態コード 1:修正済み	
32	状態コード026	ST026			N	VARCHAR2	1		04:20の状態コード 1:修正済み	
33	状態コード027	ST027			N	VARCHAR2	1		04:30の状態コード 1:修正済み	
34	状態コード028	ST028			N	VARCHAR2	1		04:40の状態コード 1:修正済み	
35	状態コード029	ST029			N	VARCHAR2	1		04:50の状態コード 1:修正済み	
36	状態コード030	ST030			N	VARCHAR2	1		05:00の状態コード 1:修正済み	
37	状態コード031	ST031			N	VARCHAR2	1		05:10の状態コード 1:修正済み	
38	状態コード032	ST032			N	VARCHAR2	1		05:20の状態コード 1:修正済み	
39	状態コード033	ST033			N	VARCHAR2	1		05:30の状態コード 1:修正済み	
40	状態コード034	ST034			N	VARCHAR2	1		05:40の状態コード 1:修正済み	
41	状態コード035	ST035			N	VARCHAR2	1		05:50の状態コード 1:修正済み	
42	状態コード036	ST036			N	VARCHAR2	1		06:00の状態コード 1:修正済み	
43	状態コード037	ST037			N	VARCHAR2	1		06:10の状態コード 1:修正済み	
44	状態コード038	ST038			N	VARCHAR2	1		06:20の状態コード 1:修正済み	
45	状態コード039	ST039			N	VARCHAR2	1		06:30の状態コード 1:修正済み	
46	状態コード040	ST040			N	VARCHAR2	1		06:40の状態コード 1:修正済み	
47	状態コード041	ST041			N	VARCHAR2	1		06:50の状態コード 1:修正済み	
48	状態コード042	ST042			N	VARCHAR2	1		07:00の状態コード 1:修正済み	
49	状態コード043	ST043			N	VARCHAR2	1		07:10の状態コード 1:修正済み	
50	状態コード044	ST044			N	VARCHAR2	1		07:20の状態コード 1:修正済み	
51	状態コード045	ST045			N	VARCHAR2	1		07:30の状態コード 1:修正済み	
52	状態コード046	ST046			N	VARCHAR2	1		07:40の状態コード 1:修正済み	
53	状態コード047	ST047			N	VARCHAR2	1		07:50の状態コード 1:修正済み	
54	状態コード048	ST048			N	VARCHAR2	1		08:00の状態コード 1:修正済み	
55	状態コード049	ST049			N	VARCHAR2	1		08:10の状態コード 1:修正済み	
56	状態コード050	ST050			N	VARCHAR2	1		08:20の状態コード 1:修正済み	
57	状態コード051	ST051			N	VARCHAR2	1		08:30の状態コード 1:修正済み	
58	状態コード052	ST052			N	VARCHAR2	1		08:40の状態コード 1:修正済み	
59	状態コード053	ST053			N	VARCHAR2	1		08:50の状態コード 1:修正済み	
60	状態コード054	ST054			N	VARCHAR2	1		09:00の状態コード 1:修正済み	
61	状態コード055	ST055			N	VARCHAR2	1		09:10の状態コード 1:修正済み	
62	状態コード056	ST056			N	VARCHAR2	1		09:20の状態コード 1:修正済み	
63	状態コード057	ST057			N	VARCHAR2	1		09:30の状態コード 1:修正済み	
64	状態コード058	ST058			N	VARCHAR2	1		09:40の状態コード 1:修正済み	
65	状態コード059	ST059			N	VARCHAR2	1		09:50の状態コード 1:修正済み	
66	状態コード060	ST060			N	VARCHAR2	1		10:00の状態コード 1:修正済み	
67	状態コード061	ST061			N	VARCHAR2	1		10:10の状態コード 1:修正済み	
68	状態コード062	ST062			N	VARCHAR2	1		10:20の状態コード 1:修正済み	
69	状態コード063	ST063			N	VARCHAR2	1		10:30の状態コード 1:修正済み	
70	状態コード064	ST064			N	VARCHAR2	1		10:40の状態コード 1:修正済み	
71	状態コード065	ST065			N	VARCHAR2	1		10:50の状態コード 1:修正済み	
72	状態コード066	ST066			N	VARCHAR2	1		11:00の状態コード 1:修正済み	
73	状態コード067	ST067			N	VARCHAR2	1		11:10の状態コード 1:修正済み	
74	状態コード068	ST068			N	VARCHAR2	1		11:20の状態コード 1:修正済み	
75	状態コード069	ST069			N	VARCHAR2	1		11:30の状態コード 1:修正済み	
76	状態コード070	ST070			N	VARCHAR2	1		11:40の状態コード 1:修正済み	
77	状態コード071	ST071			N	VARCHAR2	1		11:50の状態コード 1:修正済み	
78	状態コード072	ST072			N	VARCHAR2	1		12:00の状態コード 1:修正済み	
79	状態コード073	ST073			N	VARCHAR2	1		12:10の状態コード 1:修正済み	
80	状態コード074	ST074			N	VARCHAR2	1		12:20の状態コード 1:修正済み	

システム設計書			モニタリングポストデータオンライン収集システム		テーブル定義		版数	日付	作成者
テーブル名	MPデータ状態テーブル	テーブルID	MPST						

※画面でMPデータ修正用テーブルが修正された場合、該当箇所「1:修正済」を設定。データ取込時に存在した場合はクリアする

No.	項目名	項目名(英名)	識別キー	外部参照キー	NOT NULL属性	型	桁数		説明	備考 (インデックス)
							整数	小数		
81	状態コード075	ST075			N	VARCHAR2		1	12:30の状態コード	1:修正済み
82	状態コード076	ST076			N	VARCHAR2		1	12:40の状態コード	1:修正済み
83	状態コード077	ST077			N	VARCHAR2		1	12:50の状態コード	1:修正済み
84	状態コード078	ST078			N	VARCHAR2		1	13:00の状態コード	1:修正済み
85	状態コード079	ST079			N	VARCHAR2		1	13:10の状態コード	1:修正済み
86	状態コード080	ST080			N	VARCHAR2		1	13:20の状態コード	1:修正済み
87	状態コード081	ST081			N	VARCHAR2		1	13:30の状態コード	1:修正済み
88	状態コード082	ST082			N	VARCHAR2		1	13:40の状態コード	1:修正済み
89	状態コード083	ST083			N	VARCHAR2		1	13:50の状態コード	1:修正済み
90	状態コード084	ST084			N	VARCHAR2		1	14:00の状態コード	1:修正済み
91	状態コード085	ST085			N	VARCHAR2		1	14:10の状態コード	1:修正済み
92	状態コード086	ST086			N	VARCHAR2		1	14:20の状態コード	1:修正済み
93	状態コード087	ST087			N	VARCHAR2		1	14:30の状態コード	1:修正済み
94	状態コード088	ST088			N	VARCHAR2		1	14:40の状態コード	1:修正済み
95	状態コード089	ST089			N	VARCHAR2		1	14:50の状態コード	1:修正済み
96	状態コード090	ST090			N	VARCHAR2		1	15:00の状態コード	1:修正済み
97	状態コード091	ST091			N	VARCHAR2		1	15:10の状態コード	1:修正済み
98	状態コード092	ST092			N	VARCHAR2		1	15:20の状態コード	1:修正済み
99	状態コード093	ST093			N	VARCHAR2		1	15:30の状態コード	1:修正済み
100	状態コード094	ST094			N	VARCHAR2		1	15:40の状態コード	1:修正済み
101	状態コード095	ST095			N	VARCHAR2		1	15:50の状態コード	1:修正済み
102	状態コード096	ST096			N	VARCHAR2		1	16:00の状態コード	1:修正済み
103	状態コード097	ST097			N	VARCHAR2		1	16:10の状態コード	1:修正済み
104	状態コード098	ST098			N	VARCHAR2		1	16:20の状態コード	1:修正済み
105	状態コード099	ST099			N	VARCHAR2		1	16:30の状態コード	1:修正済み
106	状態コード100	ST100			N	VARCHAR2		1	16:40の状態コード	1:修正済み
107	状態コード101	ST101			N	VARCHAR2		1	16:50の状態コード	1:修正済み
108	状態コード102	ST102			N	VARCHAR2		1	17:00の状態コード	1:修正済み
109	状態コード103	ST103			N	VARCHAR2		1	17:10の状態コード	1:修正済み
110	状態コード104	ST104			N	VARCHAR2		1	17:20の状態コード	1:修正済み
111	状態コード105	ST105			N	VARCHAR2		1	17:30の状態コード	1:修正済み
112	状態コード106	ST106			N	VARCHAR2		1	17:40の状態コード	1:修正済み
113	状態コード107	ST107			N	VARCHAR2		1	17:50の状態コード	1:修正済み
114	状態コード108	ST108			N	VARCHAR2		1	18:00の状態コード	1:修正済み
115	状態コード109	ST109			N	VARCHAR2		1	18:10の状態コード	1:修正済み
116	状態コード110	ST110			N	VARCHAR2		1	18:20の状態コード	1:修正済み
117	状態コード111	ST111			N	VARCHAR2		1	18:30の状態コード	1:修正済み
118	状態コード112	ST112			N	VARCHAR2		1	18:40の状態コード	1:修正済み
119	状態コード113	ST113			N	VARCHAR2		1	18:50の状態コード	1:修正済み
120	状態コード114	ST114			N	VARCHAR2		1	19:00の状態コード	1:修正済み
121	状態コード115	ST115			N	VARCHAR2		1	19:10の状態コード	1:修正済み
122	状態コード116	ST116			N	VARCHAR2		1	19:20の状態コード	1:修正済み
123	状態コード117	ST117			N	VARCHAR2		1	19:30の状態コード	1:修正済み
124	状態コード118	ST118			N	VARCHAR2		1	19:40の状態コード	1:修正済み
125	状態コード119	ST119			N	VARCHAR2		1	19:50の状態コード	1:修正済み
126	状態コード120	ST120			N	VARCHAR2		1	20:00の状態コード	1:修正済み
127	状態コード121	ST121			N	VARCHAR2		1	20:10の状態コード	1:修正済み
128	状態コード122	ST122			N	VARCHAR2		1	20:20の状態コード	1:修正済み
129	状態コード123	ST123			N	VARCHAR2		1	20:30の状態コード	1:修正済み
130	状態コード124	ST124			N	VARCHAR2		1	20:40の状態コード	1:修正済み
131	状態コード125	ST125			N	VARCHAR2		1	20:50の状態コード	1:修正済み
132	状態コード126	ST126			N	VARCHAR2		1	21:00の状態コード	1:修正済み
133	状態コード127	ST127			N	VARCHAR2		1	21:10の状態コード	1:修正済み
134	状態コード128	ST128			N	VARCHAR2		1	21:20の状態コード	1:修正済み
135	状態コード129	ST129			N	VARCHAR2		1	21:30の状態コード	1:修正済み
136	状態コード130	ST130			N	VARCHAR2		1	21:40の状態コード	1:修正済み
137	状態コード131	ST131			N	VARCHAR2		1	21:50の状態コード	1:修正済み
138	状態コード132	ST132			N	VARCHAR2		1	22:00の状態コード	1:修正済み
139	状態コード133	ST133			N	VARCHAR2		1	22:10の状態コード	1:修正済み
140	状態コード134	ST134			N	VARCHAR2		1	22:20の状態コード	1:修正済み
141	状態コード135	ST135			N	VARCHAR2		1	22:30の状態コード	1:修正済み
142	状態コード136	ST136			N	VARCHAR2		1	22:40の状態コード	1:修正済み
143	状態コード137	ST137			N	VARCHAR2		1	22:50の状態コード	1:修正済み
144	状態コード138	ST138			N	VARCHAR2		1	23:00の状態コード	1:修正済み
145	状態コード139	ST139			N	VARCHAR2		1	23:10の状態コード	1:修正済み
146	状態コード140	ST140			N	VARCHAR2		1	23:20の状態コード	1:修正済み
147	状態コード141	ST141			N	VARCHAR2		1	23:30の状態コード	1:修正済み
148	状態コード142	ST142			N	VARCHAR2		1	23:40の状態コード	1:修正済み
149	状態コード143	ST143			N	VARCHAR2		1	23:50の状態コード	1:修正済み
150	状態コード144	ST144			N	VARCHAR2		1	24:00の状態コード	1:修正済み
151	登録年月日時分	ATIME			N	VARCHAR2		12		
152	更新年月日時分	UTIME			N	VARCHAR2		12		
153	ユニークキー	DTIME			N	VARCHAR2		12		

システム設計書			モニタリングポストデータオンライン収集システム	テーブル定義	版数	日付	作成者
---------	--	--	-------------------------	--------	----	----	-----

テーブル名	MPデータエラー情報テーブル	テーブルID	MPER				
-------	----------------	--------	------	--	--	--	--

※エラー情報を登録

No.	項目名	項目名(英名)	識別キー	外部参照キー	NOT NULL 属性	型	桁数		説明	備考 (インデックス)
							整数	小数		
1	削除フラグ	DELFLG			N	VARCHAR2	1		0: 未削除、1: 削除済	
2	取込日時	IMPDATE	1		Y	VARCHAR2	8		YYYYMMDD	
3	取込時刻	IMPTIME	2		Y	VARCHAR2	6		HHMMSS	
4	取込連番	IMPNO	3		Y	NUMBER	10			
5	エラー処理日時	ERRDATE			Y	VARCHAR2	8		YYYYMMDD	
6	エラー処理時刻	ERRTIME			Y	VARCHAR2	6		HHMMSS	
7	エラー都道府県コード	ERRPREFCODE			N	VARCHAR2	4			
8	エラーMPコード	ERRMPCODE			N	VARCHAR2	4			
9	エラーファイル名	ERRFILENM			N	VARCHAR2	20			
10	エラー行番号	ERRROWNO			Y	NUMBER	5			
11	エラーコード	ERRCODE			Y	VARCHAR2	6			
12	エラー情報	ERRMSG			N	VARCHAR2	200			
13	行の種類コード	SHUCODE			N	VARCHAR2	4			※入力データバイト数×2
14	都道府県コード	PREFCODE			N	VARCHAR2	4			※入力データバイト数×2
15	ポストの識別コード	IMPCODE			N	VARCHAR2	4			※入力データバイト数×2
16	測定終了年月日	SOKDATE			N	VARCHAR2	20			※入力データバイト数×2
17	測定終了時刻	SOKTIME			N	VARCHAR2	10			※入力データバイト数×2
18	測定器の状態コード	STSCODE			N	VARCHAR2	2			※入力データバイト数×2
19	データ積算時間	DTSEKI			N	VARCHAR2	6			※入力データバイト数×2
20	線量率(μ Gy/h)	SENRYO			N	VARCHAR2	20			※入力データバイト数×2
21	計数率(cps)	KEISU			N	VARCHAR2	20			※入力データバイト数×2
22	備考	BIKO			N	VARCHAR2	200			
23	登録年月日時分	ATIME			N	VARCHAR2	12			
24	更新年月日時分	UTIME			N	VARCHAR2	12			
25	ユニークキー	DTIME			N	VARCHAR2	12			

システム設計書			モニタリングポストデータオンライン収集システム		テーブル定義	版数	日付	作成者
---------	--	--	-------------------------	--	--------	----	----	-----

テーブル名	MPデータその他情報テーブル	テーブルID	MPOT					
-------	----------------	--------	------	--	--	--	--	--

※入力データの行の種別コードが「00」の場合、または備考が存在する場合に作成する。既に存在する場合は上書き

No.	項目名	項目名(英名)	識別キー	外部参照キー	NOT NULL 属性	型	桁数		説明	備考 (インデックス)
							整数	小数		
1	削除フラグ	DELFLG			N	VARCHAR2	1		0:未削除、1:削除済	
2	行の種別コード	SHUCODE	1		Y	VARCHAR2	2			
3	都道府県コード	PREFCODE	2		Y	VARCHAR2	2			
4	ポストの識別コード	MPCODE	3		Y	VARCHAR2	2			
5	測定終了年月日	SOKDATE	4		Y	VARCHAR2	8		YYYYMMDD	
6	測定終了時刻	SOKTIME	5		Y	VARCHAR2	4		HHMM	
7	測定器の状態コード	STSCODE			N	VARCHAR2	1			
8	データ積算時間	DTSEKI			N	VARCHAR2	3			
9	線量率(μ Gy/h)	SENRYO			N	NUMBER	5	4		
10	計数率(cps)	KEISU			N	NUMBER	5	4		
11	備考	BIKO			N	VARCHAR2	200			
12	登録年月日時分	ATIME			N	VARCHAR2	12			
13	更新年月日時分	UTIME			N	VARCHAR2	12			
14	ユニークキー	DTIME			N	VARCHAR2	12			

システム設計書			モニタリングポストデータオンライン収集システム	テーブル定義	版数	日付	作成者
---------	--	--	-------------------------	--------	----	----	-----

テーブル名	MPデータメール送信テーブル	テーブルID	MPML				
-------	----------------	--------	------	--	--	--	--

※メール送信機能でメール送信する都道府県を管理する

No.	項目名	項目名(英名)	識別キー	外部参照キー	NOT NULL 属性	型	桁数		説明	備考 (インデックス)
							整数	小数		
1	削除フラグ	DELFLG			N	VARCHAR2	1		0: 未削除、1: 削除済	
2	都道府県コード	PREFCODE	1		Y	VARCHAR2	2		都道府県コード、“99”はFTP送信エラーメールのコードに使用	
3	メール送信有無フラグ	MLFLG			Y	VARCHAR2	1		0: 送信有、1: 送信無	
4	メール送信停止日時	STOPDATE			Y	VARCHAR2	10		YYYYMMDDHH("00"時形式)	
5	登録年月日時分	ATIME			N	VARCHAR2	12			
6	更新年月日時分	UTIME			N	VARCHAR2	12			
7	ユニークキー	DTIME			N	VARCHAR2	12			

システム設計書			モニタリングポストデータオンライン収集システム			テーブル定義		版数	日付	作成者
テーブル名		MP情報(共通)		テーブルID		RADDEF				
※共通のMP情報を管理する										
No.	項目名	項目名(英名)	識別キー	外部参照キー	NOT NULL 属性	型	桁数		説明	備考 (インデックス)
							整数	小数		
1	削除フラグ	DELFLG				VARCHAR2	1	0		
2	定義タイプ	DEFTYPE	1		Y	VARCHAR2	2	0	(固定値:01)	
3	測定番号	DEF01				VARCHAR2	64	0		
4	集計番号	DEF02				VARCHAR2	64	0		
5	都道府県コード	DEF03				VARCHAR2	64	0		
6	都道府県名	DEF04				VARCHAR2	64	0		
7	報告書発行機関	DEF05				VARCHAR2	64	0		
8	測定機関	DEF06				VARCHAR2	64	0		
9	調査名コード	DEF07				VARCHAR2	64	0		
10	調査名	DEF08				VARCHAR2	64	0		
11	記載試料名	DEF09				VARCHAR2	64	0		
12	試料種別コード	DEF10				VARCHAR2	64	0		
13	試料種別	DEF11				VARCHAR2	64	0		
14	試料コード	DEF12				VARCHAR2	64	0		
15	試料名称	DEF13				VARCHAR2	64	0		
16	測定年	DEF14				VARCHAR2	64	0		
17	測定年度	DEF15				VARCHAR2	64	0		
18	測定地点	DEF16				VARCHAR2	64	0		
19	測定地点コード	DEF17				VARCHAR2	64	0		
20	測定地点(緯度)	DEF18				VARCHAR2	64	0		
21	測定地点(経度)	DEF19				VARCHAR2	64	0		
22	場所	DEF20				VARCHAR2	64	0		
23	高さ	DEF21				VARCHAR2	64	0		
24	高さ単位	DEF22				VARCHAR2	64	0		
25	測定器	DEF23				VARCHAR2	64	0		
26	宇宙線含除	DEF24				VARCHAR2	64	0		
27	集計単位(名称)	DEF25				VARCHAR2	64	0		
28	核種コード	DEF26				VARCHAR2	64	0		
29	核種名	DEF27				VARCHAR2	64	0		
30	測定フラグ	DEF28				VARCHAR2	64	0		
31	測定四半期	DEF29				VARCHAR2	64	0		
32	測定月	DEF30				VARCHAR2	64	0		
33	測定開始日	DEF31				VARCHAR2	64	0		
34	測定開始時刻	DEF32				VARCHAR2	64	0		
35	測定終了日	DEF33				VARCHAR2	64	0		
36	測定終了時刻	DEF34				VARCHAR2	64	0		
37	測定時間	DEF35				VARCHAR2	64	0		
38	測定時間単位	DEF36				VARCHAR2	64	0		
39	入力値(最大)	DEF37				VARCHAR2	64	0		
40	入力値(最小)	DEF38				VARCHAR2	64	0		
41	入力値(平均)	DEF39				VARCHAR2	64	0		
42	入力値単位	DEF40				VARCHAR2	64	0		
43	測定値(最大)	DEF41				VARCHAR2	64	0		
44	測定値(最小)	DEF42				VARCHAR2	64	0		
45	測定値(平均)	DEF43				VARCHAR2	64	0		
46	測定値単位コード	DEF44				VARCHAR2	64	0		
47	測定値単位	DEF45				VARCHAR2	64	0		
48	測定値文字列(最大)	DEF46				VARCHAR2	64	0		
49	測定値文字列(最小)	DEF47				VARCHAR2	64	0		
50	測定値文字列(平均)	DEF48				VARCHAR2	64	0		
51	測定値単位文字列	DEF49				VARCHAR2	64	0		
52	報告書コード	DEF50				VARCHAR2	64	0		
53	報告書名	DEF51				VARCHAR2	64	0		
54	ページ情報	DEF52				VARCHAR2	64	0		
55	備考	DEF53				VARCHAR2	64	0		
56	FeinsDate1	ATIME				VARCHAR2	12	0		
57	FeinsDate2	UTIME				VARCHAR2	12	0		
58	FeinsKey	DTIME				VARCHAR2	12	0		

システム設計書			モニタリングポストデータオンライン収集システム		テーブル定義	版数	日付	作成者
テーブル名	放射線測定データ	テーブルID	RADMPDT					

※放射線測定データを管理する

No.	項目名	項目名(英名)	識別キー	外部参照キー	NOT NULL 属性	型	桁数		説明	備考 (インデックス)
							整数	小数		
1	削除フラグ	DELFLG				VARCHAR2	1	0		
2	行の種類コード	SHUCODE	1		Y	VARCHAR2	2	0		
3	都道府県コード	PREFCODE	2		Y	VARCHAR2	2	0		
4	ポストの識別コード	MPCODE	3		Y	VARCHAR2	2	0		
5	測定終了年月日	SOKDATE	4		Y	VARCHAR2	8	0		
6	項目コード	KMKCODE	5		Y	VARCHAR2	2	0		
7	測定結果001	DT001				NUMBER	10	4		
8	測定結果002	DT002				NUMBER	10	4		
9	測定結果003	DT003				NUMBER	10	4		
10	測定結果004	DT004				NUMBER	10	4		
途中省略		DT005～DT142 : 測定結果005～測定結果142								
11	測定結果143	DT143				NUMBER	10	4		
12	測定結果144	DT144				NUMBER	10	4		
13	FeinsDate1	ATIME				VARCHAR2	12	0		
14	FeinsDate2	UTIME				VARCHAR2	12	0		
15	FeinsKey	DTIME				VARCHAR2	12	0		

システム設計書			モニタリングポストデータオンライン収集システム		テーブル定義		版数	日付	作成者
---------	--	--	-------------------------	--	--------	--	----	----	-----

テーブル名	コード名称データ管理テーブル	テーブルID	ZJCDN						
-------	----------------	--------	-------	--	--	--	--	--	--

※コードと名称の対応を管理する

No.	項目名	項目名(英名)	識別キー	外部参照キー	NOT NULL 属性	型	桁数		説明	備考 (インデックス)
							整数	小数		
1	削除フラグ	DELFLG				VARCHAR2	1	0		
2	名称区分コード	NAMEKBN	1		Y	VARCHAR2	5	0		
3	コ-文字	CODE	2		Y	VARCHAR2	8	0		
4	有効日時(終了)	YUKOENDT				VARCHAR2	10	0		
5	有効日時(開始)	YUKOSTRT	3		Y	VARCHAR2	10	0		
6	正文字	NAME				VARCHAR2	32	0		
7	略文字	NAMER				VARCHAR2	16	0		
8	半角名	NAMEH				VARCHAR2	18	0		
9	FeinsDate1	ATIMIF				VARCHAR2	12	0		
10	FeinsDate2	UTIMIF				VARCHAR2	12	0		
11	FeinsKey	DTIMIF				VARCHAR2	12	0		

システム設計書			モニタリングポストデータオンライン収集システム		テーブル定義	版数	日付	作成者
---------	--	--	-------------------------	--	--------	----	----	-----

テーブル名	基準値等管理テーブル	テーブルID	ZJKJN					
-------	------------	--------	-------	--	--	--	--	--

※各機能でデータ値を比較する場合の、基準値と色の対応等の条件を管理する

No.	項目名	項目名(英名)	識別キー	外部参照キー	NOT NULL 属性	型	桁数		説明	備考 (インデックス)
							整数	小数		
1	削除フラグ	DELFLG				VARCHAR2		1		
2	適用区分コード	TEKIKBN	1		Y	VARCHAR2		2		
3	局コード	KYKCODE	2		Y	VARCHAR2		3		
4	局区分コード	KYKKBN	3		Y	VARCHAR2		1		
5	施設コード	SISCODE	4		Y	VARCHAR2		2		
6	項目コード	KMKCODE	5		Y	VARCHAR2		2		
7	項目区分コード	KMKKBN	6		Y	VARCHAR2		1		
8	有効日時(終了)	YUKOENDT				VARCHAR2		10		
9	有効日時(開始)	YUKOSTRT	7		Y	VARCHAR2		10		
10	基準値適用範囲(局下限)	KJNTKLOW				VARCHAR2		3		
11	基準値適用範囲(局上限)	KJNTKUPP				VARCHAR2		3		
12	欠測値の色	KJNMARKA				VARCHAR2		6		
13	注意値の色	KJNMARKB				VARCHAR2		6		
14	基準値1(マーク)	KJNMARK1				VARCHAR2		6		
15	基準値2(マーク)	KJNMARK2				VARCHAR2		6		
16	基準値3(マーク)	KJNMARK3				VARCHAR2		6		
17	基準値4(マーク)	KJNMARK4				VARCHAR2		6		
18	基準値5(マーク)	KJNMARK5				VARCHAR2		6		
19	基準値6(マーク)	KJNMARK6				VARCHAR2		6		
20	基準値7(マーク)	KJNMARK7				VARCHAR2		6		
21	基準値1(上限値)	KJNUPP1				NUMBER		11	3	
22	基準値2(上限値)	KJNUPP2				NUMBER		11	3	
23	基準値3(上限値)	KJNUPP3				NUMBER		11	3	
24	基準値4(上限値)	KJNUPP4				NUMBER		11	3	
25	基準値5(上限値)	KJNUPP5				NUMBER		11	3	
26	基準値6(上限値)	KJNUPP6				NUMBER		11	3	
27	基準値7(上限値)	KJNUPP7				NUMBER		11	3	
28	FeinsDate1	ATIME				VARCHAR2		12		
29	FeinsDate2	UTIME				VARCHAR2		12		
30	FeinsKey	DTIME				VARCHAR2		12		

システム設計書			モニタリングポストデータオンライン収集システム		テーブル定義	版数	日付	作成者
テーブル名	測定MP管理	テーブルID	ZJMP					

※測定したMPデータを管理する

No.	項目名	項目名(英名)	識別キー	外部参照キー	NOT NULL 属性	型	桁数		説明	備考 (インデックス)
							整数	小数		
1	削除フラグ	DELFLG				VARCHAR2		1		
2	都道府県コード	PREFCODE	1		Y	VARCHAR2		2		
3	MPコード	MPCODE	2		Y	VARCHAR2		2		
4	有効日時(終了)	YUKOENDT				VARCHAR2		10		
5	有効日時(開始)	YUKOSTRT	3		Y	VARCHAR2		10		
6	MP正式名称	MPNAME				VARCHAR2		32		
7	MP略称	MPNAMER				VARCHAR2		16		
8	MPヨミ	MPNAMEY				VARCHAR2		18		
9	状態表示MP名称	MPSCNM				VARCHAR2		12		
10	MP位置(メッシュコード)	MPMESH				VARCHAR2		8		
11	MP位置(DX)	MPDX				VARCHAR2		5		
12	MP位置(DY)	MPDY				VARCHAR2		5		
13	測定MP位置経度	MPLON				VARCHAR2		10		
14	測定MP位置緯度	MPLAT				VARCHAR2		9		
15	MP住所	MPADR				VARCHAR2		100		
16	数値等テキスト表示方向	MPANGLE				VARCHAR2		3		
17	データ収集情報1	DTSYUZ1				VARCHAR2		4		
18	データ収集情報2	DTSYUZ2				VARCHAR2		4		
19	データ収集情報3	DTSYUZ3				VARCHAR2		4		
20	データ収集情報4	DTSYUZ4				VARCHAR2		4		
21	データ収集情報5	DTSYUZ5				VARCHAR2		4		
22	出力順序	OUTSORT				VARCHAR2		4		
23	FeinsDate1	ATIME				VARCHAR2		12		
24	FeinsDate2	UTIME				VARCHAR2		12		
25	FeinsKey	DTIME				VARCHAR2		12		

システム設計書				モニタリングポストデータオンライン収集システム		テーブル定義		版数	日付	作成者
テーブル名		フィールド定義		テーブルID		ZZFLDDEF				
※テーブルのフィールド情報等を管理する										
No.	項目名	項目名(英名)	識別キー	外部参照キー	NOT NULL 属性	型	桁数		説明	備考 (インデックス)
							整数	小数		
1	FeinsDate1	ATIME				VARCHAR2	12			
2	FeinsDate2	UTIME				VARCHAR2	12			
3	FeinsKey	DTIME				VARCHAR2	12			
4	システム種別	SYSTYPE	1		Y	VARCHAR2	2			
5	テーブルID	TBLID	2		Y	VARCHAR2	8			
6	フィールドID	FLDID	4		Y	VARCHAR2	8			
7	フィールド名称	FLDNAME				VARCHAR2	80			
8	データ単位	UNIT				VARCHAR2	30			
9	フィールド形式	FLDTYPE				VARCHAR2	1			
10	フィールド全体幅	FLDWIDTH				NUMBER	4	0		
11	フィールド小数部桁数	FLDDEC				NUMBER	2	0		
12	フィールド属性	FLDATTR				VARCHAR2	1			
13	表示順序	DSPSEQ	3		Y	VARCHAR2	3			
14	フィールド属性定義	FLDATDEF				VARCHAR2	2			
15	必須区分	MISS				VARCHAR2	1			
16	範囲チェックフラグ	CBFLG				VARCHAR2	1			
17	範囲チェック下限値	CBUNDER				VARCHAR2	12			
18	範囲チェック上限値	CBUPPER				VARCHAR2	12			
19	コード参照フラグ	RFFLG				VARCHAR2	1			
20	コード参照定義	RFDEF				VARCHAR2	128			
21	名称表示フラグ	NAFLG				VARCHAR2	1			
22	名称表示定義	NADEF				VARCHAR2	128			
23	関連チェックフラグ	CDFLG				VARCHAR2	1			
24	関連チェック定義	CDDEF				VARCHAR2	64			
25	大小比較チェックフラグ	CCFLG				VARCHAR2	1			
26	大小比較演算定義	CCDEF				VARCHAR2	2			
27	比較フィールドID	CCFLDID				VARCHAR2	8			
28	項目種別	CRFLG				VARCHAR2	2			
29	自動設定種別	AUTYPE				VARCHAR2	2			
30	自動設定定義	AUDEF				VARCHAR2	400			
31	テーブル内自動設定フラグ	AUNFLG				VARCHAR2	1			
32	テーブル内自動設定定義	AUNDEF				VARCHAR2	64			
33	テーブル間自動設定フラグ	AUBFLG				VARCHAR2	1			
34	テーブル間自動設定定義	AUBDEF				VARCHAR2	64			
35	複写項目フラグ	CPFLG				VARCHAR2	1			
36	初期値設定フラグ	INIFLG				VARCHAR2	2			
37	初期値設定定義	INIDEF				VARCHAR2	128			
38	一覧表表示有無フラグ	LSTDSP				VARCHAR2	1			

システム設計書			モニタリングポストデータオンライン収集システム		テーブル定義	版数	日付	作成者
---------	--	--	-------------------------	--	--------	----	----	-----

テーブル名	テーブル管理	テーブルID	ZZTBLMNG					
-------	--------	--------	----------	--	--	--	--	--

※システムで利用するテーブルを管理する

No.	項目名	項目名(英名)	識別キー	外部参照キー	NOT NULL 属性	型	桁数		説明	備考 (インデックス)
							整数	小数		
1	FeinsDate1	ATIME				VARCHAR2	12			
2	FeinsDate2	UTIME				VARCHAR2	12			
3	FeinsKey	DTIME				VARCHAR2	12			
4	システム種別	SYSTYPE	1		Y	VARCHAR2	2			
5	テーブルID	TBLID	2		Y	VARCHAR2	8			
6	ケースID	CASEID	3		Y	VARCHAR2	6			
7	テーブル名	TBLNAME				VARCHAR2	24			
8	ファイル管理元種別	FILETYPE				VARCHAR2	1			
9	位置種別	MAPTYPE				VARCHAR2	2			
10	時系列種別	TIMETYPE				VARCHAR2	2			
11	管理者ID	MNGID				VARCHAR2	8			
12	参照者ID	READID				VARCHAR2	64			
13	一般利用許可レベル	USELEVEL				VARCHAR2	1			
14	サーバDB更新年月日時分	STIME				VARCHAR2	12			
15	ローカルDB更新年月日時分	LTIME				VARCHAR2	12			
16	ローカルファイル更新年月日時分	FTIME				VARCHAR2	12			
17	サーバDBテーブル名	STBLNAME				VARCHAR2	16			
18	ローカルDBテーブル名	LTBLNAME				VARCHAR2	16			
19	ローカル一般ファイル名	FTBLNAME				VARCHAR2	64			
20	利用フラグ	USEFLG				VARCHAR2	1			
21	キーフィールド定義	KEYDEF				VARCHAR2	64			
22	時系列フィールド定義	TIMEDF				VARCHAR2	40			
23	位置フィールド定義	MAPDEF				VARCHAR2	64			
24	位置システム種別	MAPSYS				VARCHAR2	2			
25	位置テーブルID	MAPTBLID				VARCHAR2	8			
26	位置ケースID	MAPCASE				VARCHAR2	6			

令和6～11年度原子力施設等防災対策等
委託費（環境放射線データベース等に係る
システム更改及び運用・管理業務）事業

応札資料作成要領

令和5年 月 日
原子力規制庁

目 次

第 1 章 原子力規制庁が応札者に提示する資料及び応札者が提出すべき資料等

第 2 章 評価項目一覧に係る内容の作成要領

- 2.1 評価項目一覧の構成
- 2.2 遵守確認事項
- 2.3 提案要求事項
- 2.4 添付資料

第 3 章 提案書に係る内容の作成要領及び説明

- 3.1 提案書の構成及び記載事項
- 3.2 提案書様式
- 3.3 応札者による提案書の説明（プレゼンテーション）
- 3.4 留意事項

第 4 章 提案書雛形

- 4.1 提案書雛形を利用するに当たっての留意事項
- 4.2 提案書雛形
- 4.3 工数

第 5 章 補足情報

- 5.1 提案書作成に当たっての補足情報

第 6 章 見積書

- 6.1 見積書の作成方法

第 7 章 別紙

- 7.1 (別紙 1) 提案書雛形
- 7.2 (別紙 2) 質問状
- 7.3 (別紙 3) 見積書様式
- 7.4 (別紙 4 - 1) 従業員への賃金引き上げ計画の表明書（大企業用）
- 7.5 (別紙 4 - 2) 従業員への賃金引き上げ計画の表明書（中書企業等用）

本書は、令和6～11年度原子力施設等防災対策等委託費（環境放射線データベース等に係るシステム更改及び運用・管理業務）事業の作成要領等を取りまとめたものである。

第1章 原子力規制庁が応札者に提示する資料及び応札者が提出すべき資料等

原子力規制庁は応札者に以下の表1に示す資料を提示する。応札者は、それを受け、以下の表2に示す資料を作成し、原子力規制庁へ提示する。

開札後、落札者は表3に示す資料を、ただちに原子力規制庁長官官房放射線防護グループ監視情報課放射線環境対策室へ提出する。

[表1 原子力規制庁が応札者に提示する資料]

資料名称	資料内容
① 入札仕様書	本調達の対象である令和6～11年度原子力施設等防災対策等委託費（環境放射線データベース等に係るシステム更改及び運用・管理業務）事業の仕様を記述（事業の目的・内容等）。
② 応札資料作成要領	応札者が、評価項目一覧及び提案書に記載すべき項目の概要や提案書の雛形等を記述。
③ 評価項目一覧	提案書に記載すべき提案要求事項一覧、必須項目及び任意項目の区分、得点配分等を記述。
④ 評価手順書	原子力規制庁が応札者の提案を評価する場合に用いる評価方式、総合評価点の算出方法及び評価基準等を記述。

[表2 応札者が原子力規制庁に提示する資料]

資料名称	資料内容
① 評価項目一覧の遵守確認欄及び提案書頁番号欄に必要事項を記入したもの	仕様書に記述された要件一覧を遵守又は達成するか否かに関し、遵守確認欄に「○」「×」を記入し、提案書頁番号欄に、該当する提案書の頁番号を記入したもの。 詳細説明は第2章を参照。
② 提案書	仕様書に記述された要求仕様をどのように実現するかを提案書にて説明したもの。主な項目は以下のとおり。 ・ 応札者が提案する、調査事業の内容、体制、波及効果等 ・ 実施計画 ・ 業務実施者の資格、確保 ・ 補足資料(応札者の実績の詳細)等 詳細説明は第3章を参照。

[表 3 落札者が原子力規制庁に提出する資料]

資料名称	資料内容
①見積書及び単価設定の根拠資料	入札金額の内訳を記入したもの。 単価設定の根拠資料も併せて提出すること。 詳細説明は第 6 章を参照。

第 2 章 評価項目一覧に係る内容の作成要領

2.1 評価項目一覧の構成

評価項目一覧の構成及び概要説明を以下に記す。

[表 4 評価項目一覧の構成の説明]

評価項目一覧における項番	事項	概要説明
0	遵守確認事項	令和 6 ～ 11 年度原子力施設等防災対策等委託費（環境放射線データベース等に係るシステム更改及び運用・管理業務）事業を実施する上で遵守すべき事項。これら事項に係る具体的内容の提案は求めず、全ての項目についてこれを遵守する旨を記述する。
1～5	提案要求事項	提案を要求する事項。これら事項については、応札者が提出した提案書について、各提案要求項目の必須項目及び任意項目の区分け、得点配分の定義に従いその内容を評価する。 例：調査事業の内容、実施計画、資格・能力、実績等。
6	添付資料	応札者が作成した提案の詳細を説明するための資料。これら自体は、直接評価されて点数が付与されることはない。 例：実施体制及び担当者略歴、会社としての実績及び費用等。

2.2 遵守確認事項

評価項目一覧中の遵守確認事項における各項目の説明を以下に示す。

応札者は、別添「評価項目一覧－遵守確認事項－」における「遵守確認」欄に必要事項を記載すること。遵守確認事項の各項目の説明に関しては、表 5 を参照すること。

[表 5 遵守確認事項上の各項目の説明]

項目名	項目説明・記入要領	記入者
大項目～細項目	遵守確認事項の分類	原子力規制庁
内容説明	遵守すべき事項の内容	原子力規制庁
遵守確認	応札者は、遵守確認事項を実現・遵守可能である場合は「○」を、実現・遵守不可能な場合（実現・遵守の範囲等について限定、確認及び調整	応札者

	等が必要な場合等を含む) には「×」を記載する。	
--	--------------------------	--

2.3 提案要求事項

評価項目一覧中の提案要求事項における各項目の説明を以下に示す。

応札者は、別添「評価項目一覧－提案要求事項一覧－」における「提案書頁番号」欄に必要事項を記載すること。提案要求事項の各項目の説明に関しては、表6を参照すること。

[表6 提案要求事項上の各項目の説明]

項目名	項目説明・記入要領	記入者
大項目～細項目	提案書の目次（提案要求事項の分類）	原子力規制庁
提案要求事項	応札者に提案を要求する内容	原子力規制庁
評価区分	必ず提案すべき項目（必須）又は必ずしも提案する必要は無い項目（任意）の区分を設定している。 各項目について、記述があった場合、その内容に応じて配点を行う。	原子力規制庁
得点配分	各項目に対する最大加点	原子力規制庁
雛形頁番号	（別紙1）提案書雛形*における雛形（※）の頁	原子力規制庁
提案書頁番号	作成した提案書における該当頁番号を記載する。該当する提案書の頁が存在しない場合には空欄とする。評価者は各提案要求事項について、本欄に記載された頁のみを対象として採点を行う。	応札者

※応札者が提案書を作成する際に、参考とすることが可能な提案書の雛形。提案要求事項毎の記述内容、評価の観点等が記載されている。詳細は本応札資料作成要領第4章を参照のこと。

2.4 添付資料

評価項目一覧中の添付資料における各項目の説明を以下に示す。

[表7 添付資料上の各項目の説明]

項目名	項目説明・記入要領	記入者
大項目～小項目	提案書の目次（提案要求事項の分類）	原子力規制庁
資料内容	応札者に提案を要求する内容	原子力規制庁
提案の要否	必ず提案すべき項目（必須）又は必ずしも提案する必要は無い項目（任意）の区分を設定している。 提案要求事項とは異なり、採点の対象とはしない。	原子力規制庁
雛形頁番号	（別紙1）提案書雛形*における雛形の頁	原子力規制庁
提案書頁番号	作成した提案書における該当頁番号を記載する。該当する提案書の頁が存在しない場合には空欄とする。	応札者

第3章 提案書に係る内容の作成要領及び説明

3.1 提案書の構成及び記載事項

以下に、別添「評価項目一覧」から[提案書の目次]の大項目を抜粋したものと並び求められる提案要求事項の概要を示す（表8）。提案書は、表8の項番、項目内容に従い、提案要求内容を十分に咀嚼した上で記述すること。

なお、目次及び要求事項の詳細は、別添「評価項目一覧」を参照すること。また、各提案要求事項及び補足資料の記述内容については、同じく別添「評価項目一覧」で指定されている別添「提案書雛形」を参照すること。

[表8 提案書目次]

提案書 目次項番	大項目	提案要求事項の概要説明
1	調査事業の実施 方針	原子力規制庁が令和6～11年度原子力施設等防災対策等委託費（環境放射線データベース等に係るシステム更改及び運用・管理業務）事業の調達に至った背景や本事業の目的等を踏まえた、調査内容の妥当性、独自性、調査方法の妥当性、独創性、作業計画の妥当性、効率性等。
2	事業実施体制	組織の類似調査業務の経験、組織の調査実施能力、事業遂行のための経営基盤・管理体制・技術基盤等。
3	事業従事予定者の 能力	事業従事予定者の調査内容に関する専門知識・適格性等。
4	ワークバランス 等の推進	ワーク・ライフ・バランス等の推進に関する認定等取得状況等。
5	企業等の賃上げ の実施	事業年度（又は暦年）における賃上げの状況等
6	添付資料	組織の概要、事業内容等、用語解説当の補足説明、事業実施に係る工数、情報セキュリティの確保。

3.2 提案書様式

- ① 提案書は第4章「提案書雛形」に提示する項目及び様式等を参考にして記述する。
- ② 提案書及び評価項目一覧は、原則としてA4版・両面とする。
- ③ 提出物は、電子調達システム、電子メール、持参又は郵送（提出期限必着）での提出による。

電子媒体で送付する場合には、原則として、一太郎、MS-Word、MS-PowerPoint、MS-Excel又はPDF形式とする（これに抛りがたい場合は、原子力規制庁まで申し出ること）。郵送する場合には、5部用意の上、郵送手段は書留郵便等の配達記録が残るものに限ること。

3.3 応札者による提案書の説明（プレゼンテーション）

- ① 応札者は、原子力規制庁に対し自らの提案内容の説明（プレゼンテーション）を行う。
- ② 応札者が当該説明（プレゼンテーション）を行うに当たっては、説明者のクラス（肩書き）は問わないこととし、原子力規制庁内会議室にて説明（プレゼンテーション）を行う。
- ③ 当該説明（プレゼンテーション）の日時等については、入札締切（提案書受領期限）後に原子力規制庁と応札者とで別途調整する。また、説明（プレゼンテーション）の時間は、現時点では1社当たり概ね1時間程度（質疑応答を含む）を想定している。
- ④ 説明（プレゼンテーション）に当たっては、与えられた時間を踏まえ、必要に応じて提案書とは別に要約版資料を用意するなど、効率的な実施のために工夫する。

3.4 留意事項

- ① 提案書を評価する者が特段の専門的な知識や商品に関する一切の知識を有しなくても評価が可能な提案書を作成する。なお、必要に応じて、用語解説などを添付する。
- ② 提案に当たって、特定の製品を採用する場合は、当該製品を採用する理由を提案書中に記載するとともに、記載内容を証明及び補足するもの（製品紹介、パンフレット、比較表等）を添付する。
- ③ 応札者は提案の際、提案内容についてより具体的・客観的な詳細説明を行うための資料を、添付資料として提案書に含めることができる（その際、提案書本文と添付資料の対応が取れるようにする）。
- ④ 原子力規制庁から連絡が取れるよう、提案書には連絡先（電話番号、及びメールアドレス）を明記する。
- ⑤ 提出物を作成するに際しての質問等を行う必要がある場合には、別紙2の質問状に必要事項を記載の上、令和 年 月 日（ ） 時までメールで原子力規制庁長官官房放射線防護グループ監視情報課放射線環境対策室、須藤（suto_takafumi_xo2@nra.go.jp）、伊藤（ito_katsuhide_6iw@nra.go.jp）あてに提出する。
- ⑥ 上記の提案書構成、様式及び留意事項に従った提案書ではないと原子力規制庁が判断した場合は、提案書の評価を行わないことがある。また、補足資料の提出や補足説明等を求める場合がある。

第4章 提案書雛形

4.1 提案書雛形を利用するに当たっての留意事項

提案書雛形では、提案書に含めるべき記述内容と記述例および基礎点と加点の評価観点を提示する。応札者は、提案書雛形を参考として提案書を作成することができるが、以下に留意する必要がある。

- ・ 応札者は、最低限、提案書雛形に提示された項目（詳細は、提案書雛形の見方を参照）を提案書に含めなければならない。
- ・ 具体的な表記方法に関しては、応札者が必要と判断した場合は、当雛形への完全な遵守を求めるものではない。

なお、提案書の各提案要求事項に対し、どの提案書雛形を参考にすることが出来るかは別添「評価項目一覧」にて、提示する。

4.2 提案書雛形

具体的な提案書雛形の内容は別紙1を参照。

4.3 工数

提案書雛形P13の書式に従って、入札仕様書における業務の中項目単位で、業務実施者のクラス（例：主任研究員、研究員等）別の工数を提出すること。

第5章 補足情報

5.1 提案書作成に当たっての補足情報

第6章 見積書

6.1 見積書の作成方法

落札者に対しては、提示された入札価格の積算内訳（単価及び数量）を別紙3の見積書様式を参考に作成のうえ提出すること。

人件費単価は、研究者等のクラス別時間単価、もしくは支払実績時間単価を設定する。単価設定の根拠資料として、研究者等のクラス別時間単価の場合は、単価表及び単価設定の考え方を、支払実績時間単価の場合は、支払実績の内訳及び理論総労働時間を提出すること。

事業費単価は、委員会開催経費（謝金、交通費等）、事業の実施に必要となる機器、ソフトウェア等の利用料金や借室料等を内訳単位で設定する。

単価設定の根拠資料として、単価に採用した内部規定や参考見積等を提出すること。

第7章 別紙

7.1 (別紙 1) 提案書雛形 別紙

7.2 (別紙 2) 質問状

社名			
住所			
TEL		Mail	
質問者			
質問に関連する文書名及び頁			
質問内容			

7.3 (別紙3) 見積書様式

令和 年 月 日

※開札日又は開札日以降

支出負担行為担当官

原子力規制委員会原子力規制庁長官官房参事官 殿

住所

商号又は名称

代表者氏名

見積書

下記のとおりお見積り申し上げます。

記

1. 件名 令和6～11年度原子力施設等防災対策等委託費（環境放射線データベース等に係るシステム更改及び運用・管理業務）事業
※仕様書記載の正式な件名とする。

2. 見積金額 ○○, ○○○, ○○○円
（うち消費税及び地方消費税額 ○○○, ○○○円を含む）
※消費税込額として、消費税を別表示する。

内訳は別紙のとおり

担当者等連絡先

部署名：

責任者名：

担当者名：

TEL：

E-mail：

(別紙)

令和6～11年度原子力施設等防災対策等委託費
 (環境放射線データベース等に係るシステム更改及び運用・管理業務) 事業

区分	内訳	金額	積算内訳
1. 人件費	主席研究員 主任研究員 研究員	00,000,000 z,zzz,zzz	@ xx,xxx ×yy 時間 = z,zzz,zzz
2. 事業費	委員会費 委員謝金 委員交通費 会場借料	000,000 zzz,zzz ccc,ccc	@ xx,xxx ×yy 人 = zzz,zzz @ aa,aaa × bb 時間 × 100/110 = ccc,ccc (注1:消費税及び地方消費税は別掲のため、 単価に含まれている場合は除外のうえ計上の こと。)
3. 再委託費	〇〇〇業務	00,000,000 xxx,xxx,xxx	株式会社〇〇〇 xxx,xxx,xxx
4. 一般管理費		00,000,000	(1.人件費+2.事業費)の10%以内 (注2:小数点以下切り捨て)
5. 小計			(注3:落札金額と一致)
6. 消費税及び 地方消費税			5.小計(※)×10% (注4:小数点以下切り捨て)
7. 合計			

※消費税及び地方消費税にかかる免税事業者にあつては、課税売上げに係る消費税及び地方消費税につ
いては、計上することは出来ない。

(別紙4-1)

【大企業用】

従業員への賃金引上げ計画の表明書

当社は、○年度（令和○年○月○日から令和○年○月○日までの当社事業年度）（又は○年）において、給与等受給者一人あたりの平均受給額を対前年度（又は対前年）増加率3%以上とすることを表明いたします。
従業員と合意したことを表明いたします。

令和 年 月 日
株式会社○○○○
（住所を記載）
代表者氏名 ○○ ○○

上記の内容について、我々従業員は、令和○年○月○日に、○○○という方法によって、代表者より表明を受けました。

令和 年 月 日
株式会社○○○○
従業員代表 氏名 ○○ ○○ 印
給与又は経理担当者 氏名 ○○ ○○ 印

※従業員代表等の押印省略は不可とする。

(留意事項)

1. 事業年度により賃上げを表明した場合には、「法人事業概況説明書」を事業当該事業年度における同書を作成後速やかに契約担当官等に提出してください。
なお、法人事業概況説明書を作成しない者においては、税務申告のために作成する類似の書類（事業活動収支計算書）等の賃金支払額を確認できる書類を提出してください。
2. 暦年により賃上げを表明した場合においては、「給与所得の源泉徴収票等の法定調書合計表」を当該年の同表を作成後速やかに契約担当官等に提出してください。
3. 上記1. による確認において表明書に記載した賃上げを実行していない場合又は上記確認書類を提出しない場合においては、当該事実判明後の総合評価落札方式による入札に参加する場合、技術点又は評価点を減点するものとします。
4. 上記3. による減点措置については、減点措置開始日から1年間に入札公告が行われる調達に参加する場合に行われることとなる。ただし、減点事由の判明の時期により減点措置開始時期が異なることとなるため、減点事由判明時に当該事由を確認した契約担当官等により適宜の方法で通知するものとします。
5. 「従業員代表」及び「給与又は経理担当者」の権限等を示す書類等を添付すること。

(別紙4-2)

【中小企業等用】

従業員への賃金引上げ計画の表明書

当社は、○年度（令和○年○月○日から令和○年○月○日までの当社事業年度）（又は○年）において、給与総額を対前年度（又は対前年）増加率1.5%以上とすること

を表明いたします。

従業員と合意したことを表明いたします。

令和 年 月 日

株式会社○○○○

（住所を記載）

代表者氏名 ○○ ○○

上記の内容について、我々従業員は、令和○年○月○日に、○○○という方法によって、代表者より表明を受けました。

令和 年 月 日

株式会社○○○○

従業員代表

氏名 ○○ ○○ 印

給与又は経理担当者

氏名 ○○ ○○ 印

※従業員代表等の押印省略は不可とする。

(留意事項)

1. 事業年度により賃上げを表明した場合には、「法人事業概況説明書」を事業当該事業年度における同書を作成後速やかに契約担当官等に提出してください。
なお、法人事業概況説明書を作成しない者においては、税務申告のために作成する類似の書類（事業活動収支計算書）等の賃金支払額を確認できる書類を提出してください。
2. 暦年により賃上げを表明した場合には、「給与所得の源泉徴収票等の法定調書合計表」を当該年の同表を作成後速やかに契約担当官等に提出してください。
3. 上記1. による確認において表明書に記載した賃上げを実行していない場合又は上記確認書類を提出しない場合においては、当該事実判明後の総合評価落札方式による入札に参加する場合、技術点又は評価点を減点するものとします。
4. 上記3. による減点措置については、減点措置開始日から次回入札公告が行われる調達に参加する場合に行われることとなる。ただし、減点事由の判明の時期により減点措置開始時期が異なることとなるため、減点事由判明時に当該事由を確認した契約担当官等により適宜の方法で通知するものとします。
5. 「従業員代表」及び「給与又は経理担当者」の権限等を示す書類等を添付すること。

- 令和6年度～令和11年度原子力施設等防災対策等委託費
(環境放射線データベース等に係るシステム更改及び
運用・管理業務)事業
 - 提案書

- 年月日
- 提案者

1 事業の実施方針

1.1 事業内容の妥当性、独自性

7.1 (別紙1) 提案書雛形

記述内容

- 提案内容について具体的に記述

▪ 事業内容の妥当性、独自性

【基礎点評価の観点】

- ・仕様書記載の調査内容についてすべて提案されているか
- ・偏った調査内容となっていないか

【加点評価の観点】

- ・仕様書に示された内容以外の独自の提案はされているか

1 事業の実施方針

1.2 事業実施方法の妥当性、独創性

7.1 (別紙1) 提案書雛形

記述内容

- 仕様書に示された事業の実施方法について記述

▪ 仕様書に示された事業の実施方法

【基礎点評価の観点】

- ・放射線データの収集・調査・評価の項目・手法が明確であるか
- ・収集した放射線データ等の公開手法が妥当であるか

【加点点評価の観点】

- ・放射線データの収集・調査等の手法や公開手法に事業成果を高めるための独創的な工夫があるか

例

- ・データ入力及び確認の手間及びミスを減らす工夫
- ・利用者の関心やデータ利用目的を踏まえたサイト構成に関する提案 など

1 事業の実施方針

1.3 作業計画の妥当性、効率性

7.1 (別紙1) 提案書雛形

記述内容

▪ 作業計画の妥当性、効率性について記述する。

▪ 作業計画の妥当性、効率性

【基礎点評価の観点】

・作業日程、手順等に無理がなく、目的に沿った実現性があるか

【加点評価の観点】

・事業成果達成のために、日程、作業手順等が効率的であるか

2 事業実施体制

2.1 組織の類似調査業務の経験

7.1 (別紙1) 提案書雛形

記述内容

- 調査を実施するに当たり、過去に官公庁以外も含めた、本領域における類似事業の実績がある場合、前述で提案した実績と矛盾の無いよう、その提供先、提供機関、実施概要、主たる業務実施担当者等を具体的・客観的に記述する。

調査領域における実績の一覧

(以下の項目等を含めて記述)

- 提供先(※実名が記述できない場合は、必ずしも実名を記述する必要はない。その場合、例えば「小売業A」といった形式で記述する)
- 提供時期
- 実施概要
- 主たる業務実施担当者 等

【加点評価の観点】

・類似の業務の経験(放射線の測定又は測定結果の評価業務、データの収集・調査業務、データ集約・公開に係るシステムの構築・運用業務等)を有しているか

2 事業実施体制

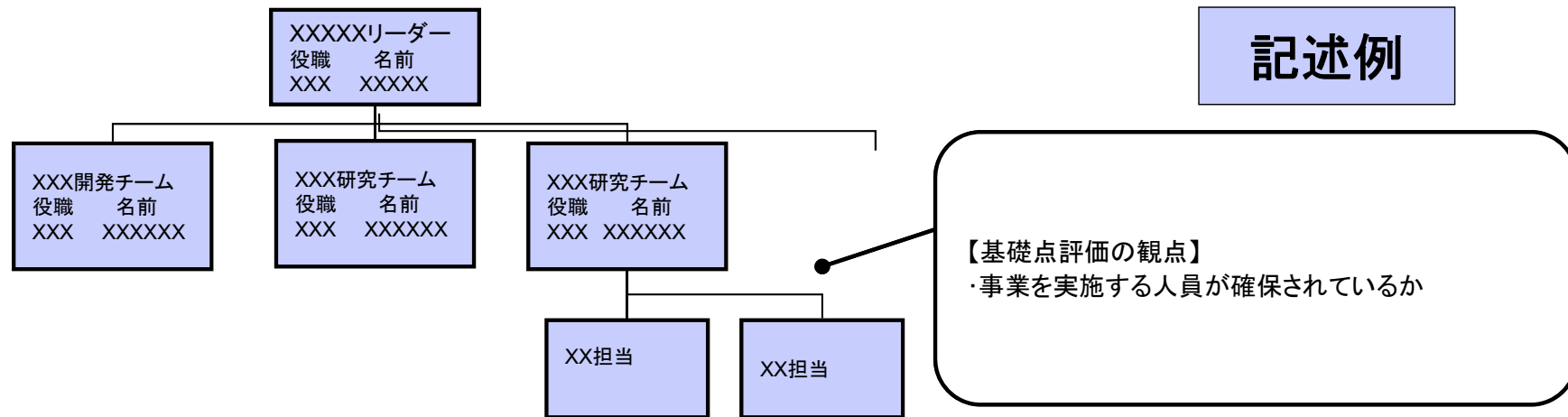
2.2 組織の業務実施能力

7.1 (別紙1) 提案書雛形

記述内容

- 業務の実施体制や役割分担 について、体制上の役割分担や担当者数がわかるように記述する。
- 実施体制については、個々の業務の担当が分かるようにし、各チームのリーダークラス要員については、役職及び担当者名を記述する応募者が当該業務における実績を有する場合、その実績が当該業務の実施に当たり有益であることを具体的・客観的に記述する。(例えば、「過去の実績における経験者を当該業務の各チームに従事させる」等)

■ 業務実施体制



■ 役割分担

- 各チームの主な役割
- 各チームの担当者数
- 提案書に別途含める、実施担当者の略歴への参照 等

■ 過去の実績

- XXXXXXXXXXXX
- 提案書に別途含める、「XXXXXXXXXXXX」への参照 等

記述例

- 【加点评価の観点】
- ・規制庁からの追加解析要求に迅速に対応できる人員補助体制が組まれているか
 - ・幅広い知見・人的ネットワーク・優れた情報収集能力を有しているか

注:体制、担当者略歴及び過去の実績等を記述する場合は、XXXXXXXXXXXX等についても記載すること。

2 事業実施体制

2.3 事業遂行のための経営基盤・管理体制・技術基盤

7.1 (別紙1) 提案書雛形

記述内容

- 事業を実施する上で適切な経営基盤・管理体制・技術基盤を有しているか

■ 経営基盤について

■ 資金・設備の状況

✓ XXXXXXXXXXXXXXX。

✓ XXXXXXXXXXXXXXX。

✓ XXXXX

■ 管理体制について

• XXXXXXXXXXXXX

• XXXXXXXXXXXXX

■ 技術基盤について

• XXXXXXXXXXXXX

• XXXXXXXXXXXXX

【基礎点評価の観点】

・事業を実施する上で適切な経営基盤・管理体制・技術基盤を有しているか

3 事業従事予定者の能力

3.1 事業従事予定者の調査内容に関する専門知識・適格性

7.1 (別紙1) 提案書雛形

記述内容

- 事業従事予定者の調査内容に関する専門知識・的確性に関して記述する。

業務担当者一覧

(以下の項目等を含めて記述)

氏名

部署・役職

予定担当業務

役割

業務経験(顧客の業種、実施業務やその内容、体制内での位置づけ、実施期間)

保有スキル 等

【基礎点評価の観点】

- ・調査内容に関する知識・知見を有しているか

【加点評価の観点】

- ・調査に関する専門知識に関する人的なネットワークの構築、情報発信をしているか

4 組織のワーク・ライフ・バランス等の取組

7.1 (別紙1) 提案書雛形

4.1 ワーク・ライフ・バランス等の推進に関する認定等取得状況

記述内容

▪ 認定等の有無、認定等の名称等に関して記述する。

認定等の有無： 有 ・ 無

認定等の名称： (認定段階： 、計画期間：平成(令和)〇年〇月〇日～令和〇年〇月〇日)

注1 プラチナえるぼし認定、えるぼし認定、プラチナくるみん認定、くるみん認定、トライくるみん認定、ユースエール認定については認定通知書の写しを、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画(策定義務のない事業主(常時雇用する労働者が100人以下のもの)が努力義務により届出たものに限る。)については労働局の受付印のある一般事業主行動計画策定届の写しを添付すること。

注2 認定段階については各認定等の名称と認定段階(えるぼし：1～3)を、計画期間については女性の職業生活における活躍の推進に関する法律及び次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画に示された計画期間を明記すること。

注3 事業者の経営における主たる事業所(本社等)において取得しており、かつ、提案書提出時点において認定等の期間中であるものに限る。

【加点評価の観点】

● 女性活躍推進法に基づく認定等(プラチナえるぼし・えるぼし認定等)

＜プラチナえるぼし(※1) 5点、えるぼし3段階目(※2) 4点、同 2段階目(※2) 3点、同 1段階目(※2) 2点、行動計画(※3) 1点＞

※1 女性活躍推進法(令和2年6月1日施行)第12条に基づく認定

※2 女性活躍推進法第9条に基づく認定。なお、労働時間等の働き方に係る基準は必ず満たすことが必要。

※3 女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定義務がない事業主(常時雇用する労働者の数が100人以下のもの)が努力義務により提出し、提案書提出時点で計画期間が満了していないものに限る。

● 次世代法に基づく認定(プラチナくるみん認定、くるみん認定、トライくるみん認定)

＜プラチナくるみん認定 4点、くるみん認定(新基準※4) 3点、くるみん認定(旧基準※5) 2点、トライくるみん認定 2点＞

※4 新くるみん認定(改正後認定基準(令和4年4月1日施行)により認定)

※5 旧くるみん認定(改正前認定基準又は改正省令附則第2条第5項の経過措置により認定)

● 若者雇用推進法に基づく認定(ユースエール認定) < 4点 >

(注)複数の認定等に該当する場合は、最も得点が高い区分により加点を行うものとする。

5 企業等の賃上げの実施

5.1 事業年度(又は暦年)における賃上げ

7.1 (別紙1) 提案書雛形

記述内容

- 賃上げの実施の表明の有無に関して記述する。

賃上げの実施の表明の有無 : 有 ・ 無

従業員への賃金引き上げ計画の表明書(別紙4-1又は4-2)の写しを添付すること。

【加点评価の観点】

- ・従業員への賃金引き上げ計画を表明しているか
大企業3%以上
中小企業1.5%以上

【6. 添付資料】

6.1 組織の概要、事業内容等

7.1 (別紙1) 提案書雛形

記述内容

- 当該事業を実施するに当たり、組織の概要・事業内容等について具体的に記述する
- パンフレット等がある場合には添付する

■ 組織の概要、事業内容等

◆ 組織の概要

◆ 組織の事業内容

◆ その他組織の特色 等

【6. 添付資料】

6.2 用語解説等の補足説明

7.1 (別紙1) 提案書雛形

記述内容

- 当該事業を実施するに当たり、調査事業に係る専門的な用語の説明等を具体的に記述する

■ 用語解説等の補足説明

◆ 用語名

【解説】

【6. 添付資料】

6.3 事業実施に係る工数

7.1 (別紙1) 提案書雛形

記述内容

- 本事業を実施するにあたり必要な工数をクラス別に記述する
- クラス別の従事者がどのような業務をどの程度行うかが分かるように記述する

■ 事業実施に係る事業従事予定者の工数

記述例

業務				担当者のクラス別工数(人月)/月				工数 (業務中項目 単位)
#	大項目	#	中項目	XXXX	XXX	XXX	XXX	
(1)	〇〇〇に係るもの							
		1)
		2)
(2)	〇〇〇に係るもの							
		1)
		2)
	
			合計(工数)

【6. 添付資料】

6.4 情報セキュリティの確保

7.1 (別紙1) 提案書雛形

記述内容

- 本事業に係る情報セキュリティ対策とその実施方法及び管理体制を記述する

▪ 情報セキュリティ対策

Title: 評価項目一覧 - 遵守確認事項 -

大項目	中項目	小項目	細項目	内容説明	遵守確認
0 遵守確認事項					
	0.1.	事業計画		調査を始める前に、原子力規制庁と調査内容について十分調整を行う。 事業の実施状況を適宜確認し、実施計画通りに事業を行う。 原子力規制庁が事業の実施状況について報告を求めた場合、速やかに報告を行う。	
	0.2.	予算の執行		落札価格を考慮し、適正な予算の執行を行う。	
	0.3.	報告書		納品書を提出する前に、原子力規制庁の要望した作業がすべて完了したかを原子力規制庁に確認する。 納入物は、実施計画通りに記載したものを事業期間内に納入する。 報告書は、基本的に日本語で作成する(図表など一部英語等を使わざるを得ない場合を除く)	
	0.4.	情報セキュリティの確保		原子力規制委員会情報セキュリティポリシーに準拠した情報セキュリティ対策の履行を確保する。	

Title: 評価項目一覧 - 提案要求事項一覧 -

提案書の目次				評価区分	得点配分			内部用評価基準		雛形 頁番号	提案書 頁番号
大項目	中項目	小項目	細項目		合計	基礎点	加点	基礎点	加点 (カッコ内の得点は、各評価基準の加点幅)		
1 事業の実施方針											
●	1.1	事業内容の妥当性、独自性	仕様書記載の調査内容について全て提案されているか	必須	20	5	-	仕様書記載の調査内容について全て提案されているか			
			仕様書に示された内容以外の独自の提案はされているか	任意		-	10	仕様書に示された内容以外の独自の提案はされているか			
			偏った調査内容となっていないか	必須		5	-	偏った調査内容となっていないか			
●	1.2	事業実施方法の妥当性、独創性	放射線データの収集・調査・評価の項目・手法が明確であるか	必須	20	5	-	放射線データの収集・調査・評価の項目・手法が明確であるか			
			収集した放射線データ等の公開手法が妥当であるか	必須		5	-	収集した放射線データ等の公開手法が妥当であるか			
			放射線データの収集・調査等の手法や公開手法に事業成果を高めるための独創的な工夫があるか 例 ・データ入力及び確認の手間及びミスを減らす工夫 ・利用者の関心やデータ利用目的を踏まえたサイト構成に関する提案 など	任意		-	10	放射線データの収集・調査等の手法や公開手法に事業成果を高めるための独創的な工夫があるか 例 ・データ入力及び確認の手間及びミスを減らす工夫 ・利用者の関心やデータ利用目的を踏まえたサイト構成に関する提案 など			
●	1.3	作業計画の妥当性、効率性	作業日程・手順等に無理がなく、目的に沿った実現性があるか	必須	10	5	-	作業日程、手順等に無理がなく、目的に沿った実現性があるか			
			事業成果達成のために、日程、作業手順等が効率的であるか	任意		-	5	事業成果達成のために、日程、作業手順等が効率的であるか			
2 事業実施体制											
	2.1	組織の類似調査業務の経験	類似の業務の経験(放射線の測定又は測定結果の評価業務、データの収集・調査業務、データ集約・公開に係るシステムの構築・運用業務等)を有しているか	任意	5	-	5	類似の業務の経験(放射線の測定又は測定結果の評価業務、データの収集・調査業務、データ集約・公開に係るシステムの構築・運用業務等)を有しているか			
	2.2	組織の業務実施能力	事業を実施する人員が確保されているか	必須	15	5	-	事業を実施する人員が確保されているか			
規制庁からの追加解析要求に迅速に対応できる人員補助体制が組まれているか			任意	-		5	規制庁からの追加解析要求に迅速に対応できる人員補助体制が組まれているか				
			幅広い知見・人的ネットワーク・優れた情報収集能力を有しているか	任意		-	5	幅広い知見・人的ネットワーク・優れた情報収集能力を有しているか			
	2.3	事業遂行のための経営基盤・管理体制・技術基盤	事業を実施する上で適切な経営基盤・管理体制・技術基盤を有しているか	必須	5	5	-	事業を実施する上で適切な経営基盤・管理体制・技術基盤を有しているか			
3 事業従事予定者の能力											
	3.1	事業従事予定者の業務内容に関する専門知識・適格性	事業内容に関する知識・知見を有しているか	必須	15	10	-	調査内容に関する知識・知見を有しているか			
			事業内容に関する専門知識に関する人的なネットワークの構築、情報発信をしているか	任意		-	5	事業内容に関する専門知識に関する人的なネットワークの構築、情報発信をしているか			

Title: 評価項目一覧 - 提案要求事項一覧 -

提案書の目次				評価区分	得点配分			内部用評価基準		雛形頁番号	提案書頁番号
大項目	中項目	小項目	細項目		提案要求事項	合計	基礎点	加点	基礎点		
4 組織のワークライフバランス等の取組											
	4.1	組織のワーク・ライフ・バランス等の推進に関する認定等取得状況	女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(以下「女性活躍推進法」という。)、次世代育成支援対策推進法(以下「次世代法」という。)、青少年の雇用の促進等に関する法律(以下「若者雇用推進法」という。)に基づく認定等(プラチナえるぼし認定、えるぼし認定等、プラチナくるみん認定、くるみん認定、トライくるみん認定、ユースエール認定等)の有無を記載し、有の場合は認定等の名称を記載するとともに、認定通知書の写し(内閣府男女共同参画局長の認定等相当確認を受けている外国法人については、その確認通知書の写し)を添付すること。ただし、提案書提出時点において認定等の期間中であること。	任意	5	-	5	-	女性活躍推進法に基づく認定等(プラチナえるぼし・えるぼし認定等) ・プラチナえるぼし(※1) 5点 ・えるぼし3段階目(※2) 4点 ・えるぼし2段階目(※2) 3点 ・えるぼし1段階目(※2) 2点 ・行動計画(※3) 1点 ※1 女性活躍推進法(令和2年6月1日施行)第12条に基づく認定 ※2 女性活躍推進法第9条に基づく認定 なお、労働時間等の働き方に係る基準は満たすことが必要。 ※3 常時雇用する労働者の数が100人以下の事業主に限る(計画期間が満了していない行動計画を策定している場合のみ)。 次世代法に基づく認定(プラチナくるみん認定・くるみん認定、トライくるみん認定) ・プラチナくるみん認定 4点 ・くるみん認定(新基準※4) 3点 ・くるみん認定(旧基準※5) 2点 ・トライくるみん認定 2点 ※4 新くるみん認定(改正後認定基準(令和4年4月1日施行)により認定) ※5 旧くるみん認定(改正前認定基準又は改正省令附則第2条第5項の経過措置により認定) 若者雇用推進法に基づく認定(ユースエール認定) 4点 ※複数の認定等に該当する場合は、最も得点が高い区分により加点を行うものとする。		
5 企業等の賃上げの実施											
	5.1	事業年度(又は暦年)における賃上げ	賃上げの実施を表明した企業等について ・大企業は、事業年度(又は暦年)において、対前年度比(又は対前年比)で給与等受給者一人当たりの平均受給額を3%以上増加させる旨の、従業員への賃金引上げ計画の表明書(別紙4-1)(表明する意思がある者のみ提出すること)の写しを添付すること。 ・中小企業等は、事業年度(又は暦年)において、対前年度比(対前年比)で給与総額を1.5%以上増加させる旨の、従業員への賃金引上げ計画の表明書(別紙4-2)(表明する意思がある者のみ提出すること)の写しを添付すること。	任意	5	-	5		表明書の写しの提出が確認出来れば加点(5点)。		
					合計	100	45	55			

●は価格と同等に評価できない項目(合計50点)

Title: 評価項目一覧 - 添付資料 -

提案書の目次			資料内容	提案の要否	雛形頁番号	提案書頁番号
大項目	中項目	小項目				
6 添付資料						
	6.1.	組織の概要・事業内容等	会社又は法人としての概要(組織の概要、事業内容が分かるパンフレット等)	必須		
	6.2.	用語解説等の補足説明	事業に係る専門的な用語の説明等	必須		
	6.3.	事業実施に係る工数	実施に必要な工数の明細	必須		
	6.4.	情報セキュリティの確保	受託業務に係る情報セキュリティ対策とその実施方法及び管理体制	必須		

令和6～11年度原子力施設等防災対策等
委託費（環境放射線データベース等に係る
システム更改及び運用・管理業務）事業

評価手順書(加算方式)

令和5年 月
原子力規制庁

本書は、令和6～11年度原子力施設等防災対策等委託費（環境放射線データベース等に係るシステム更改及び運用・管理業務）事業に係る評価手順を取りまとめたものである。落札方式、評価の手続き及び提案の配点基準を以下に記す。

第1章 落札方式及び得点配分

1.1 落札方式

次の要件をともに満たしている者のうち、「1.2 総合評価点の計算」によって得られた数値の最も高い者を落札者とする。

- ①入札価格が予定価格の範囲内であること。
- ②別添「評価項目一覧」に記載される要件のうち必須とされた項目を、全て満たしていること。

1.2 総合評価点の計算

$$\text{総合評価点} = \text{技術点} + \text{価格点}$$

技術点 = 基礎点 + 加点

価格点 = 価格点の配分(※) × (1 - 入札価格 ÷ 予定価格)

※技術点及び価格点は小数点第4位以下切り捨てとする。

1.3 得点配分

※技術点の配分と価格点の配分は、2 : 1 とする。

技術点	100点
価格点	50点

第2章 評価の手続き

2.1 一次評価

まず、以下の基準により一次判定を行う。

- ①別添「評価項目一覧－遵守確認事項－」の「遵守確認」欄に全て「○」が記入されている。
- ②別添「評価項目一覧－提案要求事項一覧（項番1～5）」の、評価項目が必須の「提案書頁番号」欄に提案書の頁番号が記入されている。
- ③別添「評価項目一覧－添付資料（項番6）」の、提案の要否が必須の「提案書頁番号」欄に提案書の頁番号が記入されている。

一次評価で合格した提案書について、「2.2 二次評価」を行う。

2.2 二次評価

「2.1 一次評価」にて合格した提案書に対し、「第 3 章 評価項目の加点方法」にて記す評価基準に基づき採点を行う。この際、別添「評価項目一覧」に記載される、「提案要求事項(項番 1~5)」のうち必須とされた項目について基礎点の得点が 0 となった場合、その応募者を不合格とする。

複数の評価者が評価を行うため、各評価者の評価結果（加点部分の点数）を合計し、それを平均して基礎点と合計したものを技術点とする。

2.3 総合評価点の算出

以下を合計し、総合評価点を算出する。

- ①「2.2 二次評価」により与えられる技術点
- ②入札価格から、「1.2 総合評価点の計算」に記した式より算出した価格点

第 3 章 評価項目の加点方法

3.1 評価項目得点構成

評価項目の得点は基礎点と加点の二種類に分かれており、その合計にて提案要求事項毎の得点が決定される。（評価項目毎の基礎点、加点の得点配分は「評価項目一覧 - 提案要求事項一覧 -」の「得点配分」欄を参照）

3.2 基礎点評価

基礎点は、提案要求事項の評価区分が必須である事項にのみ設定されている。評価の際には提案要求事項の要件を充足している場合には配分された点数が与えられ、充足していない場合は 0 点となる。提案者は、提案書にて基礎点の対象となる要件を全て充足することを示さなければならない。一つでも要件が充足できないとみなされた場合は、その応募者は不合格となる。なお、各提案要求事項の基礎点を評価する際の観点は、別添「提案書雛形」にて「基礎点評価の観点」として示している。

3.3 加点評価

加点は、全ての提案要求事項について設定されており、各提案要求事項の加点を評価する際の観点に沿って評価を行う。各提案要求事項の加点を評価する際の観点は、別添「提案書雛形」にて「加点評価の観点」として示している。

評価基準と配点は下表のとおり。

評価基準と配点

評価	基準	配点比率 (※1)
優	提案内容に具体性や実現性がある、又は要求仕様を上回る追加の提案がなされており、本業務の遂行において特筆すべき有益性が認められる。	100%
良	提案内容が具体性や実現性がある、又は要求仕様を上回る追加の提案がなされており、本業務の遂行において一定の有益性が認められる。	60%
可	提案内容が具体性や実現性がある、又は要求仕様を上回る追加の提案がなされており、本業務の遂行において若干の有益性が認められる。	20%
加点なし	提案内容は調達仕様書や要件定義書で定める要件は満たしているが、具体性や実現性がなく、本業務の遂行に有益性は認められない。	0%

※1 別添3「評価項目一覧」の提案要求事項に記載の評価項目の配点が10点、評価が「良」の場合、技術点の加点は「6点」となる。